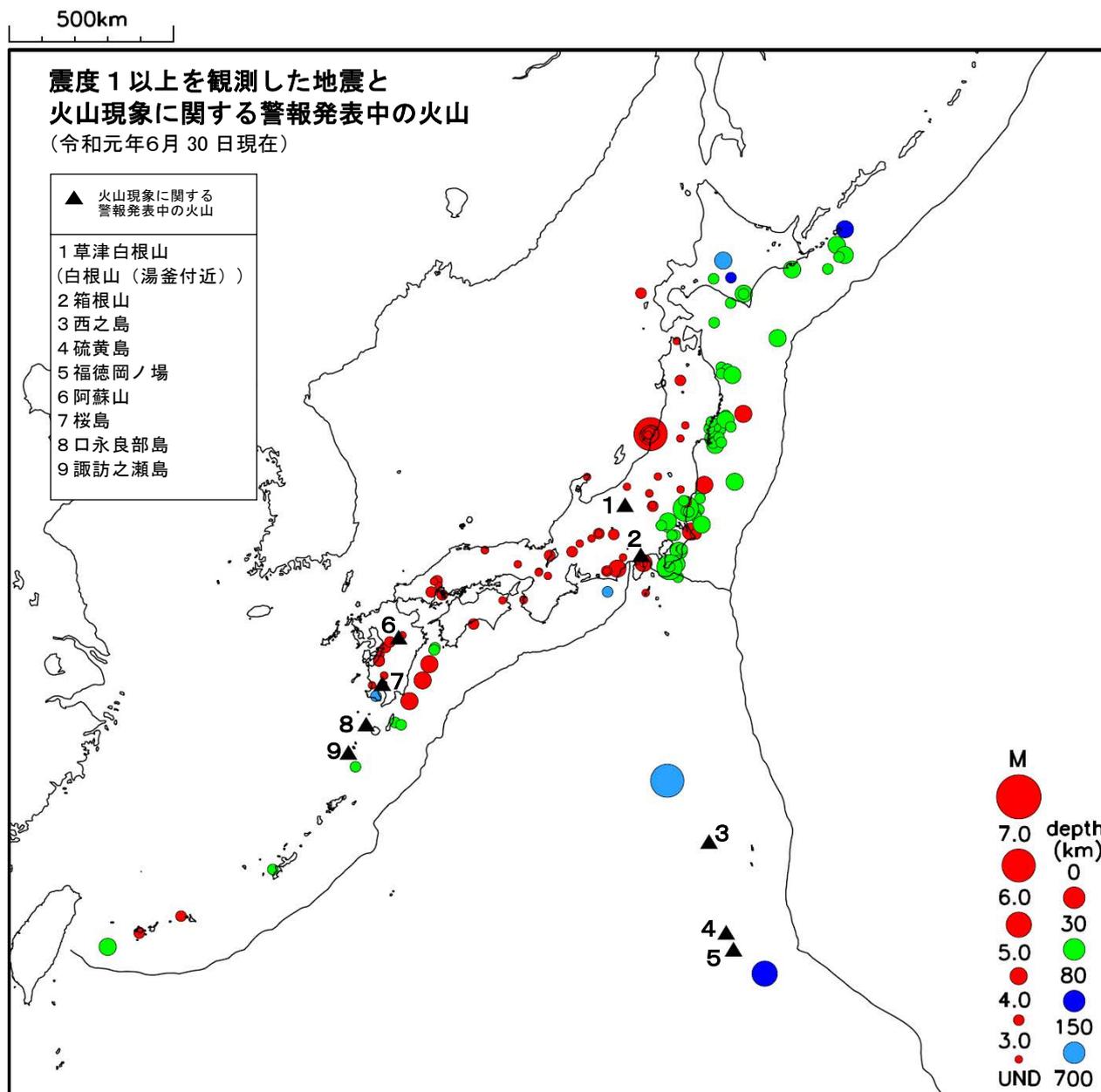


令和元年6月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

June 2019



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年(1997年)10月1日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 令和元年6月30日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、8政令指定都市。

注** 令和元年6月30日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT解について

Global CMT解は、米国のコロロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016年4月1日以降の震源では、Mの小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものがある場合がある。

震源の深さを「CMT解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用した地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	6
東北地方の地震活動	7
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	13
九州地方の地震活動	14
沖縄地方の地震活動	15
その他の地域の地震活動	16
● 南海トラフ周辺の地殻活動	18
● 日本の主な火山活動	53
北海道地方の火山活動	63
東北地方の火山活動	65
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	67
近畿・中国・四国地方の火山活動	71
九州地方の火山活動	72
沖縄地方の火山活動	75
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	76
● 世界の主な地震	78
● 世界の主な火山活動	81
● 特集 2019 年 6 月 18 日の山形県沖の地震	82
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	106
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	133
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数	134
4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	135
5. 緊急地震速報の提供状況	136

● 日本及びその周辺での主な地震活動

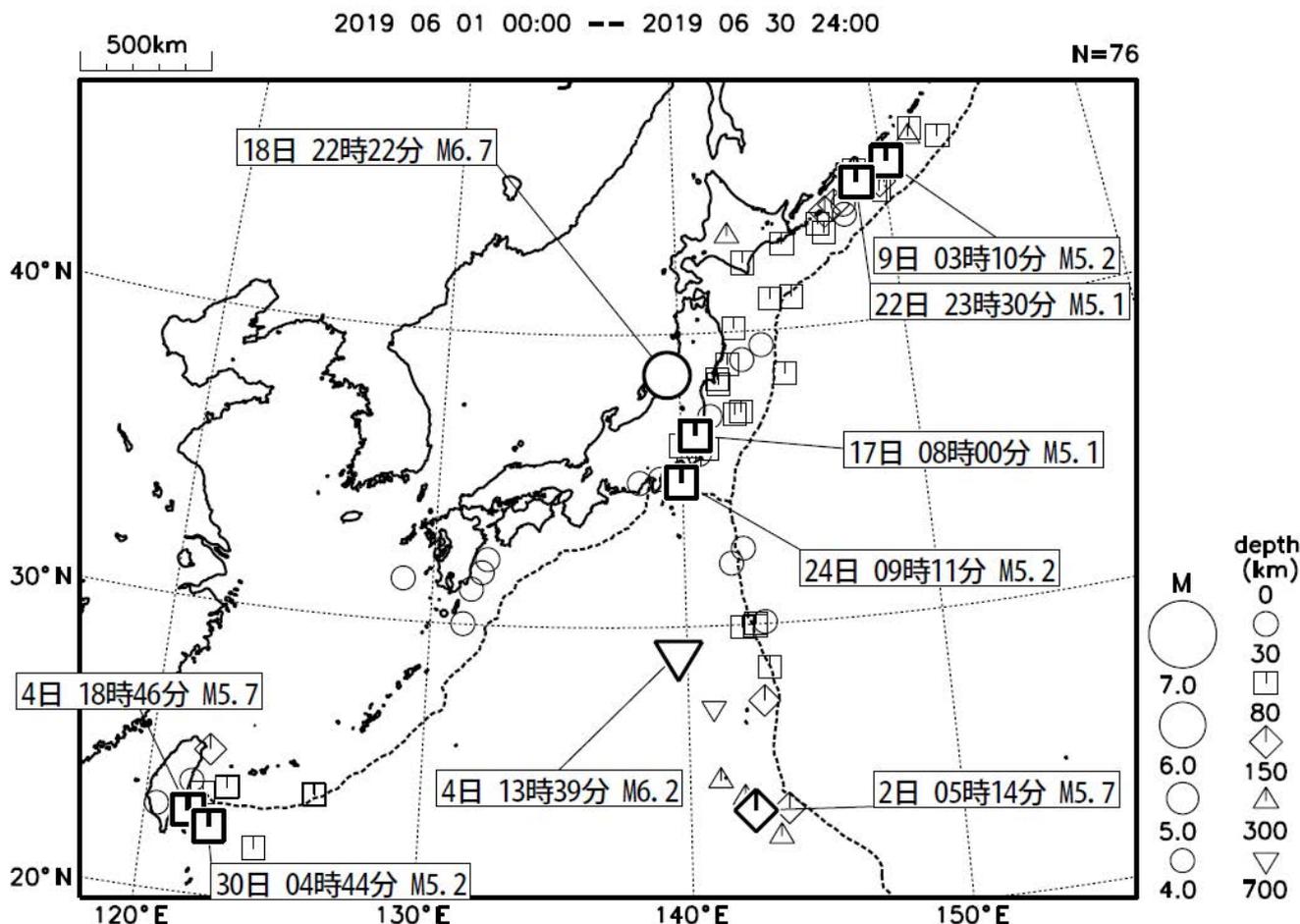


図1 令和元年6月に日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の震央分布図

(図中に日時分、マグニチュードを付した地震はM5.0以上の地震、またはM4.0以上で最大震度5弱以上を観測した地震である。)

6月18日22時22分に山形県沖の深さ14kmでM6.7の地震が発生し、気象庁は緊急地震速報(警報)、津波注意報を発表した。この地震により、新潟県村上市で震度6強、山形県鶴岡市で震度6弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度5強～1を観測した。また、山形県庄内で長周期地震動階級3を観測したほか、東北地方、新潟県と関東地方の一部で長周期地震動階級2～1を観測した。この地震により、負傷者41人、住家半壊33棟、一部破損755棟の被害が生じた(7月1日11時00分現在、総務省消防庁による)。また、この地震により、山形県の鶴岡市鼠ヶ関で11cm、秋田県の秋田、新潟県の新潟、石川県の輪島港でそれぞれ8cmの津波を観測するなど、秋田県、山形県、新潟県、石川県で津波を観測した。

令和元年(2019年)6月に日本国内で震度4以上を観測した地震の回数は7回(5月は6回)、日本及びその周辺で発生したM4.0以上の地震の回数は76回(5月は78回)であった(図1)。6月中に発生した主な地震を表1、震度1以上を観測した地震の震央を図2、M4.0以上の地震の震央を図3、震度4以上を観測した地震の震度分布図を図4に示す。6月中に震度5弱以上を観測した地震は1回、津波を観測した地震は1回であった(5月は震度5弱以上を観測した地震は2回であり、また、津波を観測した地震はなかった)。

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

表1 令和元年6月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注1）（注2）（注3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注4)	M H S T (注5)	最大震度・被害状況等（注6）	掲載 ページ
1	6 1 7 58	千葉県北東部	4.7	4.6	・ ・ S ・	4：千葉県 長南町長南*	4、9
2	6 4 13 39	鳥島近海	6.2	6.4	M ・ S ・	4：東京都 小笠原村母島	4、17
3	6 17 8 0	茨城県北部	5.1	4.9	・ ・ S ・	4：福島県 白河町表郷* 矢祭町東館* 茨城県 水戸市千波町* 水戸市内原町* 栃木県 大田原市湯津上* 那須烏山市中央 など3県22地点	5、10
4	6 18 22 22	山形県沖	6.7	6.5	M H S T	6強：新潟県 村上市府屋* 6弱：山形県 鶴岡市温海川 5強：山形県 鶴岡市温海* 鶴岡市道田町* 津波注意報 を發表 長周期地震動階級3 を觀測 緊急地震速報（警報） を發表 被害 ：負傷者41人など（7月1日現在）	82～105
5	6 19 0 57	新潟県下越沖	4.2	—	・ ・ S ・	4：新潟県 村上市府屋*（注7）	84、85、 93
6	6 24 9 11	千葉県南東沖	5.2	5.3	・ ・ S ・	4：千葉県 館山市長須賀 館山市北条* 東京都 東京都千代田区大手町 神奈川県 川崎市川崎区宮前町* 川崎市川崎区千鳥町* など3県9地点	5、11
7	6 24 19 22	伊豆半島東方沖	4.1	—	・ ・ S ・	4：静岡県 熱海市網代 緊急地震速報（警報） を發表	5、12

- (注1) 主な地震とは、図1の領域内で発生した①M6.0以上、②震度4以上、③内陸M4.5以上かつ震度3、④海域M5.0以上かつ震度3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注4) Mw欄の「—」はMwが求められていないことを示す。
- (注5) MHS Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を觀測した地震、T:津波を觀測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注6) 最大震度の觀測点名にある*印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度觀測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注7) この地震は2019年6月18日の山形県沖の地震の余震である。

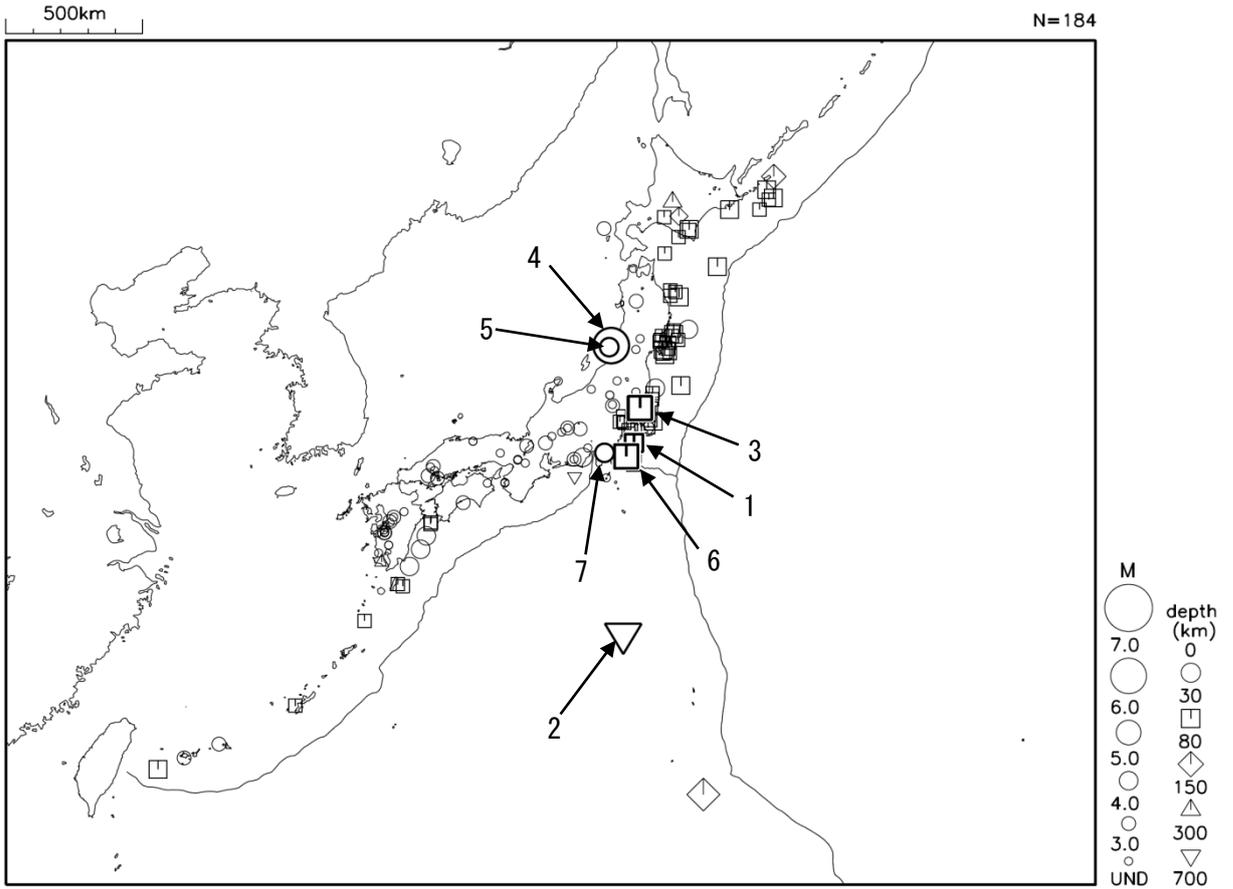


図2 令和元年6月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

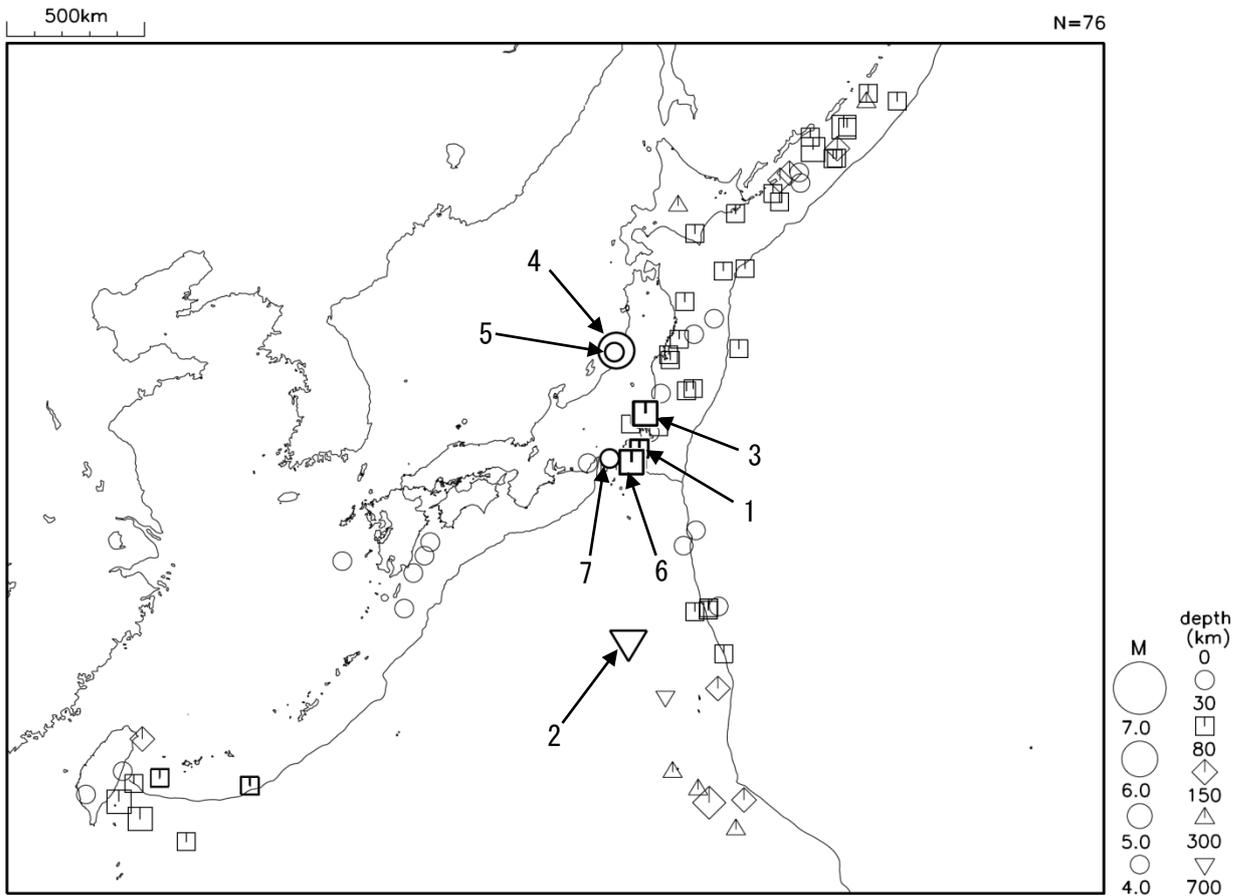


図3 令和元年6月に発生したM4.0以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

1 6月1日07時58分 千葉県北東部
(M4.7、深さ35km、最大震度4)

2 6月4日13時39分 鳥島近海
(M6.2、深さ445km、最大震度4)

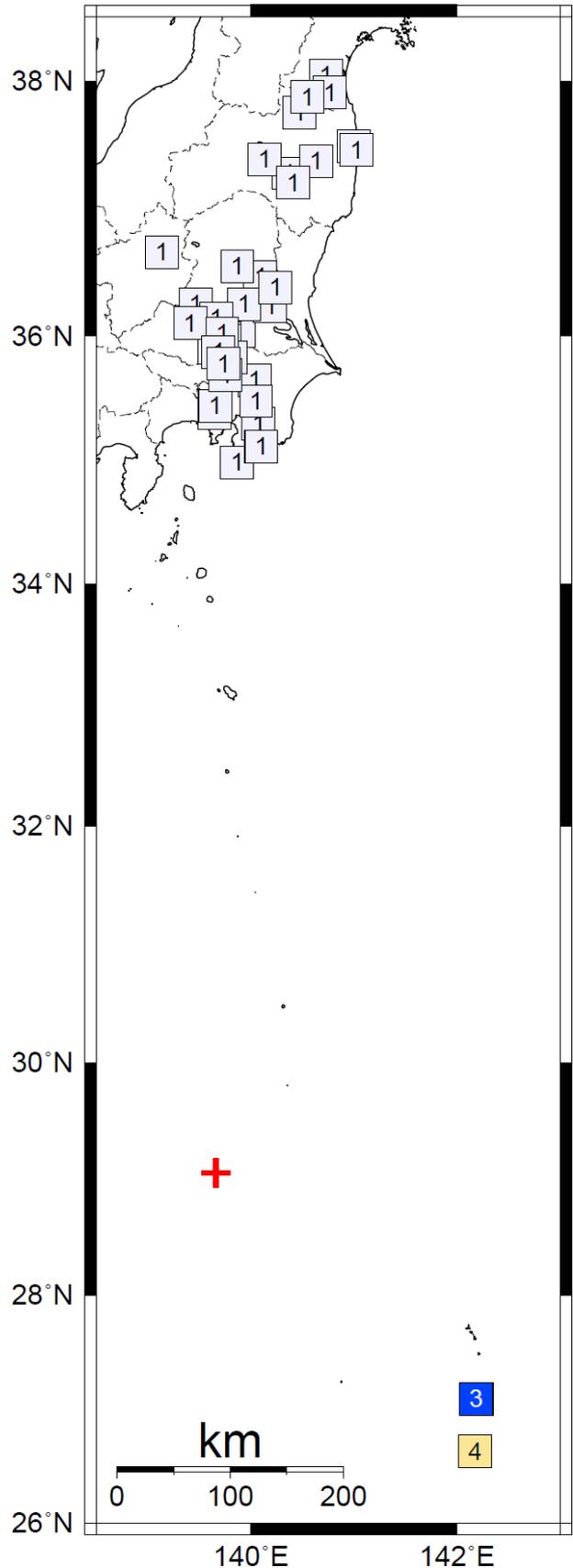
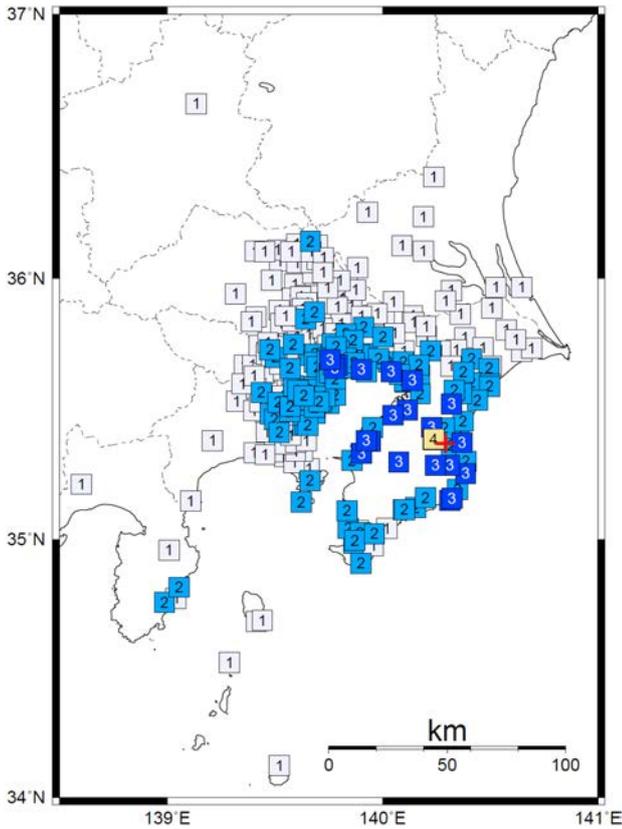
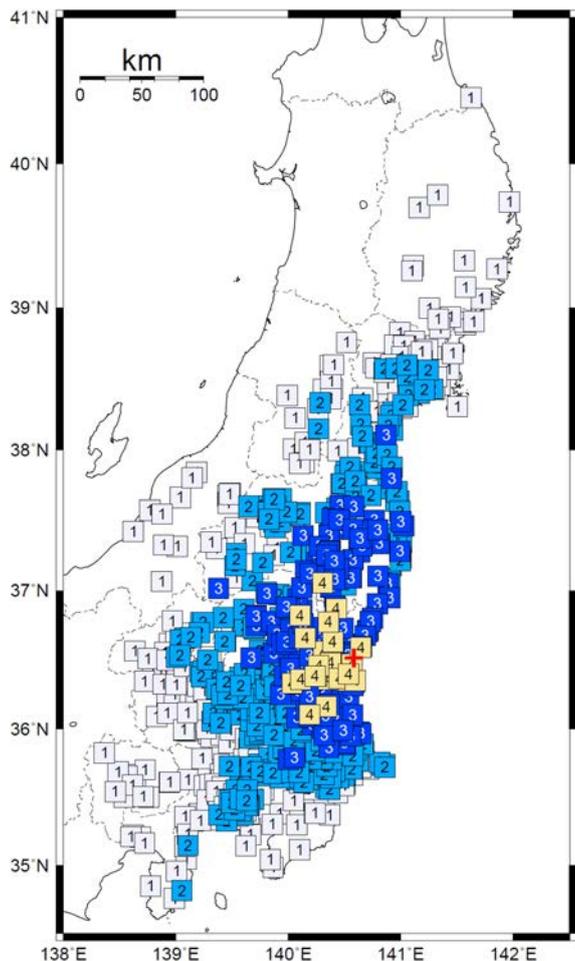


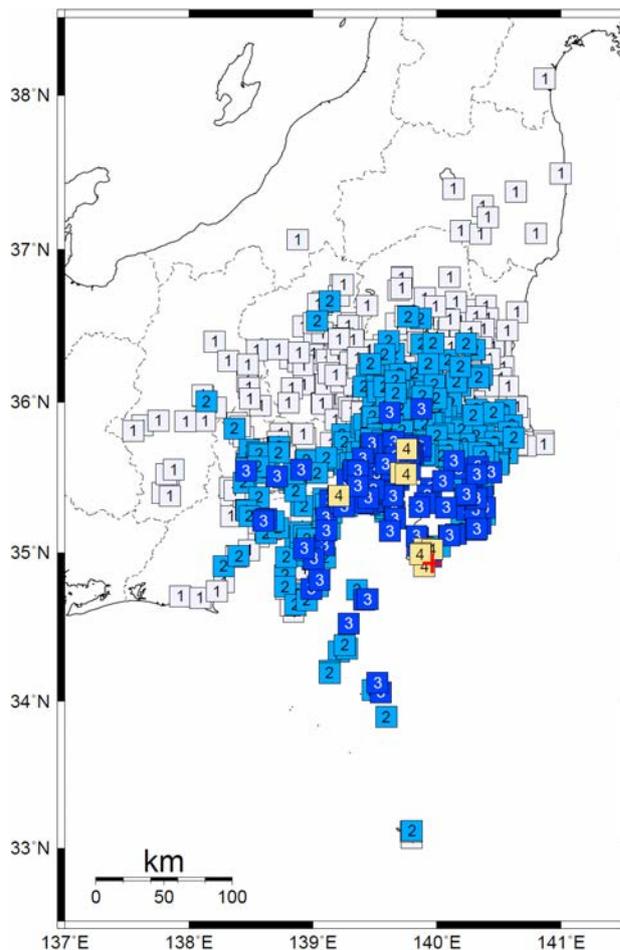
図4 震度分布図及び推計震度分布図（続く）
(各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁HPの震度データベース
(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

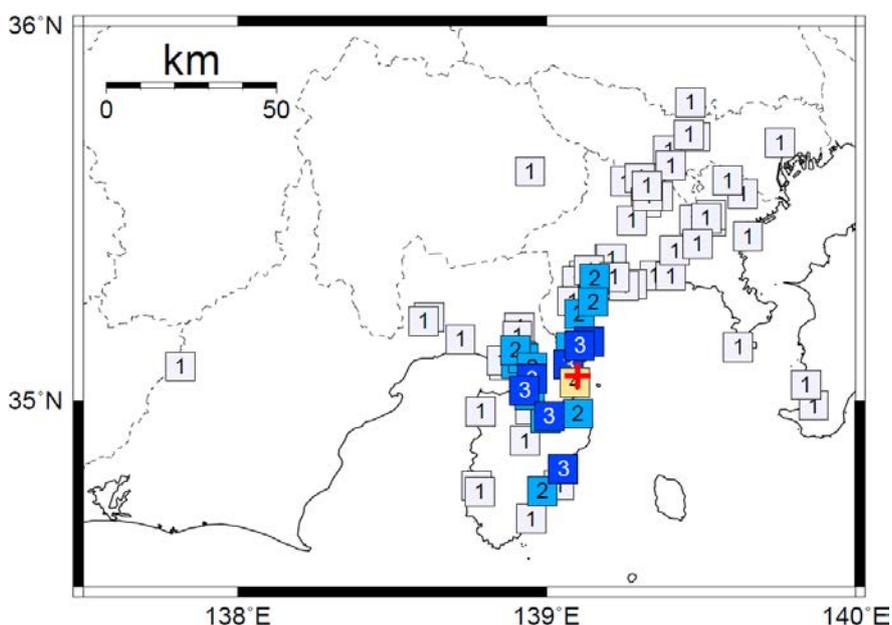
3 6月17日08時00分 茨城県北部
(M5.1、深さ77km、最大震度4)



6 6月24日09時11分 千葉県南東沖
(M5.2、深さ61km、最大震度4)



7 6月24日19時22分 伊豆半島東方沖
(M4.1、深さ8km、最大震度4)



震度分布図 凡例	
4	震度4
3	震度3
2	震度2
1	震度1

6月18日22時22分 山形県沖の地震 (No. 4)、及び6月19日00時57分 新潟県下越沖の地震 (No. 5) の震度分布図については p. 92~93 を参照。

図4 震度分布図及び推計震度分布図（続き）
（各図の左上の数字は表1、図2、図3の番号に対応する。+印は震央を示す）

○北海道地方の地震活動

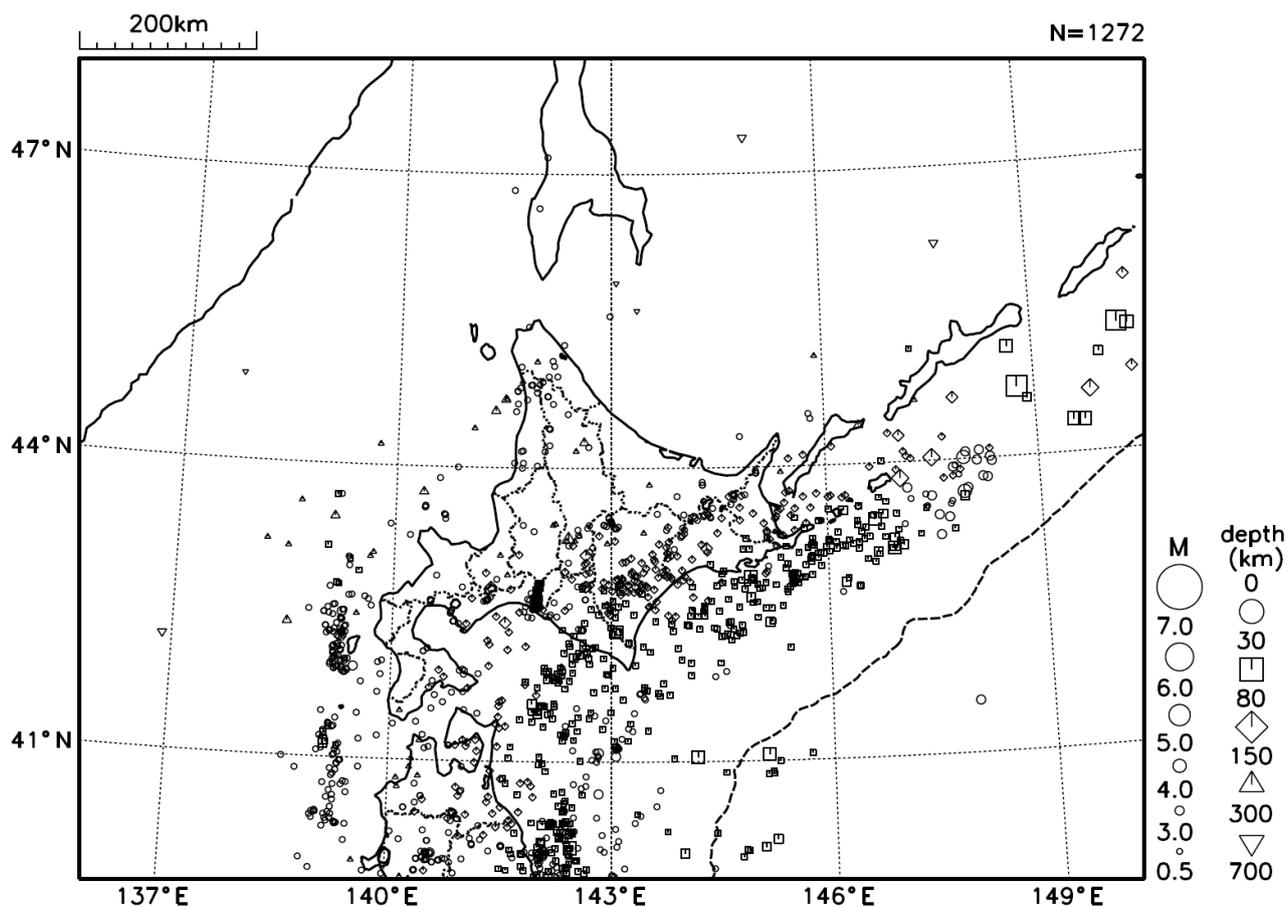


図5 北海道地方の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、M \geq 0.5）

[概況]

6月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は16回（5月は15回）であった。
6月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

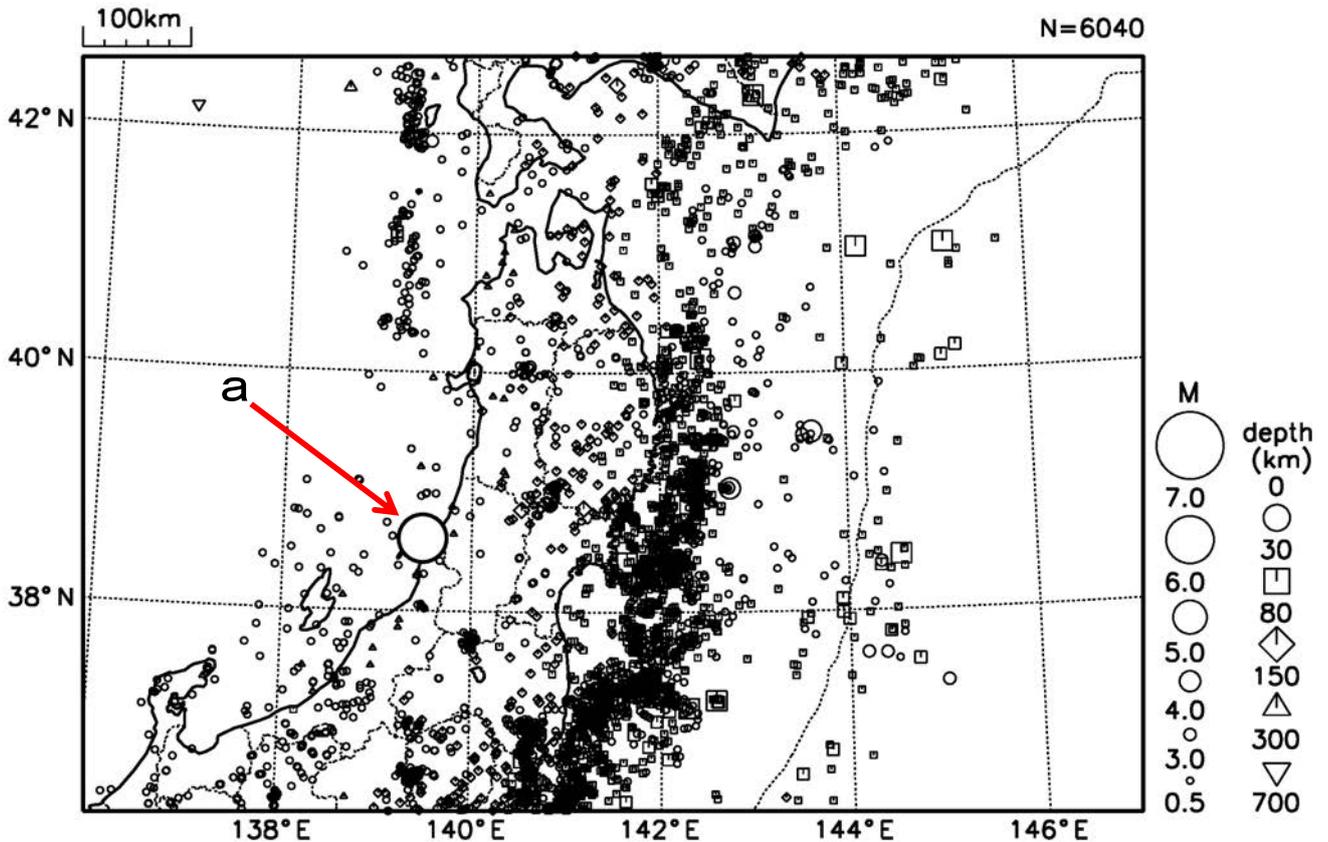


図6 東北地方の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、M \geq 0.5）

[概況]

6月に東北地方で震度1以上を観測した地震は58回（5月は26回）であった。
6月中の主な活動は次の通りである。

18日22時22分に山形県沖の深さ14kmでM6.7の地震（図6中のa）が発生し、新潟県村上市で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度6弱～1を観測した。この地震により、山形県の鶴岡市鼠ヶ関で11cm、秋田県の秋田、新潟県の新潟、石川県の輪島港でそれぞれ8cmの津波を観測するなど、秋田県、山形県、新潟県、石川県で津波を観測した。また、6月19日00時57分に発生したM4.2の地震（最大震度4）を含め、6月30日までにM4.0以上の余震が4回発生している。（p.82～105の特集参照）

○関東・中部地方の地震活動

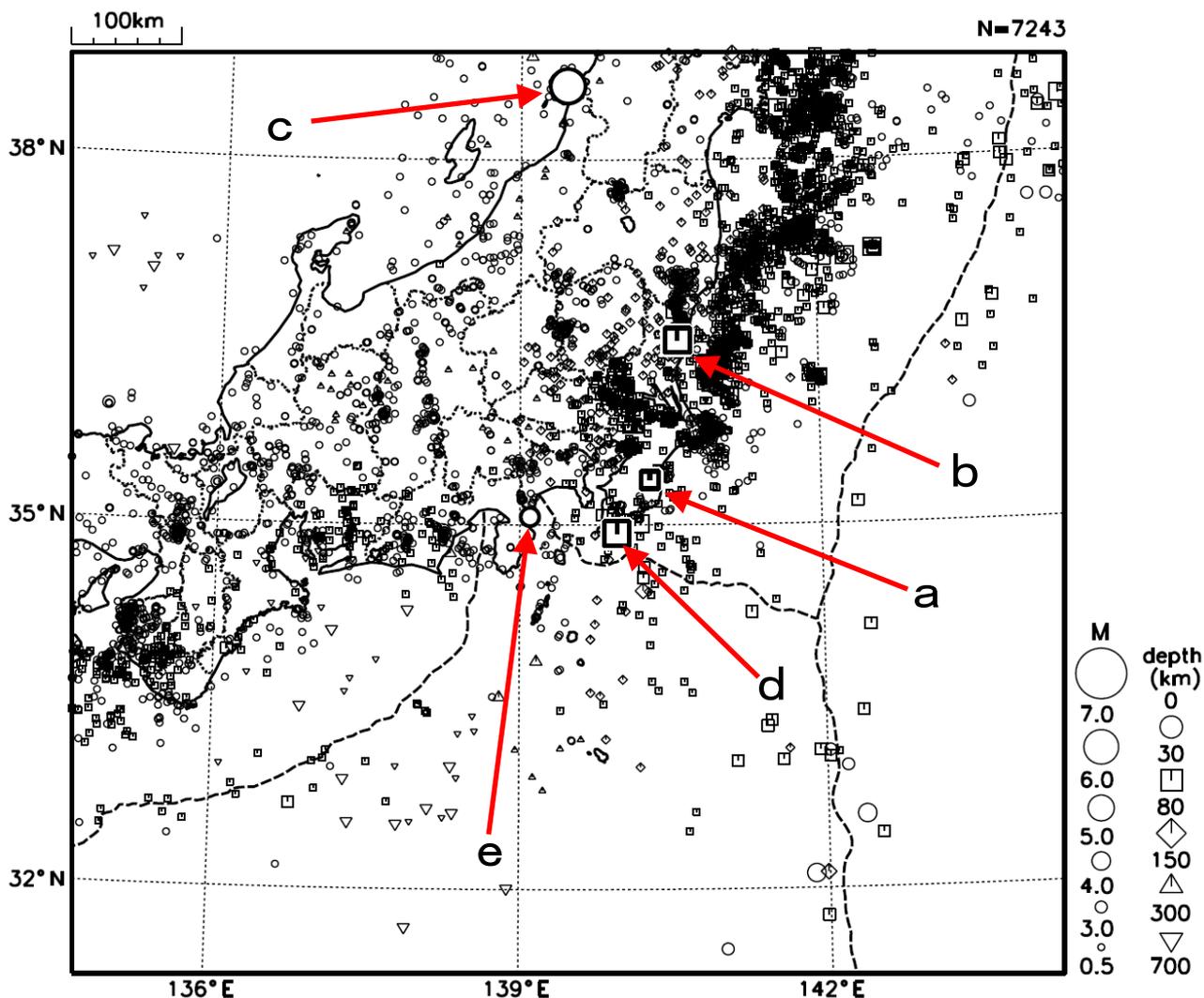


図7 関東・中部地方の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、M \geq 0.5）

[概況]

6月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は90回（5月は40回）であった。6月中の主な活動は次の通りである。

1日07時58分に千葉県北東部の深さ35kmで4.7の地震（図7中のa）が発生し、千葉県長南町で最大震度4を観測したほか、関東地方及び静岡県で震度3～1を観測した。（p. 4、9参照）。

17日08時00分に茨城県北部の深さ77kmでM5.1の地震（図7中のb）が発生し、茨城県、栃木県及び福島県で最大震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。（p. 5、10参照）。

18日22時22分に山形県沖の深さ14kmでM6.7の地震（図7中のc）が発生し、新潟県村上市で震度6強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度6弱～1を観測した。この地震により、山形県の鶴岡市鼠ヶ関で11cm、秋田県の秋田、新潟県の新潟、石川県の輪島港でそれぞれ8cmの津波

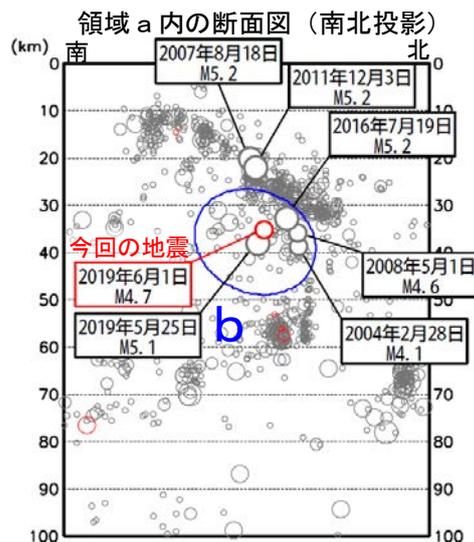
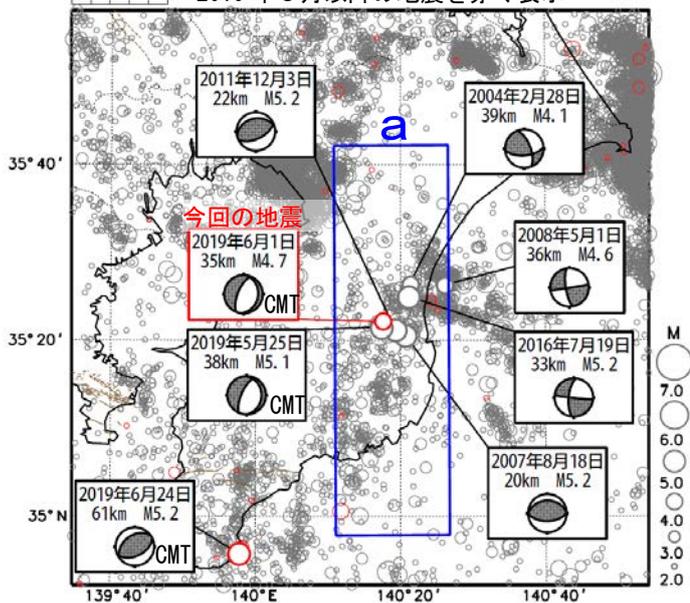
を観測するなど、秋田県、山形県、新潟県、石川県で津波を観測した。また、6月19日00時57分に発生したM4.2の地震（最大震度4）を含め、6月30日までにM4.0以上の余震が4回発生している。（p. 82～105の特集参照）

24日09時11分に千葉県南東沖の深さ61kmでM5.2の地震（図7中のd）が発生し、千葉県、東京都及び神奈川県で最大震度4を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。（p. 5、11参照）。

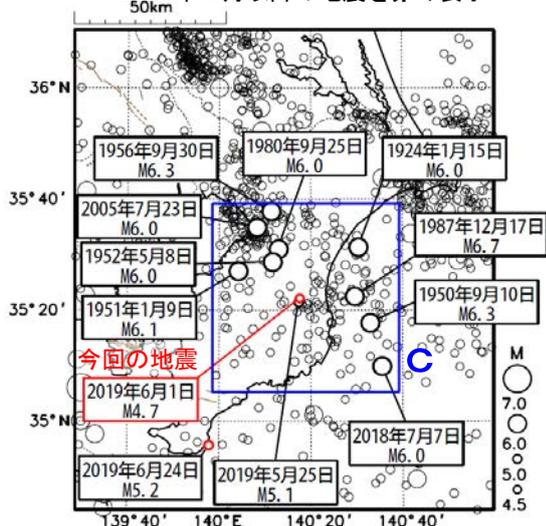
24日19時22分に伊豆半島東方沖の深さ8kmでM4.1の地震（図7中のe）が発生し、静岡県熱海市で最大震度4を観測したほか、関東地方から中部地方にかけて震度3～1を観測した。（p. 5、12参照）。

6月1日 千葉県北東部の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年6月30日、
 深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
 2019年6月以降の地震を赤く表示



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年6月30日、
 深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
 2019年6月以降の地震を赤く表示

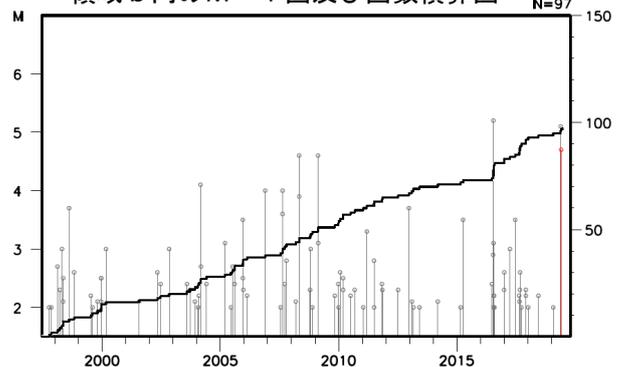


2019年6月1日07時58分に千葉県北東部の深さ35kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。なお、この地震の1週間前の5月25日15時20分にもほぼ同じ場所の深さ38kmでM5.1の地震（最大震度5弱）が発生し、軽傷者1人の被害が生じた（6月3日現在、総務省消防庁による）。

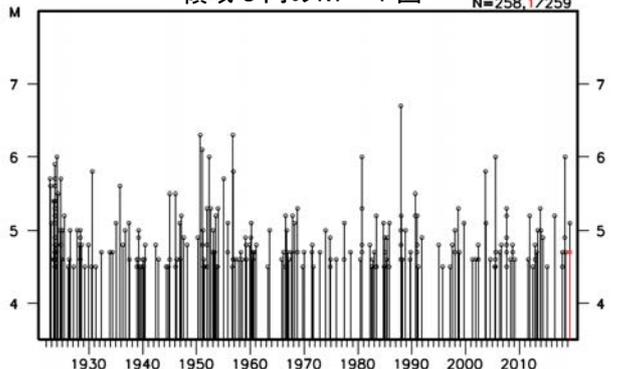
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、あまり地震活動が活発ではないものの、M4.0からM5.0程度の地震が時々発生しており、2016年7月19日には、深さ33kmでM5.2の地震（最大震度4）があった。なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、まとまった地震活動が時々みられる。今回の地震は、これらの地震活動よりも深い位置で発生した。

1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震（最大震度5）では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

6月17日 茨城県北部の地震

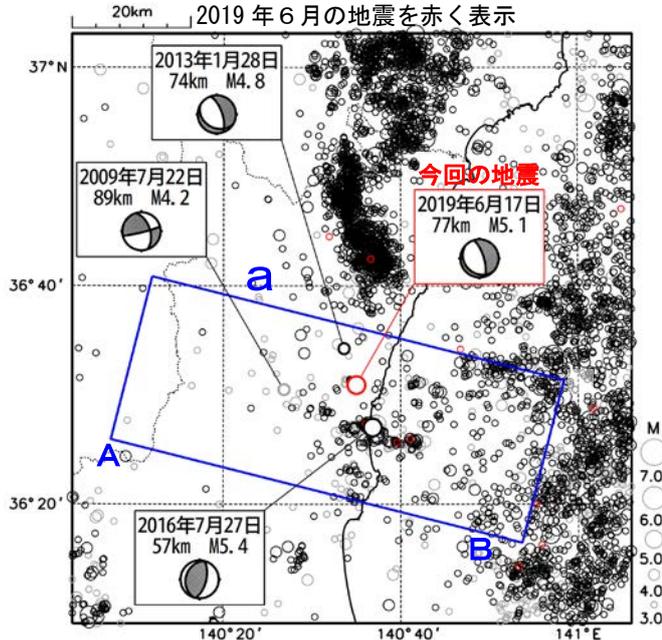
震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月11日14時45分までの地震を薄く表示

2011年3月11日14時46分～2019年5月31日の地震を濃く表示

2019年6月の地震を赤く表示

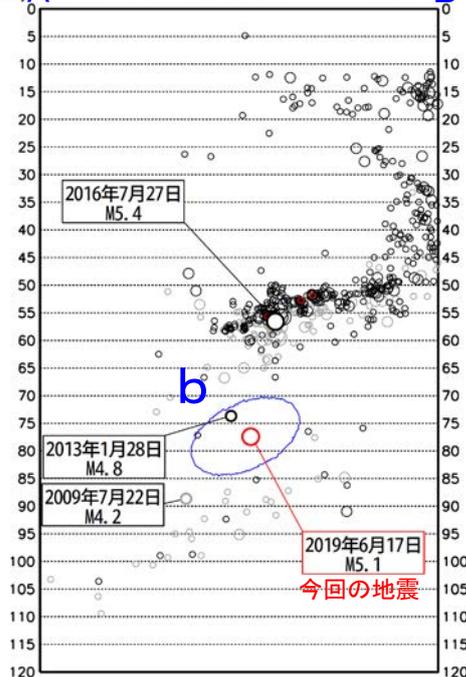


2019年6月17日08時00分に茨城県北部の深さ77kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

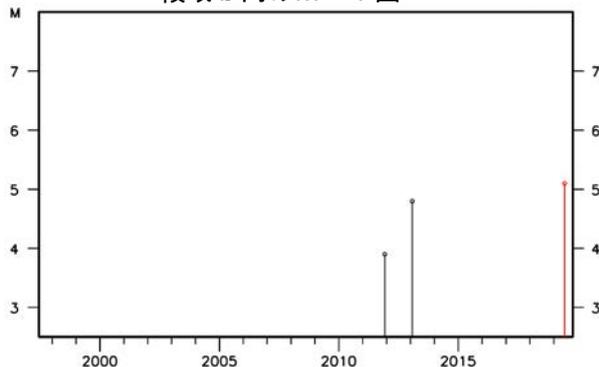
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震は、2016年7月27日のM5.4の地震（最大震度5弱）をはじめとした普段地震が多く発生している領域よりも深い所で発生した。この地震の震源付近（領域b）では、2013年1月28日にM4.8の地震（最大震度5弱）が発生している。

1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。1930年6月1日のM6.5の地震（最大震度5）では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害を生じた（「日本被害地震総覧」による）。

(km) A領域a内の断面図 (A-B投影) B



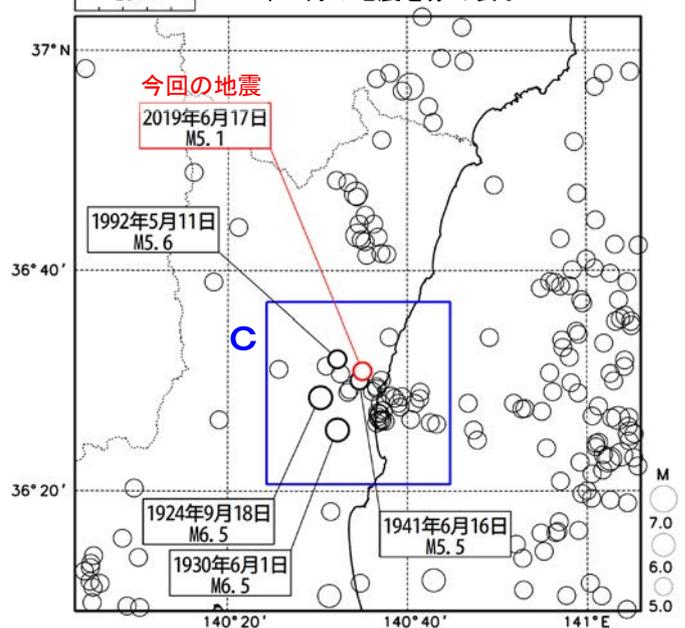
領域b内のM-T図



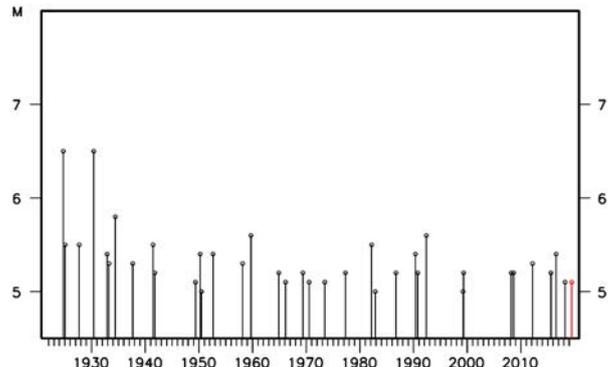
震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

2019年6月の地震を赤く表示

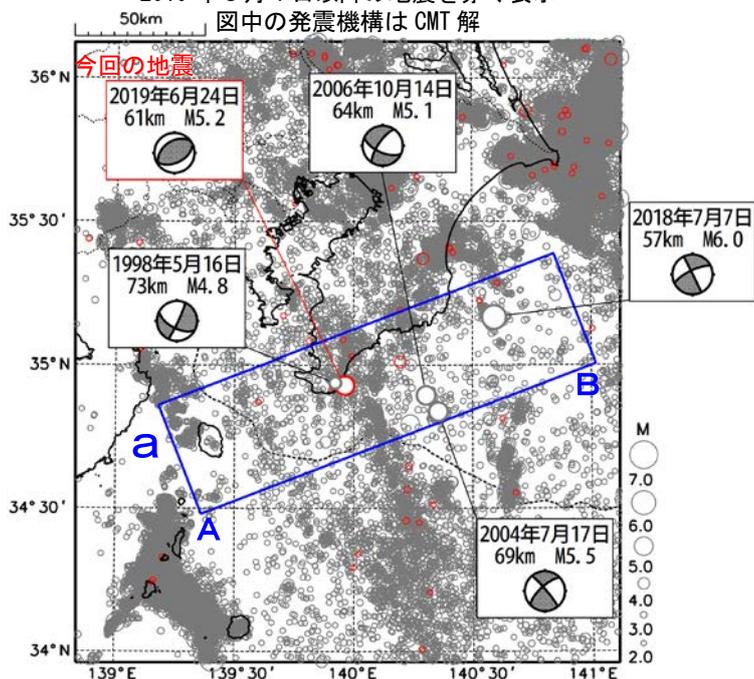


領域c内のM-T図



6月24日 千葉県南東沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2019年6月30日、
 深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
 2019年6月1日以降の地震を赤く表示
 図中の発震機構はCMT解

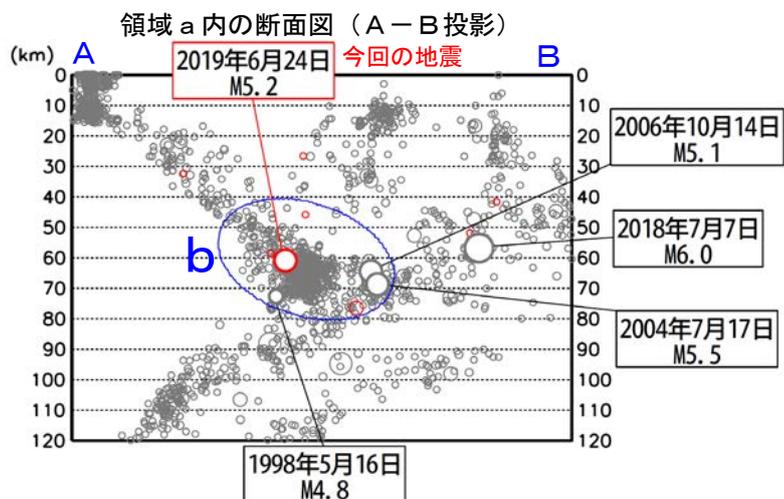
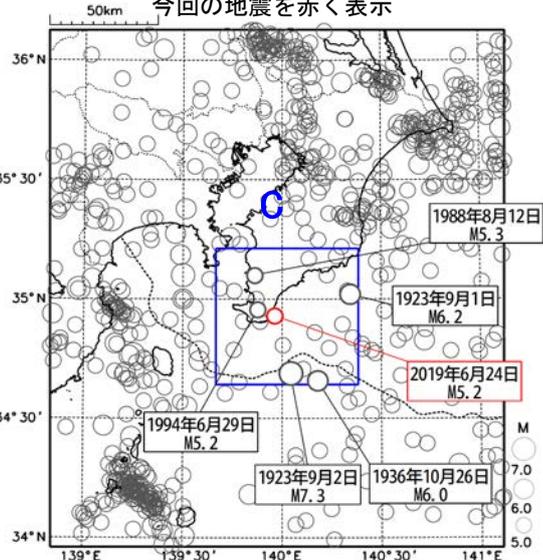


2019年6月24日09時11分に千葉県南東沖の深さ61kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

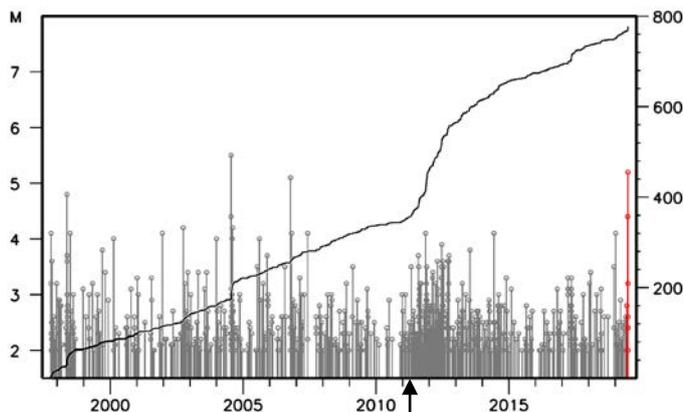
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4から5程度の地震がたびたび発生しており、今回の地震と震央が近いところでは、1998年5月16日に深さ73kmでM4.8の地震（最大震度3）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震がたびたび発生しており、1923年に発生した関東地震の余震（9月1日のM6.2及び9月2日のM7.3）のほか、1936年10月26日のM6.0の地震が発生した。

震央分布図
 (1922年1月1日～2019年6月30日、
 深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
 今回の地震を赤く表示

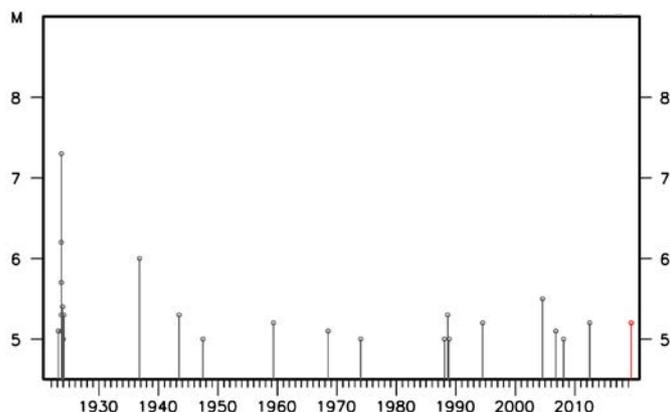


領域b内のM-T図及び回数積算図



東北地方太平洋沖地震

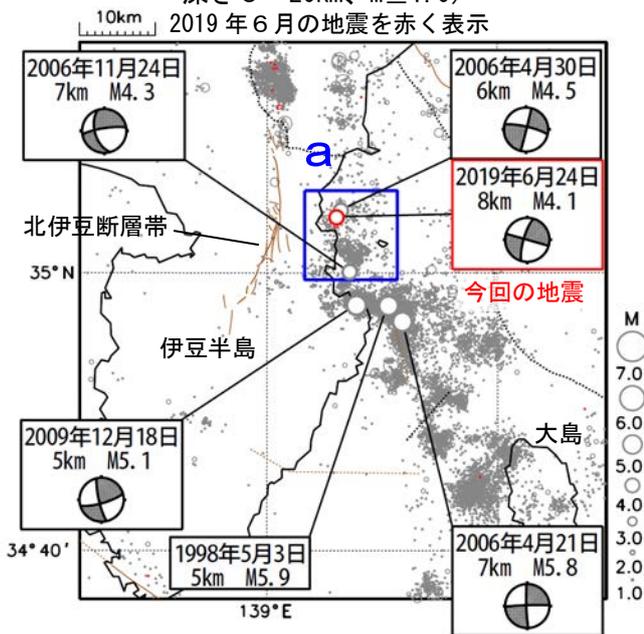
領域c内のM-T図



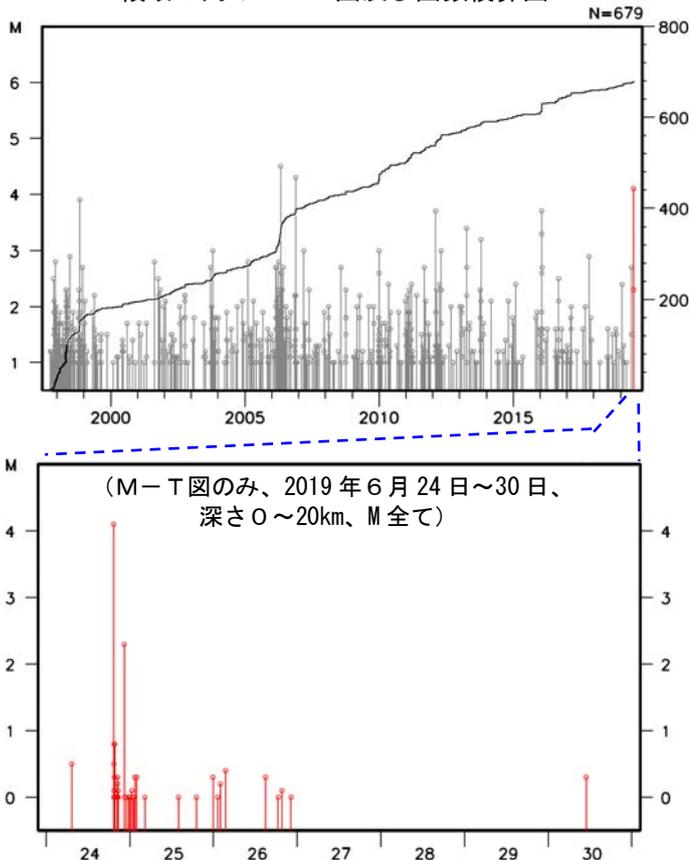
6月24日 伊豆半島東方沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)
2019年6月の地震を赤く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

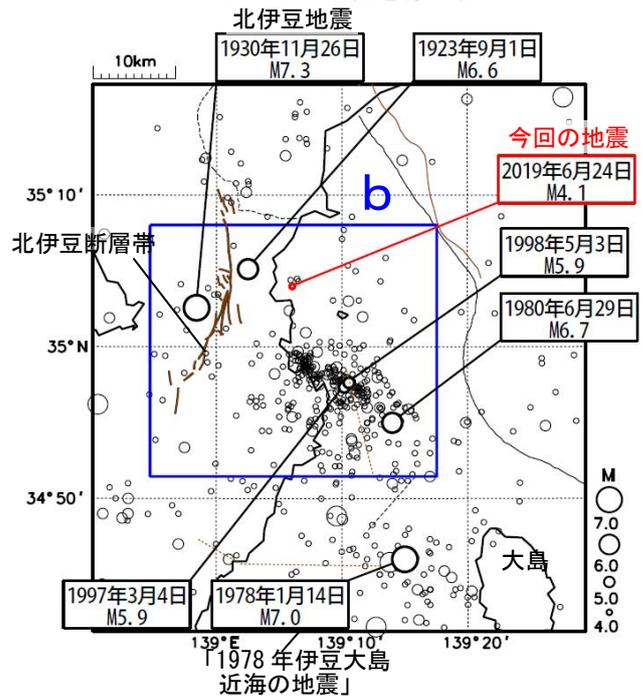
2019年6月24日19時22分に伊豆半島東方沖の深さ8kmでM4.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域 a）は、定常的に地震活動の見られる領域であり、2006年4月30日にはM4.5の地震（最大震度5弱）が発生した。今回の地震の南側では、伊豆東部火山群のマグマの貫入に伴うまとまった地震活動が時々見られている。

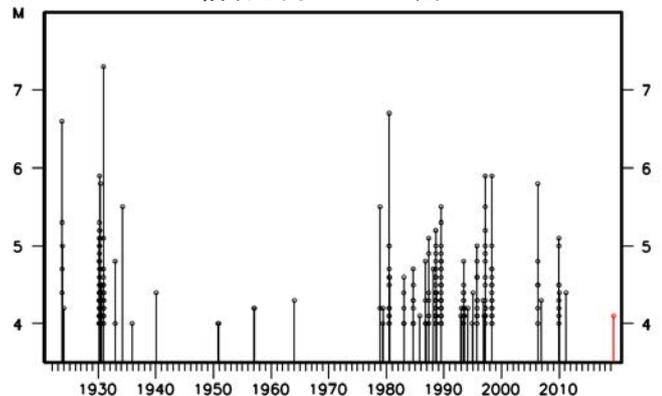
1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、1930年11月26日にM7.3の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、死者272人、負傷者572人、住家全壊2,165棟の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)
2019年6月の地震を赤く表示



領域 b 内の M-T 図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

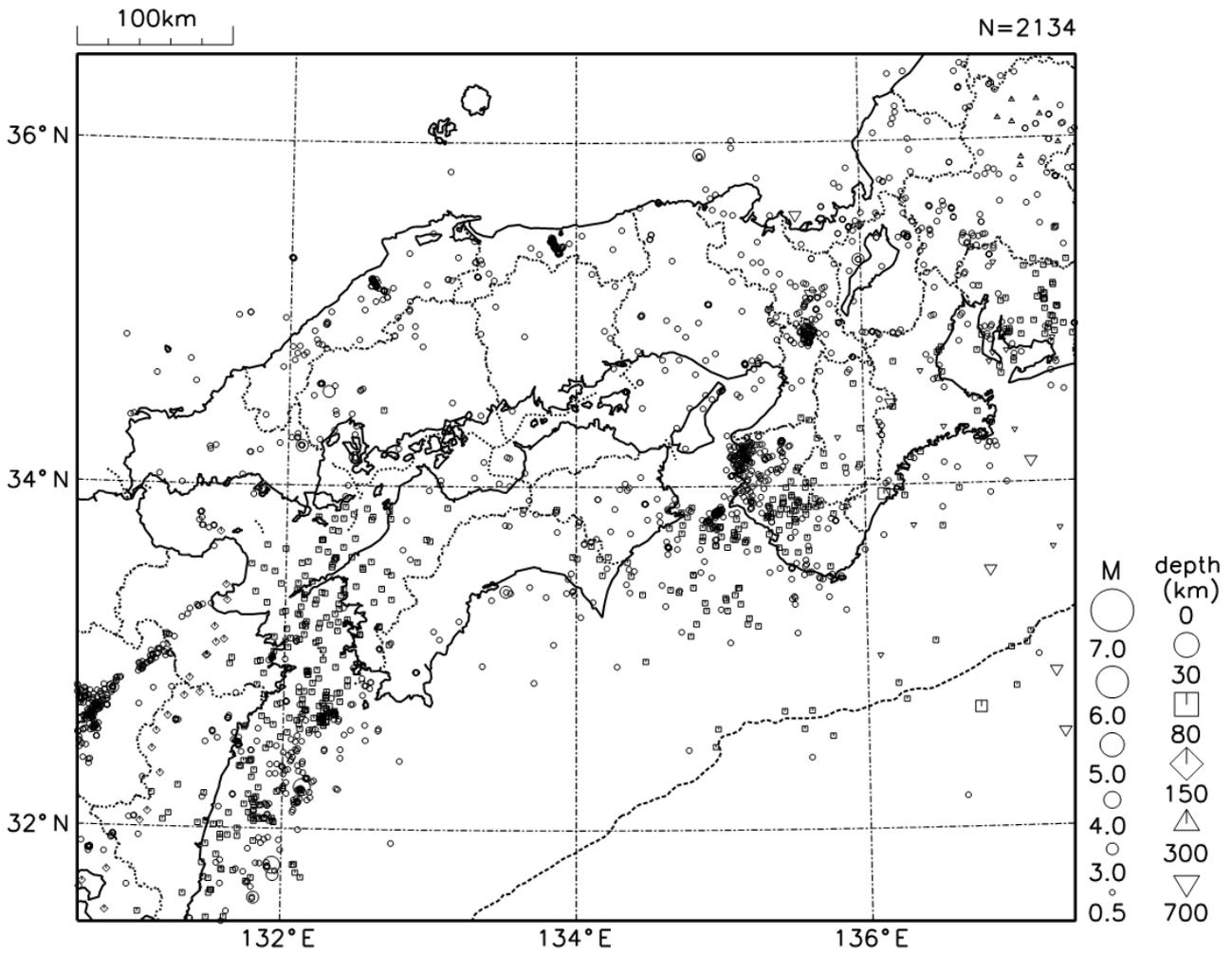


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は19回（5月は21回）であった。6月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

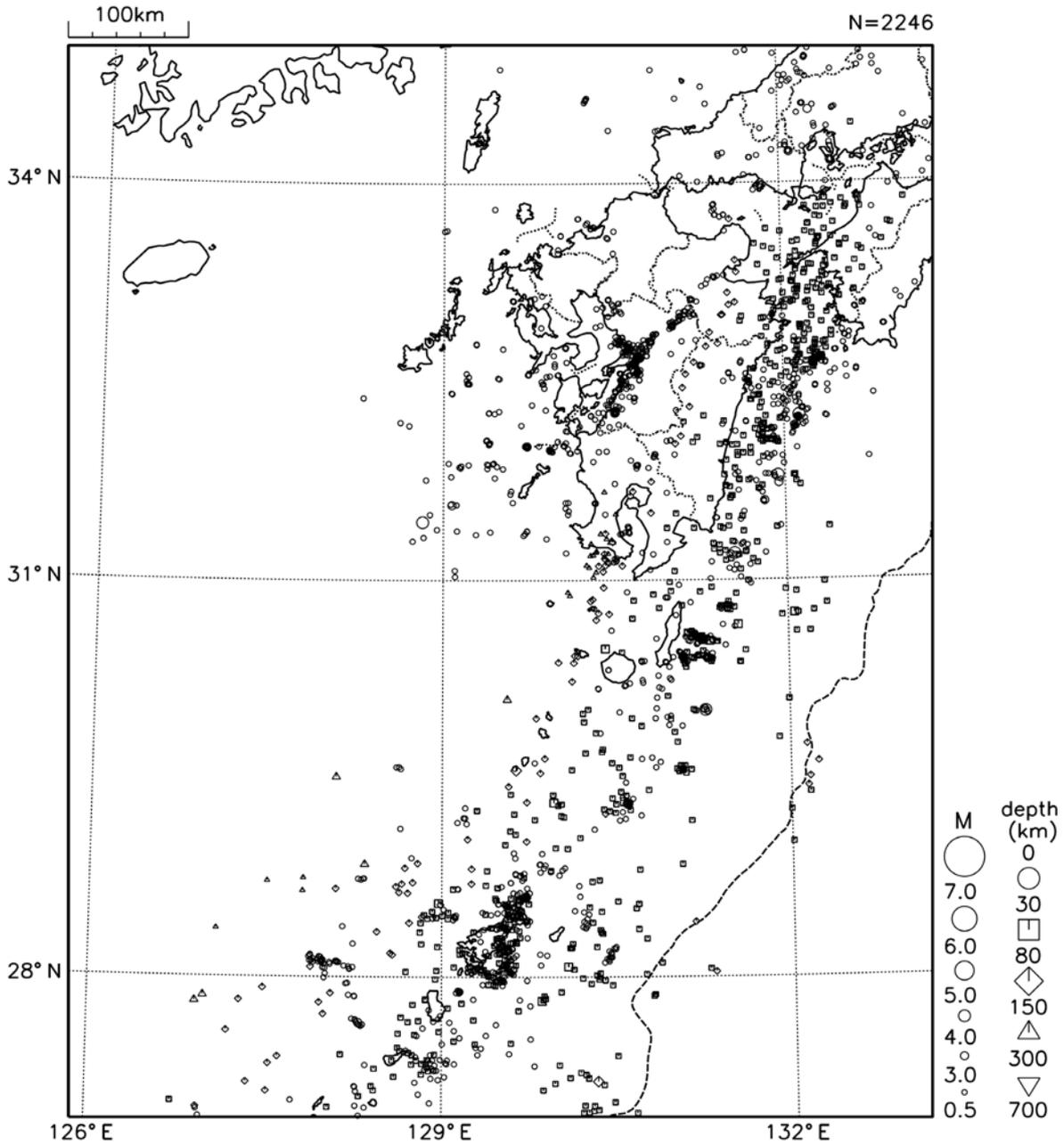


図9 九州地方の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

6月に九州地方で震度1以上を観測した地震は28回（5月は38回）であった。
6月中、特に目立った活動はなかった。

○沖縄地方の地震活動

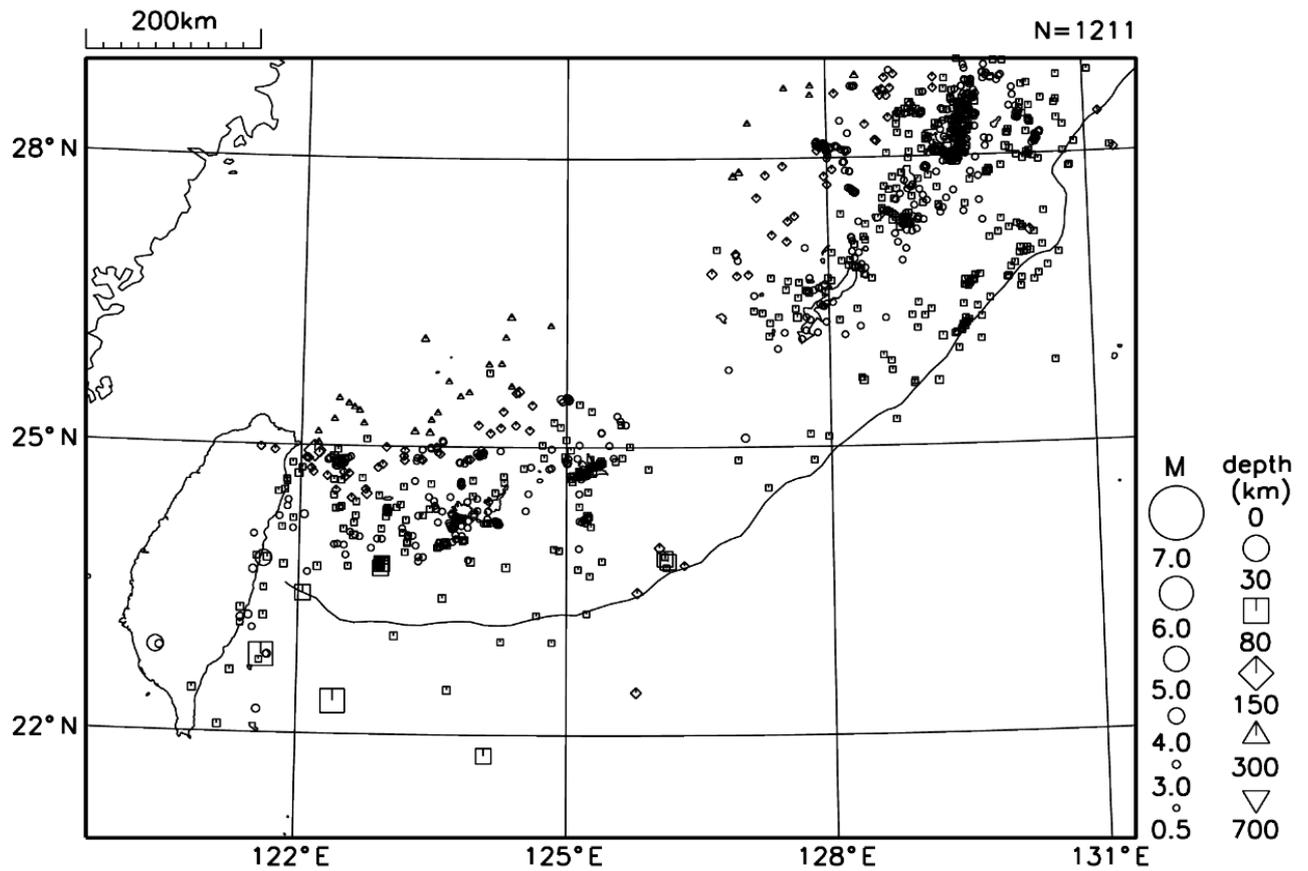


図10 沖縄地方の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

6月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は4回（5月は2回）であった。
6月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

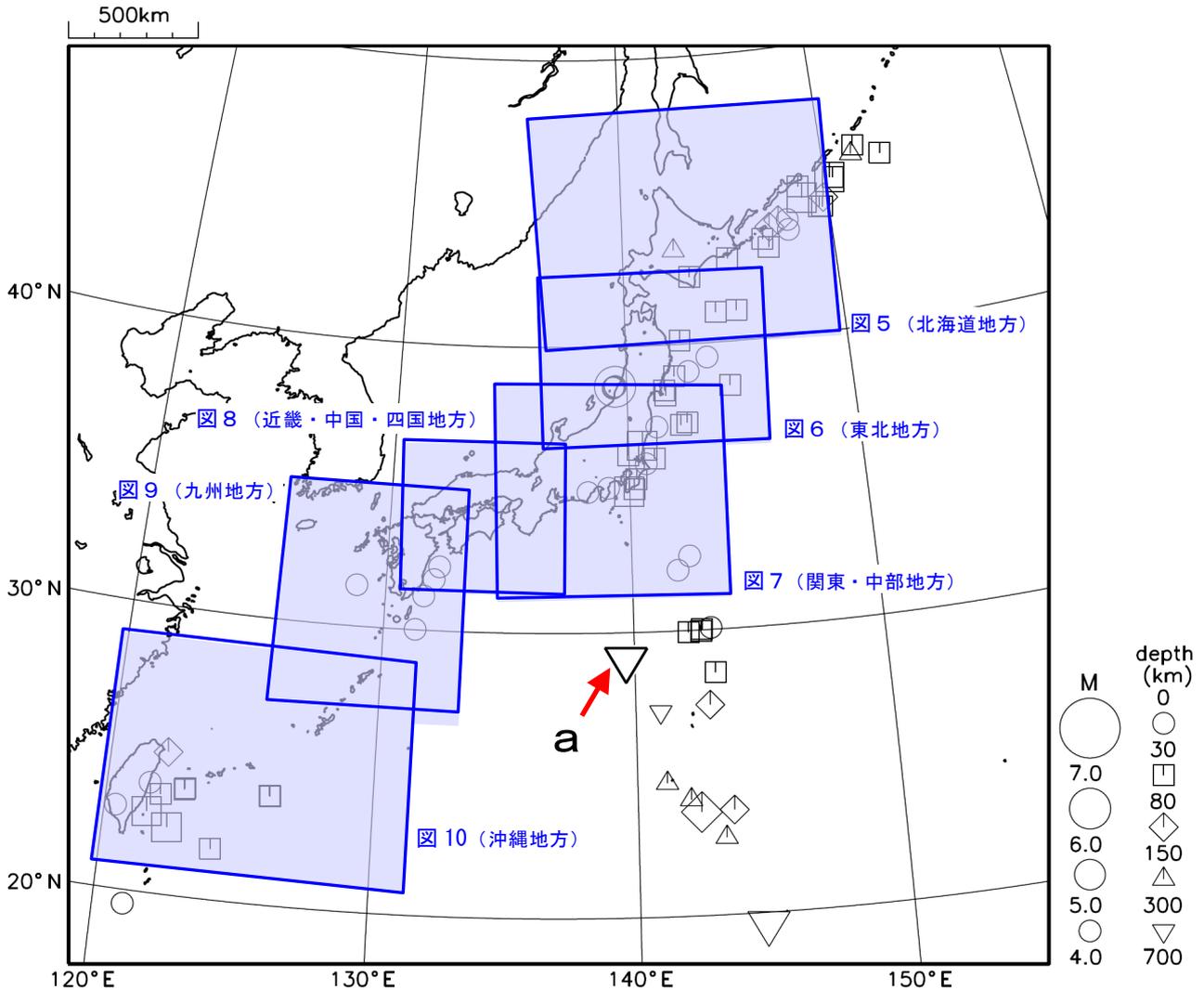


図11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2019年6月1日～6月30日、 $M \geq 4.0$ ）

[概況]

6月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は3回であった（5月は1回）。
6月中に図5～10の領域外で発生した主な活動は次のとおりである。

6月4日13時39分に鳥島近海で $M6.2$ の地震（図11中のa）が発生した。この地震は、太平洋プレートの内部で発生した。この地震により、東京都小笠原村で最大震度4を観測したほか、東北地方から小笠原諸島にかけて震度3～1を観測した。（p. 4、17参照）。

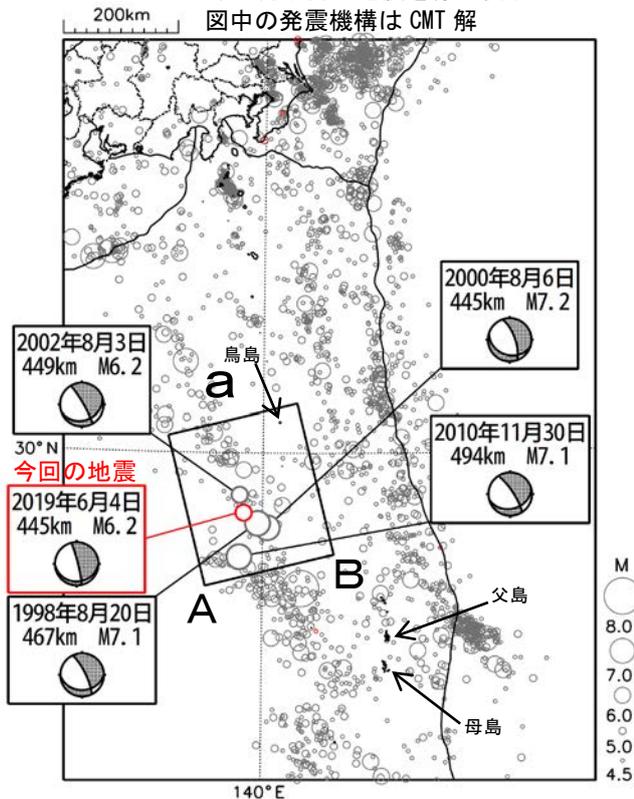
6月4日 鳥島近海の地震

震央分布図

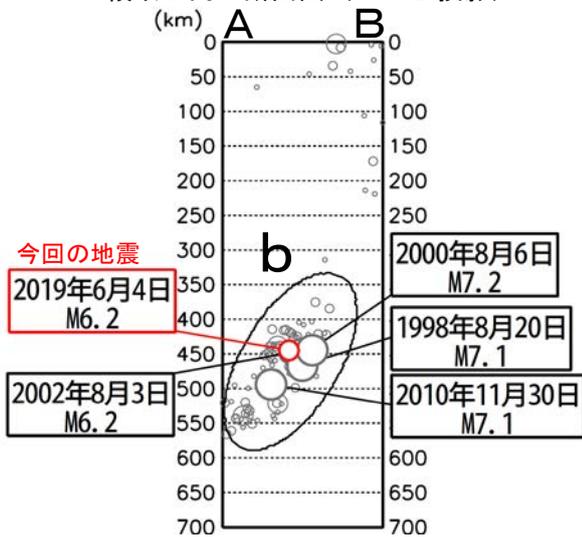
(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)

2019年6月以降の地震を赤く表示

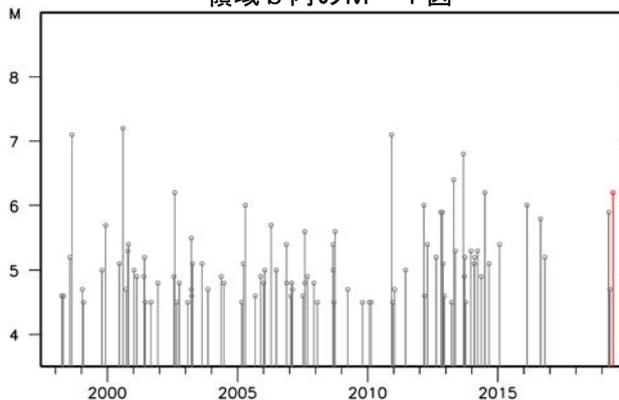
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



2019年6月4日13時39分に鳥島近海の深さ445kmで $M 6.2$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震の発震機構 (CMT解) は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

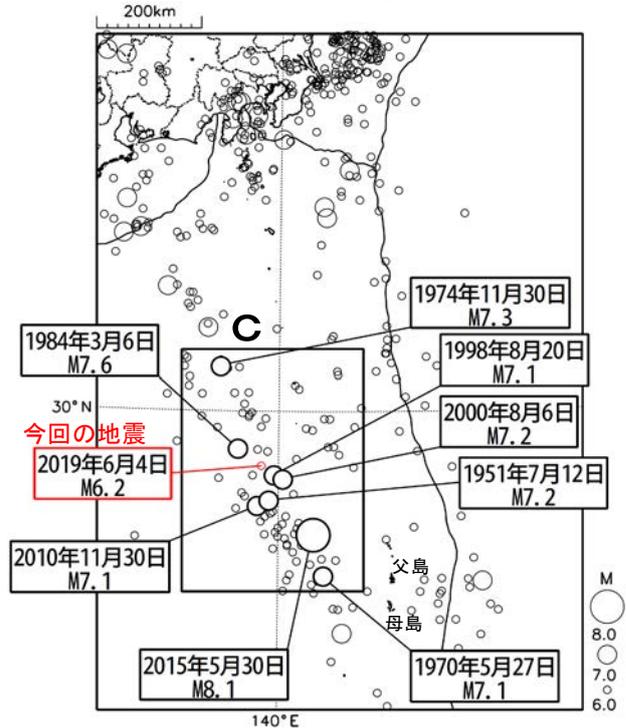
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、2000年8月6日に $M 7.2$ の地震 (最大震度4) が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。1984年3月6日に $M 7.6$ の地震が発生し、死者1人、負傷者1人等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

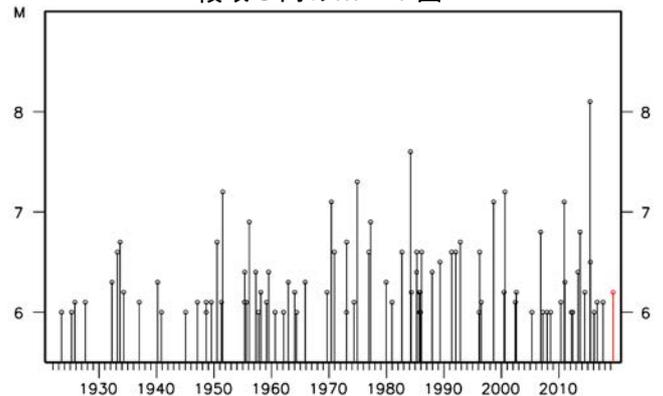
震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

2019年6月以降の地震を赤く表示



領域c内のM-T図



● 南海トラフ周辺の地殻活動

令和元年7月5日に気象庁において第21回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第399回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料をp.20～52に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、プレート境界の固着状況に特段の変化を示すような目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）紀伊半島西部：6月2日から6月14日
- （2）東海：6月12日から6月18日
- （3）紀伊半島北部から東海：6月23日から7月2日

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

2018年春頃から九州北部のGNSS観測で、また、2018年秋頃から四国西部のGNSS観測及びひずみ観測で、それまでの傾向とは異なる地殻変動を観測しています。

（長期的な地殻変動）

GNSS観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（3）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部に於いて発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2018年春頃からの九州北部の地殻変動及び2018年秋頃からの四国西部の地殻変動は、日向灘北部及び豊後水道周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、および長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは今のところ得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていないと考えられます。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

【「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語】

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が3 km以内で、相互の発生時間差が7日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が1つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は2000年秋頃～2005年夏頃にかけて発生し、前回は2013年はじめ頃から2017年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約30km～40kmで発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P波やS波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

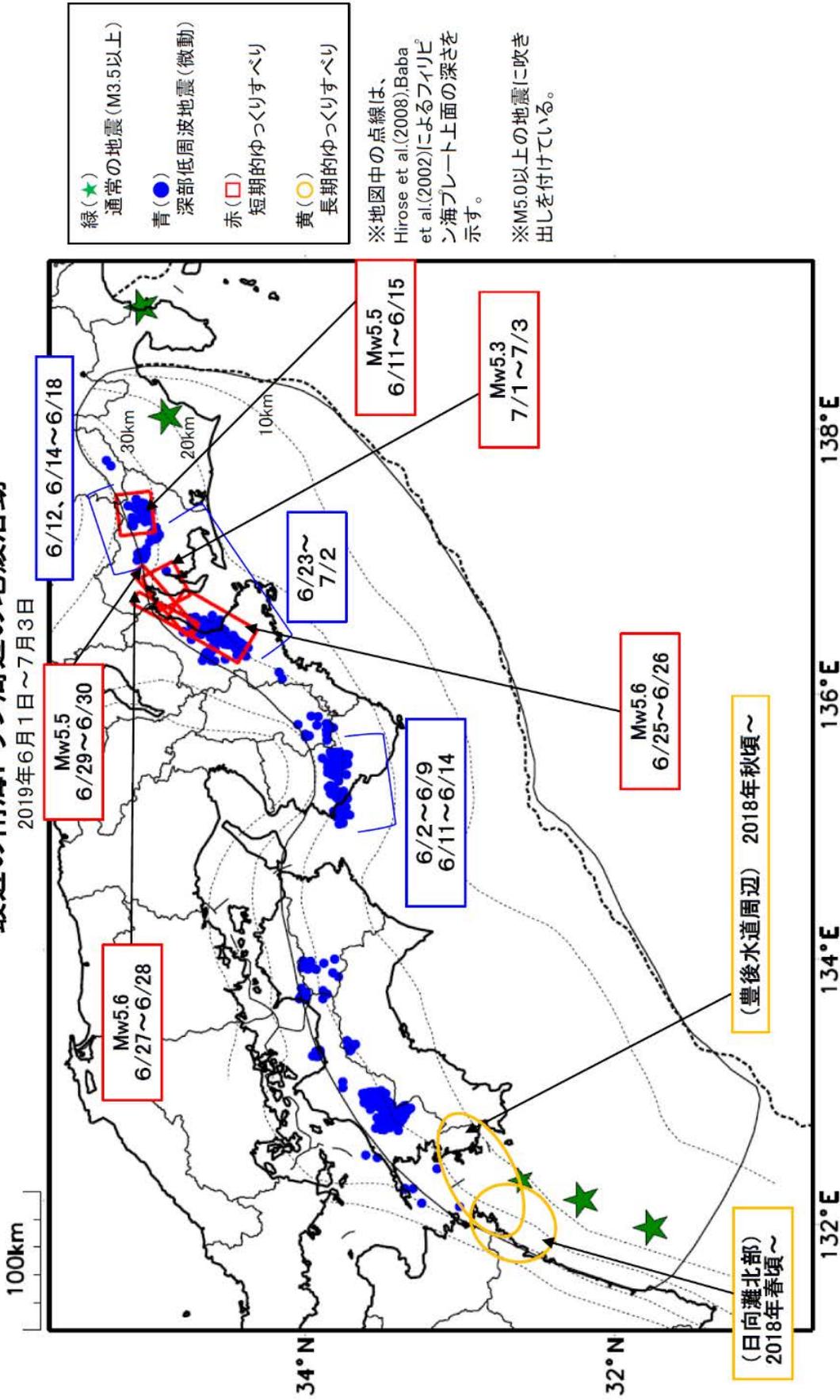
・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から1年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2019年6月1日～7月3日



通常の地震 (M3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震 (微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりすべり……………【東海】気象庁の解析結果による。【紀伊半島北部】産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりすべり……………【日向灘北部】……………【豊後水道周辺】国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

令和元年6月1日～令和元年7月3日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
6/11	00:25	静岡県中部	29	4.0	2	フィリピン海プレート内部
6/15	05:54	日向灘	18	4.1	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生したと考えられる
6/17	13:21	日向灘	32	3.6	1	フィリピン海プレート内部
6/24	19:22	伊豆半島東方沖	8	4.1	4	フィリピン海プレートの地殻内
6/25	14:19	日向灘	27	4.0	1	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■四国東部</p> <p>5月28日～6月1日</p> <p>6月9日～10日</p> <p>6月13日～14日</p> <p>6月17日～19日</p> <p>6月28日</p> <p>■四国中部</p> <p>6月10日、6月13日</p> <p>6月19日、6月21日</p> <p>6月28日、7月1日</p> <p>■四国西部</p> <p>6月1日～3日</p> <p>6月5日～6日</p> <p>6月9日～10日</p> <p>6月12日～21日</p> <p>6月30日～7月2日</p>	<p>■紀伊半島北部</p> <p>6月10日</p> <p>6月18日～19日</p> <p><u>6月23日～29日</u>・・・(3)</p> <p>■紀伊半島中部</p> <p>6月3日</p> <p>6月8日</p> <p>■紀伊半島西部</p> <p><u>6月2日～9日</u></p> <p><u>6月11日～14日</u> }・・・(1)</p> <p>6月20日</p> <p>6月26日</p> <p>7月3日～（継続中）</p>	<p><u>6月12日</u></p> <p><u>6月14日～18日</u> }・・・(2)</p> <p>6月26日～27日</p> <p><u>6月30日～7月1日</u> ^{注1)}</p> <p>・・・(3)</p>

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

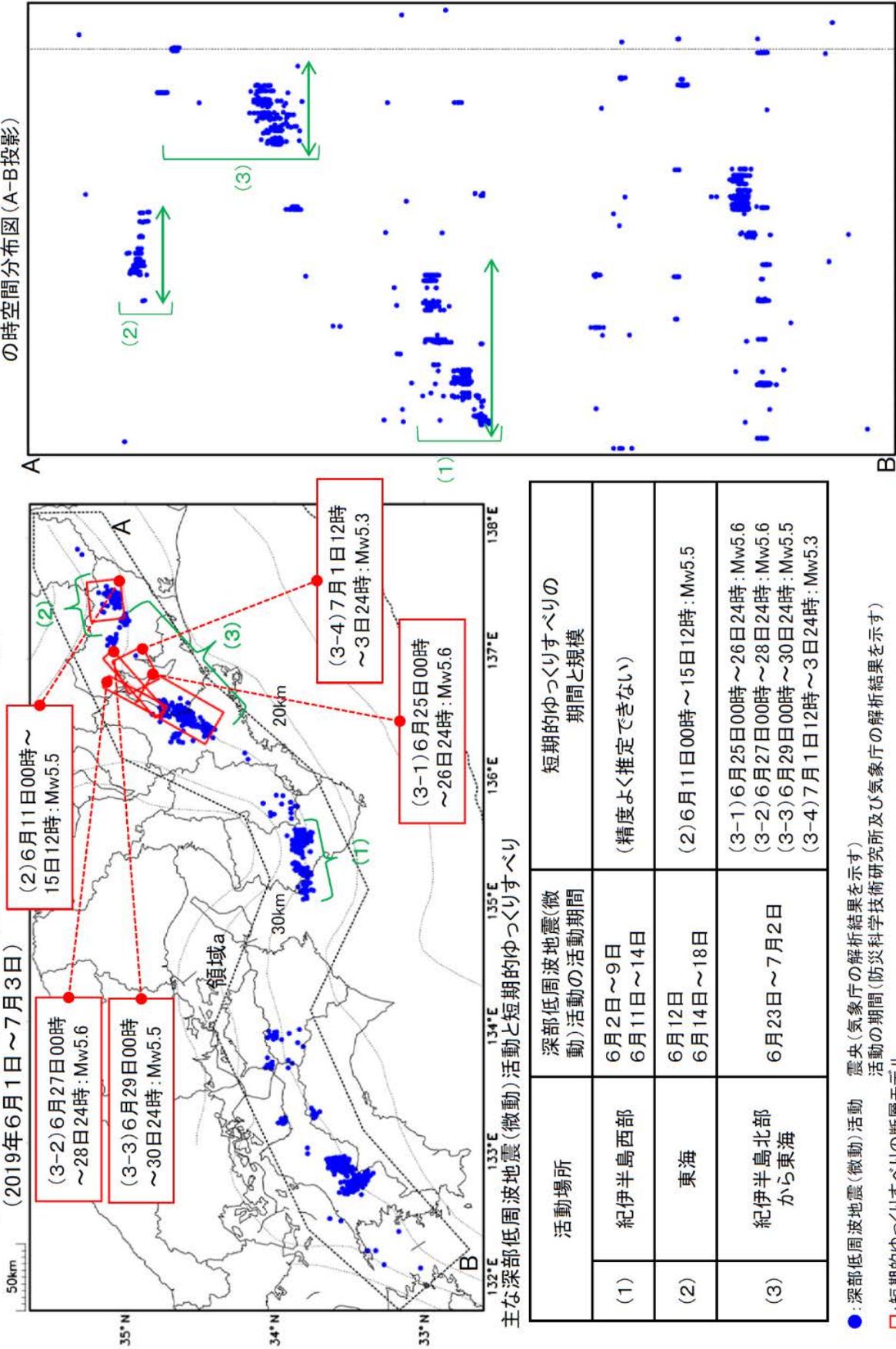
※上の表中（1）～（3）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注1）防災科学技術研究所による解析では、7月2日頃まで継続。

気象庁作成

深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要

深部低周波地震（微動）の震央分布図と短期的ゆっくりすべりの断層モデル
領域a（点線領域）内の深部低周波地震（微動）の時空間分布図（A-B投影）

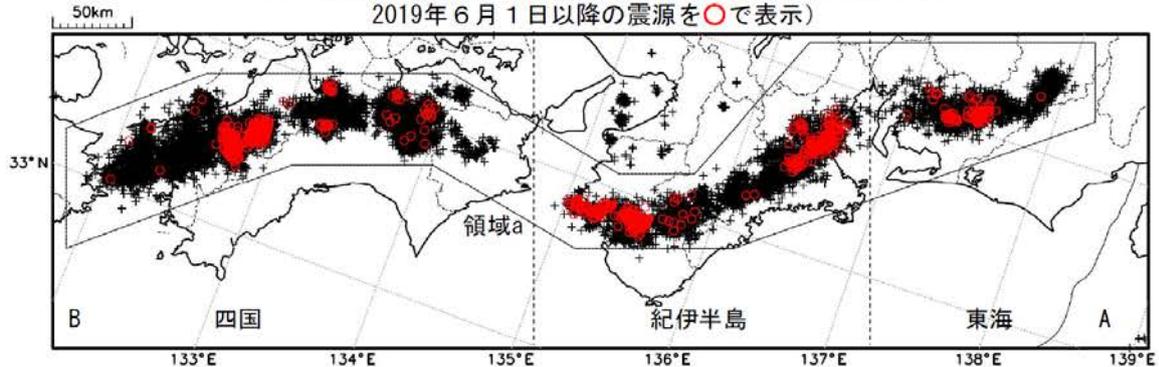


●: 深部低周波地震（微動）活動 震央（気象庁の解析結果を示す）
 □: 短期的ゆっくりすべりの断層モデル 活動の期間（防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果を示す）
 (1)、(2)、(3-4)は気象庁、(3-1)～(3-3)は産業技術総合研究所の解析結果を示す
 点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10km)ごとの等深線を示す。

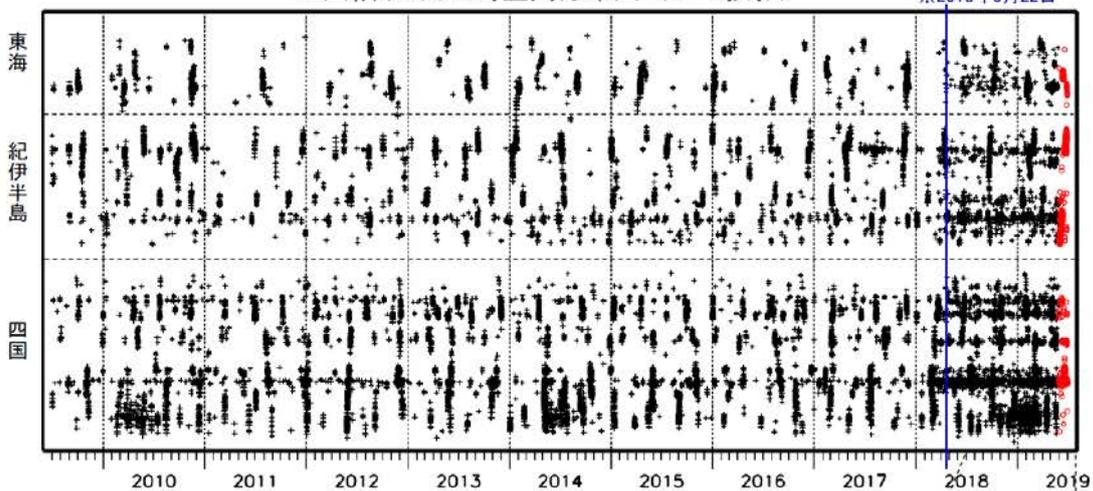
深部低周波地震（微動）活動（2009年7月1日～2019年6月30日）

深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

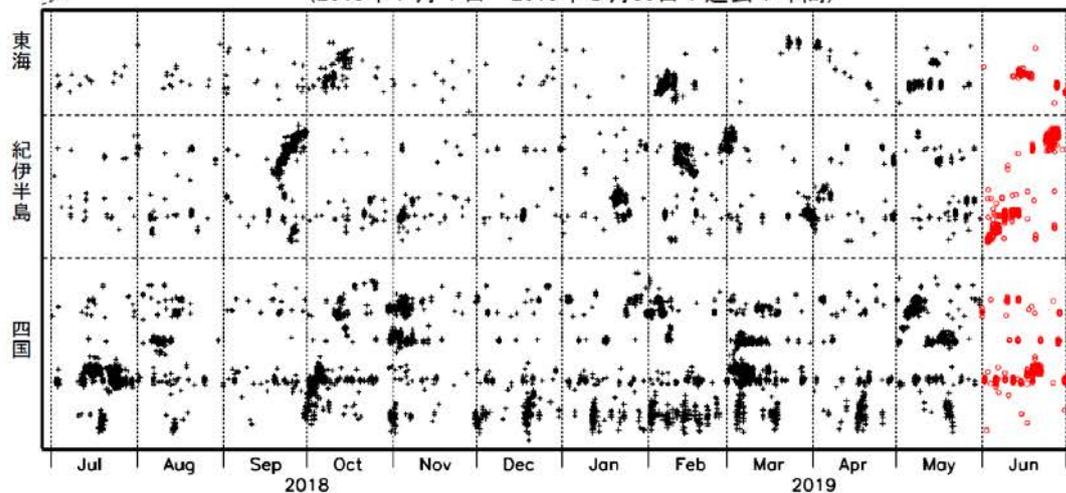
震央分布図（2009年7月1日～2019年6月30日：過去10年間
2019年6月1日以降の震源を○で表示）



上図領域a内の時空間分布図（A-B投影）



（2018年7月1日～2019年6月30日：過去1年間）



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

東海から紀伊半島北部の深部低周波地震(微動)活動と短期的ゆっくりすべり

(A) 6月2日から9日及び11日から14日にかけて、紀伊半島西部で深部低周波地震(微動)を観測した。周辺に設置されているひずみ計で、深部低周波地震(微動)に関連すると思われるわずかな地殻変動が観測された。

(B) 6月12日及び14日から18日にかけて、東海で深部低周波地震(微動)を観測した。深部低周波地震(微動)活動とはほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

(C) 6月23日から29日にかけて、紀伊半島北部で深部低周波地震(微動)を観測した。深部低周波地震(微動)の活動域は、次第に北東へ移動した。深部低周波地震(微動)活動とはほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

なお、対応する深部低周波地震(微動)活動は観測されていないが、6月29日以降も、三重県、愛知県に設置されている複数のひずみ計に変化が現れている。

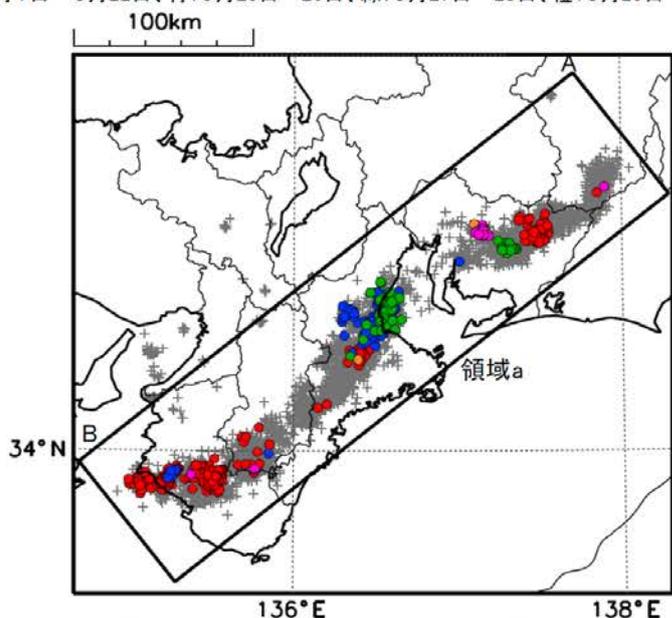
深部低周波地震(微動)活動

震央分布図

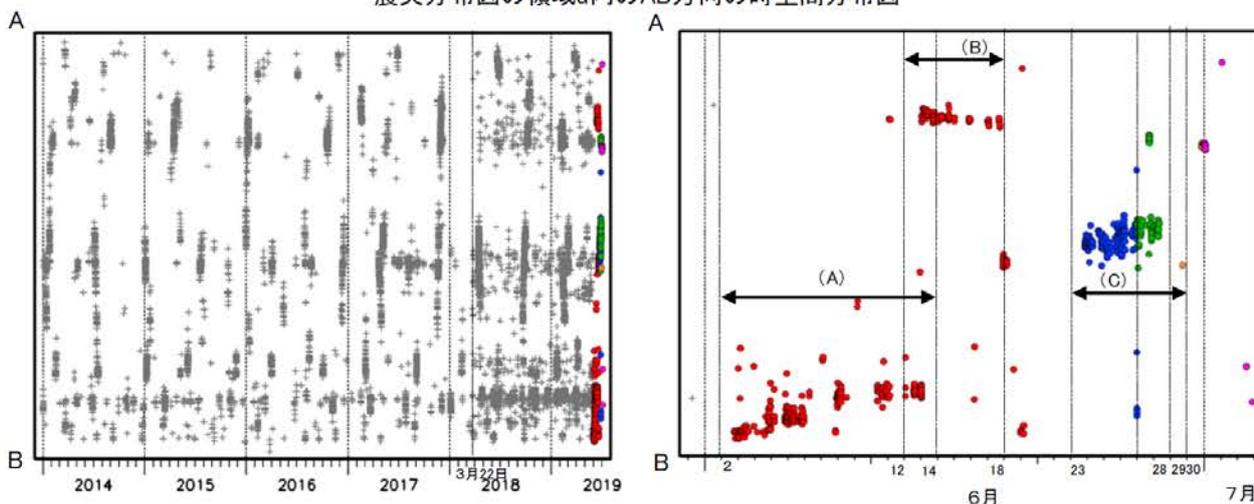
(2014年1月1日～2019年7月3日、深さ0～60km、Mすべて)

灰:2014年1月1日～2019年6月22日、

赤:2019年6月1日～6月22日、青:6月23日～26日、緑:6月27日～28日、橙:6月29日～30日、桃:7月1日～



震央分布図の領域a内のAB方向の時空間分布図



※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

※2019年7月3日以降の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成

紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況（2019 年 6 月）

● 6 月 23 日頃より紀伊半島から東海地方において、活発な微動活動。

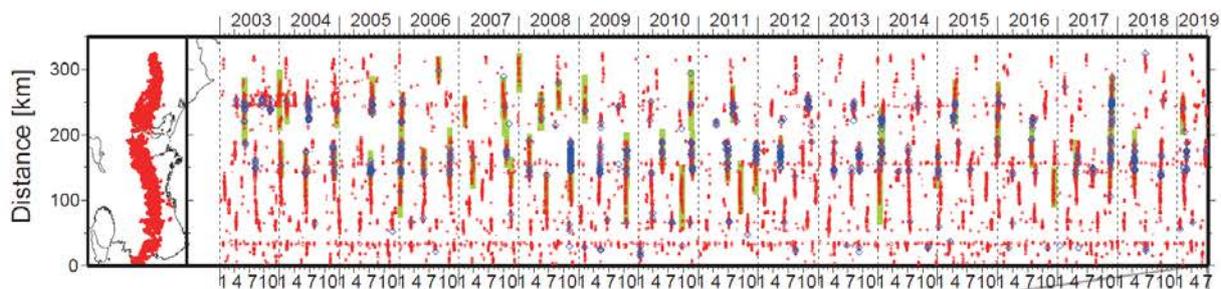


図 1. 紀伊半島・東海地域における 2003 年 1 月～2019 年 7 月 2 日までの深部低周波微動の時空間分布（上図）。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって 1 時間毎に自動処理された微動分

布の重心である。青菱形は周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す。下図は 2019 年 6 月を中心とした期間の拡大図である。6 月 23 日頃より三重県北部から愛知県西部において活発な微動活動がみられている。この活動は三重県北部で開始し、25 日頃に活発化した後、北東方向への活動域の移動が 29 日頃までみられた。29 日頃からは、愛知県西部で活動が開始し、7 月 1 日頃からは活動が低調になった。6 月 4～6 日頃には和歌山県中部において小規模な微動活動がみられ、6 月 8～9 日頃にその東側の領域で小規模な活動がみられた。6 月 11～12 日頃には愛知県東部でごく小規模な微動活動がみられ、6 月 14～15 日頃にその南東側の領域でごく小規模な活動がみられた。

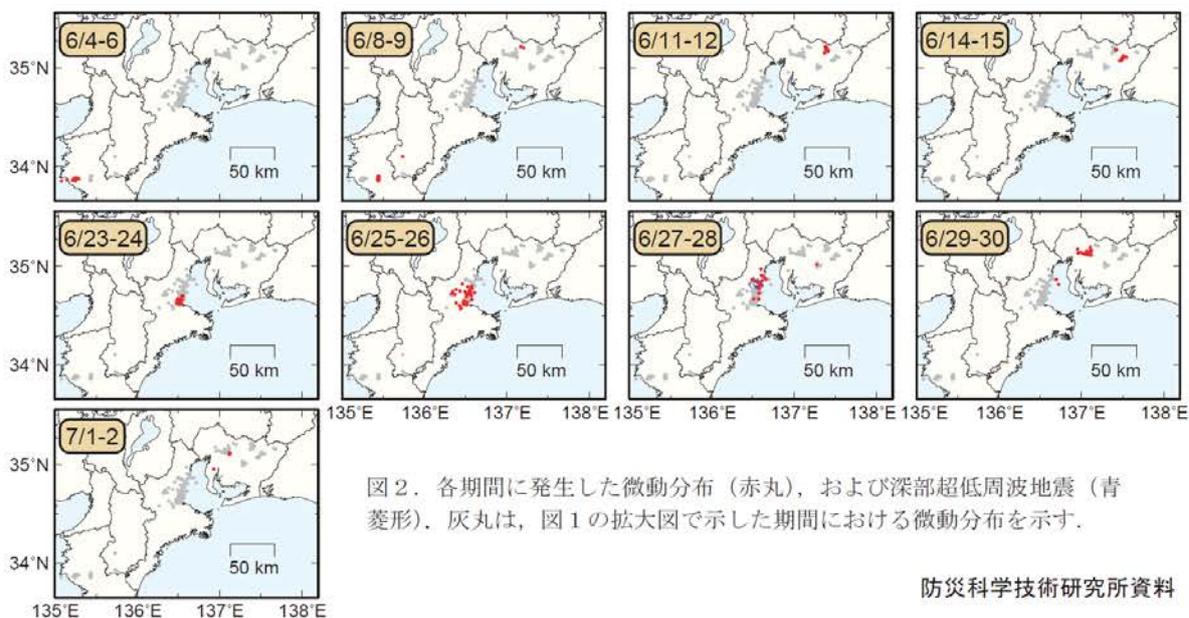
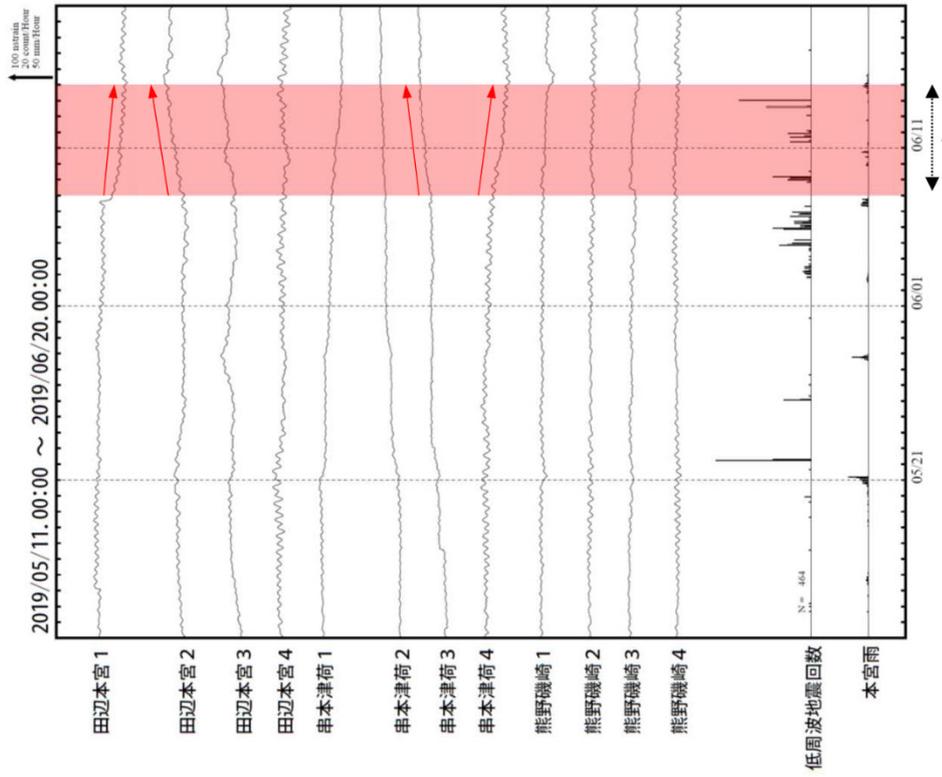


図 2. 各期間に発生した微動分布（赤丸）、および深部超低周波地震（青菱形）。灰丸は、図 1 の拡大図で示した期間における微動分布を示す。

紀伊半島西部で観測されたひずみ変化

三重県から和歌山県で観測されたひずみ変化

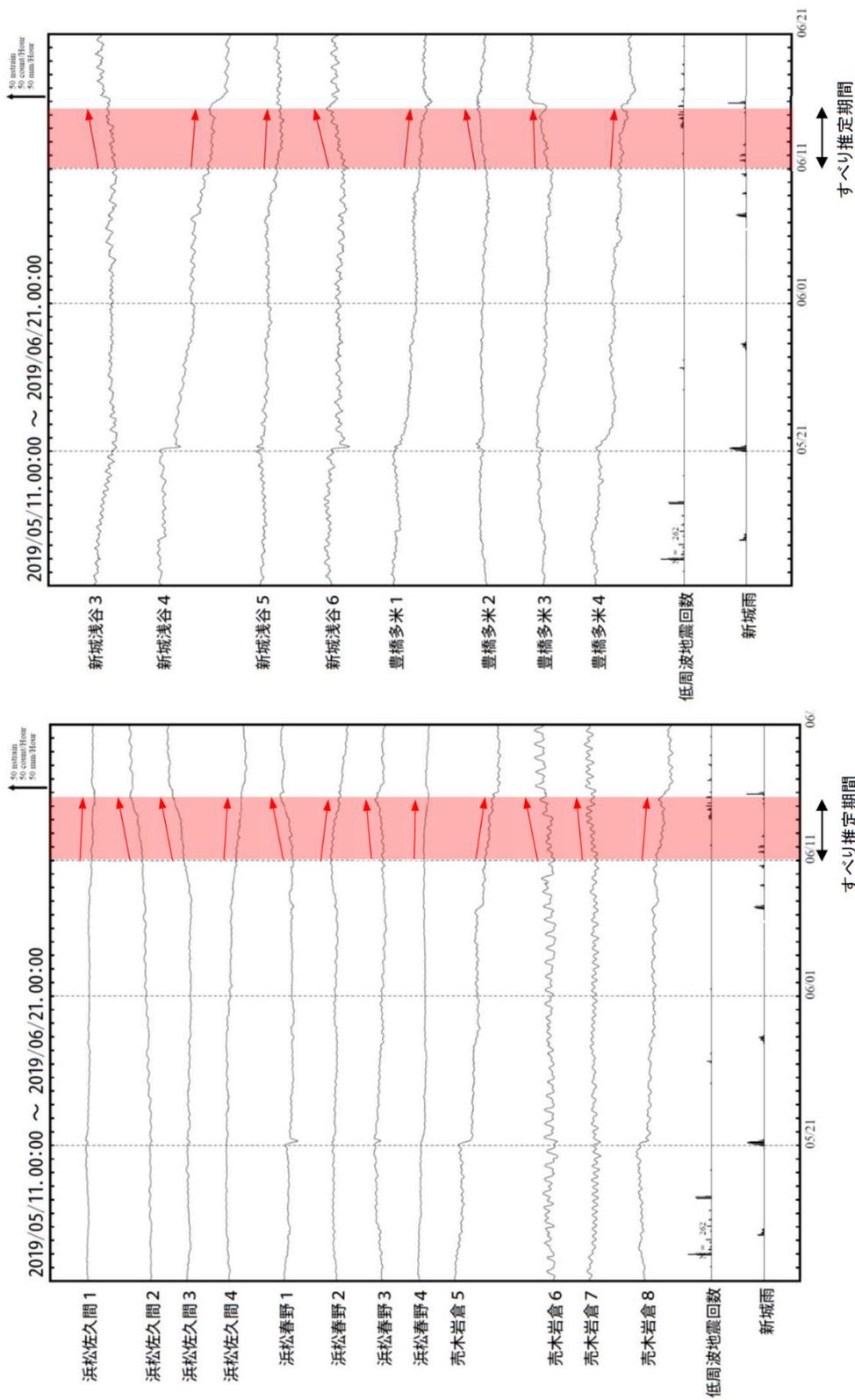


田辺本宮、串本津荷及び熊野磯崎は産業技術総合研究所のひずみ計である。

*の期間にひずみの変化はみられるものの、断層モデルを精度よく求められなかった。

東海で発生した短期的ゆっくりすべり（6月11日～15日）

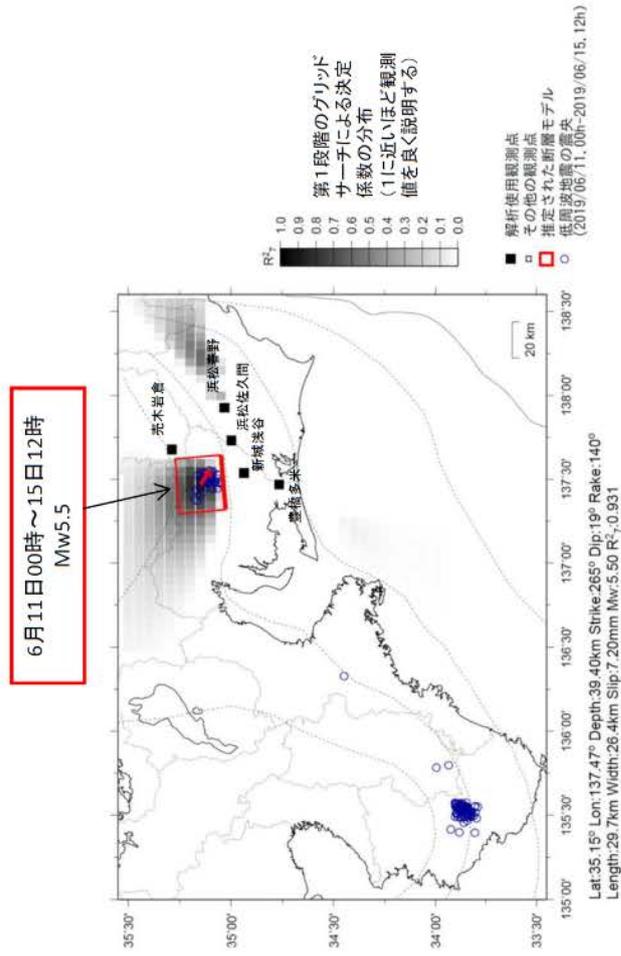
愛知県から静岡県で観測されたひずみ変化



浜松春野は静岡県、豊橋多米は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

東海で発生した短期的ゆっくりすべり(6月11日～15日)



観測されたひずみ変化量を基にすべり推定を行ったところ、低周波地震とほぼ同じ場所にすべり域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法(板場ほか、2012)を参考に以下の2段階で行う。
 ・断層サイズを20km × 20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
 ・その位置を中心に、他の断層パラメータの最適解を求める。

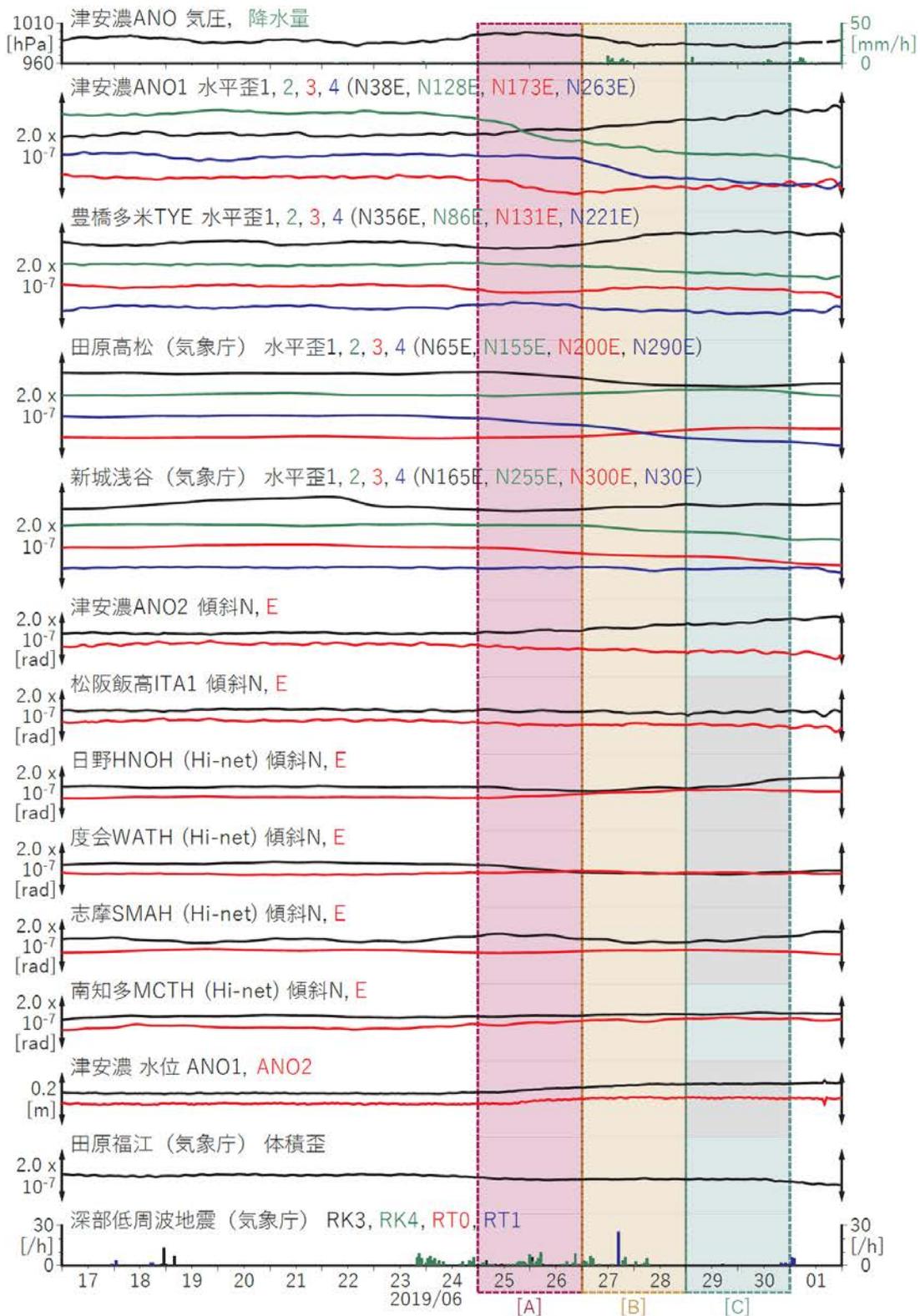
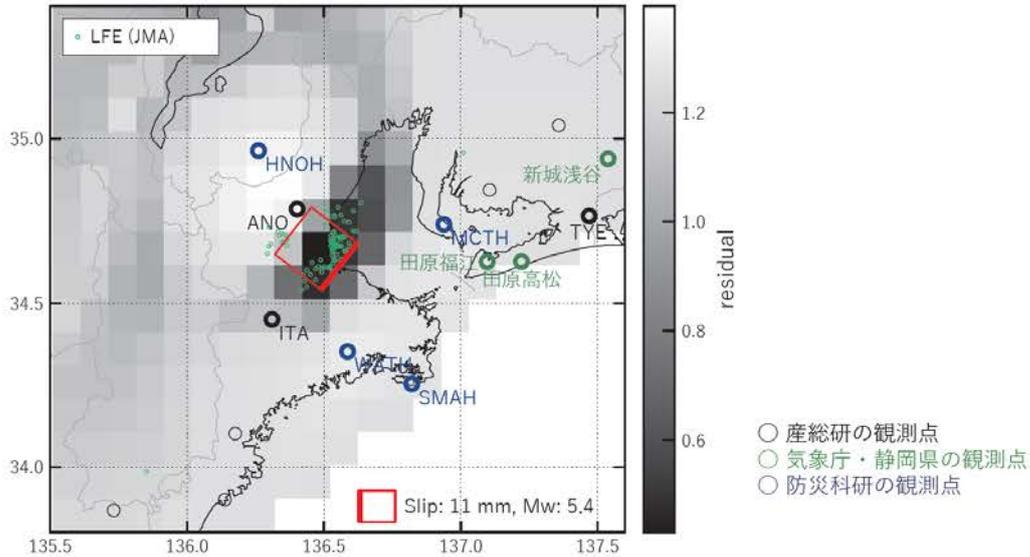


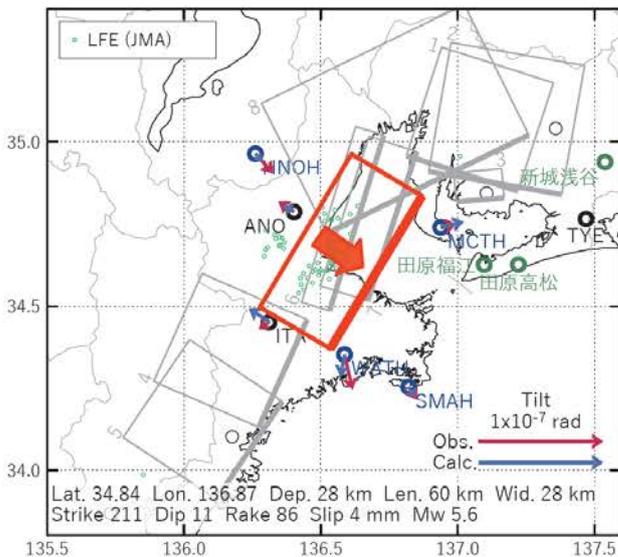
図5 紀伊半島から東海地方における歪・傾斜・地下水観測結果 (2019/06/17 00:00 - 2019/07/02 00:00 (JST))

[A] 2019/06/25-26

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪



(b3) 体積歪

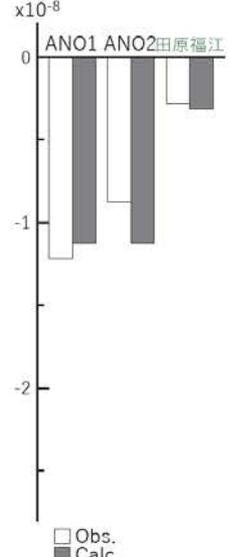


図6 2019/06/25-26の歪・傾斜・地下水変化（図5[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。赤色破線矩形は今回の一連のイベント。

1: 2019/02/03-06AM (Mw5.9), 2: 2019/02/06PM-09AM (Mw5.6), 3: 2019/02/09PM-12AM (Mw5.3)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/02/28-03/01AM (Mw5.7)

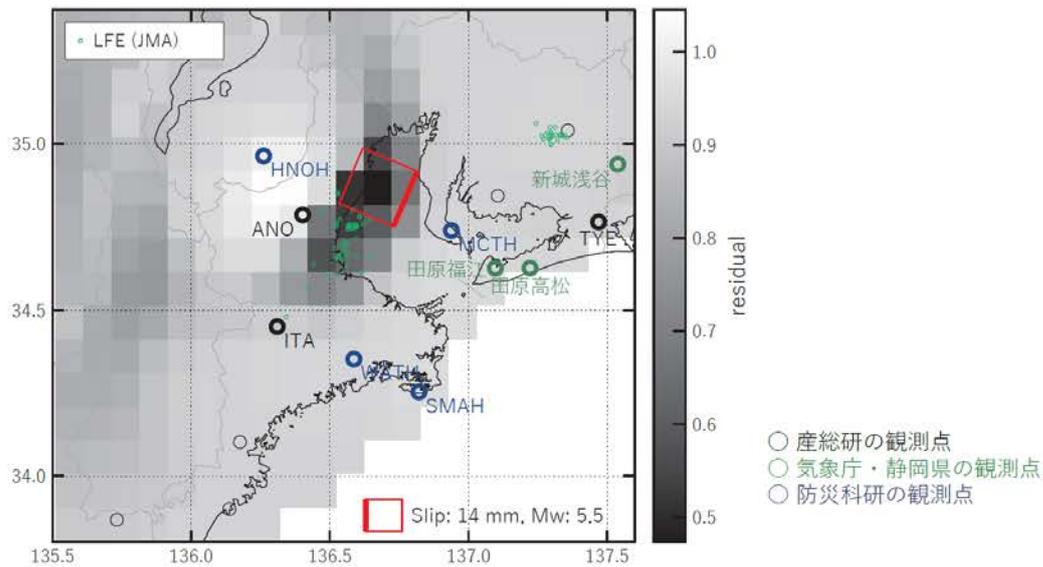
7: 2019/03/01PM-03 (Mw5.6), 8: 2019/04/22PM-23 (Mw5.6)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

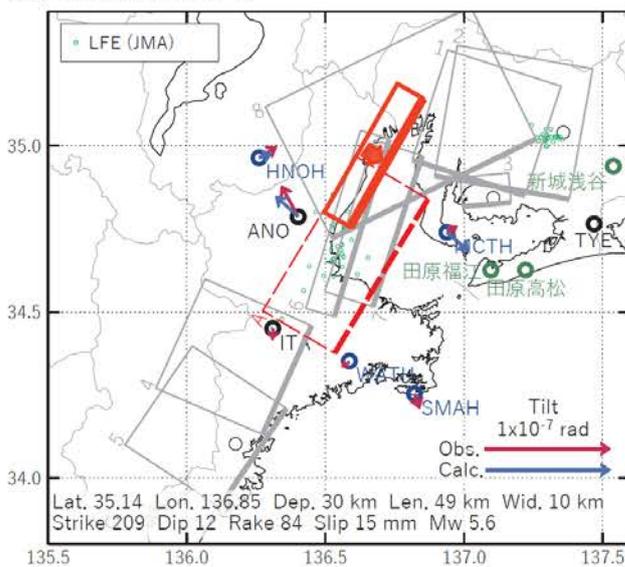
(b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。地下水圧は体積歪に変換して計算している。

[B] 2019/06/27-28

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪



(b3) 体積歪

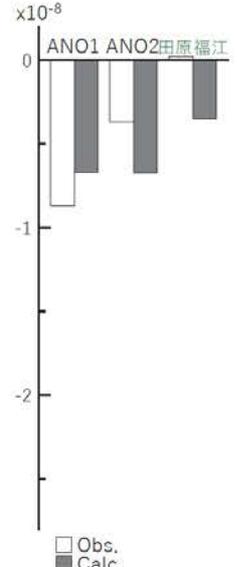


図7 2019/06/27-28の歪・傾斜・地下水変化（図5[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。赤色破線矩形は今回の一連のイベント。

1: 2019/02/03-06AM (Mw5.9), 2: 2019/02/06PM-09AM (Mw5.6), 3: 2019/02/09PM-12AM (Mw5.3)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/02/28-03/01AM (Mw5.7)

7: 2019/03/01PM-03 (Mw5.6), 8: 2019/04/22PM-23 (Mw5.6)

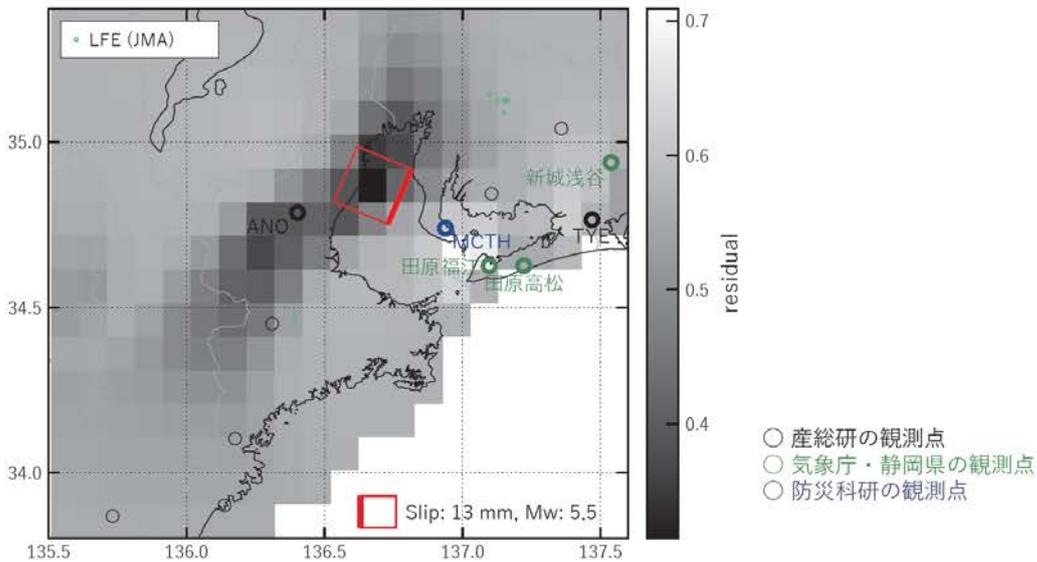
A: 2019/06/25-26 (Mw5.6)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

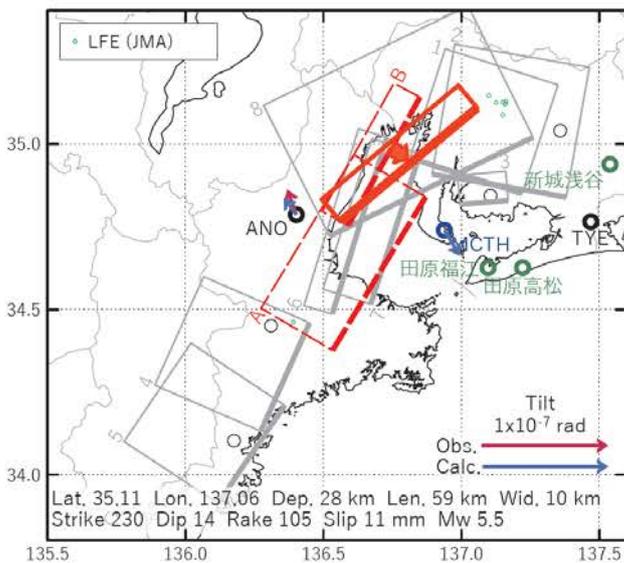
(b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。地下水圧は体積歪に変換して計算している。

[C] 2019/06/29-30

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪



(b3) 体積歪

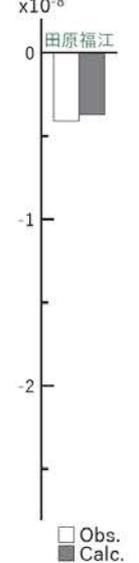


図8 2019/06/29-30の歪・傾斜・地下水変化（図5[C]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。赤色破線矩形は今回の一連のイベント。

1: 2019/02/03-06AM (Mw5.9), 2: 2019/02/06PM-09AM (Mw5.6), 3: 2019/02/09PM-12AM (Mw5.3)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/02/28-03/01AM (Mw5.7)

7: 2019/03/01PM-03 (Mw5.6), 8: 2019/04/22PM-23 (Mw5.6)

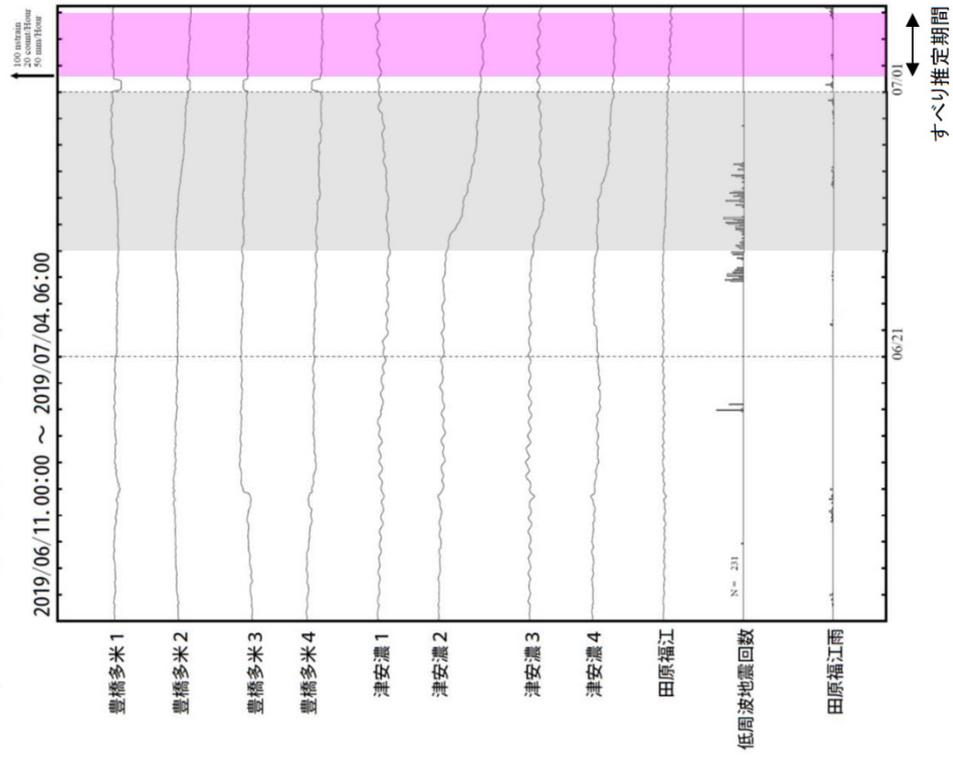
A: 2019/06/25-26 (Mw5.6), B: 2019/06/29-30 (Mw5.6)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

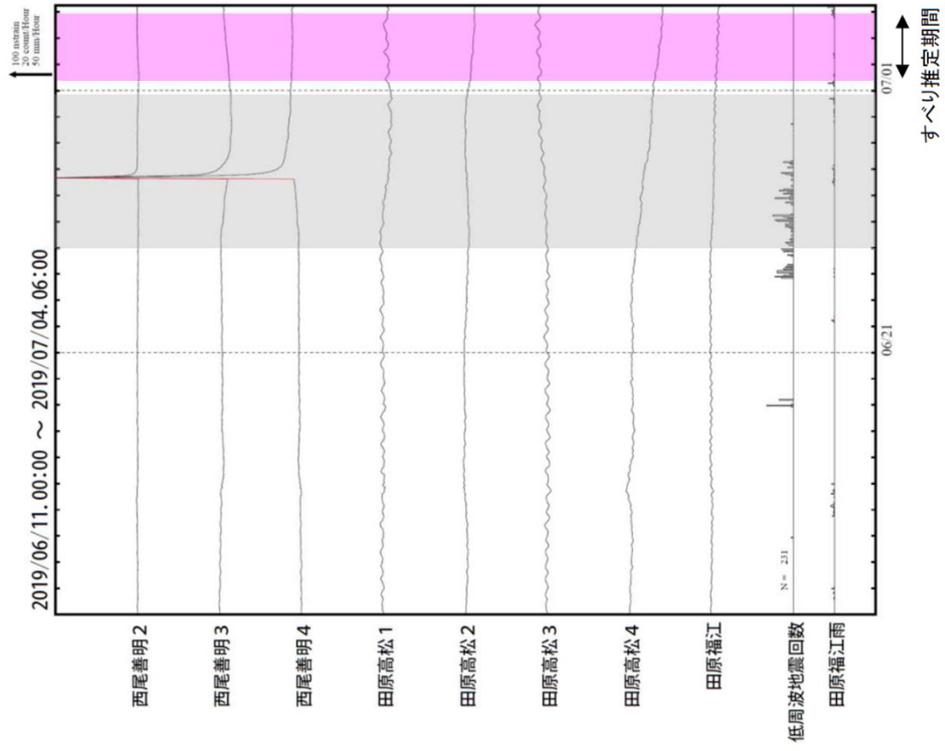
(b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。地下水圧は体積歪に変換して計算している。

東海で発生した短期的ゆっくりすべり（速報）

三重県から愛知県で観測されたひずみ変化

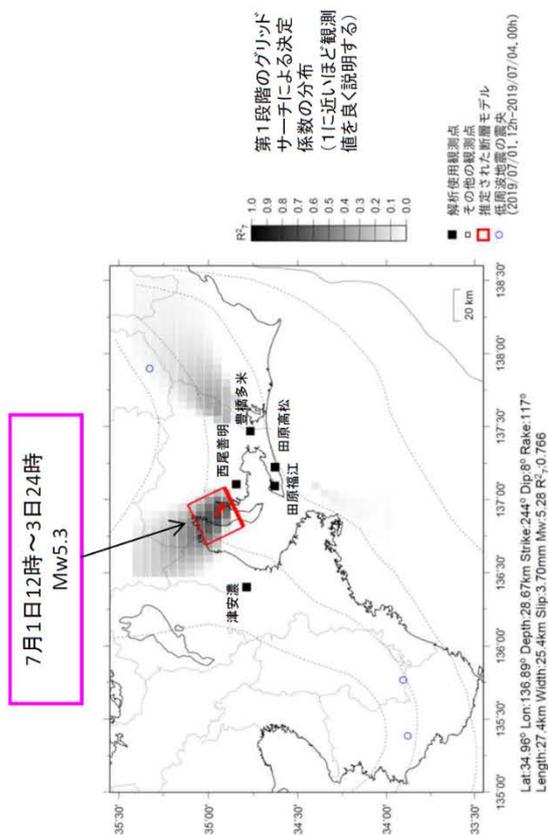


豊橋多米、津安濃及び西尾善明は産業技術総合研究所のひずみ計である。



気象庁作成

東海で発生した短期的ゆっくりすべり（速報）



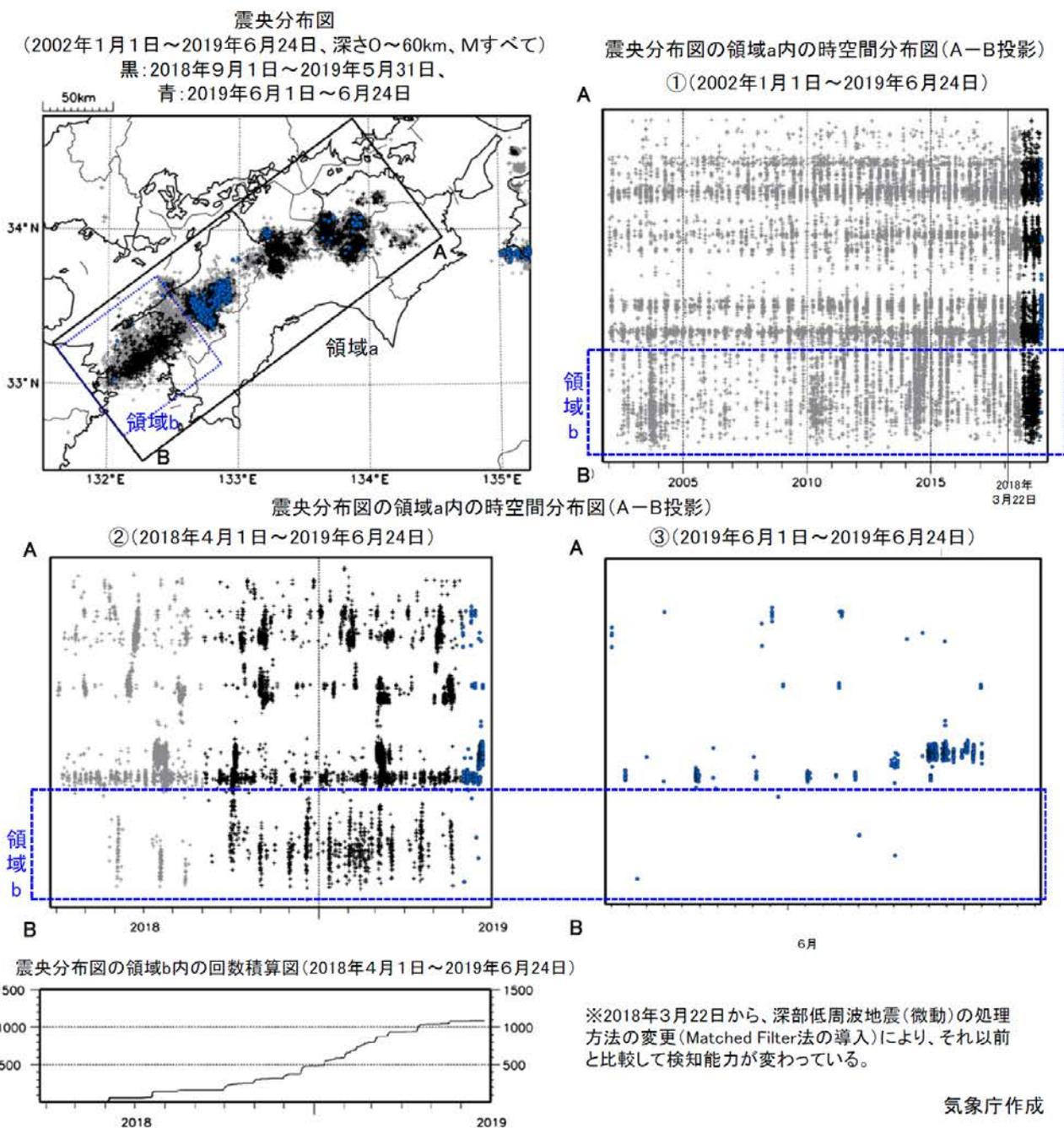
観測されたいずれの変化量を基にすべり推定を行ったところ、図示する場所にすべり域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法（板場ほか、2012）を参考に以下の2段階で行う。

- ・断層サイズを20km × 20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
- ・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

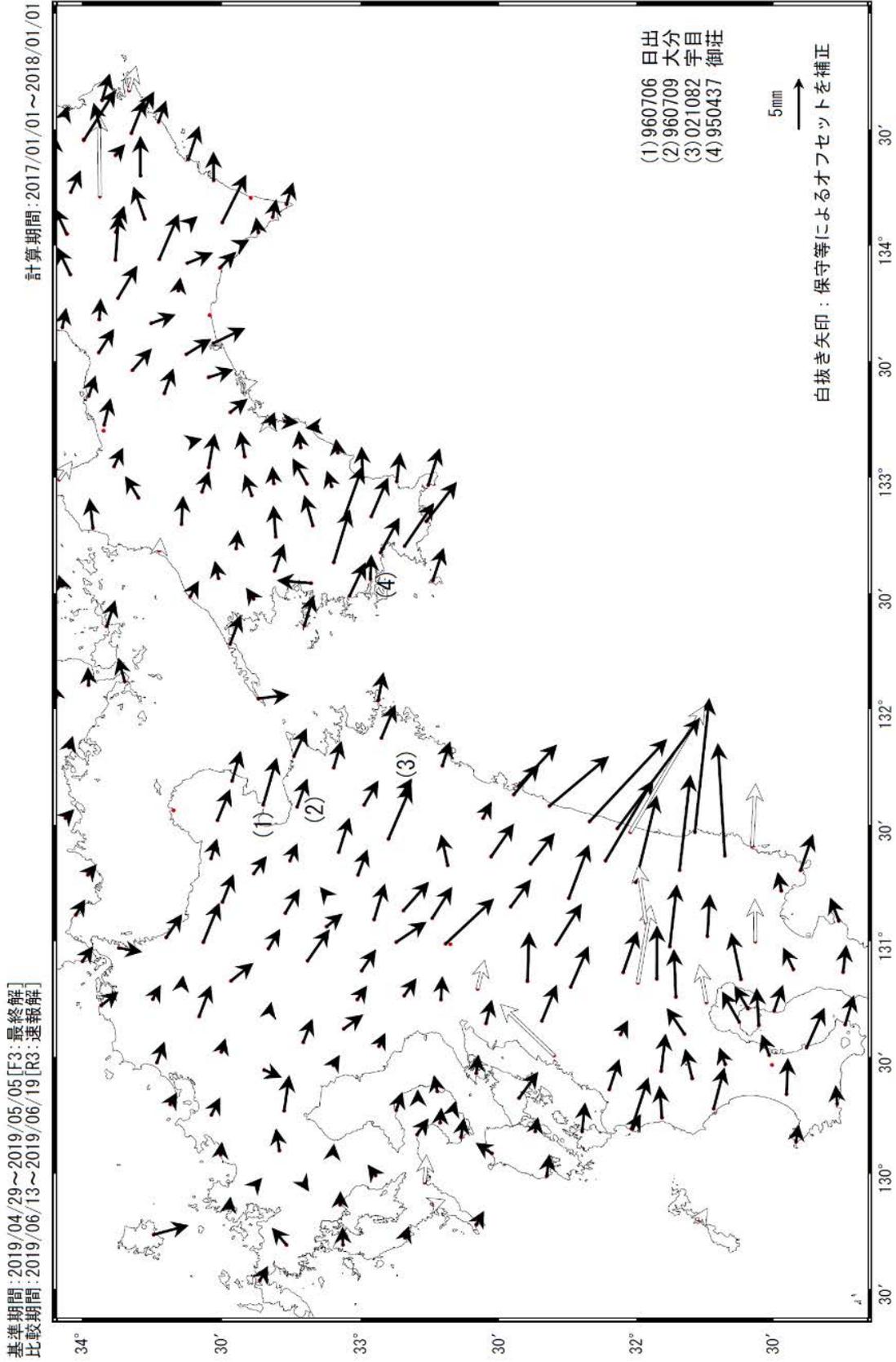
四国の深部低周波地震（微動）活動とゆっくりすべり

四国西部の南西側（領域b：豊後水道とその付近）では、2018年秋頃から深部低周波地震（微動）活動が活発になっている。また、2018年秋頃から、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これは、豊後水道周辺のプレート境界深部において発生している長期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。なお、深部低周波地震（微動）活動は2019年春頃から減衰傾向がみられる。



（国土地理院によるGNSS解析）

九州北部・四国西部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

☆ 固定局：福江 (950462)

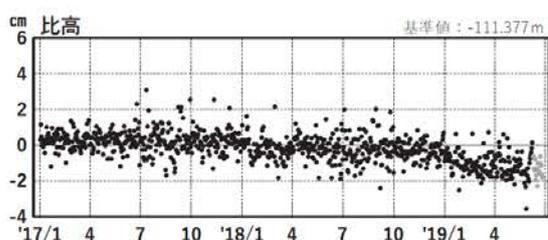
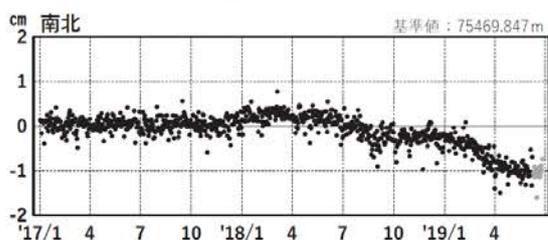
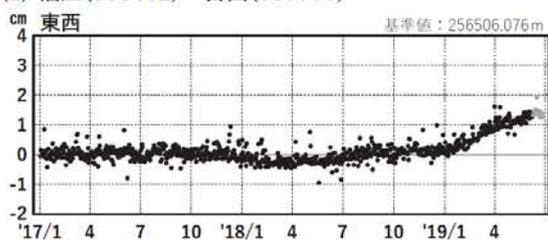
九州北部・四国西部 G N S S 連続観測時系列

1 次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

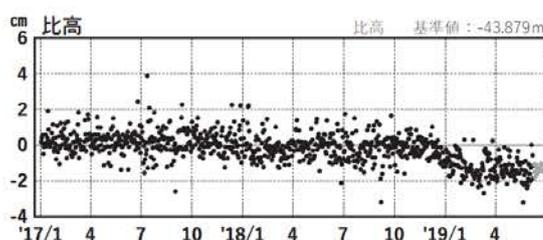
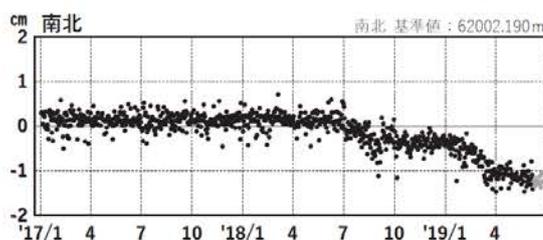
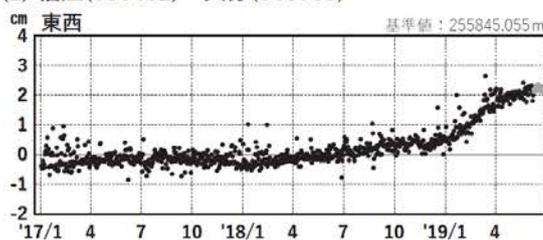
期間: 2017/01/01~2019/06/26 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

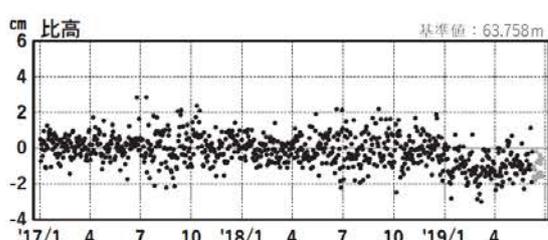
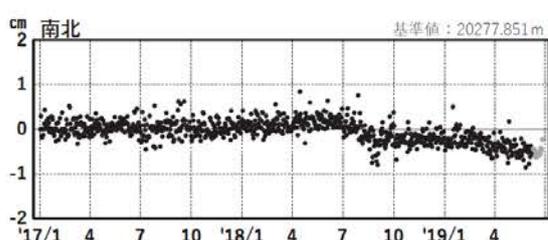
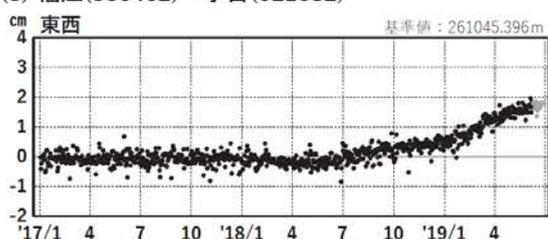
(1) 福江(950462)―日出(960706)



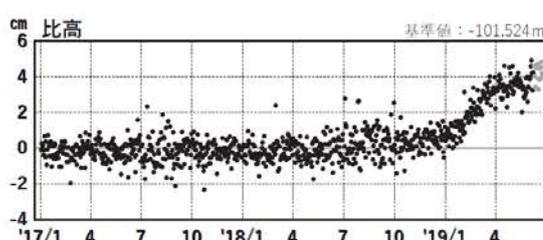
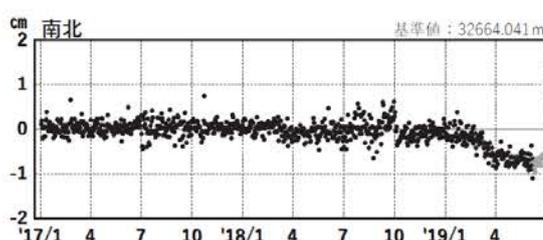
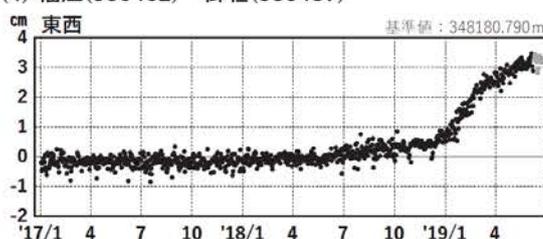
(2) 福江(950462)―大分(960709)



(3) 福江(950462)―宇目(021082)



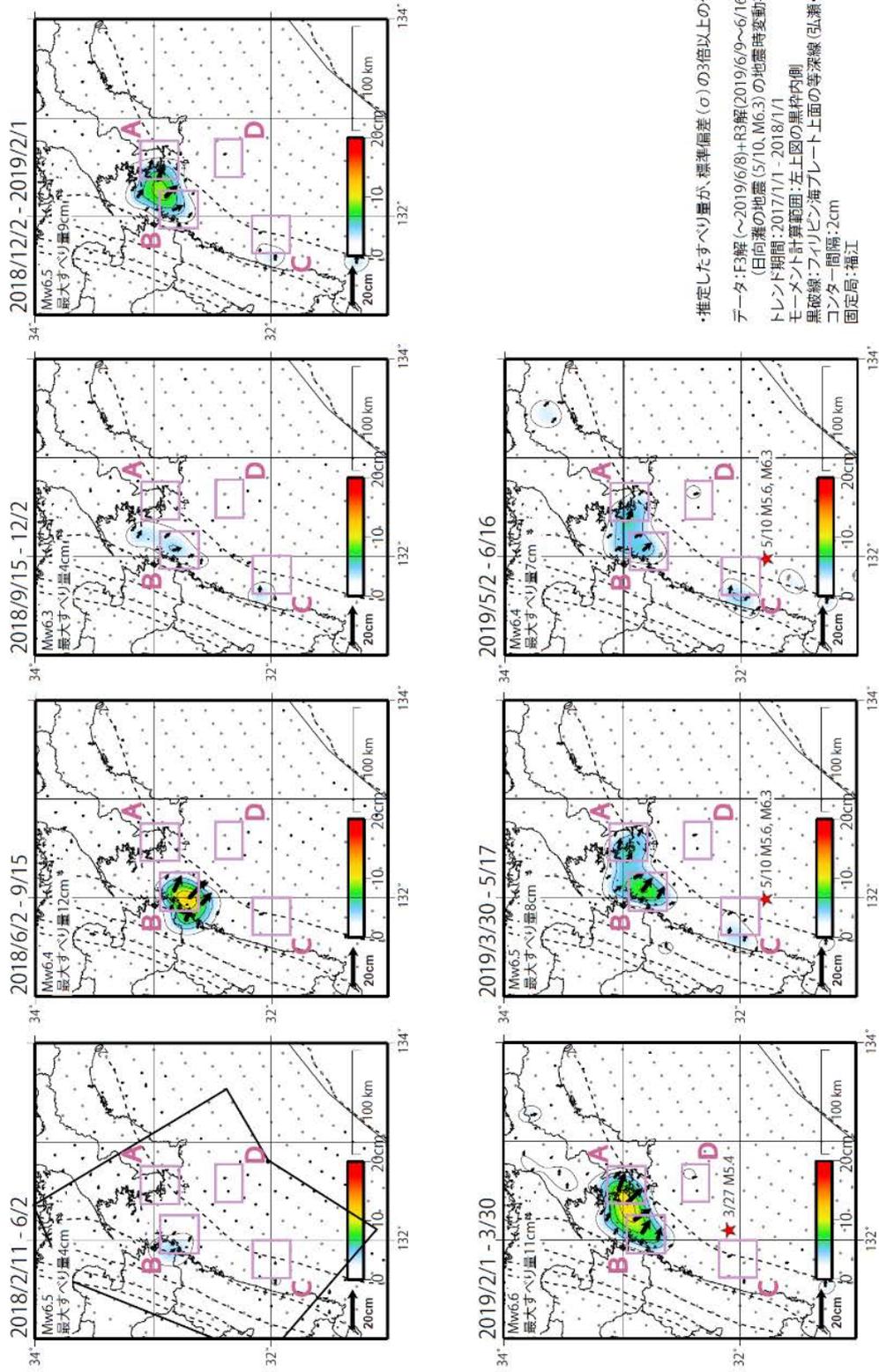
(4) 福江(950462)―御荘(950437)



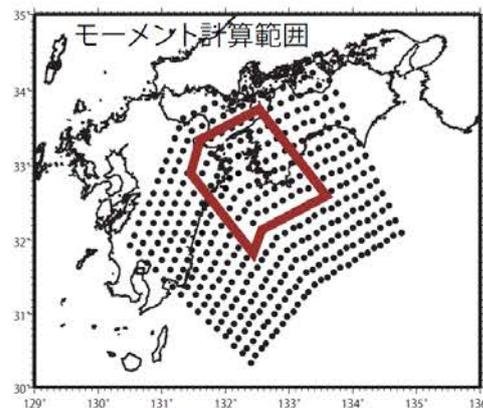
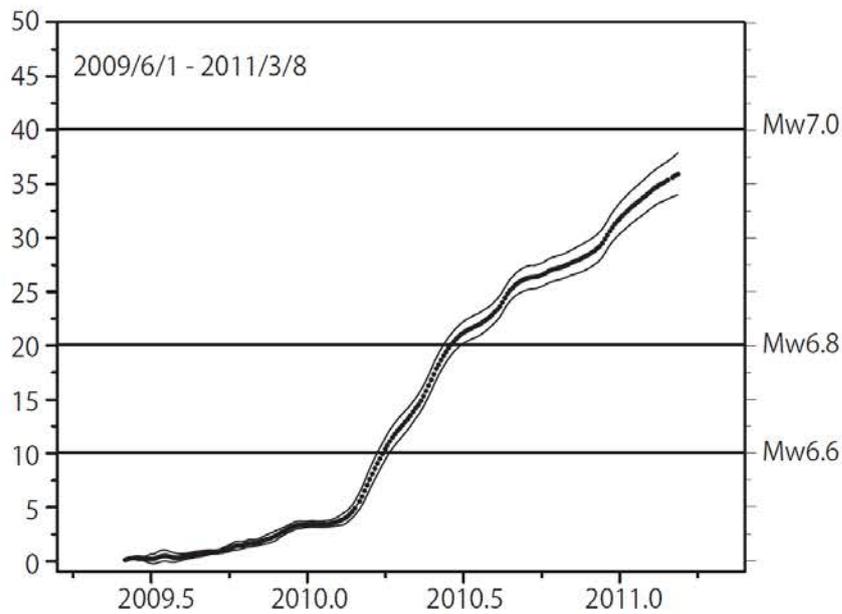
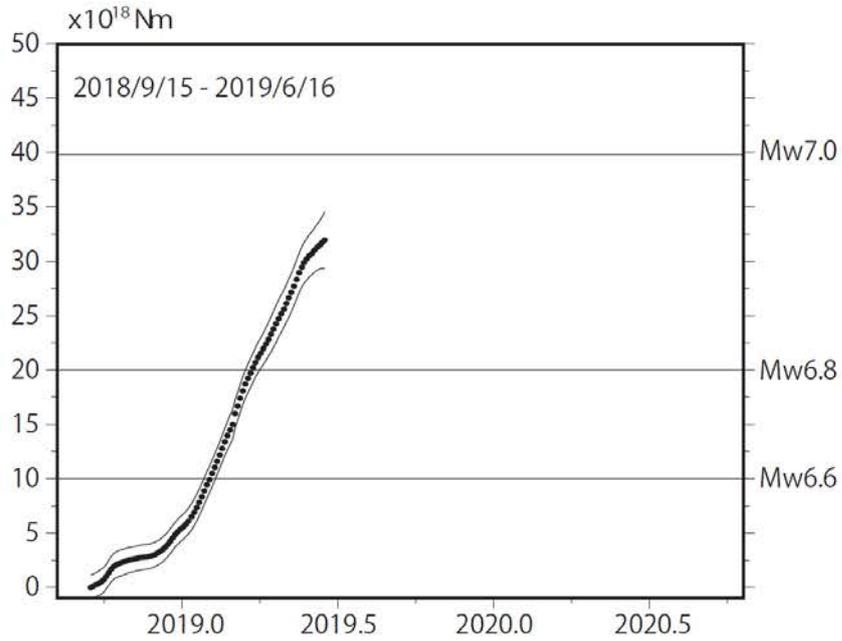
●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された日向灘・豊後水道の長期的ゆっくりすべり(暫定)
推定すべり分布



モーメント^{*} 積算図(試算)



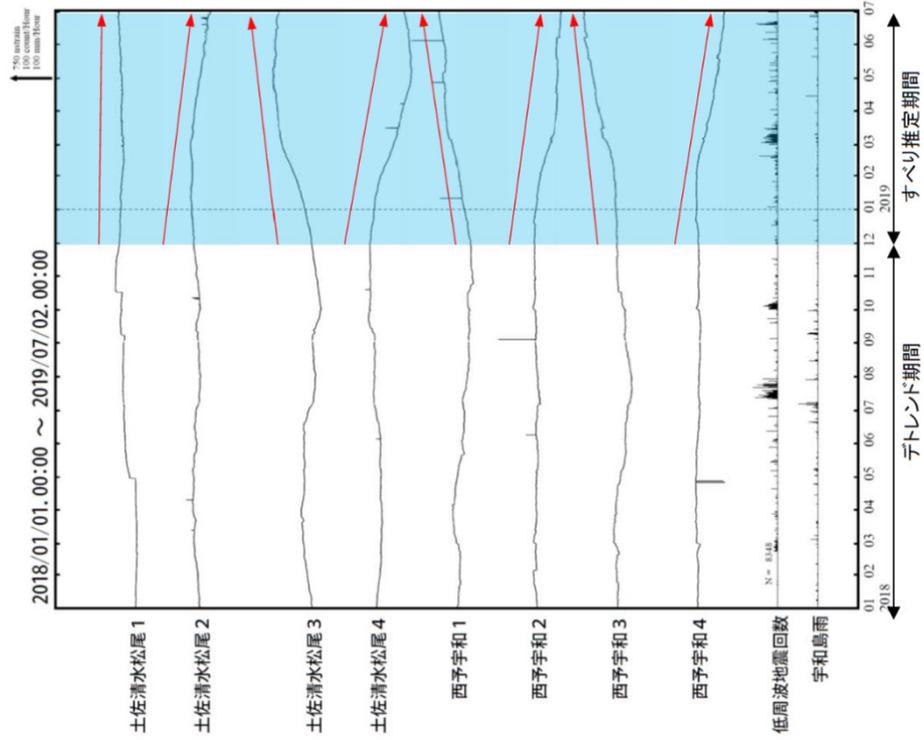
モーメント積算図には、標準偏差 (σ) の3倍を誤差として表示。

※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合のMw（モーメント・マグニチュード）
に換算できる。

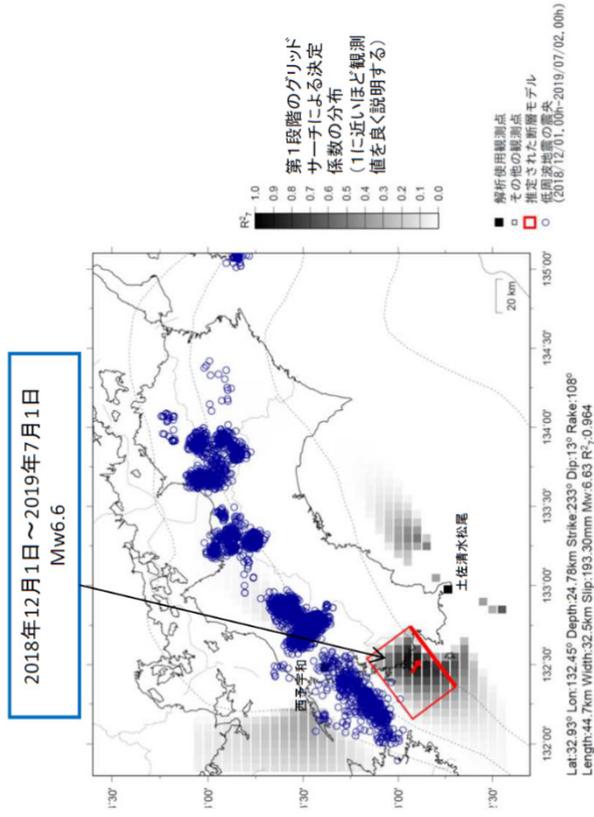
国土地理院

豊後水道で発生している長期的ゆっくりすべり

愛媛県から高知県で観測されたひずみ変化



ひずみ変化から推定される断層モデル



左図に観測されたひずみ変化のうち、赤矢印を付した観測点での変化量を元
にすべり推定を行ったところ、上図に示す領域にすべり域が求まった。

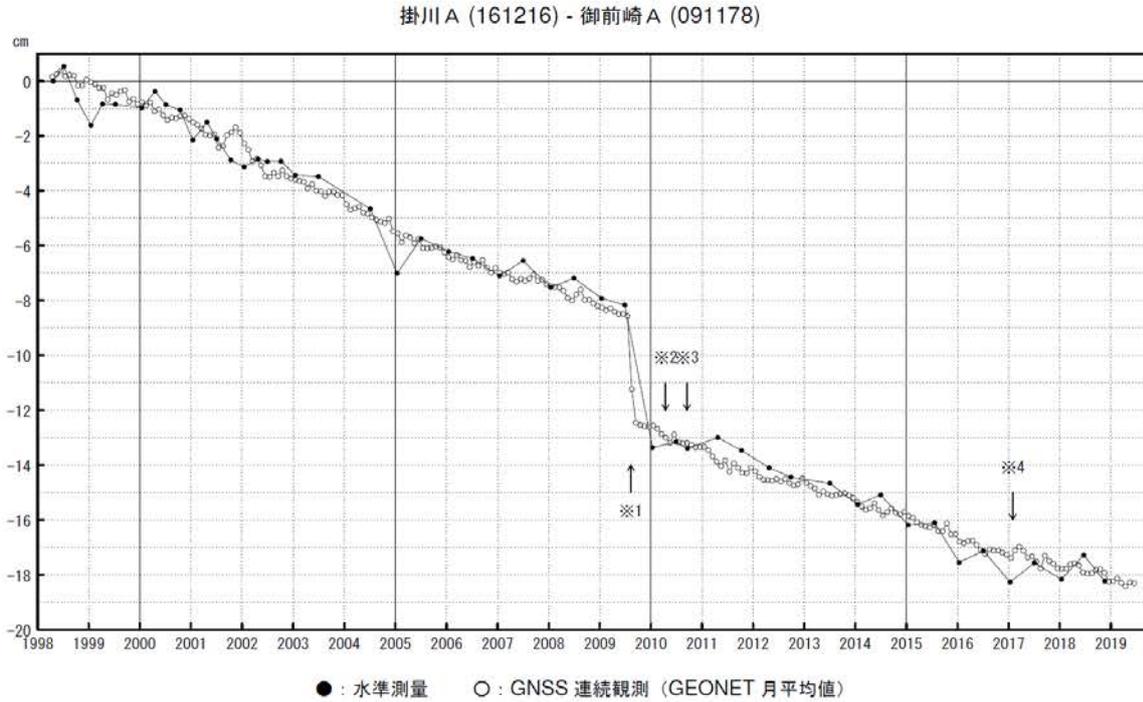
断層モデルの推定は、産総研の解析方法（坂場ほか、2012）を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心に、他の断層パラメータの最適解を求める。

土佐清水松尾及び西予宇和は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

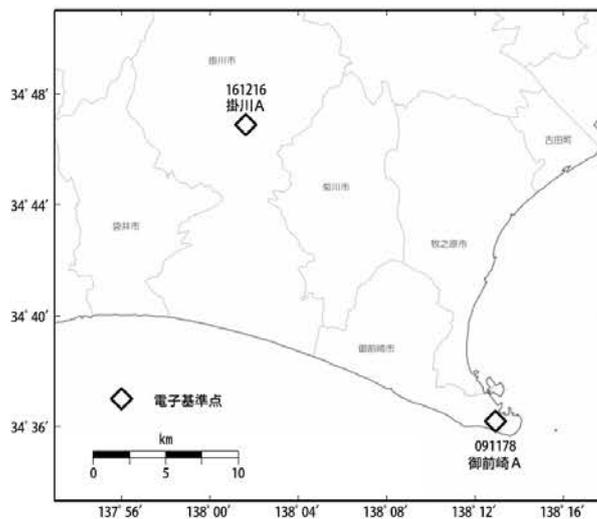
御前崎 電子基準点の上下変動
水準測量と GNSS 連続観測

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



・ 最新のプロット点は 06/01~06/08 の平均。

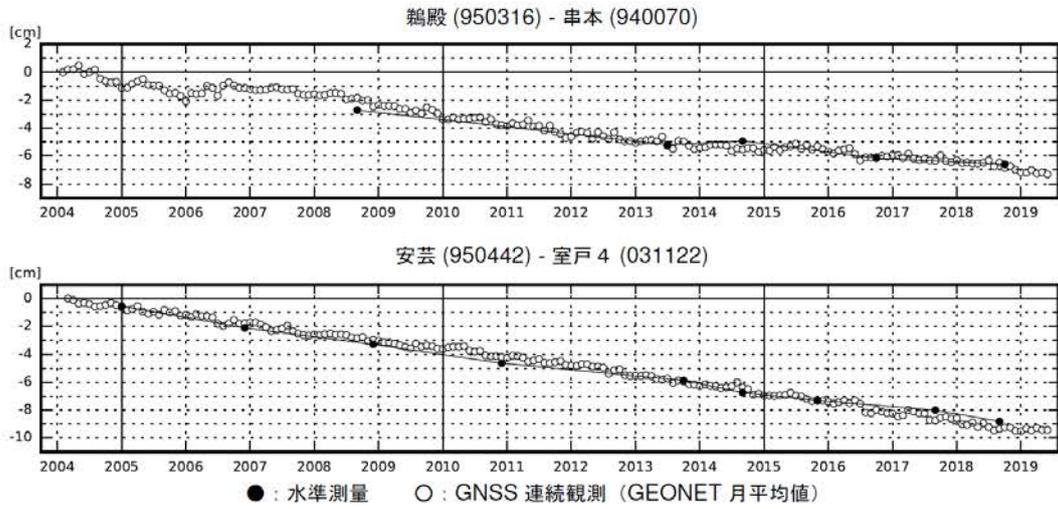
- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



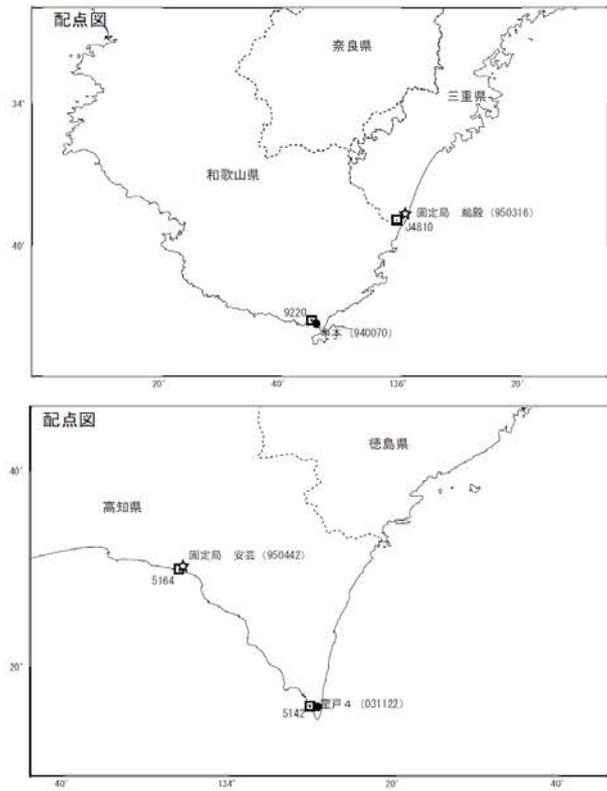
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

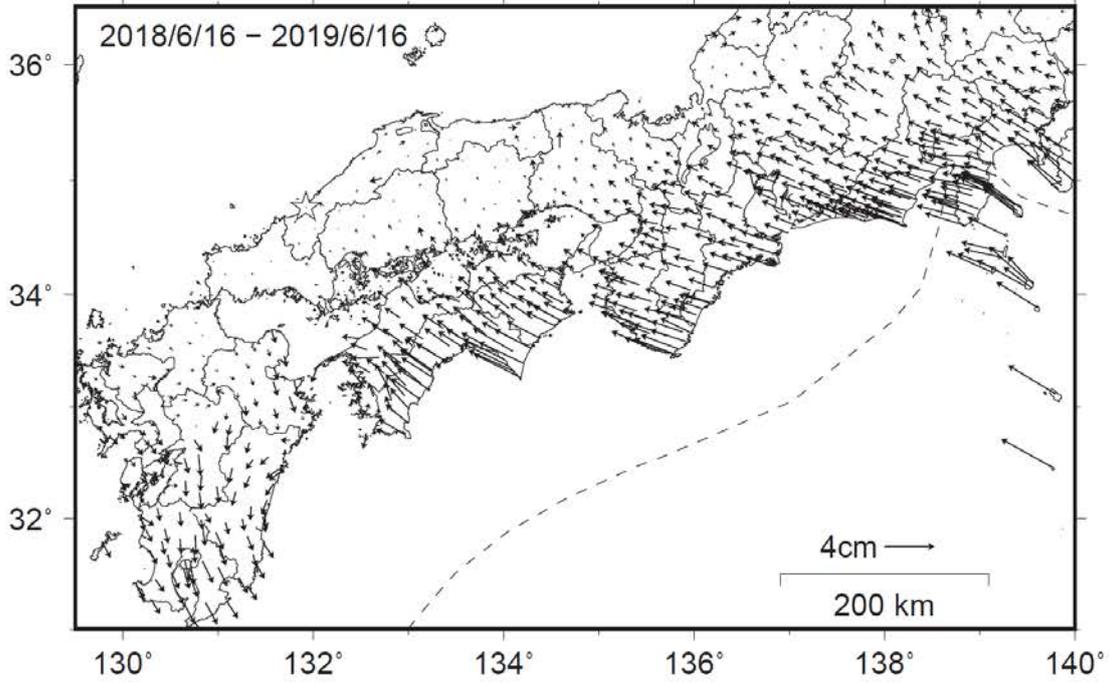


- ・ 最新のプロット点は 6/1~6/8 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

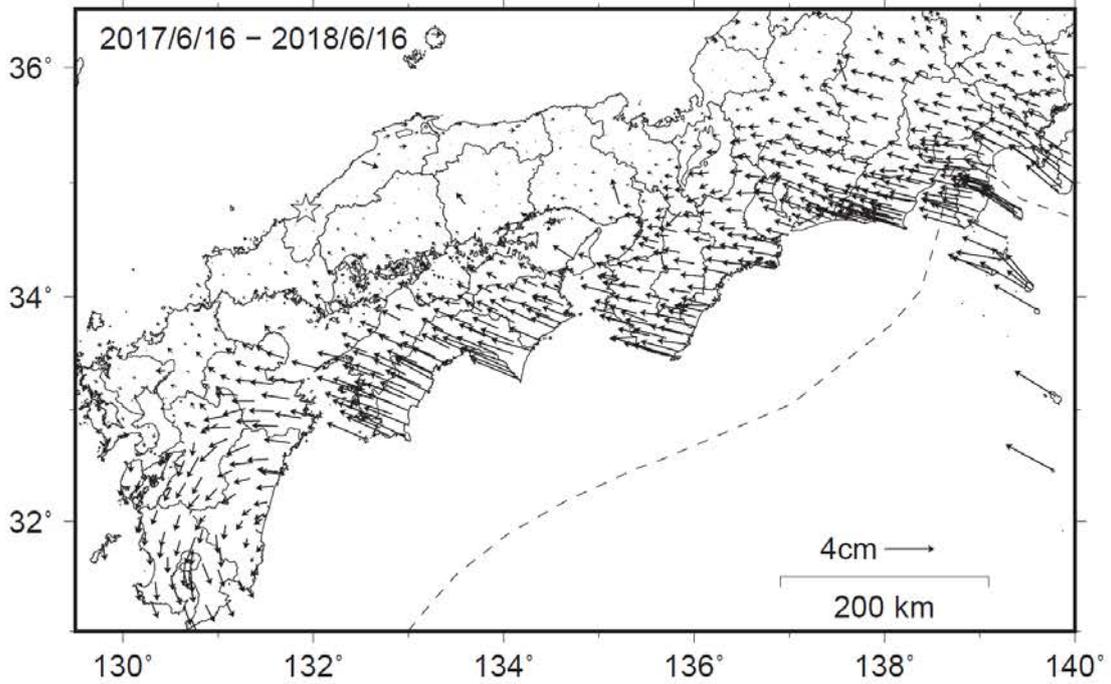


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近1年間】



【1年前の1年間】



・各日付から6日間の変動量の平均をとり、その差から1年間の変動量を示している。

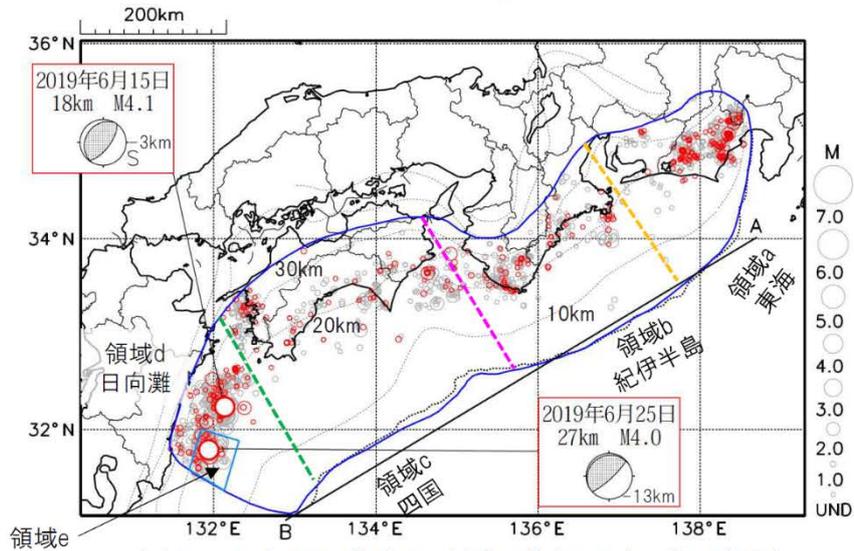
プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

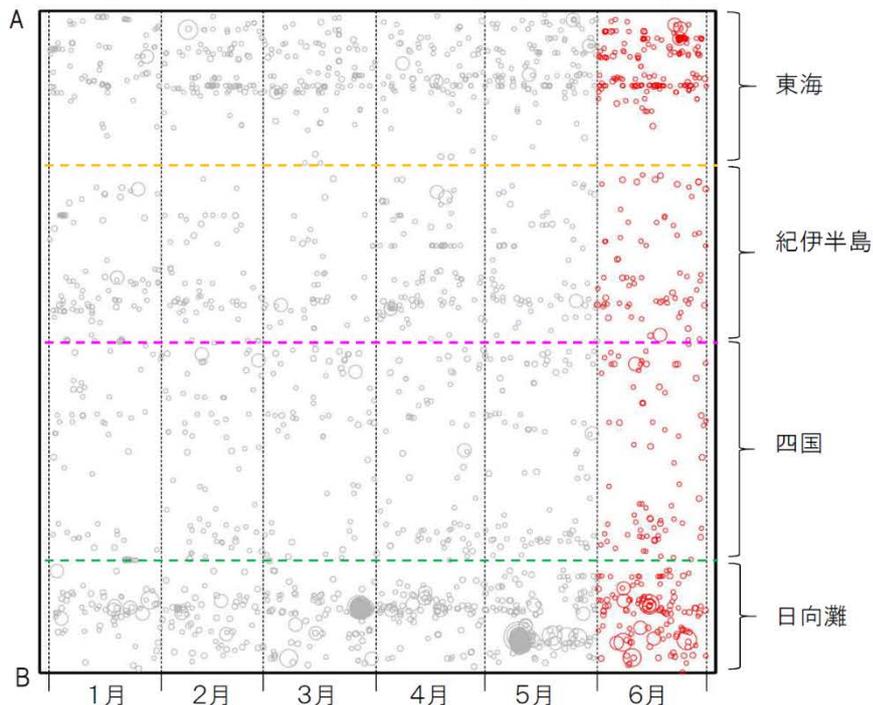
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

（2019年1月1日～2019年6月30日、M全て、2019年6月の地震を赤く表示）



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図(A-B投影)



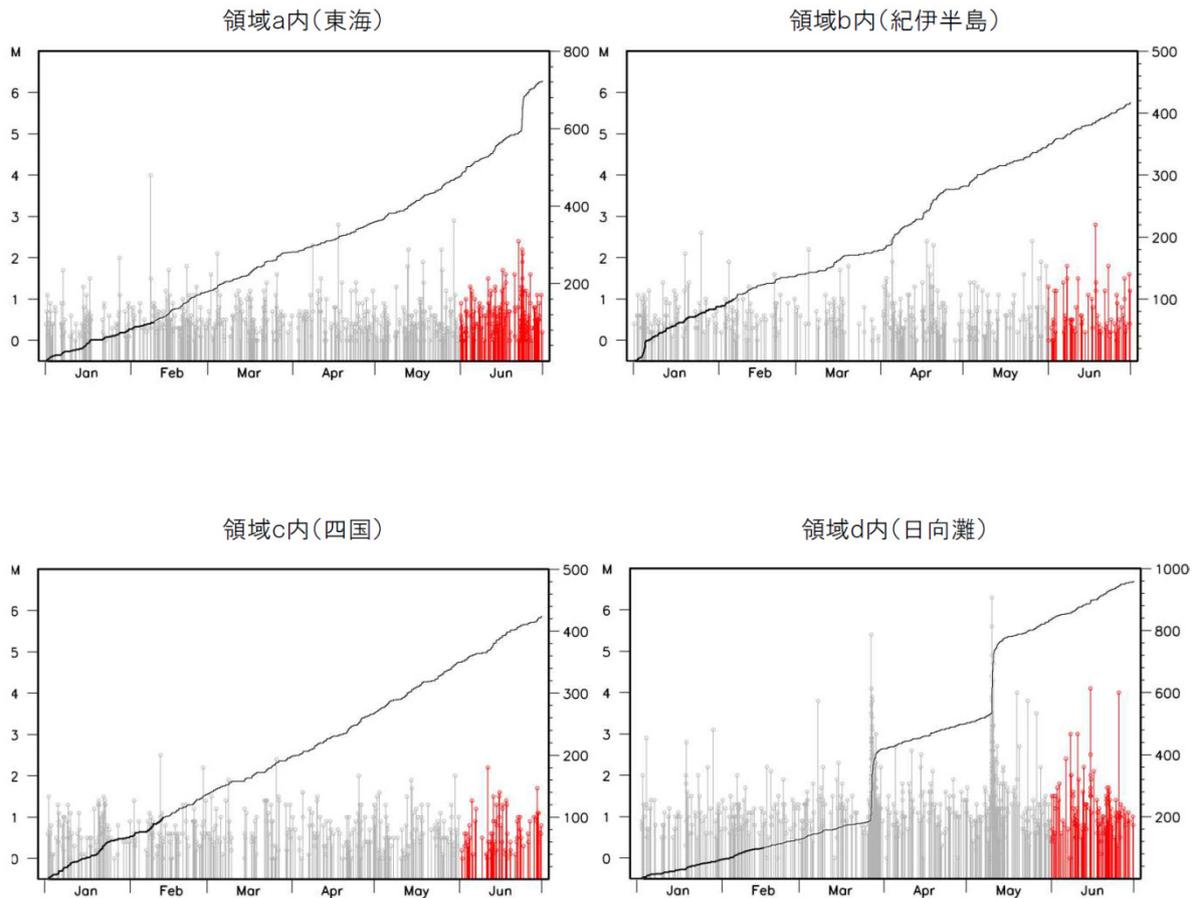
- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差（+は浅い、-は深い）を示す。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

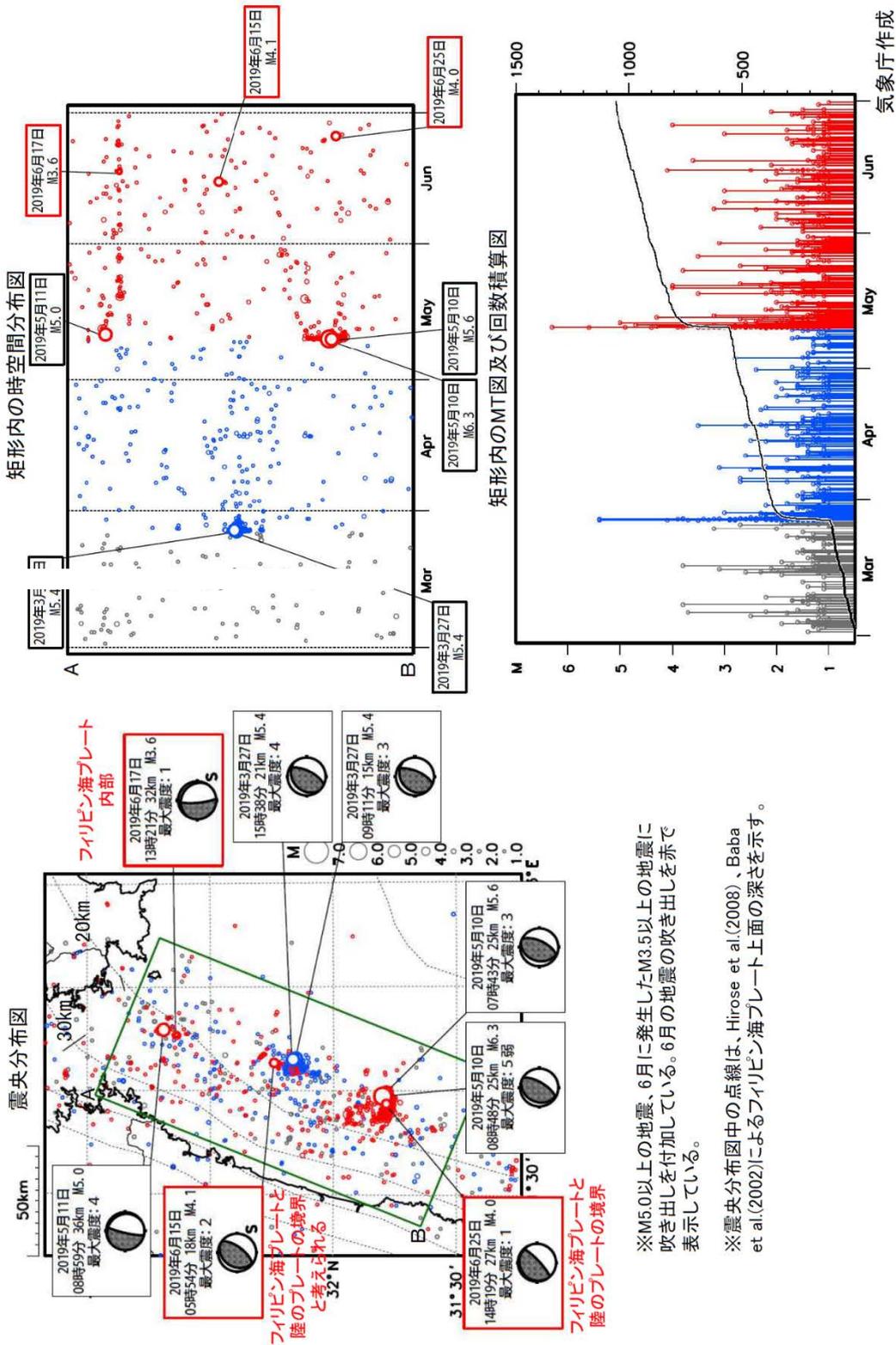


※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

2019年3月以降の日向灘の活動

2019年3月1日～6月30日、M_≥1.0、深さ0～100km
 灰：2019年3月1日～3月26日、青：3月27日～5月 日、赤：5月10日～6月30日



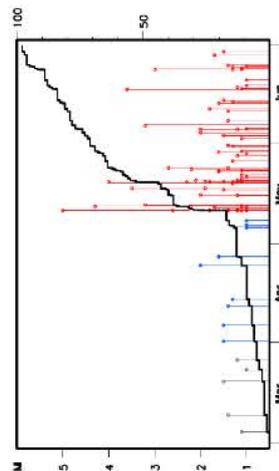
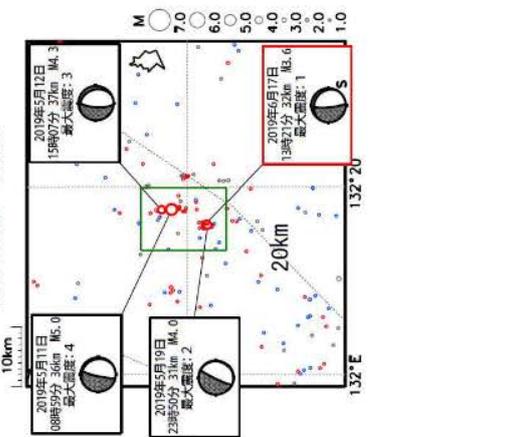
※M5.0以上の地震、6月に発生したM3.5以上の地震に吹き出しを付加している。6月の地震の吹き出しを赤で表示している。

※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

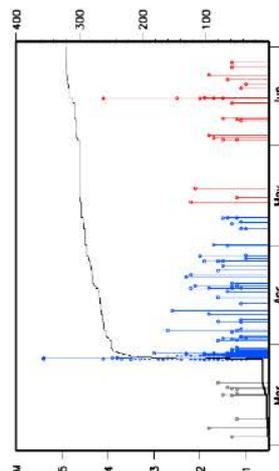
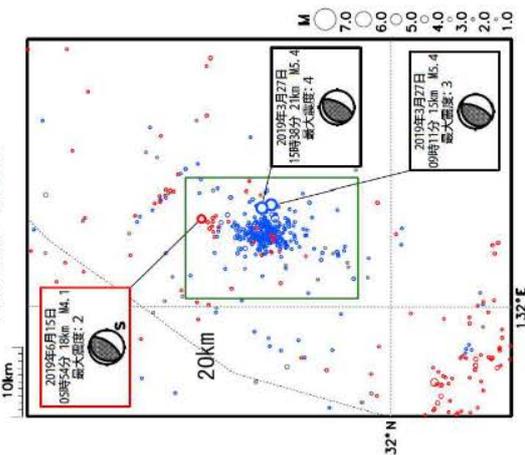
2019年3月以降の日向灘の活動～活動域ごとの活動経過～

2019年3月1日～6月30日、M_s≥1.0 灰：2019年3月1日～3月26日、青：3月27日～5月9日、赤：5月10日～6月30日
 上段：震央分布図 下段：各震央分布図のMT図及び回数積算図

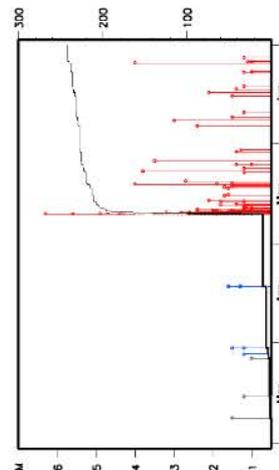
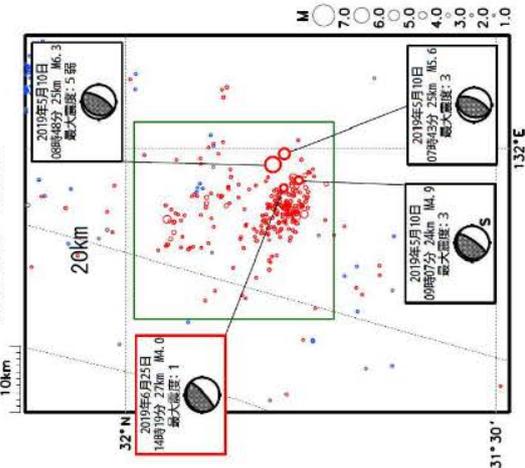
5月11日 (M5.0) の地震の活動域
 (深さ20km～40km)



3月27日 (M5.4) の地震の活動域
 (深さ0km～30km)



5月10日 (M6.3) の地震の活動域
 (深さ0km～30km)

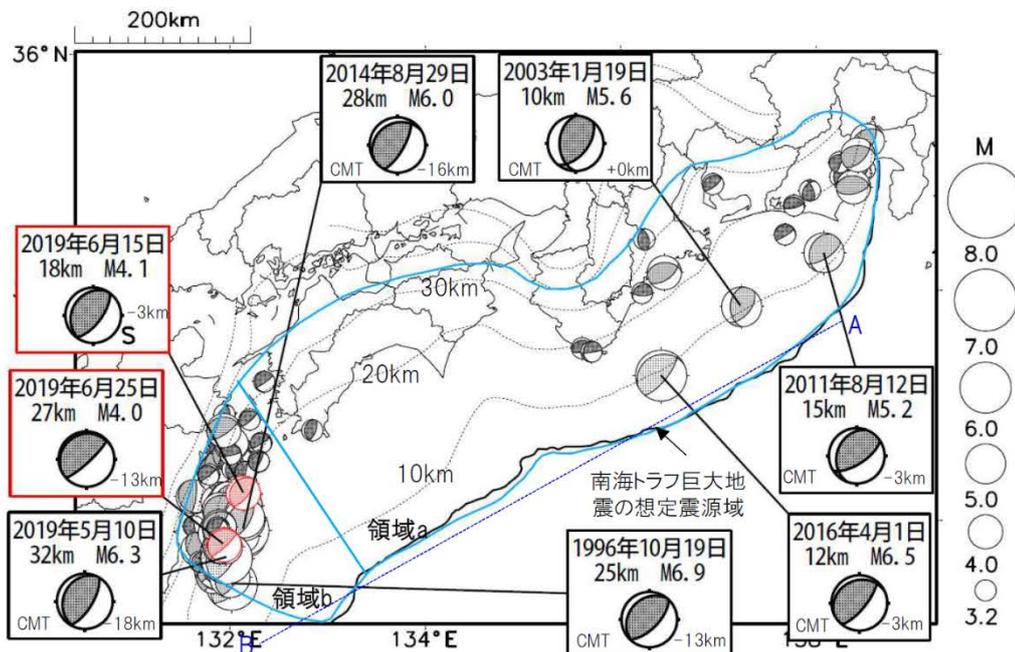


※震央分布図中の点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

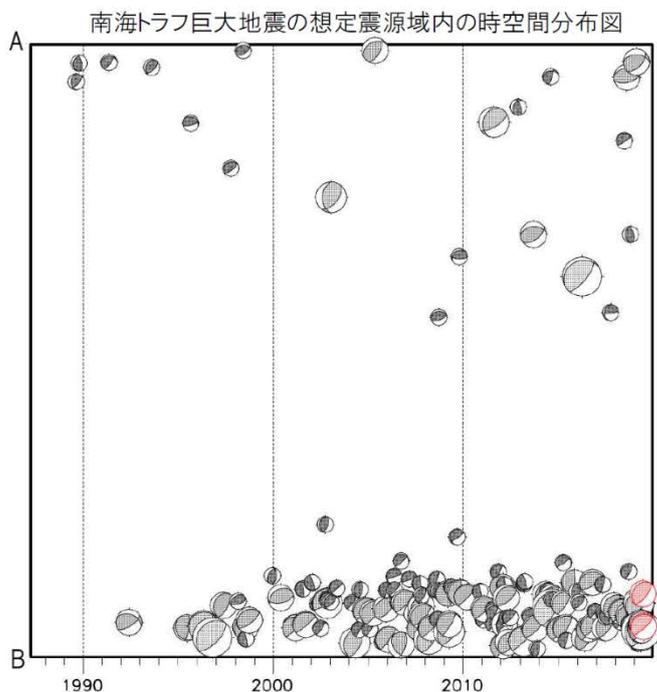
気象庁作成

想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2019年6月30日、M \geq 3.2、2019年6月の地震を赤く表示)



- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。
- ・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。
- ・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。
- ・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。
 P軸の傾斜角が45度以下
 P軸の方位角が65度以上180度以下(※)
 T軸の傾斜角が45度以上
 N軸の傾斜角が30度以下
 ※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様
- ・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。
- ・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。
- ・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km~-20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2019年6月30日

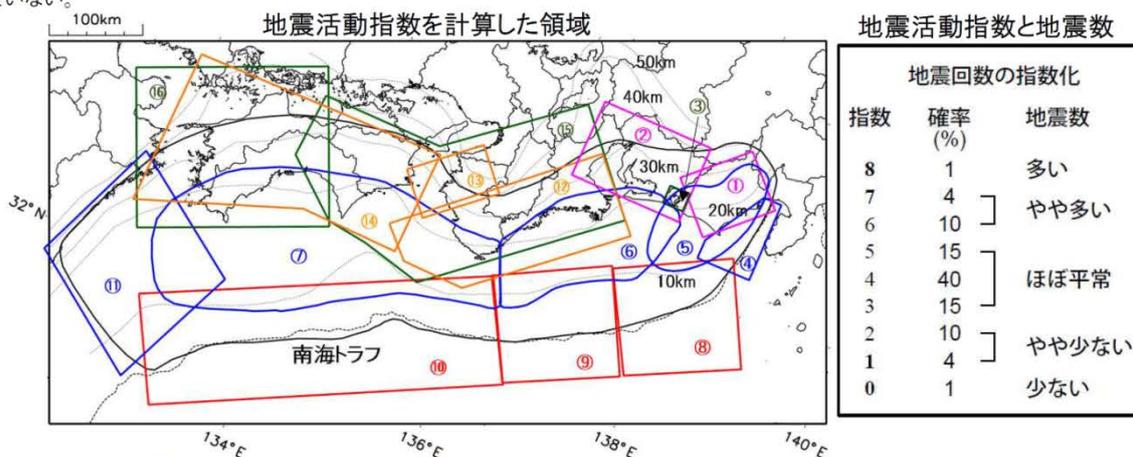
領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	8	4	0	4	6	3	4	1	3
平均回数	16.3	18.4	26.5	13.6	13.1	13.3	18.2	19.7	21.3
Mしきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離		3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数		7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	プ	プ
	全	全	全	地	地	地	プ	プ
地震活動指数	6	4	5	0	2	5	3	4
平均回数	12.0	15.0	20.5	22.9	42.3	30.2	27.6	28.1
Mしきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離		10km	10km	10km	3km	3km	3km
	日数		10日	10日	10日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2019年6月30日

* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。

* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。



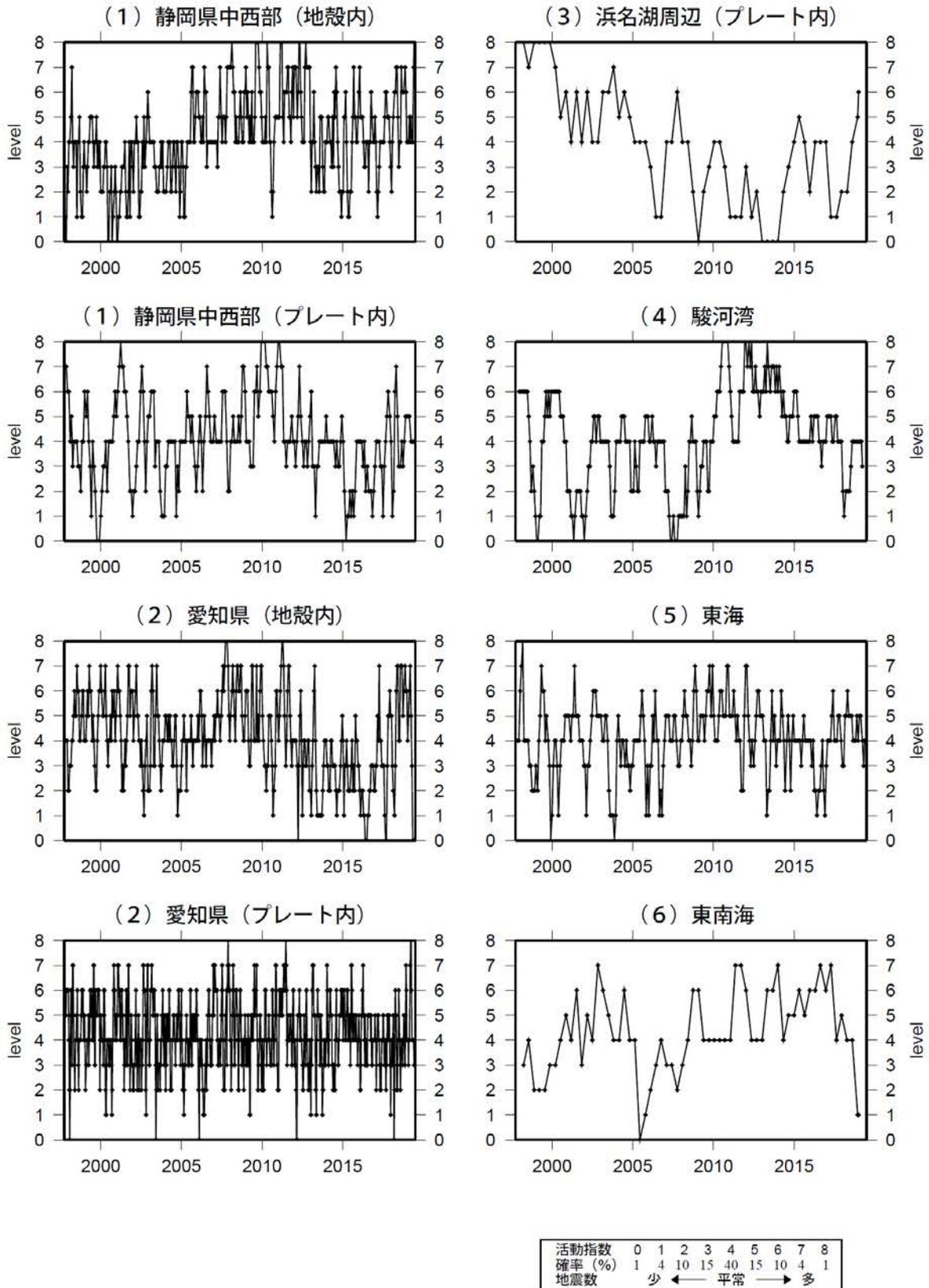
* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。

* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

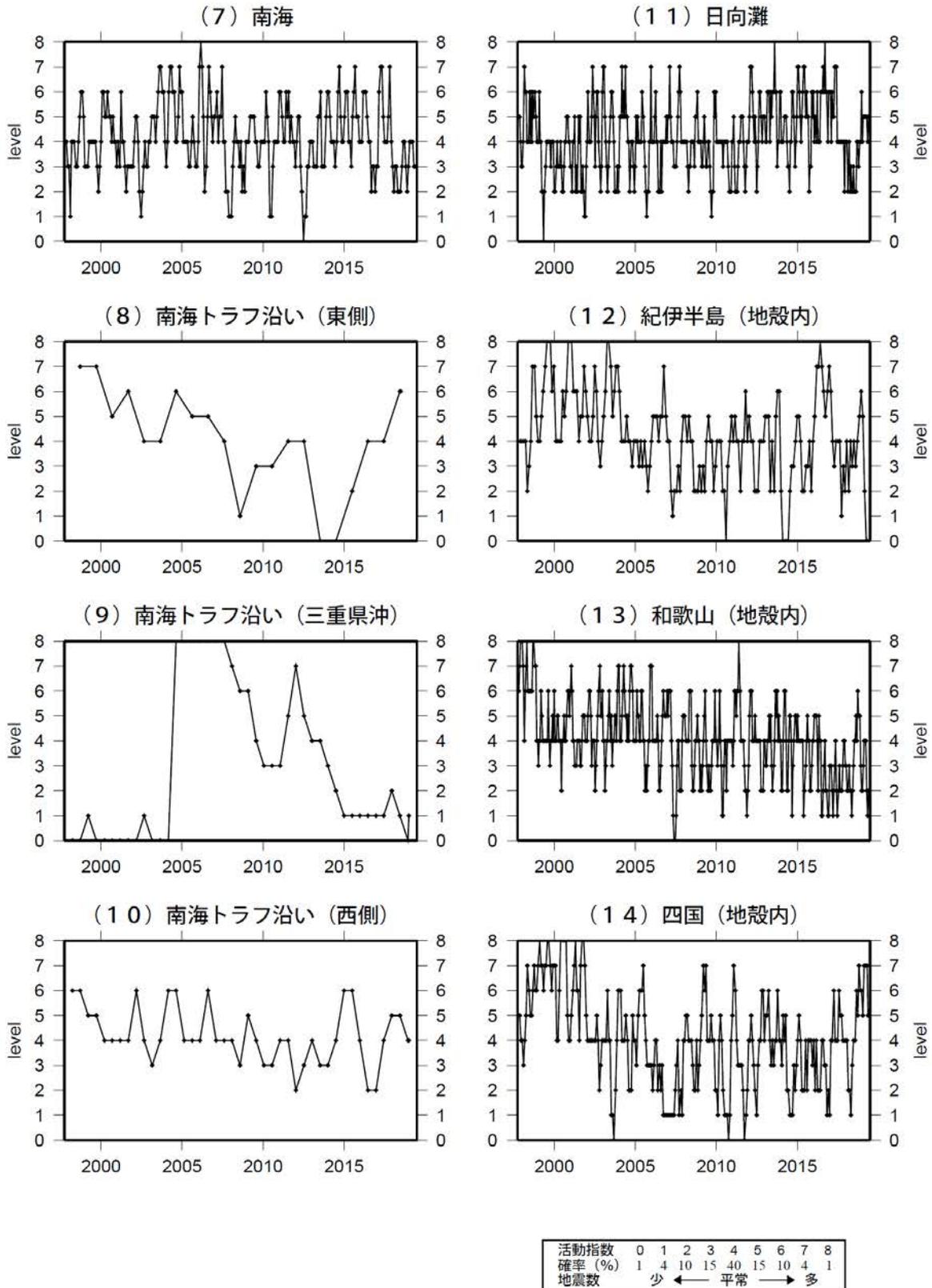
2019年06月30日



気象庁作成

地震活動指数一覧

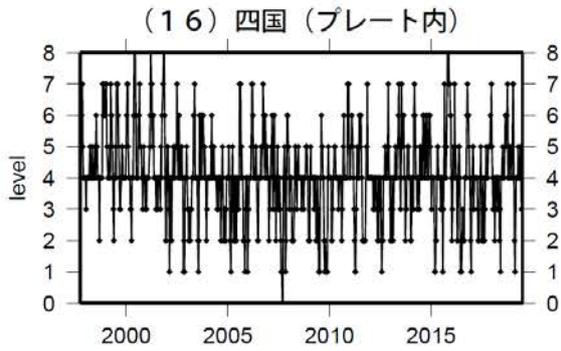
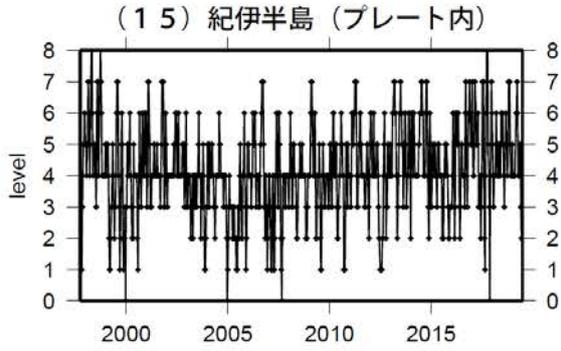
2019年06月30日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2019年06月30日



活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率 (%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少		← 平常 →				多		

気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和元年6月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下の通りです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和元年7月8日14時現在）。

口永良部島では、火山活動はやや低下した状態で推移しており、新岳火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断したことから、12日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。引き続き小規模な噴火の可能性あります。

吾妻山では、大穴火口から概ね1.5kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったものと判断し、17日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

表1 令和元年7月8日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、箱根山、阿蘇山、口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、新島、神津島、御蔵島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田崩山、挾拵焼山、挾拵阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】(6月1日～7月8日)

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

吾妻山〔噴火予報(噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)〕←17日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)へ引下げ

4月末頃から大穴火口付近浅部の膨張を示す地殻変動が観測され、火山性地震も多い状態で経過し、火山性微動が発生するなど、火山活動の活発化がみられましたが、5月下旬には低下しました。

これらのことから、大穴火口から概ね1.5kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったものと判断し、17日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2(火口周辺規制)から1(活火山であることに留意)に引き下げました。

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており、熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

草津白根山(白根山(湯釜付近))〔火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)〕

湯釜付近浅部の火山性地震は増減を繰り返しており、湯釜浅部に火山性流体の供給が続いていることなどから火山活動は高まった状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

2019年5月に増加した地震回数は、その後、徐々に減少しているものの、2019年4月より前の少ない状態に戻っていません。GNSS連続観測では、箱根山周辺の基線で伸びが認められるものの、大涌谷周辺の短い基線では、やや鈍化傾向の可能性があります。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、火山活動は高まった状態になっているとみられます。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

西之島では、噴火が確認されていた2018年7月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下しています。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気を確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね500mの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出した溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね500mを超える範囲でも注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

阿蘇山では、6月1日以降噴火は観測されていませんが、現地調査では中岳第一火口内にとどまる程度の火山灰の噴出を確認しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、前月と比べ減少したものの、やや多い状態でした。中岳第一火口内では熱活動の高まった状態が続いています。

GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で、わずかな伸びの傾向が認められます。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発を含む）が発生しています。11日14時31分の爆発では、噴煙は火口縁上2,200mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで達しました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】←12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引下げ

口永良部島では、2月3日以降、噴火は観測されていません。

新岳火口付近のごく浅い場所を震源とする火山性地震は2月以降減少し、概ね少ない状態で経過しています。新たなマグマの上昇を示すと考えられる、新岳の西側山麓のやや深い場所を震源とする火山性地震は、2018年8月16日以降観測されていません。

火口内の熱の高まりを示す火映は、2018年12月以降観測されていません。山麓からの観測では、新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近の噴煙や地熱域の状況に特段の変化は認められていません。

このように、火山活動はやや低下した状態で推移し、新岳火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断したことから、12日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態が続いていることから、小規模な噴火の可能性がります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）】

御岳火口では、2日に噴火が発生しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第4版）による）

資料1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ（令和元年7月8日現在）

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年9月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常） 2015年7月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2015年2月24日噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年10月1日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年6月9日噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年3月23日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	東北地方	岩木山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
秋田焼山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2013年7月25日噴火予報（レベル1、平常）
八甲田山		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
十和田		噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常）
岩手山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
秋田駒ヶ岳		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル1、平常）
鳥海山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年3月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
栗駒山		噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
蔵王山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年4月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年6月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年7月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年1月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月22日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年6月17日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2009年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日噴火予報（レベル1、平常）切替 2014年6月3日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年6月7日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年4月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年9月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年9月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2018年1月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年1月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年3月16日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日噴火予報（レベル1、平常） 2015年6月11日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年5月30日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2011年3月31日噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2019年3月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2008年3月31日噴火予報（レベル1、平常） 2014年9月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年9月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年1月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年3月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年6月26日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年8月21日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2015年9月2日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2009年3月31日噴火予報(レベル1、平常) 2015年5月6日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月30日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年9月11日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年11月20日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年5月19日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)
	伊豆東部火山群	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2011年3月31日噴火予報(レベル1、平常)
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	新島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	神津島	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常)
	三宅島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険) 2008年3月31日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年6月5日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	八丈島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2018年5月30日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	青ヶ島	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2018年5月30日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	ベヨネース列岩	噴火予報(活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2017年3月24日噴火警報(周辺海域警戒) 2018年10月31日噴火予報(活火山であることに留意)
	西之島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2013年11月20日火口周辺警報(火口周辺危険) 2014年6月3日火口周辺警報(入山危険) 2014年6月11日火口周辺警報(入山危険)切替 2015年2月24日火口周辺警報(入山危険)切替 2016年2月17日火口周辺警報(入山危険)切替 2016年8月17日火口周辺警報(火口周辺危険) 2017年2月14日噴火予報(活火山であることに留意) 2017年4月20日火口周辺警報(入山危険) 2018年6月20日火口周辺警報(火口周辺危険) 2018年7月13日火口周辺警報(入山危険) 2018年10月31日火口周辺警報(火口周辺危険)
	硫黄島	火口周辺警報(火口周辺危険)	2007年12月1日火口周辺警報(火口周辺危険)
	福徳岡ノ場	噴火警報(周辺海域警戒)	2007年12月1日噴火警報(周辺海域警戒)
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(平常) 2016年7月26日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)
	九重山	噴火予報(レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常)
	阿蘇山	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日噴火予報(レベル1、平常) 2011年5月16日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2011年6月20日噴火予報(レベル1、平常) 2013年9月25日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2013年10月11日噴火予報(レベル1、平常) 2013年12月27日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2014年3月12日噴火予報(レベル1、平常) 2014年8月30日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2015年9月14日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2015年11月24日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2016年10月8日火口周辺警報(レベル3、入山規制) 2016年12月20日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2017年2月7日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年3月12日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制) 2019年3月29日噴火予報(レベル1、活火山であることに留意) 2019年4月14日火口周辺警報(レベル2、火口周辺規制)

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	雲仙岳	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2016年12月6日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年5月1日噴火予報（平常） 2016年2月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年3月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月6日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年1月13日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年5月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年5月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年5月26日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2017年10月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年3月15日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2018年6月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年1月18日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2019年2月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2019年4月5日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日噴火予報（レベル1、平常） 2018年2月9日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年3月15日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年2月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年2月20日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年4月8日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年7月14日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年7月28日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2008年8月28日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年2月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年2月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年3月2日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月10日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2009年4月24日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年7月19日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2010年9月30日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2010年10月13日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2012年3月12日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2012年3月21日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2015年9月1日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2015年11月25日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2016年2月5日火口周辺警報 (レベル3、入山規制)
	薩摩硫黄島	噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年11月29日噴火予報 (レベル1、平常) 2013年6月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2013年7月10日噴火予報 (レベル1、平常) 2017年1月5日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2017年2月24日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意) 2018年3月19日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年4月27日噴火予報 (レベル1、活火山であることに留意)
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年1月25日噴火予報 (レベル1、平常) 2008年9月4日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2008年10月27日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2009年3月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年8月4日噴火予報 (レベル1、平常) 2009年9月27日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2009年10月30日噴火予報 (レベル1、平常) 2011年12月15日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2012年1月20日噴火予報 (レベル1、平常) 2014年8月3日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2014年8月7日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 切替 2015年5月29日噴火警報 (レベル5、避難) 2015年10月21日噴火警報 (レベル5、避難) 切替 2016年6月14日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2018年4月18日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制) 2018年8月15日噴火警報 (レベル4、避難準備) 2018年8月29日火口周辺警報 (レベル3、入山規制) 2019年6月12日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

注) 特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月1日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（*印を除く）では2007年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。また、*印の活火山では、活火山として選定された2011年6月7日に噴火予報（平常）を発表し、**印の活火山では、活火山として選定された後の2017年12月5日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015年5月18日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

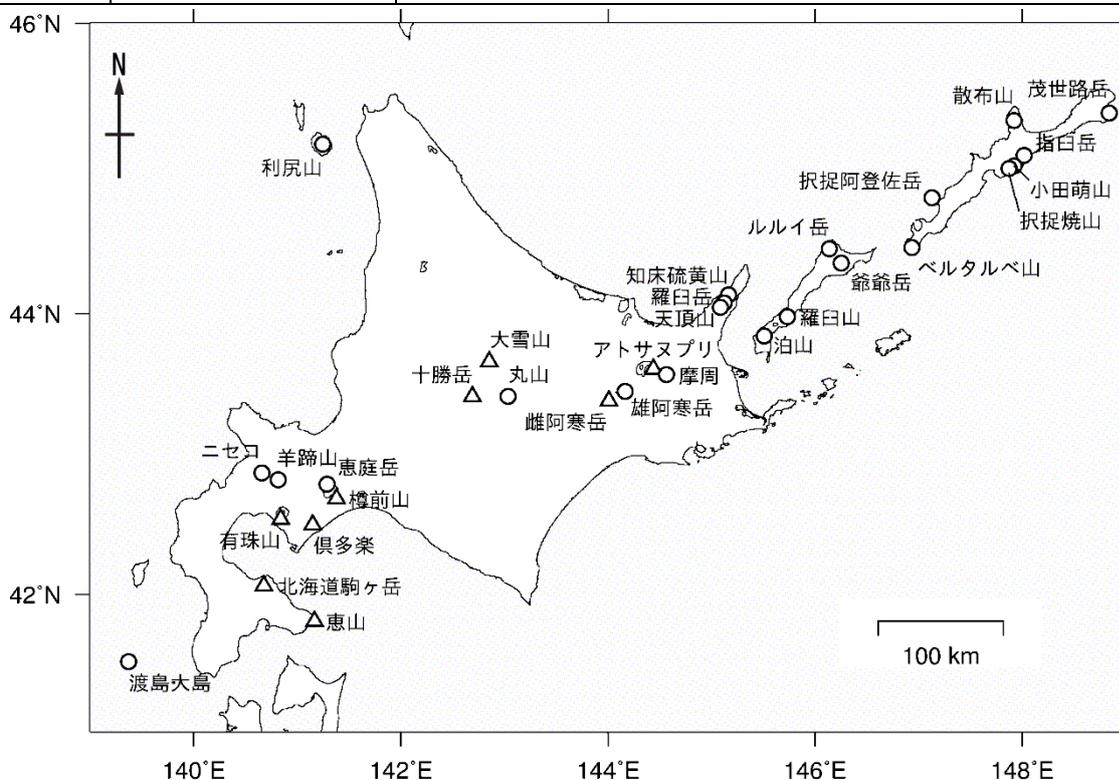
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年6月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（6月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡例		
噴火警戒レベル対象火山	▲：噴火警報発表中	△：噴火予報発表中
噴火警戒レベル対象外の火山	●：噴火警報発表中	○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act/doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政区・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（6月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

2006年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は、2017年秋以降停滞しています。一方、長期的にみると、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象が観測されていますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年6月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（6月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	岩木山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（6月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

吾妻山では、17日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では火山性地震の活動がやや活発な状況が引き続き認められ、また、女岳では地熱活動が続いていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕



火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013年以降、時々、火山性地震や火山性微動が発生し、地殻変動がみられています。今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕 ←17日に噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引下げ

4月末頃から大穴火口付近浅部の膨張を示す地殻変動が観測され、火山性地震も多い状態で経過し、火山性微動が発生するなど、火山活動の活発化がみられましたが、5月下旬には低下しました。

これらのことから、大穴火口から概ね1.5kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったものと判断し、17日11時00分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）から1（活火山であることに留意）に引き下げました。

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており、熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

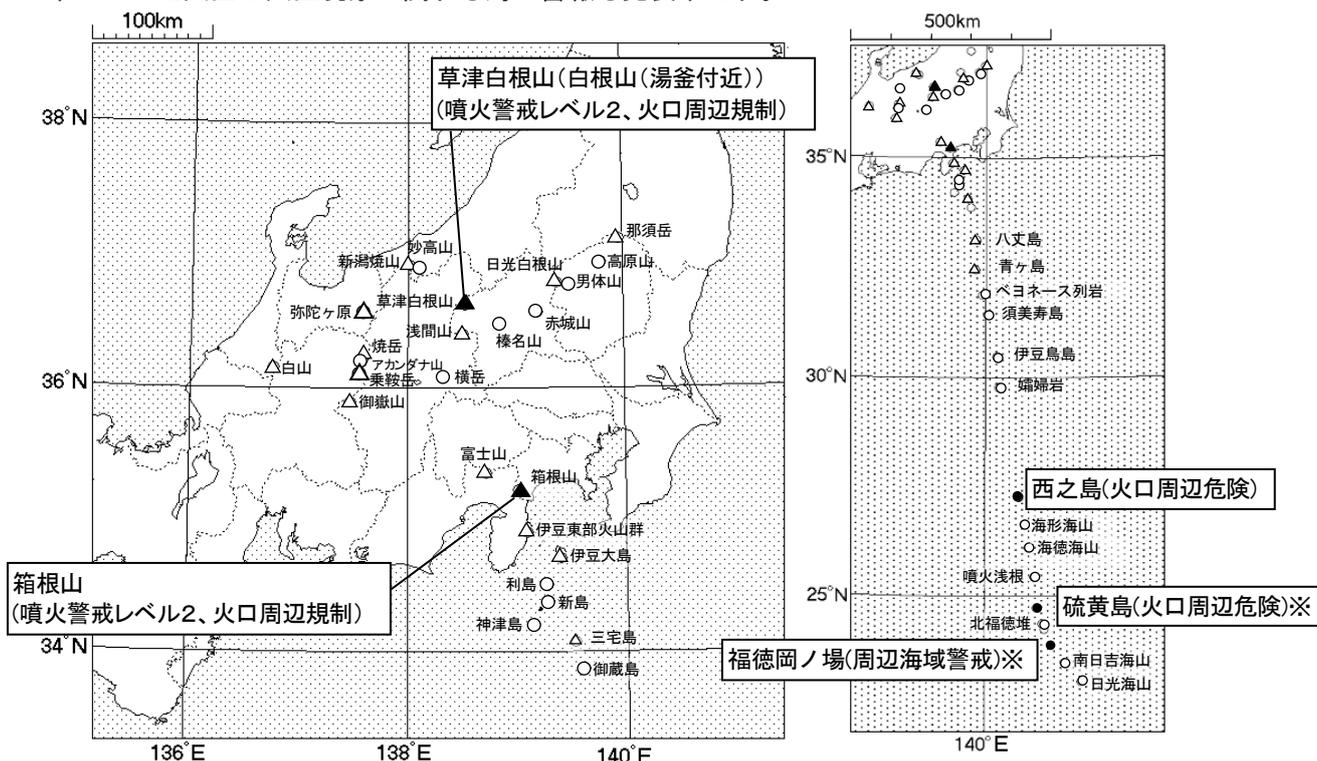
管内月間火山概況（令和元年6月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（6月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、箱根山
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、新島、神津島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



凡 例
 噴火警戒レベル対象火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル対象外の火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

*噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（6月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

湯釜付近浅部の火山性地震は増減を繰り返しており、湯釜浅部に火山性流体の供給が続いていることなどから火山活動は高まった状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は現在のところ静穏な状態ですが、本白根山付近の火山性地震の発生頻度が6月中旬からやや高まっています。

2018年1月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山性地震は概ねやや少ない状態で、浅間山の西側の膨張を示すと考えられる地殻変動もみられていません。また、山頂火口からの噴煙や火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も少ない状態となっています。火口から500mの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火が発生する可能性はあるものの、それを上回る規模の噴火の可能性は低い状態です。火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012年6月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

噴気活動や山頂付近の地震活動は低調に経過しており、火山活動に高まりは認められません。

しかし、2017年8月上旬には、山頂付近の小さな低周波地震と黒谷火口からの弱い噴気が観測され、その後も、弱い噴気が時々観測されています。また、山頂付近の地震計のみで観測される微小な地震活動は続いていることから、今後の火山活動の推移に注意して下さい。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

6月13日に実施した機動観測では、2014年に噴火が発生した剣ヶ峰山頂の南西側の火口列の3つの活発な噴気孔のうち、東側の噴気孔では、噴気の勢いや噴気孔内の温度が明瞭に低下していることを確認しました。

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

ただし、2014年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出してい

ます。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500mの範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

2019年5月に増加した地震回数は、その後、徐々に減少しているものの、2019年4月より前の少ない状態に戻っていません。GNSS連続観測では、箱根山周辺の基線で伸びが認められるものの、大涌谷周辺の短い基線では、やや鈍化傾向の可能性があります。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、火山活動は高まった状態になっているとみられます。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。ただちに噴火が発生する兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量は、2016年6月以降は1日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火口における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火口から500m以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

西之島では、噴火が確認されていた2018年7月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下しています。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気を確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね500mの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね500mを超える範囲でも注意してく

ださい。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年6月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（6月30日現在）

三瓶山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

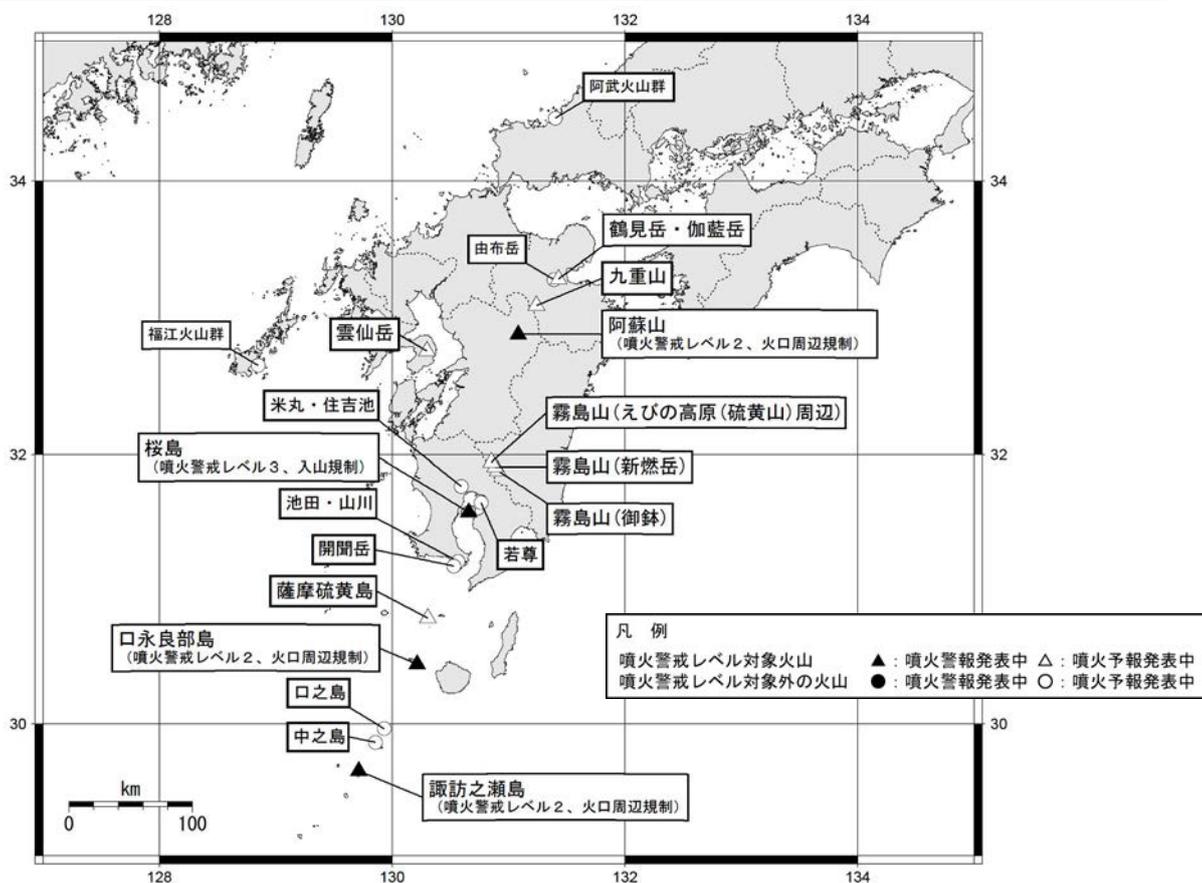
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年6月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（6月30日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島
	レベル2（火口周辺規制）	阿蘇山、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（6月1日～30日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

口永良部島では、12日に火口周辺警報を発表し噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引き下げました。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は一時的に増加しましたが、少ない状態で経過しました。

2014年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

あそさん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、6月1日以降噴火は観測されていませんが、現地調査では中岳第一火口内にとどまる程度の火山灰の噴出を確認しました。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、前月と比べ減少したものの、やや多い状態でした。中岳第一火口内では熱活動の高まった状態が続いています。

GNSS連続観測では、深部にマグマだまりがあると考えられている草千里を挟む基線で、わずかな伸びの傾向が認められます。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ1～2kmを震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは2019年2月頃から停滞しています。

硫黄山では、火山活動の活発化を示す兆候は認められません。

現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側500mの噴気地帯から概ね100mの範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火山性地震は少ない状態で経過しました。また、GNSS連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは2019年2月以降停滞しています。

新燃岳では、火山活動の活発化を示す兆候は認められません。活火山であることから、火口内及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

なお、これまでの噴火により登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

きりしまやま おほち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

さくらじま

桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）]

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発を含む）が発生しています。11日14時31分の爆発では、噴煙は火口縁上2,200mまで上がり、弾道を描いて飛散する大きな噴石は5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで達しました。

桜島では、今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

薩摩硫黄島 [噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火口内では火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体を実施している立入規制等に留意してください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）] ←12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）へ引下げ

口永良部島では、2月3日以降、噴火は観測されていません。

新岳火口付近のごく浅い場所を震源とする火山性地震は2月以降減少し、概ね少ない状態で経過しています。新たなマグマの上昇を示すと考えられる、新岳の西側山麓のやや深い場所を震源とする火山性地震は、2018年8月16日以降観測されていません。

火口内の熱の高まりを示す火映は、2018年12月以降観測されていません。山麓からの観測では、新岳火口及び新岳火口西側割れ目付近の噴煙や地熱域の状況に特段の変化は認められていません。

このように、火山活動はやや低下した状態で推移し、新岳火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断したことから、12日11時00分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から2（火口周辺規制）に引き下げました。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態が続いていることから、小規模な噴火の可能性あります。

新岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね2kmの範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

御岳火口では、2日に噴火が発生しました。

諏訪之瀬島では、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 6月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター
沖縄气象台地震火山課

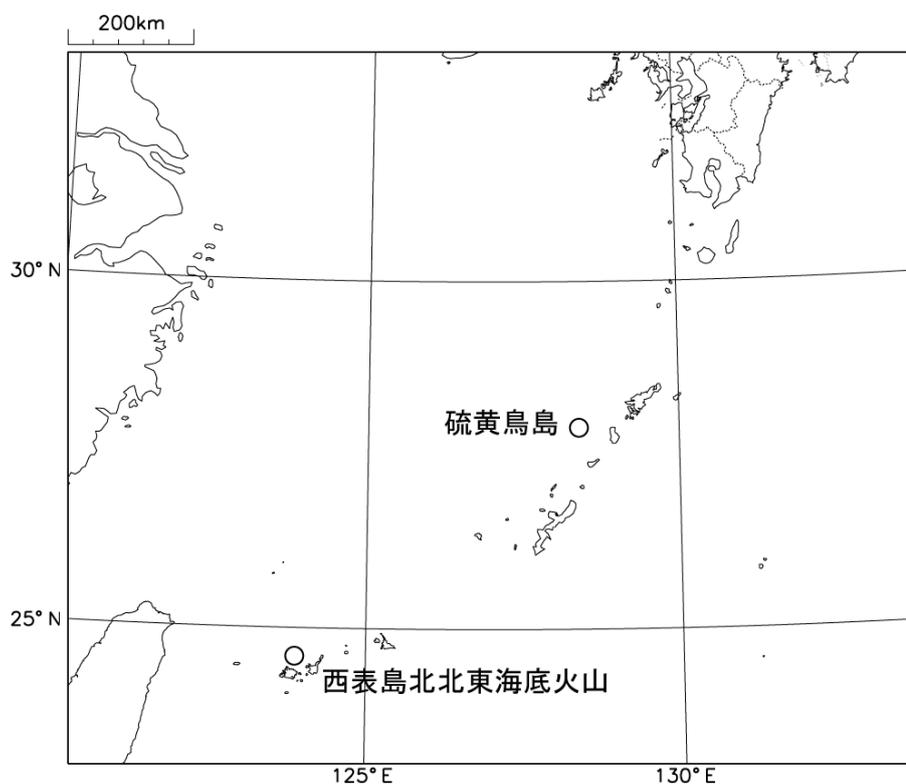
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（6月30日現在）

硫黄島 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山 [噴火予報（活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

表 令和元年6月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第44号～52号	3日、7日、10日 16時00分 11日 14時00分 14日 16時00分 17日 16時10分 21日、24日、28日 16時00分	11日に観測された山体の膨張と考えられるわずかな地殻変動と南岳山頂火口の状況。噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	11日 14時40分	噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予想。
		降灰予報（詳細）	11日 14時57分 15時35分 17時00分	噴火発生から6時間先までに予想される降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
草津白根山 (白根山(湯釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第53号～60号	3日、7日、10日、 14日、17日、21日、 24日、28日 16時00分	火山性地震、地殻変動等火山活動の状況。
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第16号～23号	3日、7日、10日、 14日、17日、21日、 24日、28日 16時00分	火山性地震、地殻変動、噴気等火山活動の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第67号～74号	3日、7日、10日、 14日、17日、21日、 24日、28日 16時00分	火山性地震・微動、地殻変動等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、入山規制)	解説情報 第61号～63号	3日、7日、10日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	12日 11時00分	火山活動はやや低下した状態で推移しており、新岳火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、12日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引下げ。噴煙、火山性地震等火山活動の状況。現地調査による火山ガス等の状況。
		火山活動解説資料	12日 11時00分	
解説情報 第64号～68号	14日、17日、21日 16時00分 24日 16時10分 28日 16時00分			
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第23号～26号	7日、14日、21日、 28日 16時00分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。

令和元年 6 月 地震・火山月報（防災編）

吾妻山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 45 号～48 号	3 日、7 日、10 日、 14 日 16 時 00 分	火山性地震・微動、地殻変動等火山活動 の状況。 現地調査による熱活動等の状況。
	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	噴火予報	17 日 11 時 00 分	大穴火口から概ね 1.5km の範囲に影響を 及ぼす噴火の可能性は低くなったものと 判断し、17 日に噴火予報を発表し、噴火 警戒レベルを 1（活火山であることに留 意）に引下げ。 火山性地震・微動、地殻変動等火山活動 の状況。 現地調査による熱活動等の状況。
火山活動解説資料		17 日 11 時 00 分		
御嶽山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	火山活動解説資料	21 日 14 時 00 分	13 日に実施した機動観測による噴気孔の 状況等。
		解説情報第 1 号	21 日 14 時 00 分	
霧島山	噴火予報 (活火山であるこ とに留意)	解説情報第 1 号	25 日 11 時 10 分	大浪池付近の地震の状況

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。草津白根山（白根山（湯釜付近））、阿蘇山、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。吾妻山においては、17 日 8 時まで毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表していた。

● 世界の主な地震

令和元年（2019年）6月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

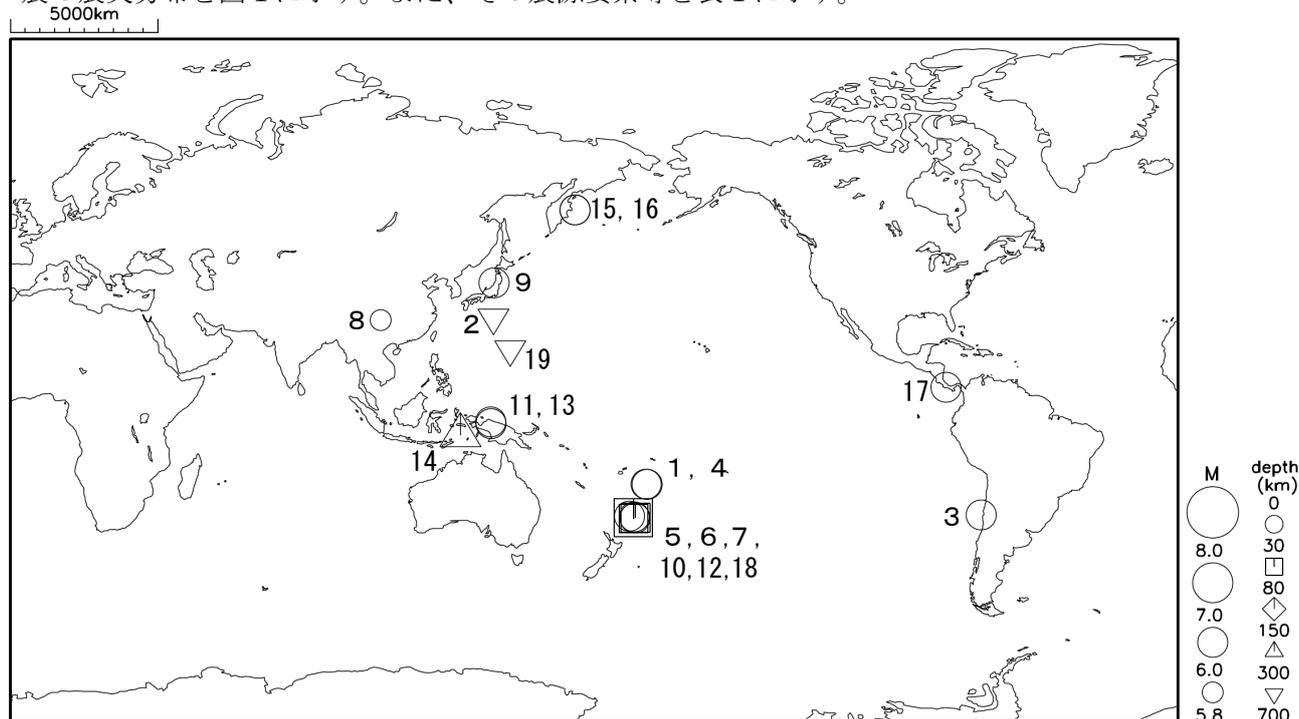


図1 令和元年（2019年）6月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布

表1 令和元年（2019年）6月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	06月02日19時36分	S21° 12.5′	W173° 54.4′	10			6.0	トンガ諸島			
2	06月04日13時39分	N29° 03.7′	E139° 17.5′	445		6.2	(6.4)	鳥島近海			
3	06月14日09時19分	S30° 03.3′	W 72° 04.9′	11			6.4	チリ中部沖			
4	06月16日06時56分	S21° 10.8′	W174° 10.1′	13			6.1	トンガ諸島			
5	06月16日07時55分	S30° 48.3′	W178° 05.6′	34			(7.3)	ケルマデック諸島			○
6	06月16日14時17分	S31° 03.6′	W178° 01.3′	35			6.3	ケルマデック諸島			
7	06月17日15時02分	S30° 56.2′	W177° 35.8′	16			6.0	ケルマデック諸島			
8	06月17日23時55分	N28° 24.0′	E104° 55.7′	10			5.8	中国四川省	死者13人など		
9	06月18日22時22分	N38° 38.1′	E139° 28.5′	14		6.7	(6.5)	山形県沖	負傷者41人など		
10	06月19日16時01分	S30° 36.0′	W177° 47.2′	10			6.4	ケルマデック諸島			
11	06月20日02時24分	S 2° 14.6′	E138° 25.6′	10			6.3	インドネシア、イリアンジャヤ			
12	06月21日17時37分	S30° 48.8′	W177° 25.1′	35			6.2	ケルマデック諸島			
13	06月24日10時05分	S 2° 47.4′	E138° 32.8′	28			6.1	インドネシア、イリアンジャヤ			
14	06月24日11時53分	S 6° 23.3′	E129° 13.2′	208			(7.2)	バンダ海			○
15	06月25日18時05分	N56° 12.4′	E164° 11.0′	10			6.3	ロシア、コマンドル諸島		○	
16	06月26日11時18分	N56° 11.6′	E164° 08.0′	10			6.4	ロシア、コマンドル諸島			
17	06月26日14時23分	N 8° 26.9′	W 82° 46.0′	26			6.2	パナマーコスタリカ国境			
18	06月27日20時04分	S30° 23.1′	W179° 13.9′	10			6.3	ケルマデック諸島			
19	06月29日00時51分	N19° 53.1′	E144° 24.3′	410			6.4	マリアナ諸島		○	

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2019年6月30日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mjの欄に記載したマグニチュード、Mwの欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものはOCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間=協定世界時+9時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」 (<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁によるCMT解のセントロイドの深さを表す。

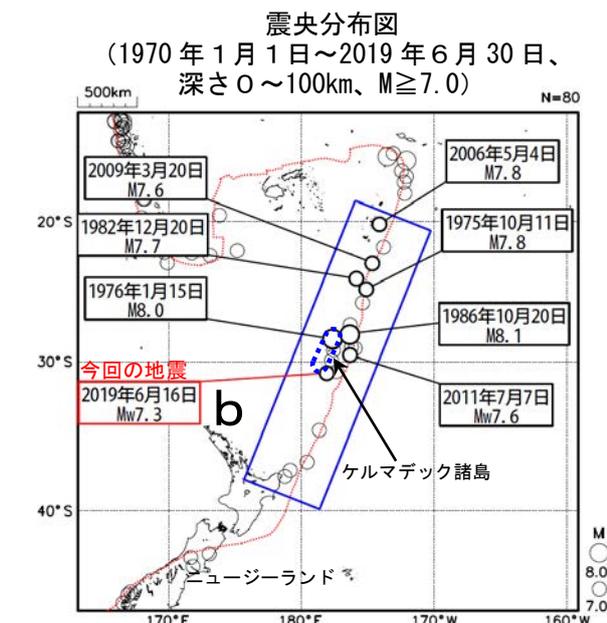
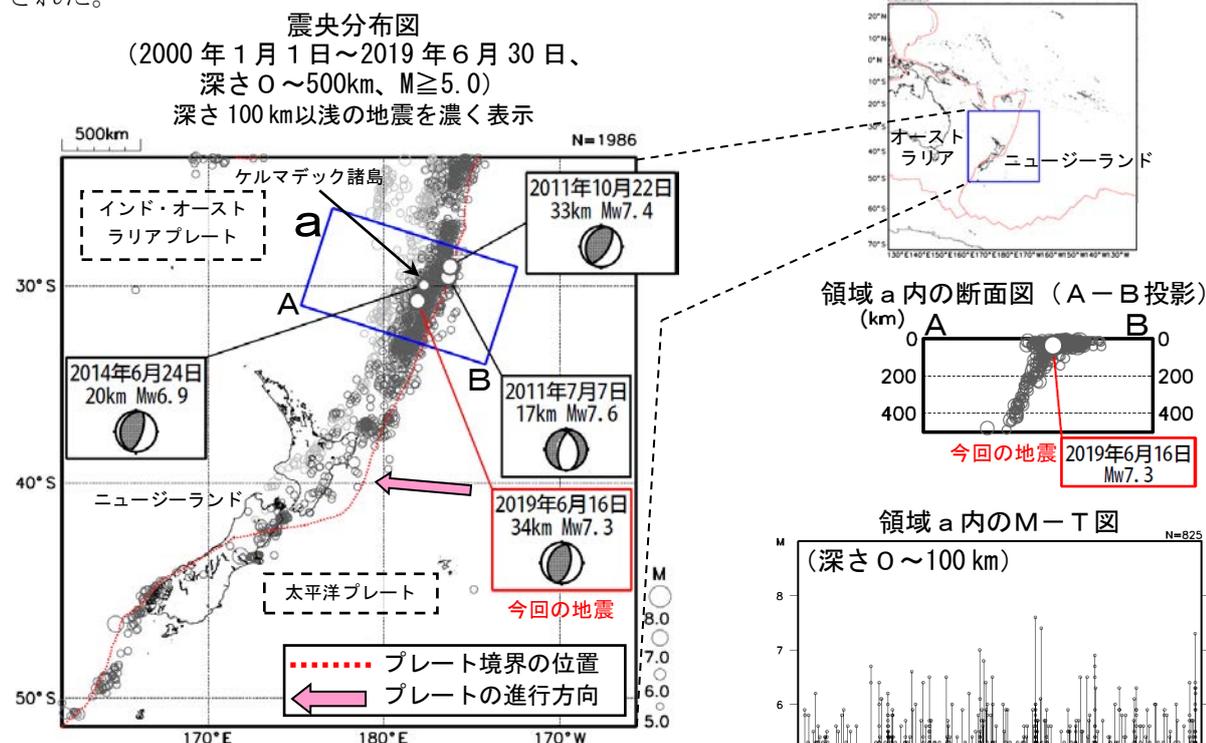
6月16日 ケルマデック諸島の地震

2019年6月16日07時55分（日本時間、以下同じ）に、ケルマデック諸島の深さ34kmでMw7.3の地震が発生した。この地震は、発震機構（気象庁によるCMT解）が、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込む太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近で発生した。

気象庁は、この地震により、同日08時20分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による日本への津波の影響はありません。」）を発表した。

この地震により、ケルマデック諸島のラウル島で14cmなどの津波を観測した。

1970年以降の地震活動を見ると、領域b内のケルマデック諸島周辺では、M7.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、今回の地震の震央付近では1986年10月20日にM8.1の地震が発生した。また、2011年7月7日にMw7.6の地震が発生し、ケルマデック諸島のラウル島で1.2mの津波が観測された。



※本資料中、今回の地震、2011年7月7日の地震、2011年10月22日、2014年6月24日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による。海外の津波観測施設の観測値は米国海洋大気庁 (NOAA) による (6月30日現在)。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。

*参考文献

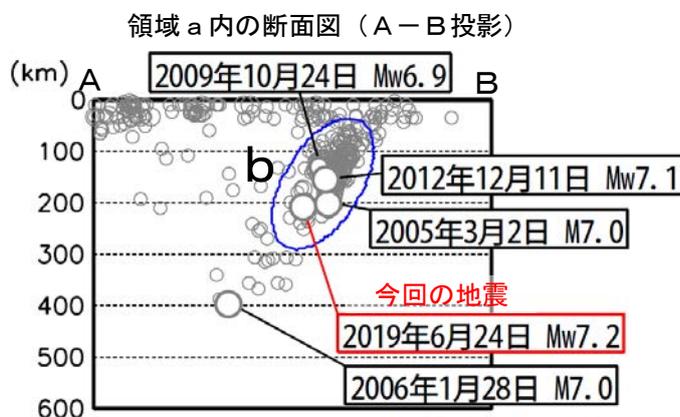
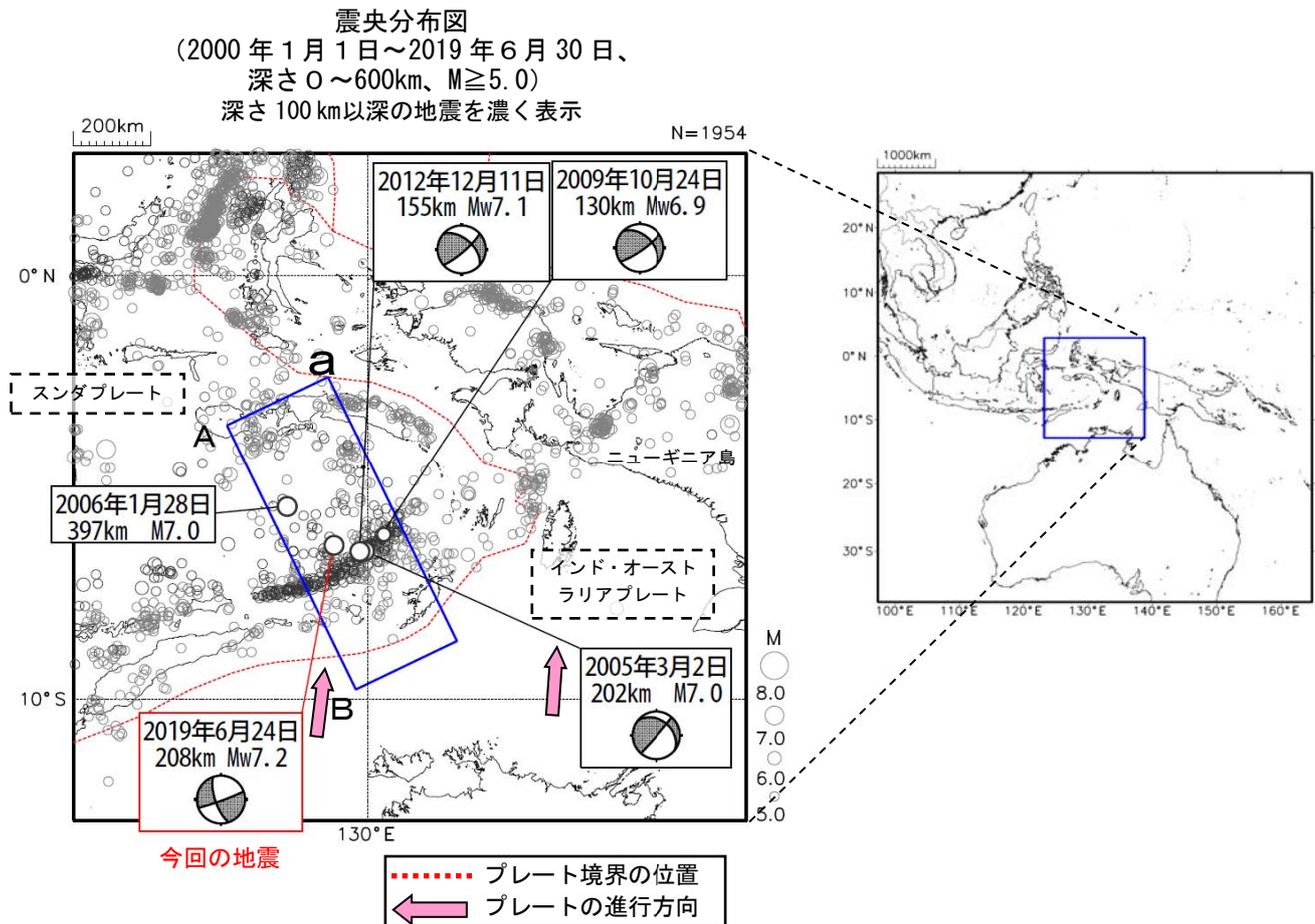
Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

6月24日 バンダ海の地震

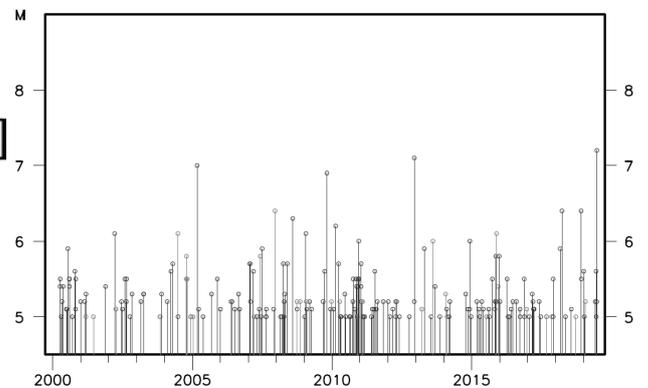
2019年6月24日11時54分（日本時間、以下同じ）に、バンダ海の深さ208kmでMw7.2の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、北北東-南南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

気象庁は、この地震により、同日12時12分に遠地地震に関する情報（日本国内向け、「この地震による津波の心配はありません。」）を発表した。

2000年以降の地震活動を見ると、領域b内では、M7.0以上の地震が時々発生している。



領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震、2009年10月24日の地震、2012年12月11日の地震の発震機構とMwは気象庁、その他の地震の発震機構はGlobal CMTによる。また、その他の震源要素は、米国地質調査所 (USGS) による。プレート境界の位置と進行方向はBird (2003) *より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和元年（2019年）6月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図 令和元年（2019年）6月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 特集 2019年6月18日 山形県沖の地震

（1）概要

2019年6月18日22時22分に山形県沖の深さ14kmでM6.7の地震が発生し、新潟県村上市で震度6強、山形県鶴岡市で震度6弱を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度5強～1を観測した。また、山形県庄内で長周期地震動階級3を観測したほか、東北地方、新潟県と関東地方の一部で長周期地震動階級2～1を観測した。気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から7.3秒後の22時22分31.5秒と、9.0秒後の22時22分33.2秒に緊急地震速報（警報）を発表した（図1-1）。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

気象庁はこの地震に伴い、同日22時24分に山形県、新潟県、石川県の一部に津波注意報を発表した。この地震により、山形県の鶴岡市鼠ヶ関で11cm、秋田県の秋田、新潟県の新潟、石川県の輪島港でそれぞれ8cmの津波を観測するなど、秋田県、山形県、新潟県、石川県で津波を観測した。

この地震により、負傷者41人、住家半壊33棟、一部破損755棟の被害が生じた（表1-1、令和元年7月1日11時00分現在、総務省消防庁による）。

新潟地方气象台、山形地方气象台及び仙台管区气象台は、震度5強以上を観測した震度観測点及びその周辺を中心に気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、震度観測点の観測環境調査と周辺の被害調査を実施した。その結果、震度観測点の観測環境が地震によって変化していないこと、及び周辺の被害や揺れの状況が気象庁震度階級関連解説表と整合していることを確認した。

この地震の発生後、北東－南西方向に長さ約20kmの領域で、地震活動が本震－余震型で推移している。震度1以上の最大震度別地震回数表を表1-2に示す。

表1-1 2019年6月18日の山形県沖の地震による被害状況
（2019年7月1日11時00分現在、総務省消防庁による）

都道府県名	人的被害		住家被害	
	負傷者		半壊 棟	一部 破損 棟
	重傷 人	軽傷 人		
宮城県		5		
秋田県	1	1		1
山形県	3	24	10	195
新潟県	3	3	23	559
石川県	1			
合計	8	33	33	755

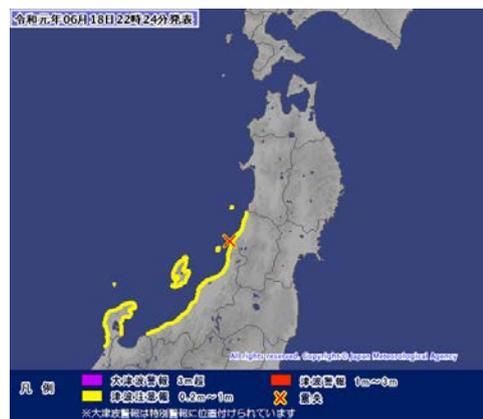


図1-1 6月18日の山形県沖の地震に対して発表した津波注意報

表1-2 震度1以上の最大震度別地震回数表（2019年6月18日22時～6月30日）

期間	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
6/18 22時-24時	13	3	3	0	0	0	0	1	0	20	20	
6/19 00時-24時	9	4	0	1	0	0	0	0	0	14	34	
6/20 00時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	35	
6/21 00時-24時	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	37	
6/22 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	
6/23 00時-24時	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	39	
6/24 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
6/25 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
6/26 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
6/27 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
6/28 00時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40	
6/29 00時-24時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	41	
6/30 00時-24時	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41	
総数	27	8	4	1	0	0	0	1	0		41	

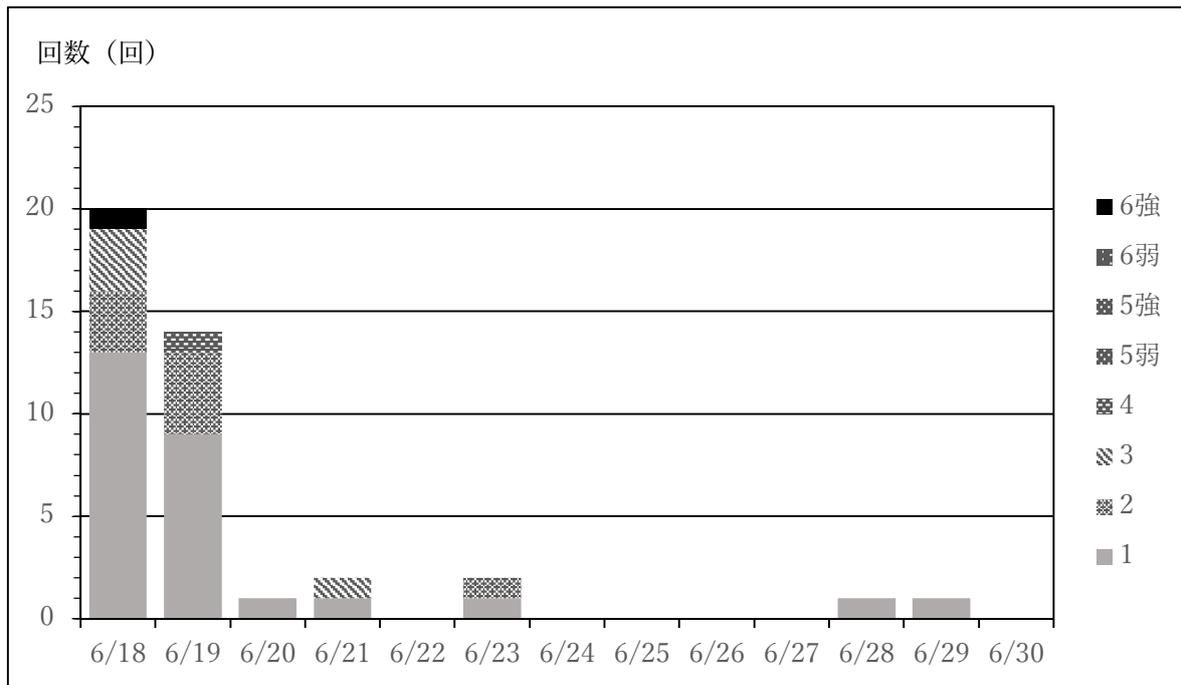


図1-2 震度1以上の日別地震回数グラフ (2019年6月18日22時～6月30日)

表1-3 緊急地震速報（警報）、地震情報、津波注意報、津波情報等の発表状況 (2019年6月18日22時～6月19日02時)

月 日	時刻	情報発表、報道発表等の状況	備考（主な内容等）
6月18日	22時22分	地震発生	山形県沖、M6.7、最大震度6強
	22時22分	緊急地震速報（警報）（第1報）	
		緊急地震速報（警報）（第2報）	
	22時24分	津波注意報	山形県、新潟県上中下越、佐渡、石川県能登に津波注意報を発表。
		津波予報（若干の海面変動）	
		震度速報	6月18日22時22分頃、新潟県下越で最大震度6強（1報目）
		震度速報	6月18日22時22分頃、新潟県下越で最大震度6強（2報目）
		津波情報（津波到達予想時刻・予想される津波の高さ）	
		津波情報（各地の満潮時刻・津波到達予想時刻）	
	22時25分	震度速報	6月18日22時22分頃、新潟県下越で最大震度6強（3報目）
	22時26分	地震情報（震源・震度に関する情報）	[6月18日22時22分頃の山形県沖の地震] 新潟県下越で最大震度6強
		地震情報（各地の震度に関する情報発表）	
23時07分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18日23時06分現在の値]	
23時43分	津波情報（津波観測に関する情報）	[18日23時42分現在の値]	
6月19日	00時16分	津波情報（津波観測に関する情報）	[19日00時15分現在の値]
	00時30分	報道発表（第1報） ^(注)	令和元年6月18日22時22分頃の山形県沖の地震について
	00時31分	地震情報（顕著な地震の震源要素更新のお知らせ）	[6月18日22時22分の山形県沖の地震]
	01時02分	津波注意報	山形県、新潟県上中下越、佐渡、石川県能登の津波注意報を解除
		津波予報（若干の海面変動）	
01時05分	津波情報（津波観測に関する情報）	[19日00時15分現在の値]（酒田（山形県）、新潟（新潟県）、粟島（新潟県）、佐渡市鷺崎（新潟県）、輪島港（石川県））とりまとめの情報	

(注) 6月26日に報道発表（「令和元年6月18日22時22分頃の山形県沖の地震について（第2報）」）を行った。

(2) 地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

2019年6月18日22時22分に山形県沖の深さ14kmでM6.7の地震（最大震度6強）が発生した。

この地震発生以降、北東-南西方向に長さ約20kmの領域で、地震活動が本震-余震型で推移している。最大規模の余震は、6月19日00時57分に発生したM4.2の地震（最大震度4）で、この地震を含めて6月30日までにM4.0以上の余震が4回発生している。

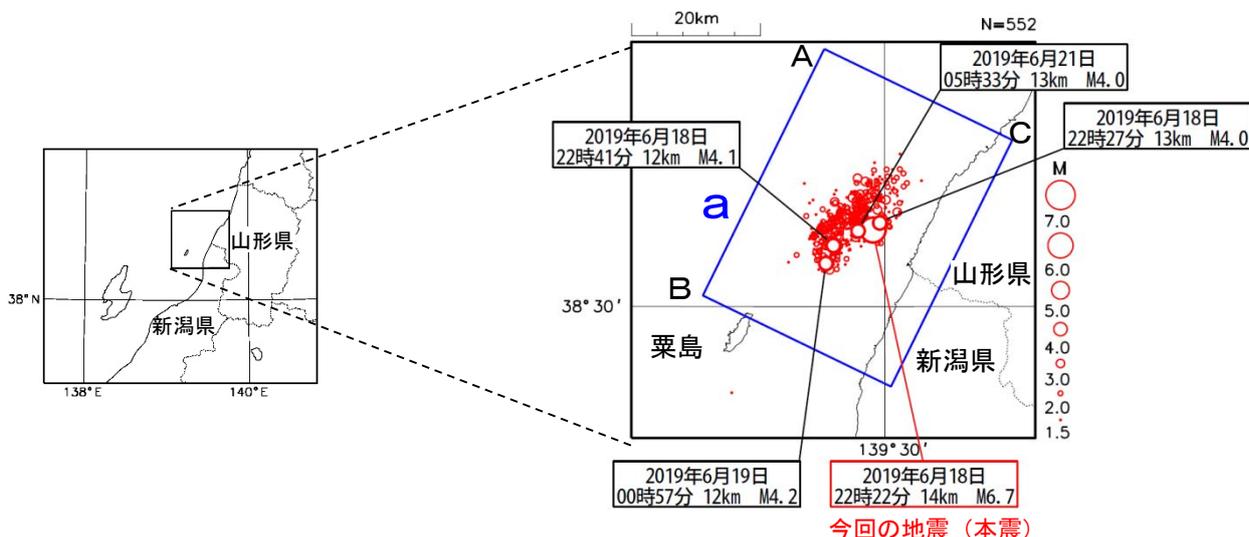


図2-1 震央分布図
(2019年6月18日~2019年6月30日、深さ0~30km、M \geq 1.5)

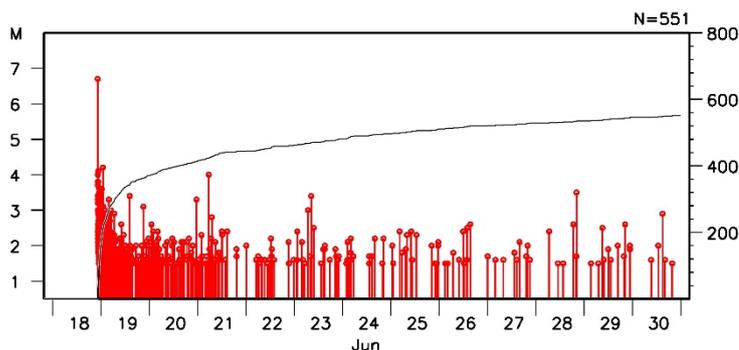


図2-2 領域a内のM-T図及び回数積算図

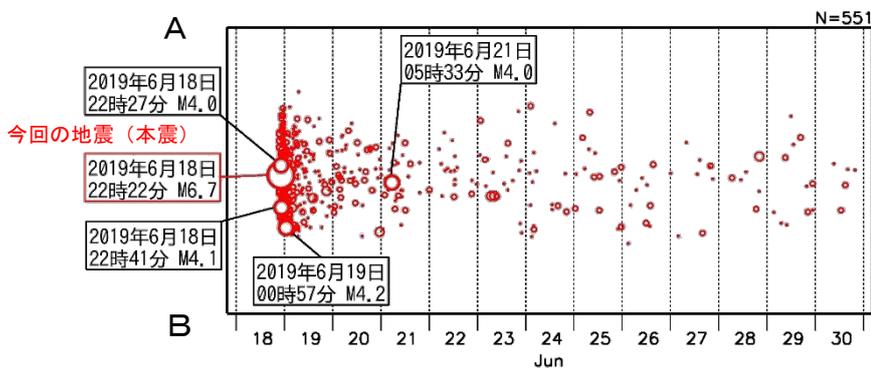


図2-3 領域a内の時空間分布図 (A-B投影)

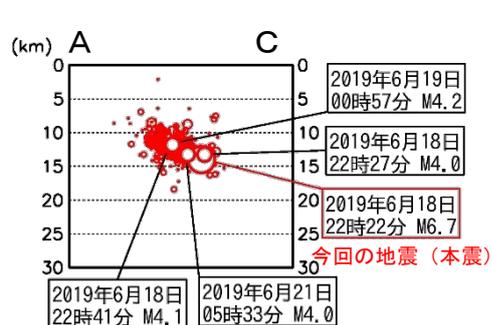


図2-4 領域a内の断面図 (A-C投影)

イ. 発震機構

1997年10月から2019年6月までに発生したM3.5以上の地震の発震機構を図2-5に示す。周辺で発生する地震は、発震機構が北西-南東方向あるいは西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型の地震が多い。今回の地震活動によるM3.5以上の地震の発震機構は、西北西-東南東方向あるいは北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの活動と調和的であった。

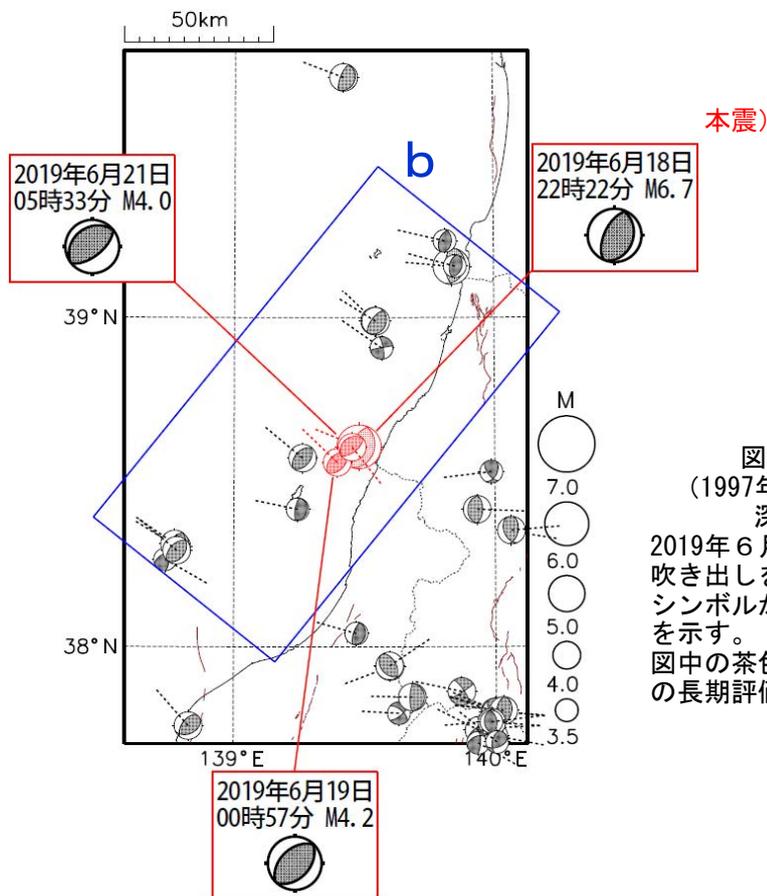


図2-5 発震機構分布図
 (1997年10月1日~2019年6月30日、
 深さ0~30km、 $M \geq 3.5$)
 2019年6月18日以降の地震を赤く示し、
 吹き出しを付けた。
 シンボルから伸びる点線は圧力軸の方向
 を示す。
 図中の茶色の細線は地震調査研究推進本部
 の長期評価による活断層を示す。

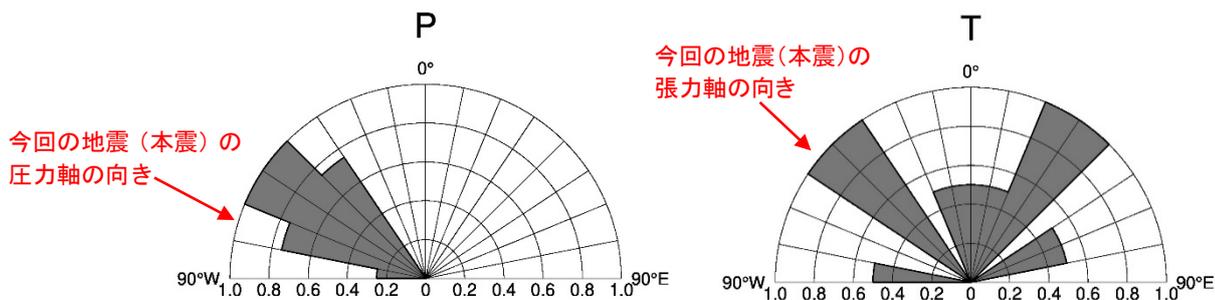


図2-6 領域b内の発震機構の圧力軸（左）と張力軸（右）の方位分布
 最も個数の多い方位を1として、方位別の割合を表している。

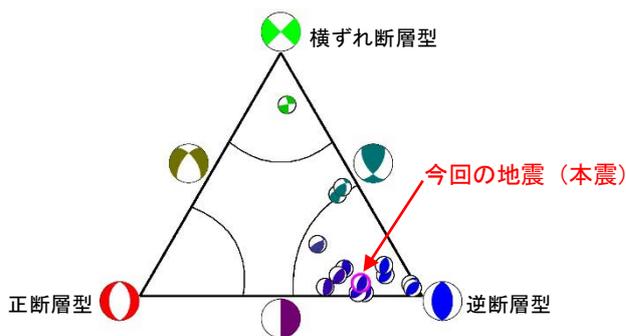


図2-7 領域b内の発震機構の型の分布

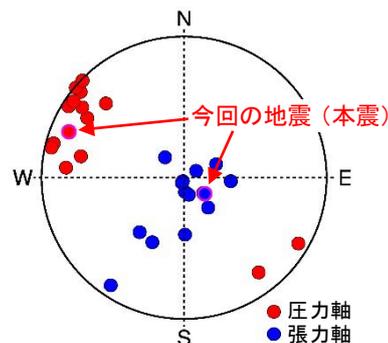


図2-8 領域b内の発震機構の
 圧力軸と張力軸の分布

ウ. 震源過程解析

・近地強震波形による震源過程解析

2019年6月18日22時22分に山形県沖で発生した地震（M6.7）について、国立研究開発法人防災科学技術研究所の強震観測網（K-NET、KiK-net）及び気象庁震度計の近地強震波形を用いた震源過程解析を行った。

破壊開始点は、気象庁による震源の位置（38° 36.5′ N、139° 28.8′ E、深さ 14km）とした。断層面は気象庁 CMT 解の2枚の節面のうち、東南東傾斜の面（走向 26°、傾斜 27°）を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は 3.0km/s とした。理論波形の計算には、Koketsu et al. (2012)の結果から設定した地下構造モデルを用いた。主な結果は以下のとおり。

- ・主なすべり域の大きさは走向方向に約 10km、傾斜方向に約 10km であった。
- ・主なすべりは破壊開始点から北西に広がり、最大すべり量は 1.5m であった（周辺の構造から剛性率を 30GPa として計算）。
- ・主な破壊継続時間は約 10 秒であった。
- ・モーメントマグニチュードは 6.4 であった。

結果の見方は、https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/sourceprocess/about_srcproc.html を参照。

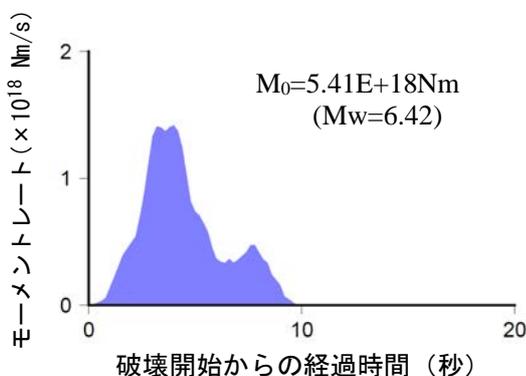
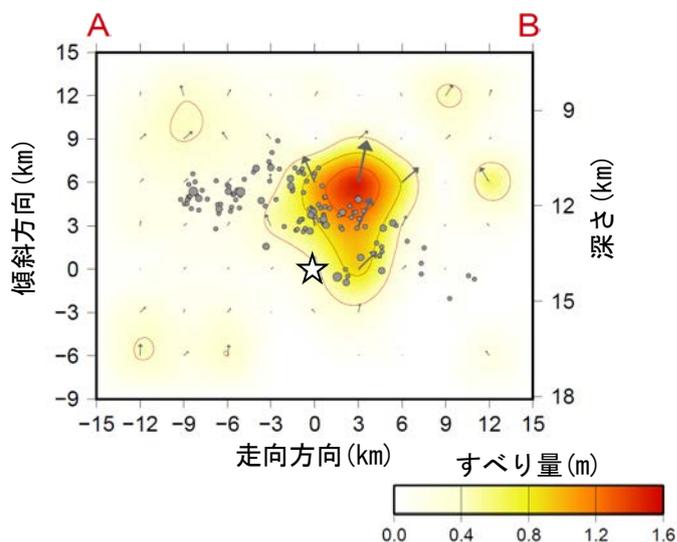
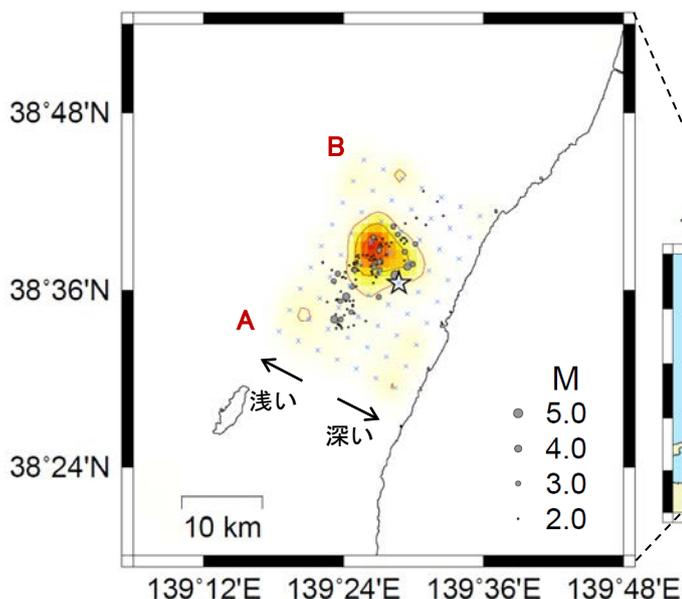


図 2-9 震源時間関数



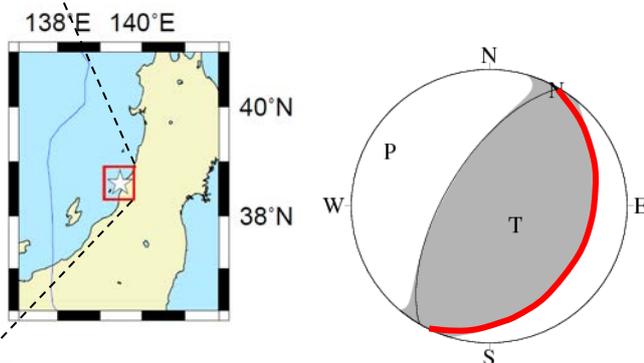
星印は破壊開始点、矢印は下盤側に対する上盤側の動きを表す。灰色丸はこの地震発生後1日以内の波形相関 DD 法による地震（M2.0 以上）を示す。

図 2-10 断層面上でのすべり量分布



星印は破壊開始点を示す。灰色丸はこの地震発生後1日以内の波形相関 DD 法による地震（M2.0 以上）の震央を示す。

図 2-11 地図上に投影したすべり量分布



断層面の設定に用いた節面（走向 26°、傾斜 27°、すべり角 86°）を震源球（気象庁 CMT 解）上に赤線で示す。

図 2-12 解析に用いた断層パラメータ

今回の解析の結果は暫定であり、今後更新することがある。

・遠地実体波による震源過程解析

2019年6月18日22時22分に山形県沖で発生した地震について、米国大学間地震学研究連合(IRIS)のデータ管理センター(DMC)より広帯域地震波形記録を取得し、遠地実体波を用いた震源過程解析(注1)を行った。

破壊開始点は、気象庁による震源の位置(38°36.4′S、139°28.7′E、深さ14km)とした。断層面は、気象庁CMT解の2枚の節面のうち、東南東傾斜の節面(走向26°、傾斜27°、すべり角86°)を仮定して解析した。最大破壊伝播速度は3.0km/sとした。理論波形の計算にはCRUST2.0(Bassin et al., 2000)およびIASP91(Kennett and Engdahl, 1991)の地下構造モデルを用いた。

主な結果は以下のとおり。

- ・主な破壊領域は走向方向に約10km、傾斜方向に約10kmであった。
- ・主なすべりは破壊開始点から西方向に広がり、最大すべり量は1.9mであった(周辺の構造から剛性率を30GPaとして計算)。
- ・主な破壊継続時間は約8秒であった。
- ・モーメントマグニチュード(Mw)は6.5であった。

結果の見方は、https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/world/about_srcproc.htmlを参照。

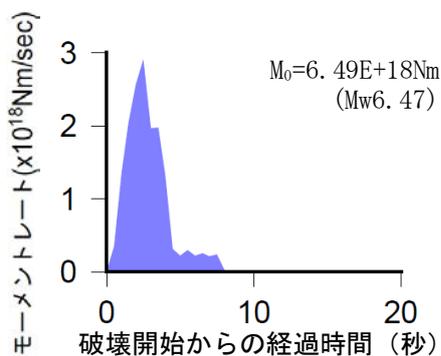
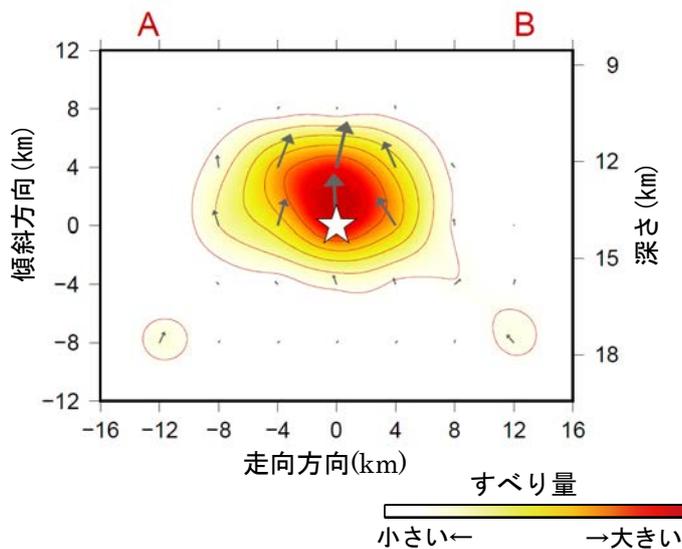
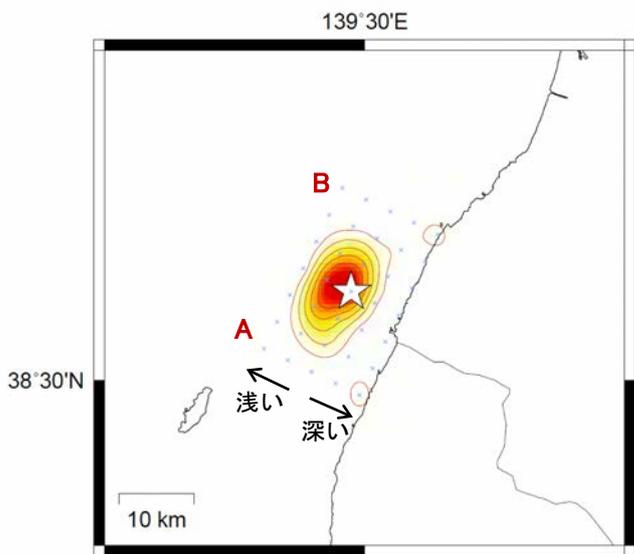


図2-15 震源時間関数



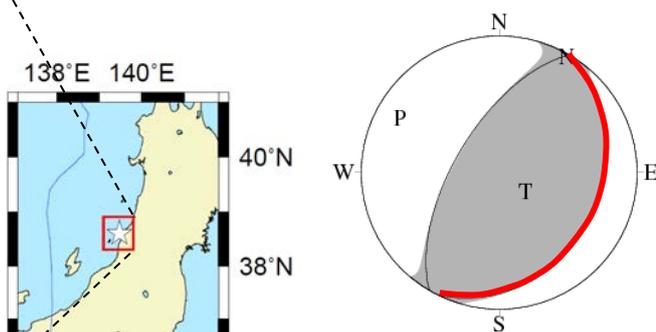
星印は破壊開始点、矢印は下盤側に対する上盤側の動きを表す。

図2-16 断層面上でのすべり量分布



星印は破壊開始点を示す。

図2-17 地図上での位置関係



断層面の設定に用いた節面(走向26°、傾斜27°、すべり角86°)を震源(気象庁CMT解)上に赤線で示す。

図2-18 解析に用いた断層パラメータ

(注1) 解析に使用したプログラム

M. Kikuchi and H. Kanamori, Note on Teleseismic Body-Wave Inversion Program,
<http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/ETAL/KIKUCHI/>

今回の解析の結果は暫定であり、今後更新することがある。

エ. 過去の地震活動

1885年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0以上の地震が時々発生している。このうち1964年6月16日に発生した「新潟地震」（M7.5、最大震度5）では、死者26人、負傷者447人、住家全壊1,960棟、半壊6,640棟、一部破損67,825棟の被害が生じた。また、この地震により津波が発生し、新潟県の直江津で280cm（最大全振幅）などを観測した（気象庁(1965)による）。この他にも、1833年12月7日に庄内沖で津波を伴う地震（M7¹/₂）が発生し、死者約150人などの被害が生じた。（被害は「日本被害地震総覧」による。）

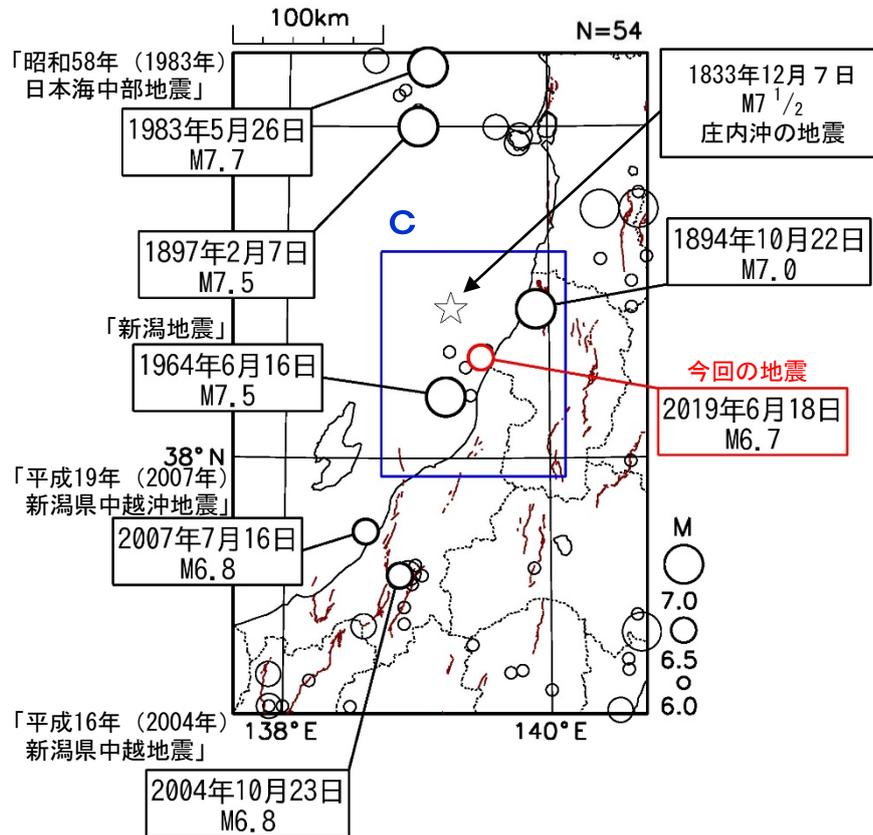


図2-21 震央分布図

(1885年1月1日～2019年6月30日、深さ0～60km、M≥6.0)

震央分布中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す。震源要素は、1833年の庄内沖の地震は国立天文台編（2018）、1885年～1921年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による。

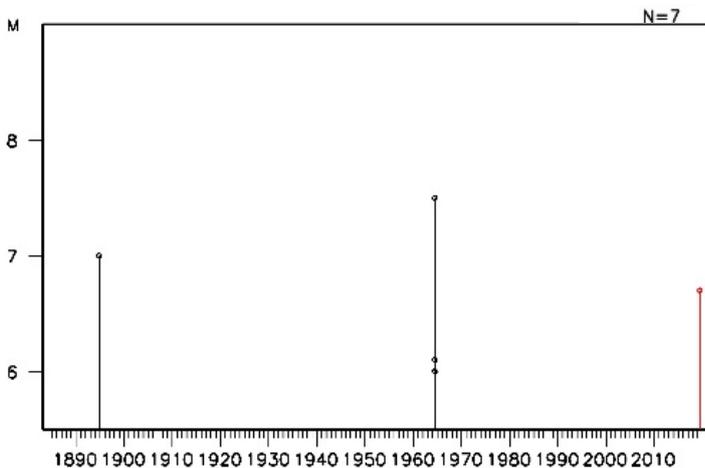


図2-22 領域c内のM-T図

出典

- 宇津徳治(1982)：日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，56，401-463.
- 宇津徳治(1985)：日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642.
- 茅野一郎・宇津徳治(2001)：日本の主な地震の表，「地震の事典」第2版，朝倉書店，657pp.
- 気象庁(1965)：昭和39年6月16日新潟地震調査報告，気象庁技術報告，第43号，28-36.
- 国立天文台編(2018)：理科年表2019，丸善出版.

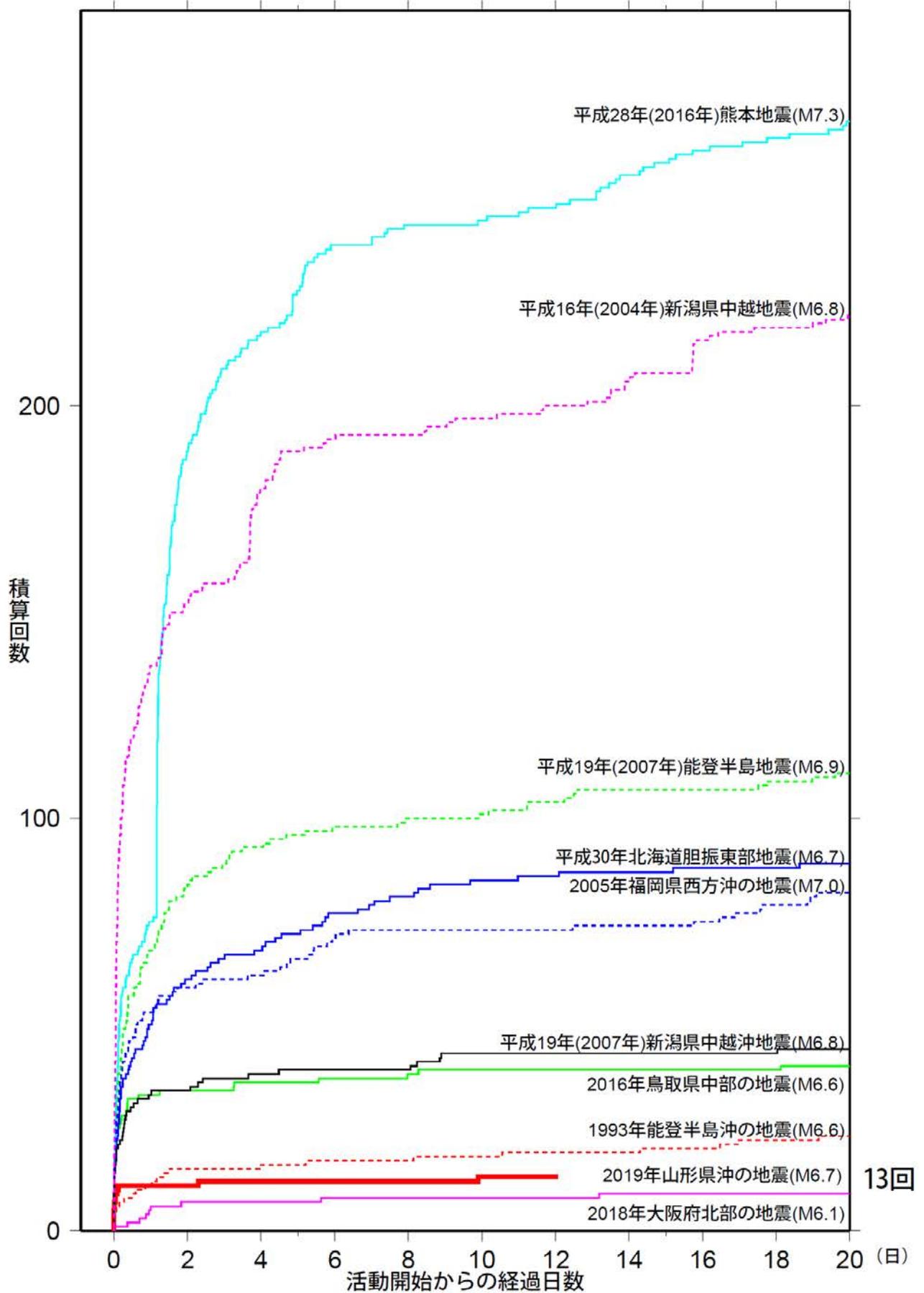


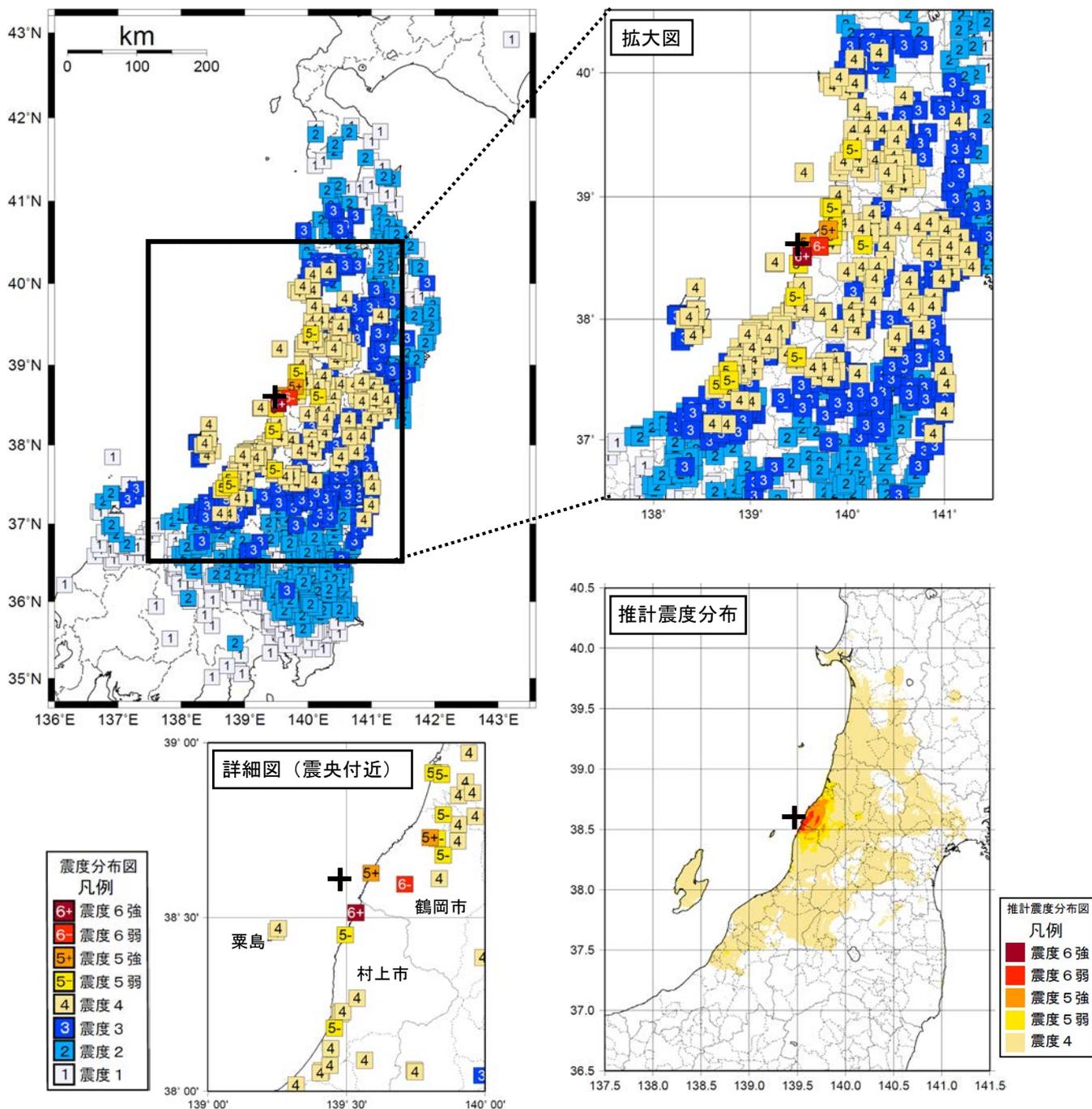
図2-23 内陸及び沿岸で発生した主な地震の回数比較 (M ≥ 3.5、2019年6月30日現在)
 マグニチュードは最大のものを示す。
 資料は速報値を含むため、後日の調査で変更される場合がある。

（3）震度と加速度

2019年6月18日22時22分に発生した地震（M6.7：本震）により震央付近の新潟県村上市府屋で最大震度6強、山形県鶴岡市温海川で震度6弱の揺れを観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度5強～1を観測した。また、この地震の発生後、6月30日までに最大震度4以上を観測した余震の回数は、19日00時57分に発生した新潟県下越沖の地震（M4.2、最大震度4）の1回であった。

ア. 6月18日22時22分に発生した地震（M6.7：本震）の震度と加速度

震度分布図を図3-1に、この地震により震度5弱以上を観測した震度観測点の計測震度及び最大加速度を表3-1に示す。



<推計震度分布図について>
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合と形状に着目して利用されたい。
なお、この推計震度分布図は震度の精査後に再作成したものであり、地震発生直後に発表したものと一部異なる。

図3-1 2019年6月18日22時22分 山形県沖の地震（M6.7、深さ14km、最大震度6強）の震度分布図及び推計震度分布図（+印は震央を表す。）

地震発生直後に発表した震度データに加え、その後入手した震度データも用いて作成。
今回の地震の発生直後に、新潟県下越沖で22時24分、22時25分に地震が発生している（地震の規模はそれぞれM3.7、M3.8）が、これらの地震の揺れも含まれた震度である。

表3-1 令和元年6月18日22時22分 山形県沖の地震の計測震度および最大加速度（震度5弱以上）

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度 (gal = cm/s/s)			震央距離 (km)	
					合成	南北成分	東西成分		
新潟県	村上市	村上市府屋*	6強	6.1	1191.3	714.7	1184.6	362.2	11.9
山形県	鶴岡市	鶴岡市温海川	6弱	5.8	750.3	461.3	675.3	298.7	20.4
山形県	鶴岡市	鶴岡市道田町*	5強	5.3	269.8	180.5	218.4	108.6	31.2
山形県	鶴岡市	鶴岡市温海*	5強	5.2	653.4	633.4	570.6	213.9	10.0
山形県	酒田市	酒田市亀ヶ崎	5弱	4.9	172.5	168.8	137.2	55.8	45.9
新潟県	村上市	村上市寒川*	5弱	4.8	250.5	233.4	212.3	153.8	18.0
山形県	三川町	三川町横山*	5弱	4.7	157.7	138.2	154.9	69.4	38.3
新潟県	長岡市	長岡市上岩井*	5弱	4.7	165.1	157.5	87.0	47.3	138.3
新潟県	村上市	村上市岩船駅前*	5弱	4.7	93.8	90.6	84.1	39.4	47.6
山形県	鶴岡市	鶴岡市馬場町	5弱	4.6	143.4	92.0	130.4	82.9	33.1
山形県	鶴岡市	鶴岡市上山添*	5弱	4.6	226.4	166.4	203.5	105.6	33.2
山形県	大蔵村	大蔵村肘折*	5弱	4.6	331.8	214.9	330.7	164.7	59.6
新潟県	柏崎市	柏崎市西山町池浦*	5弱	4.6	132.8	126.6	106.3	23.8	146.6
秋田県	由利本荘市	由利本荘市桜小路*	5弱	4.5	135.6	91.9	131.1	31.3	99.2
山形県	酒田市	酒田市宮野浦*	5弱	4.5	102.0	88.9	96.8	39.7	44.6
新潟県	長岡市	長岡市小島谷*	5弱	4.5	90.6	77.3	77.6	22.6	130.7
新潟県	阿賀町	阿賀町鹿瀬中学校*	5弱	4.5	201.2	180.1	159.0	45.9	102.8

観測点名の*印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。

イ. 最大震度4以上の余震の震度分布

今回の余震活動の内、最大震度4以上を観測した地震の震度分布図を図3-2に示す。

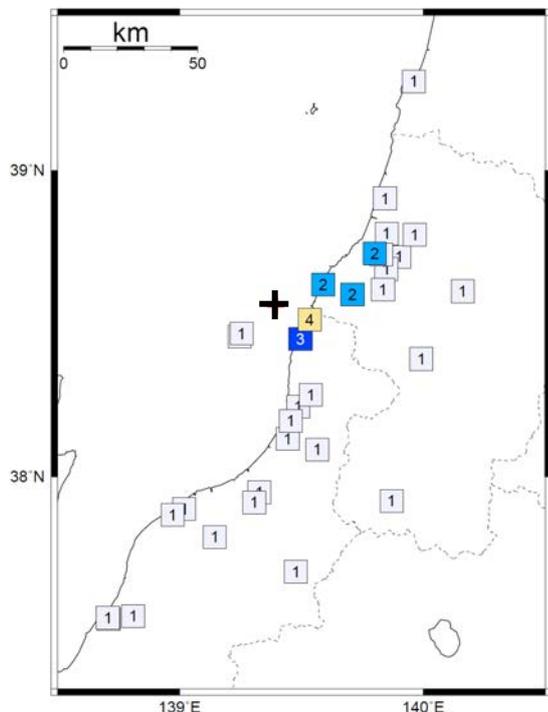
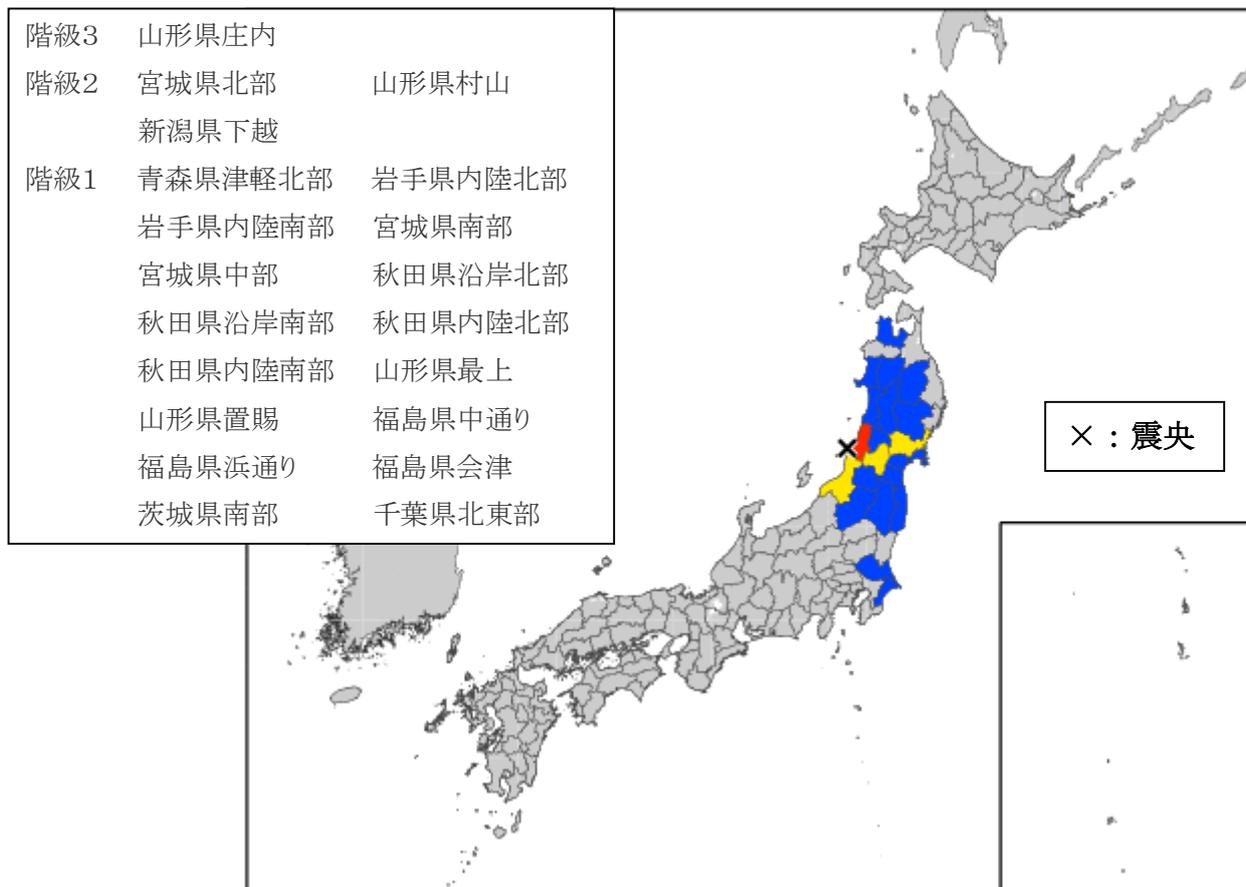


図3-2 19日00時57分 新潟県下越沖の地震 (M4.2、深さ12km、最大震度4) の震度分布図 (+印は震央を表す。凡例は図3-1と同様。)

（4）長周期地震動

ア. 観測した長周期地震動階級

6月18日22時22分（M6.7）山形県沖の地震により、山形県庄内で長周期地震動階級3を観測したほか、東北地方、新潟県と関東地方の一部で長周期地震動階級2～1を観測した。



長周期地震動階級の凡例： ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

図4-1 長周期地震動階級1以上を観測した地域

表4-1 長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※長周期地震動階級に関する詳細は地震・火山月報（防災編）平成30年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

表 4 - 2 長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・地点

2019 年 6 月 18 日 22 時 22 分 山形県沖 北緯 38 度 36.4 分 東経 139 度 28.7 分 深さ 14km M6.7			
長周期地震動階級 3			
都道府県	地域	地点	震度
山形県	山形県庄内	酒田市亀ヶ崎	5 弱
長周期地震動階級 2			
宮城県	宮城県北部	大崎市古川大崎	4
山形県	山形県庄内	鶴岡市馬場町	5 弱
山形県	山形県庄内	鶴岡市温海川	6 弱
山形県	山形県庄内	遊佐町遊佐	4
山形県	山形県庄内	遊佐町小原田	4
山形県	山形県村山	河北町谷地	4
新潟県	新潟県下越	新潟空港	4
新潟県	新潟県下越	新潟西蒲区役所	4
長周期地震動階級 1			
都道府県	地域	地点	震度
青森県	青森県津軽北部	青森市花園	2
岩手県	岩手県内陸北部	雫石町千刈田	3
岩手県	岩手県内陸北部	雫石町西根上駒木野	3
岩手県	岩手県内陸南部	北上市柳原町	3
岩手県	岩手県内陸南部	奥州市水沢大鐘町	3
宮城県	宮城県北部	涌谷町新町裏	4
宮城県	宮城県北部	登米市中田町	3
宮城県	宮城県北部	大崎市古川三日町	4
宮城県	宮城県南部	仙台空港	3
宮城県	宮城県中部	仙台宮城野区五輪	3
宮城県	宮城県中部	松島町高城	4
秋田県	秋田県沿岸北部	能代市緑町	3
秋田県	秋田県沿岸北部	男鹿市男鹿中	4
秋田県	秋田県沿岸北部	五城目町西磯ノ目	3
秋田県	秋田県沿岸南部	秋田市山王	4
秋田県	秋田県沿岸南部	秋田市雄和女米木	4
秋田県	秋田県沿岸南部	由利本荘市石脇	4
秋田県	秋田県内陸北部	北秋田市花園町	3
秋田県	秋田県内陸南部	横手市雄物川町今宿	4

表 4－2 長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・地点

2019 年 6 月 18 日 22 時 22 分 山形県沖 北緯 38 度 36.4 分 東経 139 度 28.7 分 深さ 14km M6.7			
長周期地震動階級 1（続き）			
秋田県	秋田県内陸南部	湯沢市沖鶴	4
秋田県	秋田県内陸南部	仙北市角館町東勝楽丁	3
山形県	山形県庄内	酒田市飛鳥	4
山形県	山形県最上	新庄市東谷地田町	4
山形県	山形県村山	山形市緑町	3
山形県	山形県置賜	米沢市駅前	3
山形県	山形県置賜	山形小国町岩井沢	4
福島県	福島県中通り	福島市松木町	3
福島県	福島県浜通り	いわき市小名浜	3
福島県	福島県浜通り	浪江町幾世橋	3
福島県	福島県浜通り	南相馬市原町区三島町	3
福島県	福島県会津	会津若松市材木町	3
福島県	福島県会津	猪苗代町城南	3
茨城県	茨城県南部	筑西市舟生	2
千葉県	千葉県北東部	山武市松尾町富士見台	1
新潟県	新潟県下越	村上市塩町	4
新潟県	新潟県下越	五泉市村松乙	3
新潟県	新潟県下越	粟島浦村笹畑	4
新潟県	新潟県下越	胎内市新和町	4
新潟県	新潟県下越	新潟中央区美咲町	4
新潟県	新潟県下越	新潟秋葉区程島	4

イ. 地震波形等

図 4-2～4 に長周期地震動階級 3 を観測した酒田市亀ケ崎、また、長周期地震動階級 2 を観測した観測点のうち、遊佐町遊佐、新潟西蒲区役所の各観測点における地震波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトルを示す。

酒田市亀ケ崎では周期 1 秒台で階級 3 を観測した（図 4-2）。階級 2 を観測した観測点では、周期 1～2 秒台で階級 2 となる観測点が多いなか、遊佐町遊佐では周期 4 秒台以外の周期帯で階級 2（図 4-3）、新潟西蒲区役所では周期 6～7 秒台で階級 2（図 4-4）となるなど、比較的長い周期で階級 2 を観測する地点もあった。また、震源から 250km 以上離れた茨城県や千葉県でも階級 1 を観測した（表 4-2）。

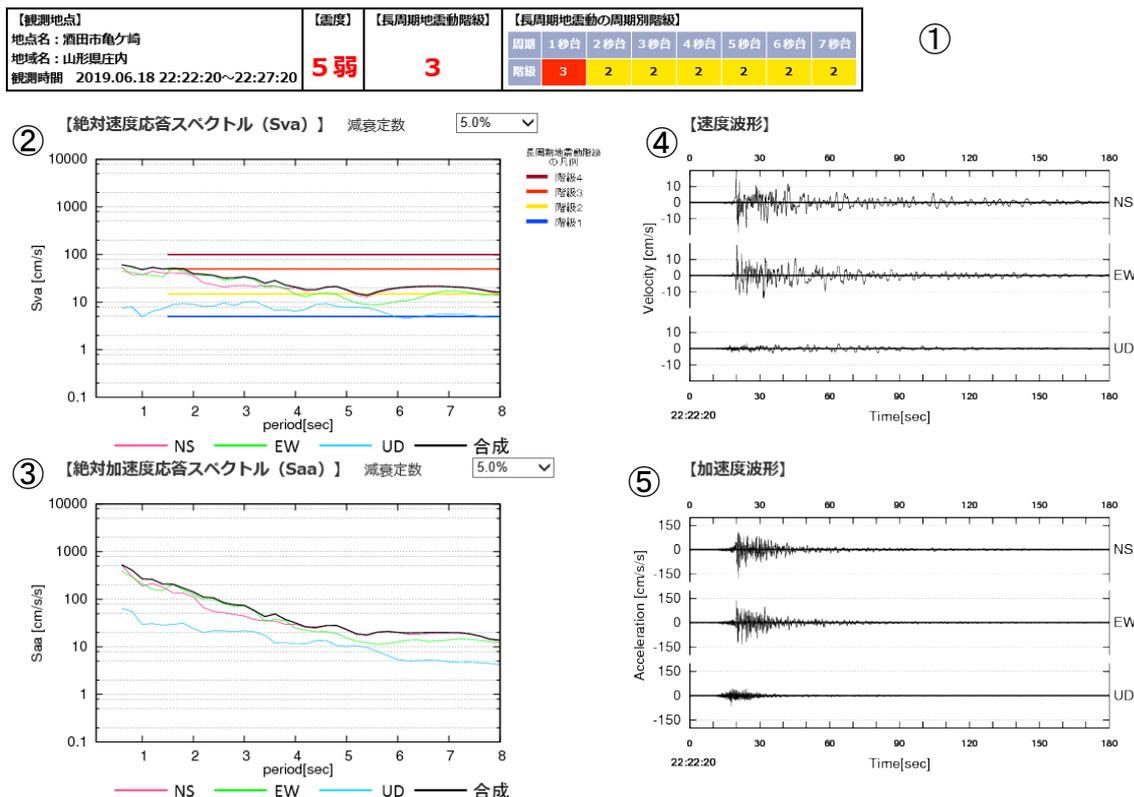


図 4-2 酒田市亀ケ崎で観測した波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトル
 （速度波形、加速度波形は 22 時 22 分 20 秒からの 3 分間を示している）

図 4-2～4 の説明

- ① 観測点名，地域名称，地震波形の観測時間，観測点における震度，観測点における長周期地震動階級，観測点における周期別階級（周期区分別の絶対速度応答スペクトルの最大値から長周期地震動階級を求めたもの）。周期区分は，周期 1.6 秒～周期 1.8 秒を 1 秒台，周期 2.0 秒～周期 2.8 秒を 2 秒台，周期 3.0 秒～周期 3.8 秒を 3 秒台，周期 4.0 秒～周期 4.8 秒を 4 秒台，周期 5.0 秒～周期 5.8 秒を 5 秒台，周期 6.0 秒～周期 6.8 秒を 6 秒台，周期 7.0 秒～周期 7.8 秒を 7 秒台と表示している。
- ② 絶対速度応答スペクトルグラフ。横軸は周期（秒），縦軸は速度応答値（単位は cm/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の 3 成分及び水平動合成（黒）について表示した。減衰定数 5% はビル設計に一般的に用いられている値である。
- ③ 絶対加速度応答スペクトルグラフ。横軸は周期（秒），縦軸は加速度応答値（単位は cm/sec/sec）で，NS（赤），EW（緑），UD（青）の 3 成分及び水平動合成（黒）について表示した。減衰定数 5% はビル設計に一般的に用いられている値である。
- ④ 速度波形表示。成分は，上から南北成分（NS），東西成分（EW），上下成分（UD）である。3 成分とも同じ縮尺で示す。
- ⑤ 加速度波形表示。表示は④と同じ。

【観測地点】 地点名：遊佐町遊佐 地域名：山形県庄内 観測時間 2019.06.18 22:22:20~22:27:20	【震度】 4	【長周期地震動階級】 2	【長周期地震動の周期別階級】							
			周期	1秒台	2秒台	3秒台	4秒台	5秒台	6秒台	7秒台
			階級	2	2	2	1	2	2	2

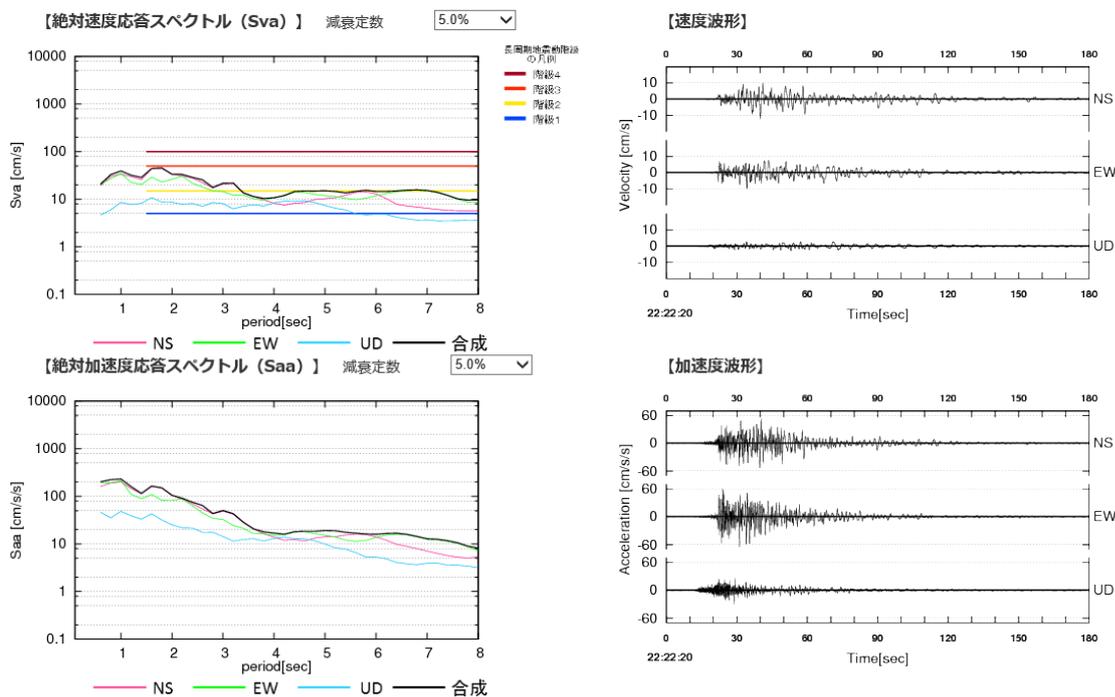


図 4-3 遊佐町遊佐で観測した波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトル
(速度波形、加速度波形は 22 時 22 分 20 秒からの 3 分間を示している)

【観測地点】 地点名：新潟西蒲区役所 地域名：新潟県下越 観測時間 2019.06.18 22:22:30~22:29:30	【震度】 4	【長周期地震動階級】 2	【長周期地震動の周期別階級】							
			周期	1秒台	2秒台	3秒台	4秒台	5秒台	6秒台	7秒台
			階級	1	1	1	1	1	2	2

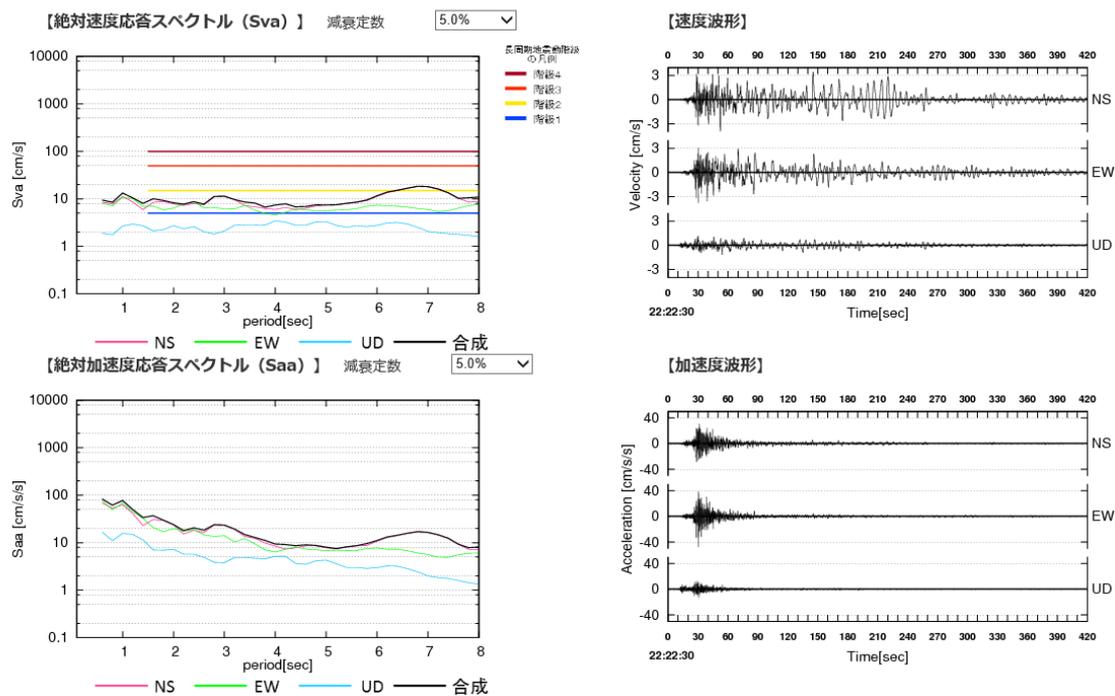


図 4-4 新潟西蒲区役所で観測した波形、絶対速度応答スペクトル及び絶対加速度応答スペクトル
(速度波形、加速度波形は 22 時 22 分 30 秒からの 7 分間を示している)

（5）緊急地震速報の内容

6月18日に発生した山形県沖の地震（M6.7）に対して発表した緊急地震速報について、その内容の詳細を以下の表及び図により示す。

表5-1 発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和元年06月18日22時22分19.9秒	山形県沖	38° 36.4′	139° 28.7′	14km	6.7	6強

表5-2 緊急地震速報の詳細（緊急地震速報（警報）は背景が灰色のときに発表）

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度
地震波検知時刻	22時22分24.2秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	22時22分29.4秒	5.2	山形県庄内地方	38.6	139.7	10km	6.1	予測震度なし
第2報	22時22分31.5秒	7.3	山形県庄内地方	38.6	139.7	10km	6.1	※1
第3報	22時22分32.2秒	8.0	山形県庄内地方	38.6	139.7	10km	6.1	※2
第4報	22時22分33.2秒	9.0	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※3
第5報	22時22分34.1秒	9.9	山形県庄内地方	38.6	139.6	10km	6.9	※4
第6報	22時22分34.5秒	10.3	山形県庄内地方	38.6	139.6	10km	6.9	※4
第7報	22時22分34.8秒	10.6	山形県庄内地方	38.6	139.6	10km	6.9	※5
第8報	22時22分35.1秒	10.9	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.6	※6
第9報	22時22分36.6秒	12.4	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.6	※6
第10報	22時22分37.2秒	13.0	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※7
第11報	22時22分43.4秒	19.2	新潟県下越沖	38.6	139.4	10km	6.9	※8
第12報	22時22分44.0秒	19.8	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※9
第13報	22時22分44.4秒	20.2	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※7
第14報	22時22分46.0秒	21.8	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※9
第15報	22時22分47.0秒	22.8	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※10
第16報	22時22分47.2秒	23.0	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※11
第17報	22時22分47.6秒	23.4	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※7
第18報	22時22分48.7秒	24.5	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※7
第19報	22時22分54.6秒	30.4	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※7
第20報	22時22分58.0秒	33.8	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※12
第21報	22時22分59.6秒	35.4	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※13
第22報	22時23分19.4秒	55.2	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※13
第23報	22時23分20.4秒	56.2	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※14
第24報	22時23分32.8秒	68.6	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.8	※14
第25報	22時23分33.0秒	68.8	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※15
第26報	22時23分53.3秒	89.1	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※15
第27報	22時24分13.1秒	108.9	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※15
第28報	22時24分33.1秒	128.9	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※15
第29報	22時24分46.0秒	141.8	山形県沖	38.6	139.5	10km	6.9	※15

- ※1 震度5弱程度以上 新潟県下越、山形県庄内
- ※2 震度6弱程度以上 山形県庄内
震度5強程度以上 新潟県下越
- ※3 震度6弱程度以上 山形県庄内
震度5強程度以上 新潟県下越
震度5弱程度以上 山形県村山
震度4程度以上 山形県最上、山形県置賜、秋田県沿岸南部、新潟県佐渡、宮城県南部、福島県会津、福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、新潟県中越、

岩手県内陸南部、福島県浜通り、宮城県中部、秋田県沿岸北部、
岩手県内陸北部、新潟県上越

- ※4 震度5強から6弱程度 山形県庄内、新潟県下越
震度5弱から5強程度 山形県村山
震度5弱程度 山形県最上
震度4から5弱程度 山形県置賜、秋田県沿岸南部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り
震度4程度 福島県会津、新潟県佐渡、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、
秋田県沿岸北部、福島県浜通り、新潟県中越、岩手県内陸北部、
新潟県上越、青森県三八上北

震度3から4程度 栃木県北部、石川県能登
- ※5 震度6強程度 山形県庄内
震度5強から6弱程度 新潟県下越
震度5弱から5強程度 山形県村山
震度5弱程度 山形県最上
震度4から5弱程度 山形県置賜、秋田県沿岸南部、宮城県中部、宮城県南部、福島県中通り
震度4程度 福島県会津、新潟県佐渡、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、
秋田県沿岸北部、福島県浜通り、新潟県中越、岩手県内陸北部、
新潟県上越、青森県三八上北

震度3から4程度 栃木県北部、石川県能登
- ※6 震度6強程度 山形県庄内
震度5強から6弱程度 新潟県下越
震度5弱程度 山形県最上
震度4から5弱程度 山形県村山
震度4程度 山形県置賜、秋田県沿岸南部、新潟県佐渡、宮城県南部、福島県会津、
福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、新潟県中越、
岩手県内陸南部、宮城県中部、岩手県内陸北部

震度3から4程度 福島県浜通り、秋田県沿岸北部
- ※7 震度6強程度 山形県庄内
震度5強から6弱程度 新潟県下越
震度5弱程度 山形県村山
震度4から5弱程度 山形県最上
震度4程度 山形県置賜、秋田県沿岸南部、新潟県佐渡、宮城県南部、新潟県中越、
福島県会津、福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、
岩手県内陸南部、宮城県中部、福島県浜通り、秋田県沿岸北部、
岩手県内陸北部、新潟県上越

震度3から4程度 石川県能登
- ※8 震度6強程度 山形県庄内
震度5強から6弱程度 新潟県下越
震度5弱程度 山形県村山
震度4から5弱程度 山形県最上、山形県置賜、秋田県沿岸南部、宮城県南部、福島県中通り
震度4程度 新潟県佐渡、新潟県中越、福島県会津、宮城県北部、秋田県内陸南部、
岩手県内陸南部、宮城県中部、秋田県沿岸北部、福島県浜通り、
新潟県上越、岩手県内陸北部、石川県能登

震度3から4程度 栃木県北部、青森県三八上北
- ※9 震度6強程度 山形県庄内
震度5強から6強程度 新潟県下越
震度5弱から5強程度 山形県村山

震度4から5弱程度	山形県最上、山形県置賜、秋田県沿岸南部、宮城県南部、福島県中通り
震度4程度	新潟県佐渡、新潟県中越、福島県会津、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、宮城県中部、福島県浜通り、秋田県沿岸北部、岩手県内陸北部、新潟県上越、石川県能登、青森県三八上北
震度3から4程度	栃木県北部
※10 震度6強程度	山形県庄内
震度6弱程度	新潟県下越
震度5弱程度	山形県最上
震度4程度	山形県置賜、秋田県沿岸南部
※11 震度6強程度	山形県庄内
震度5強から6弱程度	新潟県下越
震度5弱程度	山形県村山、山形県最上
震度4程度	山形県置賜、秋田県沿岸南部、新潟県佐渡、宮城県南部、新潟県中越、福島県会津、福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、福島県浜通り、宮城県中部、秋田県沿岸北部、岩手県内陸北部
震度3から4程度	新潟県上越
※12 震度6強程度	山形県庄内
震度5強から6弱程度	新潟県下越
震度5弱程度	山形県村山、秋田県沿岸南部
震度4から5弱程度	山形県最上
震度4程度	山形県置賜、新潟県佐渡、宮城県南部、新潟県中越、福島県会津、福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、宮城県中部、福島県浜通り、秋田県沿岸北部、岩手県内陸北部、新潟県上越
震度3から4程度	石川県能登
※13 震度6強程度	山形県庄内
震度5強から6弱程度	新潟県下越
震度5弱程度	山形県村山、秋田県沿岸南部、新潟県中越
震度4から5弱程度	山形県最上
震度4程度	山形県置賜、新潟県佐渡、宮城県南部、福島県会津、福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、宮城県中部、福島県浜通り、秋田県沿岸北部、岩手県内陸北部、新潟県上越
震度3から4程度	石川県能登
※14 震度6強程度	山形県庄内
震度5強から6弱程度	新潟県下越
震度5弱程度	山形県村山、秋田県沿岸南部、新潟県中越、岩手県内陸北部
震度4から5弱程度	山形県最上
震度4程度	山形県置賜、新潟県佐渡、宮城県南部、福島県会津、福島県中通り、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、宮城県中部、福島県浜通り、秋田県沿岸北部、新潟県上越
震度3から4程度	石川県能登
※15 震度6強程度	山形県庄内
震度5強から6強程度	新潟県下越
震度5弱から5強程度	山形県村山
震度5弱程度	新潟県中越、岩手県内陸北部
震度4から5弱程度	山形県最上、山形県置賜、秋田県沿岸南部、宮城県南部、福島県中通り

震度4程度

新潟県佐渡、福島県会津、宮城県北部、秋田県内陸南部、岩手県内陸南部、
宮城県中部、福島県浜通り、秋田県沿岸北部、新潟県上越、石川県能登、
青森県三八上北

震度3から4程度

栃木県北部

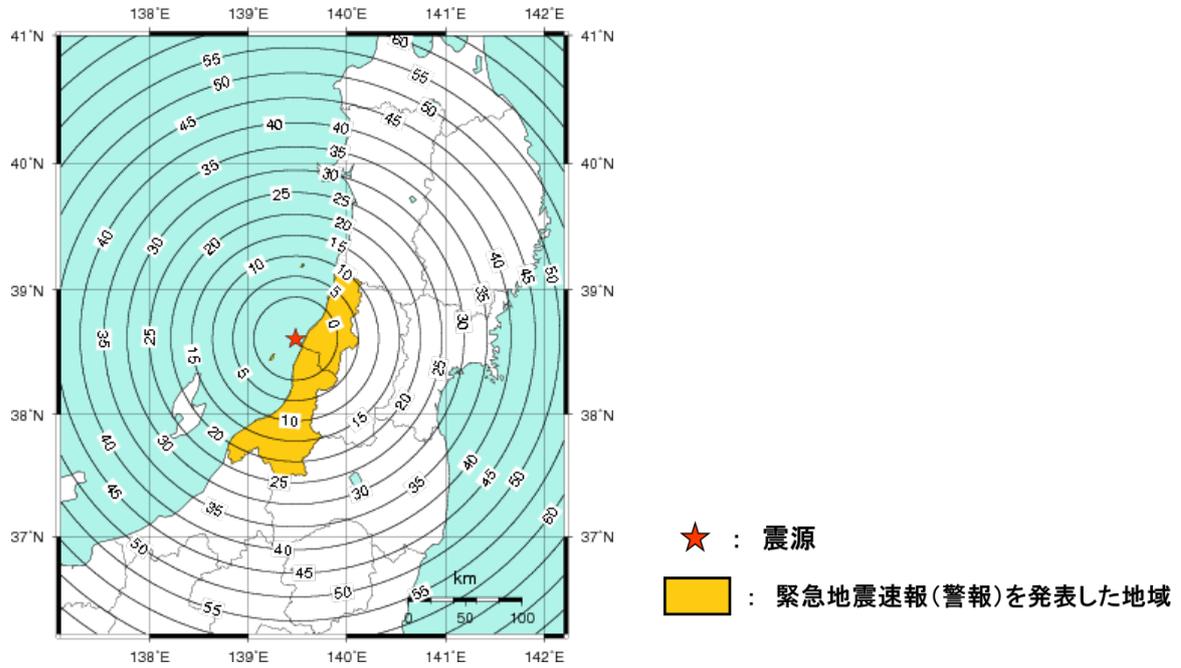


図5-1 警報第1報発表から主要動到達までの時間（秒）及び警報発表対象地域の分布図

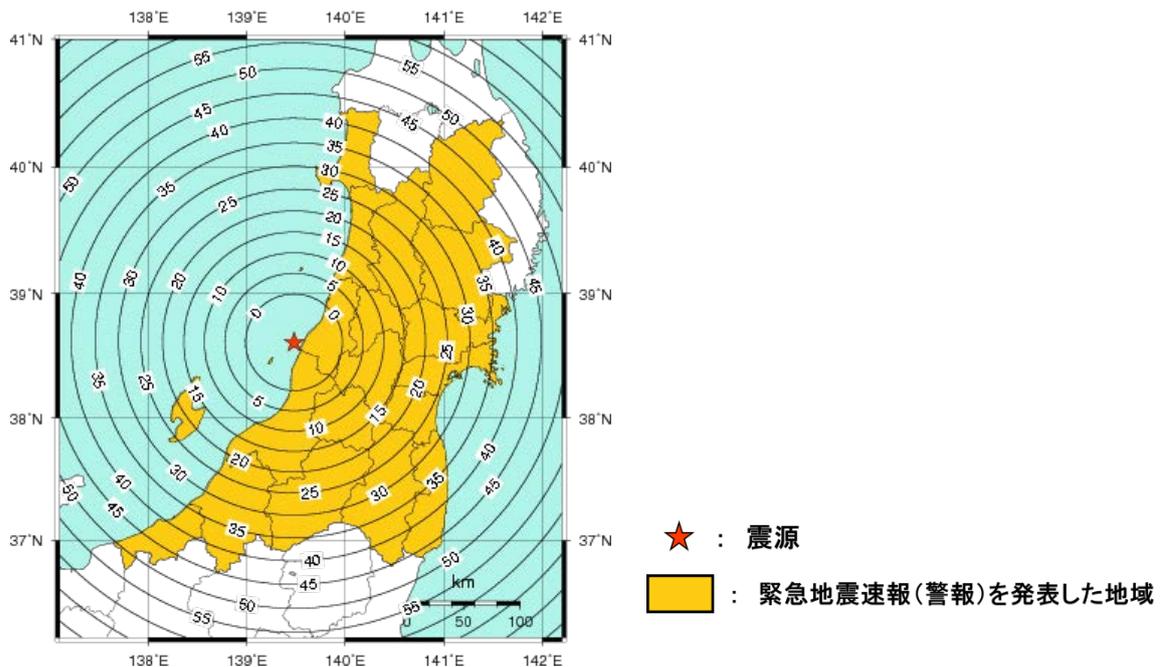


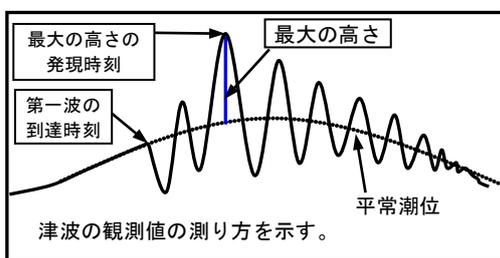
図5-2 警報第2報発表から主要動到達までの時間（秒）及び警報発表対象地域の分布図

（6）津波

6月18日22時22分に発生した山形県沖の地震（M6.7）により、山形県の鶴岡市鼠ヶ関で最大11cmの津波を観測したほか、秋田県・山形県・新潟県・石川県で津波を観測した。

表6-1 津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
秋田県	秋田	国土交通省港湾局	-日-:-	19日 01:42	8
山形県	酒田	国土交通省港湾局	18日 22:-	18日 23:35	5
	鶴岡市鼠ヶ関	国土地理院	18日 22:27	18日 22:34	11
新潟県	粟島	海上保安庁	18日 22:29	18日 22:48	5
	新潟	国土交通省港湾局	18日 -:-	19日 00:06	8
	柏崎市鯨波	国土地理院	-日-:-	19日 01:18	4
石川県	佐渡市鷺崎	気象庁	18日 -:-	19日 00:24	4
	輪島港	国土交通省港湾局	18日 -:-	19日 00:07	8



- は値が決定できないことを示す。
※観測値は後日の精査により変更される場合がある。
※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が読み取った値。

図6-1 津波の測り方の模式

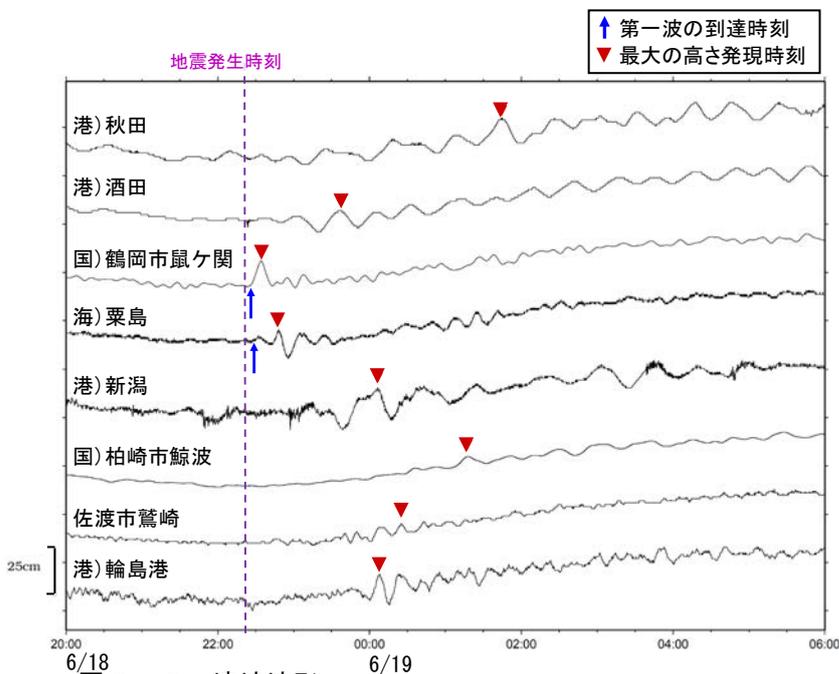


図6-2 津波波形

※ 港) は国土交通省港湾局、国) は国土地理院、海) は海上保安庁の所属であることを示す。

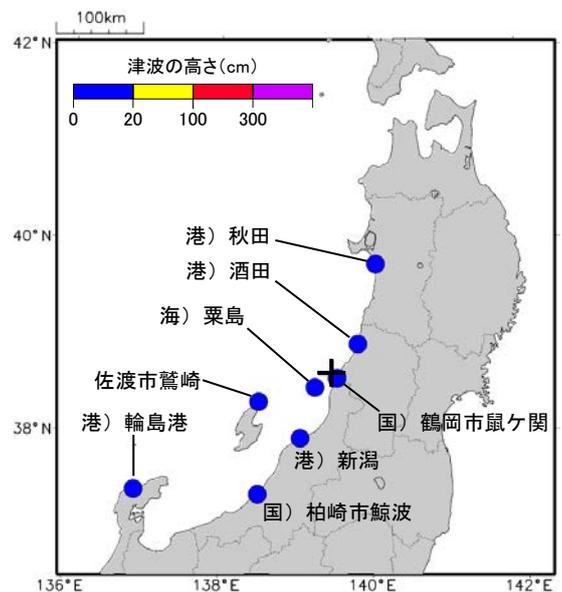


図6-3 津波を観測した地点と最大波の高さ（+印は震央を表す。）

※ 港) は国土交通省港湾局、国) は国土地理院、海) は海上保安庁の所属であることを示す。

（7）現地調査

ア. 調査概要

この地震により震度5強以上を観測した震度観測点とその周辺について、新潟地方気象台、山形地方気象台および仙台管区気象台は、気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣して、震度観測点の観測環境が地震によって変化していないかどうかの確認および震度観測点周辺の被害や揺れの状況が気象庁震度階級関連解説表と整合が取れているかの確認のため現地調査を実施した。その結果、いずれの震度観測点の観測環境にも異常は認められず、また、周辺の被害状況は気象庁震度階級関連解説表の表現とも概ね整合が取れていたことが確認された。

イ. 調査日

令和元年6月19日（水）

ウ. 調査地域（震度観測点）及び震度観測点の観測環境点検結果

震度5強以上を観測した震度観測点では、観測環境に異常は認められなかった。調査結果を表7-1に調査地域を図7-1に示す。

表7-1 震度観測点の観測環境点検結果

番号	県名	市町村	震度観測点名	震度	調査結果
1	新潟県	村上市	村上市府屋*	6強	適切
2		鶴岡市	鶴岡市温海川	6弱	適切
3	山形県	鶴岡市	鶴岡市温海*	5強	適切
4		鶴岡市	鶴岡市道田町*	5強	適切

観測点名の*印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す

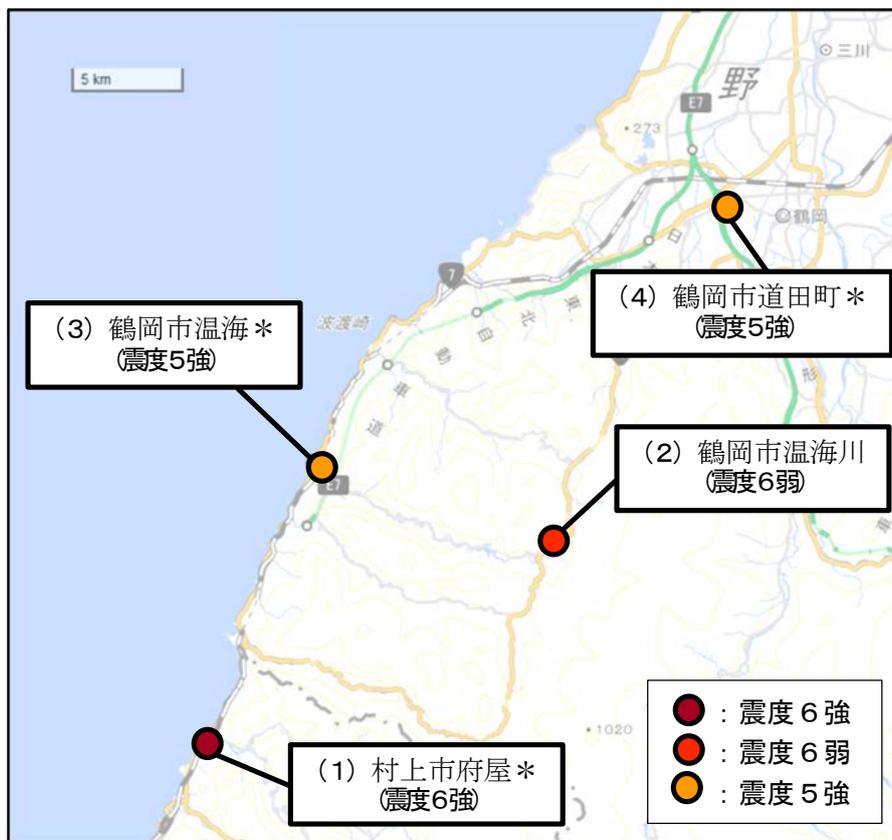


図7-1 調査地域（震度観測点）

観測点名の前の（）内の数字は表7-1の番号に対応する。

（*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す）

地図出典：国土地理院

エ. 地震動による被害状況調査結果

震度観測点の周囲約 200m の範囲内で、地震動による建物被害、地割れ等の地面の被害状況の確認、および被害状況の聞き取り調査を実施した。結果は以下のとおりである。

震度6強を観測した震度観測点（村上市府屋*）周辺では、のり面の一部崩壊（写真1）、塀の損壊（写真2）、屋根瓦の崩落（写真3）、駐輪場の倒壊（写真4）、道路の損傷（写真5）などが認められ、概ね気象庁震度階級関連解説表と整合していた。また、震度6弱および震度5強を観測した震度観測点（鶴岡市温海川、鶴岡市温海*、鶴岡市道田町*）周辺では、外観からの被害は認められなかったが、聞き取り調査によると「立っていることが困難」「冷蔵庫が多少ずり動いた」「柵の本がほとんど落ちた」などの証言があった。

（注）観測点名の*印は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す。

・ 村上市府屋*（震度6強）周辺の被害状況



写真1 のり面の一部崩壊



写真2 塀の損壊



写真3 屋根瓦の崩落



写真4 駐輪場の倒壊



写真5 道路の損傷

● 付録1. 震度1以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報(カタログ編) [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(平成25年12月 地震・火山月報(防災編)の付録2参照)を記す。なお、*のついてる地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'D'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度3以上を観測した地震については、震源要素を太字で表示する。

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 03 19	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 51.2' N	142° 03.0' E	46km	M: 3.6
		1 一関市室根町*=1.2 一関市千厩町*=1.0 一関市藤沢町*=0.7 大船渡市猪川町=0.6 1 気仙沼市笹が陣*=1.1 気仙沼市唐桑町*=1.0 南三陸町志津川=0.7 石巻市北上町*=0.5				
2	1 07 58	千葉県北東部 千葉県	35° 22.1' N	140° 17.6' E	35km	M: 4.7
		4 長南町長南*=3.9 3 市原市姉崎*=3.4 長南町総合グラウンド=3.3 君津市久留里市場*=3.3 木更津市富士見*=3.1 大多喜町大多喜*=3.1 勝浦市墨名=3.0 勝浦市新宮*=3.0 長柄町桜谷*=2.8 君津市久保*=2.8 一宮町一宮=2.8 浦安市猫実*=2.7 いすみ市国府台*=2.7 いすみ市大原*=2.6 千葉美浜区ひび野=2.6 木更津市太田=2.6 大網白里市大網*=2.5 千葉中央区都町*=2.5 市原市国分寺台中央*=2.5 2 茂原市道表*=2.4 千葉中央区千葉市役所*=2.4 千葉緑区おゆみ野*=2.4 千葉美浜区稲毛海岸*=2.4 いすみ市岬町長者*=2.4 鴨川市横渚*=2.3 富津市下飯野*=2.3 袖ヶ浦市坂戸市場*=2.3 東金市日吉台*=2.3 睦沢町下之郷*=2.3 千葉中央区中央港=2.3 浦安市日の出=2.3 白子町関*=2.2 鴨川市八色=2.2 東金市東新宿=2.1 南房総市岩々*=2.1 四街道市鹿渡*=2.1 鴨川市内浦=2.0 千葉若葉区小倉台*=2.0 長生村本郷*=2.0 館山市北条*=2.0 御宿町須賀*=2.0 鋸南町下佐久間*=2.0 東金市東岩崎*=2.0 千葉花見川区花島町*=1.9 山武市埴谷*=1.9 南房総市谷向*=1.9 九十九里町片貝*=1.8 船橋市湊町*=1.8 南房総市富浦町青木*=1.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.8 千葉稲毛区園生町*=1.8 南房総市白浜町白浜*=1.7 鴨川市天津*=1.7 千葉佐倉市海隣寺町*=1.7 習志野市鷺沼*=1.7 山武市蓮沼ニ*=1.6 市川市南八幡*=1.6 館山市長須賀=1.6 横芝光町栗山*=1.5 芝山町小池*=1.5 山武市殿台*=1.5 松戸市西馬橋*=1.5 山武市蓮沼ハ*=1.5 1 山武市松尾町富士見台=1.4 山武市松尾町五反田*=1.4 八街市八街*=1.4 印西市笠神*=1.4 白井市復*=1.4 南房総市上堀=1.4 南房総市和田町*=1.3 南房総市三倉町瀬戸*=1.3 印西市美瀬*=1.2 流山市平和台*=1.2 八千代市大和田新田*=1.2 印西市大森*=1.2 旭市南堀之内*=1.1 柏市旭町=1.1 柏市柏*=1.1 旭市高生*=1.0 酒々井町中央台*=1.0 多古町多古=1.0 香取市仁良*=1.0 横芝光町宮川*=1.0 富里市七栄*=0.9 柏市大島田*=0.9 野田市鶴泰*=0.9 成田国際空港=0.9 香取市佐原平田=0.7 旭市ニ*=0.6 成田市名古屋=0.6 3 東京千代田区大手町=2.7 東京中央区勝どき*=2.6 東京江東区越中島*=2.5 2 東京江東区枝川*=2.4 東京江戸川区船堀*=2.2 東京江東区東陽*=2.2 東京中央区築地*=2.1 東京江東区青海=2.0 東京江東区亀戸*=1.9 東京千代田区麴町*=1.9 東京国際空港=1.9 東京大田区本羽田*=1.9 東京荒川区荒川*=1.9 東京港区海岸=1.9 東京江東区森下*=1.9 東京千代田区富士見*=1.8 東京品川区北品川*=1.8 東京台東区千束*=1.8 東京葛飾区金町*=1.7 調布市西つつじヶ丘*=1.7 東京中央区日本橋兜町*=1.7 東京文京区本郷*=1.7 東京渋谷区宇田川町*=1.7 東京荒川区東尾久*=1.7 東京練馬区東大泉*=1.7 東京足立区神明南*=1.7 小金井市本町*=1.6 小平市小川町*=1.6 東京墨田区横川=1.6 東京大田区多摩川*=1.6 東京渋谷区本町*=1.6 東京港区芝公園*=1.6 東京港区白金*=1.6 東京新宿区上落合*=1.6 東京葛飾区立石*=1.6 東京江戸川区中央=1.6 東京江戸川区鹿骨*=1.6 東京品川区平塚*=1.6 町田市本町田*=1.6 東京墨田区東向島*=1.5 東京足立区千住中居町*=1.5 東京大田区大森東*=1.5 東京港区南青山*=1.5 東京中野区中野*=1.5 1 東京文京区スポーツセンタ*=1.4 東京品川区広町*=1.4 東京世田谷区世田谷*=1.4 東京世田谷区三軒茶屋*=1.4 東京杉並区桃井*=1.4 東京北区西ヶ原*=1.4 東京足立区伊興*=1.4 東京北区神谷*=1.3 八王子市堀之内*=1.3 東京府中市朝日町*=1.3 東京文京区大塚*=1.3 東京台東区東上野*=1.3 東京墨田区吾妻橋*=1.3 東村山市本町*=1.2 東京大田区蒲田*=1.2 東京中野区江古田*=1.2 東京新宿区西新宿=1.2 東京杉並区高井戸*=1.2 東京板橋区高島平*=1.2 東京板橋区板橋*=1.2 東京新宿区百人町*=1.1 東京豊島区南池袋*=1.1 町田市忠生*=1.1 東京世田谷区成城*=1.1 国分寺市本多*=1.1 西東京市中町*=1.1 東京足立区中央本町*=1.0 東京目黒区中央町*=1.0 調布市小島町*=1.0 国分寺市戸倉=1.0 東京世田谷区中町*=1.0 狛江市和泉本町*=0.9 野大和市中央*=0.9 伊豆大島町波浮港*=0.9 三鷹市野崎*=0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 町田市森野*=0.8 日野市神明*=0.8 東京練馬区光が丘*=0.8 八王子市石川町*=0.8 多摩市関戸*=0.8 伊豆大島町差木地=0.8 武蔵野市緑町*=0.5 東京利島村東山=0.5 三宅村神着=0.5 2 さいたま緑区中尾*=1.7 加須市大利根*=1.6 さいたま南区別所*=1.5 1 川口市中青木分室*=1.4 草加市中央*=1.3 志木市中宗岡*=1.3 富士見市鶴馬*=1.3 宮代町笠原*=1.3 さいたま浦和区高砂=1.3 川口市青木*=1.3 川口市三ツ和*=1.3 さいたま中央区下落合*=1.2 蕨市中央*=1.2 春日部市谷原新田*=1.2 春日部市粕壁*=1.1 戸田市上戸田*=1.1 春日部市金崎*=1.1 さいたま大宮区天沼町*=1.1 三郷市中央*=1.0 幸手市東*=1.0 越谷市越ヶ谷*=1.0 久喜市鷺宮*=1.0 入間市豊岡*=1.0 八潮市中央*=1.0 加須市騎西*=1.0 毛呂山町中央*=0.9 さいたま北区宮原*=0.9 加須市三俣*=0.8 狭山市入間川*=0.9 和光市広沢*=0.9 吉川市きよみ野*=0.9 久喜市青葉*=0.8 久喜市栗橋*=0.8 さいたま浦和区常盤*=0.8 川島町下八ツ林*=0.8 鴻巣市吹上富士見*=0.8 松伏町松伏*=0.8				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>朝霞市本町*0.8 久喜市下早見*0.8 さいたま桜区道場*0.7 久喜市菖蒲*0.7 新座市野火止*0.7 埼玉三芳町藤久保*0.7 さいたま大宮区大門*0.7 熊谷市大里*0.6 白岡市千駄野*0.6 さいたま見沼区堀崎*0.6 さいたま西区指扇*0.5 ふじみ野市福岡*0.5 上尾市本町*0.5 鴻巣市中央*0.5 鴻巣市川里*0.5</p> <p>神奈川県 2 横浜港北区日吉本町*2.4 川崎宮前区野川*2.2 横浜鶴見区鶴見*2.0 川崎川崎区宮前町*2.0 横浜中区山手町*1.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.9 横浜緑区鴨居*1.9 横浜神奈川区広台太田町*1.8 三浦市城山町*1.8 横浜鶴見区馬場*1.7 横浜鶴見区末広町*1.7 横浜中区山下町*1.7 川崎中原区小杉町*1.7 横須賀市光の丘*1.7 横浜中区山吹町*1.6 横浜戸塚区鳥が丘*1.6 横浜緑区十日市場町*1.6 川崎川崎区千鳥町*1.6 川崎川崎区中島*1.6 川崎幸区戸手本町*1.6 川崎中原区小杉陣屋町*1.6 川崎宮前区宮前平*1.6 横浜瀬谷区中屋敷*1.5 横浜瀬谷区三ツ境*1.5 横浜都筑区池辺町*1.5 横浜港北区大倉山*1.5 横浜川区川井宿町*1.5 1 横浜西区浜松町*1.4 横浜磯子区磯子*1.4 横浜磯子区洋光台*1.4 横浜金沢区白帆*1.4 横浜港北区綱島西*1.4 横浜港南区丸山台東部*1.4 横浜青葉区榎が丘*1.4 横浜青葉区市ヶ尾町*1.4 横浜中区日本大通*1.3 横浜旭区上白根町*1.3 横浜金沢区寺前*1.2 横浜金沢区釜利谷南*1.2 横浜旭区今宿東町*1.2 横浜栄区小菅ヶ谷*1.2 横浜都筑区茅ヶ崎*1.2 藤沢市辻堂東海岸*1.2 横浜戸塚区平戸町*1.1 川崎高津区下作延*1.1 藤沢市長後*1.1 茅ヶ崎市茅ヶ崎*1.1 大和市下鶴間*1.1 座間市相武台*1.1 相模原南区相模大野*1.1 相模原緑区橋本*1.1 横浜泉区和泉町*1.0 逗子市桜山*1.0 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.0 横須賀市坂本町*0.9 藤沢市朝日町*0.9 愛川町角田*0.9 川崎多摩区登戸*0.7 鎌倉市御成町*0.7 秦野市曾屋*0.6 湯河原町中央*0.6 相模原中央区上溝*0.6</p> <p>静岡県 2 東伊豆町奈良本*1.9 河津町田中*1.6 1 東伊豆町稲取*1.1 伊豆市中伊豆グラウンド*0.7 富士宮市野中*0.5</p> <p>茨城県 1 稲敷市伊佐津*1.1 坂東市岩井*1.1 取手市寺田*1.0 筑西市舟生*1.0 石岡市柿岡*0.9 利根町布川*0.7 笠間市石井*0.7 稲敷市江戸崎甲*0.7 つくば市天王台*0.6 潮来市堀之内*0.5 土浦市常名*0.5 茨城鹿嶋市鉢形*0.5</p> <p>群馬県 1 沼田市白沢町*0.5</p>				
3	1 16 16	<p>栃木県北部 栃木県 2 日光市足尾町中才*1.9 日光市足尾町通洞*1.8 1 鹿沼市今宮町*1.1 群馬県 1 沼田市利根町*0.5</p>	36° 37.2' N	139° 28.2' E	6km	M: 3.0
4	1 23 04	<p>岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏*1.4 八戸市湊町*0.6 八戸市内丸*0.6 青森南部町苫米地*0.6 1 九戸村伊保内*1.2 軽米町軽米*0.7</p>	40° 21.1' N	142° 04.6' E	50km	M: 3.7
5	2 05 14	<p>硫黄島近海 東京都 1 小笠原村母島*1.4 小笠原村父島三日月山*0.8</p>	23° 37.9' N	142° 22.5' E	132km	M: 5.7
6	2 12 18	<p>胆振地方中東部 北海道 2 安平町早来北進*2.0 厚真町鹿沼*1.7 千歳市北栄*1.6 安平町追分柏が丘*1.6 千歳市若草*1.5 むかわ町穂別*1.5 1 平取町振内*1.4 厚真町京町*1.2 千歳市支笏湖温泉*0.9 登別市桜木町*0.9 白老町緑丘*0.8 三笠市幸町*0.8 新千歳空港*0.8 恵庭市京町*0.6 白老町大町*0.5 胆振伊達市大滝区本町*0.5</p>	42° 47.3' N	142° 00.1' E	36km	M: 3.6
7	2 16 21	<p>福島県沖 福島県 1 天栄村下松本*1.1 白河市新白河*0.8</p>	36° 59.4' N	141° 07.2' E	63km	M: 3.5
8	2 19 41	<p>東京湾 東京都 神奈川県 静岡県 1 東京千代田区大手町*0.6 1 横浜港南区丸山台東部*0.8 相模原中央区上溝*0.5 藤沢市辻堂東海岸*0.5 1 東伊豆町奈良本*0.8</p>	35° 04.9' N	139° 48.8' E	70km	M: 3.3
9	2 20 29	<p>日高地方西部 北海道 2 浦幌町桜町*1.5 白糠町西1条*1.5 1 安平町早来北進*1.2 本別町北2丁目*1.2 本別町向陽町*1.1 浦河町潮見*0.9 浦河町築地*0.9 函館市泊町*0.8 新ひだか町三石旭町*0.8 新ひだか町静内山手町*0.7 安平町追分柏が丘*0.7 十勝大樹町生花*0.7 標茶町塘路*0.7 浦河町野深*0.6 別海町常盤*0.6 様似町栄町*0.5 厚真町鹿沼*0.5 函館市新浜町*0.5</p>	42° 47.3' N	142° 38.6' E	87km	M: 3.7
10	3 01 57	<p>安芸灘 広島県 2 廿日市市大野*1.7 1 呉市二河町*1.0 呉市広*1.0 呉市安浦町*1.0 呉市焼山*0.9 廿日市市宮島町*0.9 江田島市大柿町*0.9 江田島市江田島町*0.8 江田島市沖美町*0.8 熊野町役場*0.8 江田島市能美町*0.8 東広島市黒瀬町*0.7 海田町上市*0.6 廿日市市津田*0.6 広島中区羽衣町*0.6 呉市下蒲刈町*0.5 大竹市小方*0.5 広島西区己斐*0.5 呉市川尻町*0.5 呉市音戸町*0.5 府中町大通り*0.5</p>	34° 09.7' N	132° 27.8' E	17km	M: 3.2
11	3 15 25	<p>熊本県阿蘇地方 熊本県 大分県 1 産山村山鹿*1.2 1 竹田市荻町*0.8 竹田市直入小学校*0.7 竹田市竹田小学校*0.5</p>	33° 00.0' N	131° 13.2' E	12km	M: 2.9

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
12	3 16 13	山形県村山地方 山形県 1 東根市中央*0.6	38° 27.2' N	140° 30.2' E	10km	M: 2.9
13	3 16 45	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町*1.2 陸前高田市高田町*0.6 大船渡市猪川町=0.5 住田町世田米*0.5 1 気仙沼市唐桑町*0.7 石巻市桃生町*0.7 石巻市北上町*0.6	38° 38.2' N	141° 54.2' E	47km	M: 3.6
14	3 21 04	長野県南部 長野県 2 伊那市高遠町荊口=1.5 1 伊那市長谷溝口*1.0 茅野市葛井公園*0.9 辰野町中央=0.9 南箕輪村役場*0.8 諏訪市高島*0.6 木曾町新開*0.6 大鹿村大河原*0.5	35° 52.3' N	138° 08.0' E	11km	M: 3.4
15	4 13 39	鳥島近海 東京都 4 小笠原村母島=3.5 3 小笠原村父島三日山=2.9 小笠原村父島西町=2.8 1 東京千代田区大手町=0.9 東京北区神谷*0.9 宮城県 1 丸森町鳥屋*1.2 大河原町新南*0.7 福島県 1 国見町藤田*1.4 玉川村小高*1.4 双葉町両竹*1.2 田村市大越町*1.0 郡山市湖南町*0.9 福島市松木町=0.8 浪江町幾世橋=0.8 須賀川市八幡山*0.7 茨城県 1 笠間市石井*1.0 筑西市舟生=0.7 石岡市柿岡=0.6 坂東市岩井=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.0 益子町益子=0.6 群馬県 1 沼田市白沢町*0.5 邑楽町中野*0.5 埼玉県 1 熊谷市大里*0.8 草加市中央*0.8 宮代町笠原*0.8 さいたま緑区中尾*0.8 さいたま宮区天沼町*0.7 加須市大利根*0.7 春日部市粕壁*0.7 春日部市谷原新田*0.7 千葉県 1 市原市姉崎*0.8 鴨川市横渚*0.8 千葉美浜区ひび野=0.7 館山市長須賀=0.6 鴨川市八色=0.6 君津市久留里市場*0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.8 横浜金沢区白帆*0.6	29° 03.3' N	139° 39.7' E	445km	M: 6.2
16	5 06 09	福島県沖 福島県 2 天栄村下松本*1.5 福島広野町下北迫大谷地原*1.5 1 いわき市小名浜=1.4 いわき市平梅本*1.4 川内村上川内早渡*1.4 福島広野町下北迫苗代替*1.3 いわき市平四ツ波*1.3 田村市滝根町*1.2 田村市大越町*1.1 須賀川市岩瀬支所*1.1 鏡石町不時沼*0.9 泉崎村泉崎*0.9 いわき市三和町=0.9 浅川町浅川*0.9 白河市新白河*0.9 いわき市錦町*0.8 檜葉町北田*0.8 川内村上川内小山平*0.8 白河市郭内=0.8 猪苗代町千代田*0.6 田村市船引町=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 郡山市湖南町*0.6 須賀川市八幡山*0.5 矢祭町戸塚*0.5 玉川村小高*0.5 茨城県 1 東海村東海*1.3 日立市十王町友部*1.0 日立市助川小学校*1.0 日立市役所*0.9 高萩市本町*0.8 北茨城市磯原町*0.8 笠間市石井*0.7 筑西市舟生=0.5	37° 09.0' N	141° 15.0' E	21km	M: 4.5
17	5 07 03	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 郡上市八幡町旭*0.8	35° 38.0' N	136° 59.5' E	8km	M: 2.6
18	5 09 15	奄美大島北東沖 鹿児島県 1 鹿児島十島村悪石島*0.8	29° 19.1' N	129° 57.4' E	56km	M: 3.5
19	5 10 26	十勝地方南部 北海道 1 幕別町忠類錦町*1.1 十勝大樹町生花*1.0 浦河町潮見=0.9 浦河町築地*0.9 更別村更別*0.7 十勝大樹町東本通*0.7 鹿追町東町*0.7 浦河町野深=0.6 安平町早来北進*0.5 安平町追分柏が丘*0.5	42° 19.5' N	143° 04.0' E	51km	M: 4.0
20	5 14 59	栃木県北部 栃木県 1 日光市足尾町中才*0.8	36° 39.3' N	139° 27.9' E	4km	M: 2.5
21	5 18 11	千葉県東方沖 茨城県 千葉県 1 茨城鹿嶋市宮中*0.6 1 香取市仁良*1.1 旭市南堀之内*0.9	35° 51.9' N	140° 53.1' E	35km	M: 3.0
22	6 05 15	茨城県南部 茨城県 3 笠間市下郷*2.5 2 土浦市藤沢*2.2 土浦市常名=2.1 城里町小勝*2.1 石岡市柿岡=2.1 つくば市天王台*2.1 坂東市馬立*2.1 水戸市内原町*1.9 桜川市岩瀬*1.8 茨城古河市下大野*1.8 筑西市門井*1.8 笠間市笠間*1.7 小美玉市上玉里*1.7 桜川市羽田*1.7 笠間市石井*1.6 小美玉市小川*1.6 筑西市舟生=1.5 石岡市若宮*1.5 筑西市海老ヶ島*1.5 取手市寺田*1.5 坂東市山*1.5 1 下妻市本城町*1.4 桜川市真壁*1.4 坂東市役所*1.3 土浦市田中*1.3 常総市新石下*1.3 常総市水海道諏訪町*1.3 つくばみらい市福田*1.3 石岡市八郷*1.3 笠間市中央*1.3 つくば市小茎*1.3 常陸大宮市北町*1.2 稲敷市江戸崎甲*1.2 常陸大宮市上小瀬*1.2 坂東市岩井=1.2 城里町石塚*1.1 下妻市鬼怒*1.1 小美玉市堅倉*1.1 かすみがうら市上土田*1.1 結城市結城*1.0 守谷市大柏*1.0 つくば市研究学園*1.0 筑西市下中山*0.9 境町旭町*0.9 かすみがうら市大和田*0.9 行方市玉造*0.9 水戸市千波町*0.9 牛久市中央*0.9 阿見町中央*0.9 五霞町小福田*0.9 茨城古河市仁連*0.8 八千代町菅谷*0.8 稲敷市役所*0.8 つくばみらい市加藤*0.8 稲敷市須賀津*0.8 水戸市金町=0.7 稲敷市結佐*0.7 常陸大宮市野口*0.7 水戸市栗崎町*0.7 取手市井野*0.7 城里町阿波山*0.7 茨城町小堤*0.6 行方市麻生*0.6 美浦村受領*0.6 稲敷市伊佐津*0.6	36° 02.7' N	139° 55.9' E	43km	M: 3.8

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		常陸大宮市山方*0.6 龍ヶ崎市役所*0.5 栃木県 2 真岡市石島*2.0 栃木市旭町*1.9 下野市笹原*1.8 下野市田中*1.6 宇都宮市明保野町*1.6 1 真岡市田町*1.3 栃木市万町*1.2 栃木市岩舟町静*1.1 野木町丸林*1.0 栃木市藤岡町藤岡*1.0 栃木市西方町本城*1.0 真岡市荒町*0.9 壬生町通町*0.9 下野市大光山*0.9 足利市大正町*0.8 益子町益子*0.8 茂木町茂木*0.8 栃木市大平町富田*0.8 佐野市高砂町*0.8 小山市中央町*0.8 栃木市都賀町家中*0.7 宇都宮市旭*0.6 芳賀町祖母井*0.6 佐野市田沼町*0.6 鹿沼市口栗野*0.5 上三川町しらさぎ*0.5 宇都宮市中里町*0.5 群馬県 1 板倉町板倉*1.4 邑楽町中野*0.9 大泉町日の出*0.8 館林市美園町*0.6 渋川市赤城町*0.6 桐生市元沼町*0.6 沼田市利根町*0.5 群馬明和町新里*0.5 千代田町赤岩*0.5 埼玉県 1 春日部市金崎*1.4 宮代町笠原*1.4 加須市騎西*1.3 久喜市下早見*1.3 春日部市粕壁*1.2 さいたま北区宮原*1.1 さいたま浦和区高砂*1.1 加須市大利根*1.1 行田市南河原*1.0 滑川町福田*1.0 幸手市東*0.9 さいたま南区別所*0.9 東松山市松葉町*0.8 久喜市栗橋*0.8 桶川市泉*0.8 さいたま西区指扇*0.8 さいたま見沼区堀崎*0.8 久喜市葛蒲*0.7 さいたま中央区下落合*0.7 久喜市鷲宮*0.7 白岡市千駄野*0.7 熊谷市江南*0.7 草加市中央*0.7 加須市北川辺*0.7 鴻巣市中央*0.6 久喜市青葉*0.6 戸田市上戸田*0.6 北本市本町*0.6 上尾市本町*0.5 羽生市東*0.5 熊谷市妻沼*0.5 蓮田市黒浜*0.5 行田市本丸*0.5 嵐山町杉山*0.5 吉見町下細谷*0.5 千葉県 1 野田市鶴奉*1.3 八千代市大和田新田*1.2 野田市東宝珠花*1.1 千葉花見川区花島町*0.8 柏市大島田*0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.8 柏市旭町*0.7 白井市復*0.7 芝山町小池*0.6 成田国際空港*0.6 成田市名古屋*0.6 栄町安食台*0.6 香取市佐原平田*0.5 香取市役所*0.5 習志野市鷲沼*0.5				
23	6 11 26	日向灘 高知県 大分県	32° 41.8' N	132° 17.6' E	34km	M: 3.2
		1 宿毛市桜町*0.6 1 佐伯市鶴見*0.8				
24	6 20 31	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 16.2' N	130° 30.6' E	6km	M: 2.8
		1 芦北町芦北*1.1 球磨村渡*0.7				
25	7 04 31	鳥取県中部 鳥取県	35° 25.8' N	133° 49.6' E	7km	M: 2.4
		1 倉吉市葵町*0.9 湯梨浜町龍島*0.7 北栄町土下*0.7				
26	7 08 43	茨城県沖 茨城県	36° 28.6' N	141° 01.7' E	44km	M: 3.8
		2 日立市助川小学校*1.9 1 常陸大宮市上小瀬*1.4 笠間市石井*1.2 水戸市栗崎町*1.2 水戸市内原町*1.1 日立市役所*1.1 城里町小勝*1.1 城里町石塚*1.0 高萩市安良川*1.0 常陸太田市町屋町*0.9 大子町池田*0.8 常陸大宮市北町*0.8 水戸市千波町*0.8 常陸太田市高柿町*0.8 笠間市笠間*0.8 常陸大宮市野口*0.7 北茨城市中郷町*0.7 北茨城市磯原町*0.7 土浦市常名*0.7 高萩市本町*0.6 那珂市瓜連*0.6 東海村東海*0.5 福島県 1 矢祭町戸塚*0.5 栃木県 1 真岡市石島*0.7 益子町益子*0.5				
27	7 11 58	福島県沖 宮城県 福島県	37° 11.4' N	142° 17.6' E	64km	M: 4.3
		1 石巻市桃生町*0.8 岩沼市桜*0.6 石巻市北上町*0.6 大崎市田尻*0.6 松島町高城*0.5 名取市増田*0.5 1 いわき市三和町*0.6 白河市新白河*0.5 浪江町幾世橋*0.5				
28	7 13 29	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 21.4' N	130° 28.8' E	9km	M: 2.6
		1 球磨村渡*0.6 水俣市陣内*0.5				
29	7 19 08	茨城県南部 茨城県	35° 53.0' N	140° 43.9' E	22km	M: 4.0
		2 稲敷市江戸崎甲*2.0 茨城鹿嶋市鉢形*1.8 稲敷市結佐*1.6 つくば市小荊*1.5 美浦村受領*1.5 神栖市溝口*1.5 1 潮来市辻*1.4 稲敷市須賀津*1.4 土浦市常名*1.3 稲敷市役所*1.3 茨城鹿嶋市宮中*1.3 稲敷市伊佐津*1.2 神栖市波崎*1.1 行方市玉造*1.1 行方市麻生*1.0 鉾田市造谷*1.0 石岡市柿岡*0.9 鉾田市鉾田*0.9 牛久市中央*0.9 小美玉市上玉里*0.9 潮来市堀之内*0.9 土浦市藤沢*0.9 かすみがうら市上土田*0.8 小美玉市小川*0.8 つくば市天王台*0.8 かすみがうら市大和田*0.7 鉾田市汲上*0.7 小美玉市堅倉*0.7 龍ヶ崎市役所*0.7 取手市寺田*0.7 笠間市石井*0.7 笠間市下郷*0.6 石岡市若宮*0.6 土浦市田中*0.6 水戸市内原町*0.6 筑西市門井*0.6 ひたちなか市南神敷台*0.5 阿見町中央*0.5 桜川市羽田*0.5 つくば市研究学園*0.5 千葉県 2 香取市役所*1.5 1 香取市佐原平田*1.3 香取市佐原諏訪台*1.3 香取市仁良*1.3 成田市名古屋*1.3 旭市南堀之内*1.2 成田市松子*1.2 香取市岩部*1.1 栄町安食台*1.1 野田市鶴奉*1.0 芝山町小池*1.0 山武市松尾町五反田*0.9 銚子市若宮町*0.9 山武市松尾町富士見台*0.8 山武市埴谷*0.8 匝瑳市今泉*0.8 銚子市小畑新町*0.8 銚子市川口町*0.7 旭市二*0.7 神崎町神崎本宿*0.7 成田市猿山*0.7 八千代市大和田新田*0.7 八街市八街*0.7 白井市復*0.7 匝瑳市八日市場*0.7 旭市萩園*0.6 成田国際空港*0.6 旭市高生*0.5 多古町多古*0.5 栃木県 1 真岡市石島*0.7 下野市笹原*0.7				

令和元年6月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
30	8 12 45	茨城県南部 茨城県	36° 11.2' N	139° 58.1' E	52km	M: 4.0
		3 城里町小勝*=2.9 笠間市下郷*=2.7 笠間市笠間*=2.5 笠間市石井*=2.5 2 桜川市羽田*=2.4 土浦市藤沢*=2.3 坂東市馬立*=2.2 水戸市内原町*=2.2 桜川市岩瀬*=2.1 水戸市千波町*=2.1 水戸市金町*=2.1 坂東市役所*=2.1 筑西市門井*=1.9 筑西市海老ヶ島*=1.9 石岡市柿岡=1.9 笠間市中央*=1.8 桜川市真壁*=1.8 土浦市常名=1.8 つくば市天王台*=1.8 つくば市研究学園*=1.8 常陸大宮市北町*=1.7 下妻市本城町*=1.7 取手市寺田*=1.7 筑西市舟生=1.6 常陸大宮市上小瀬*=1.6 城里町石塚*=1.6 小美玉市堅倉*=1.6 水戸市栗崎町*=1.6 東海村東海*=1.6 日立市助川小学校*=1.6 稲敷市江戸崎甲*=1.6 筑西市下中山*=1.5 つくば市小茎*=1.5 ひたちなか市南神敷台*=1.5 坂東市山*=1.5 ひたちなか市東石川*=1.5 石岡市若宮*=1.5 石岡市八郷*=1.5 1 茨城町小堤*=1.4 城里町阿波山*=1.4 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 守谷市大柏*=1.4 かすみがうら市上土田*=1.4 鉾田市造谷*=1.4 小美玉市小川*=1.3 美浦村受領*=1.3 常総市水海道諏訪町*=1.3 牛久市中央*=1.3 坂東市岩井=1.3 小美玉市上玉里*=1.2 八千代町菅谷*=1.2 常総市新石下*=1.2 稲敷市伊佐津*=1.2 つくばみらい市福田*=1.2 稲敷市結佐*=1.2 常陸大宮市野口*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 境町旭町*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 茨城古河市仁連*=1.0 行方市玉造*=1.0 大子町池田*=0.9 利根町布川=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 稲敷市役所*=0.9 土浦市田中*=0.9 日立市十王町友部*=0.9 阿見町中央*=0.9 結城市結城*=0.9 龍ヶ崎市役所*=0.9 鉾田市鉾田=0.9 茨城古河市下大野*=0.8 日立市役所*=0.8 大洗町磯浜町*=0.8 ひたちなか市山ノ上町=0.8 稲敷市須賀津*=0.8 下妻市鬼怒*=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 行方市麻生*=0.7 つくばみらい市加藤*=0.7 常陸太田市高柿町*=0.7 鉾田市汲上*=0.6 取手市井野*=0.6 五霞町小福田*=0.6 那珂市福田*=0.6 常陸大宮市高部*=0.6 那珂市瓜連*=0.5 取手市藤代*=0.5 高萩市安良川*=0.5 栃木県 2 真岡市石島*=2.2 小山市神島谷*=1.8 下野市笹原*=1.8 益子町益子=1.7 宇都宮市明保野町=1.7 栃木市大平町富田*=1.7 鹿沼市晃望台*=1.6 真岡市田町*=1.6 野木町丸林*=1.5 1 栃木市旭町=1.4 栃木市岩舟町静*=1.4 茂木町茂木*=1.4 高根沢町石末*=1.4 佐野市中町*=1.3 佐野市葛生東*=1.3 小山市中央町*=1.3 下野市田中*=1.2 真岡市荒町*=1.2 宇都宮市中里町*=1.1 宇都宮市旭*=1.0 壬生町通町*=1.0 鹿沼市今宮町*=1.0 芳賀町祖母井*=0.9 佐野市田沼町*=0.9 栃木市西方町本城*=0.8 栃木市万町*=0.8 下野市大松山*=0.8 宇都宮市埴田*=0.8 上三川町しらさぎ*=0.8 日光市鬼怒川温泉大原*=0.7 大田原市湯津上*=0.7 鹿沼市口栗野*=0.7 栃木さくら市喜連川*=0.7 足利市大正町*=0.7 市貝町市塙*=0.7 那須烏山市中央=0.6 佐野市高砂町*=0.6 栃木市藤岡町藤岡*=0.6 那須烏山市大金*=0.5 茂木町北高岡天矢場*=0.5 群馬県 2 邑楽町中野*=1.6 1 館林市美園町*=1.0 板倉町板倉=0.9 沼田市利根町*=0.8 桐生市元宿町*=0.6 桐生市新里町*=0.6 千代田町赤岩*=0.6 渋川市赤城町*=0.5 群馬明和町新里*=0.5 桐生市黒保根町*=0.5 埼玉県 2 春日部市粕壁*=1.7 春日部市金崎*=1.6 1 久喜市下早見=1.4 宮代町笠原*=1.4 東松山市松葉町*=1.1 熊谷市江南*=0.9 上尾市本町*=0.9 幸手市東*=0.9 熊谷市大里*=0.8 加須市騎西*=0.8 加須市北川辺*=0.8 久喜市菖蒲*=0.8 滑川町福田*=0.8 さいたま浦和区高砂=0.8 加須市大利根*=0.7 東松山市市ノ川*=0.7 鴻巣市川里*=0.7 蓮田市黒浜*=0.7 桶川市泉*=0.6 北本市本町*=0.6 三郷市中央*=0.6 松伏町松伏*=0.6 羽生市東*=0.6 鴻巣市中央*=0.6 久喜市青葉*=0.6 久喜市栗橋*=0.6 春日部市谷原新田*=0.6 吉川市きよみ野*=0.5 嵐山町杉山*=0.5 さいたま北区宮原*=0.5 さいたま見沼区堀崎*=0.5 白岡市千駄野*=0.5 千葉県 2 野田市鶴奉*=2.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.8 栄町安食台*=1.7 柏市旭町=1.6 白井市復*=1.6 1 山武市埴谷*=1.4 芝山町小池*=1.3 千葉花見川区花島町*=1.3 成田市中台*=1.3 印西市大森*=1.3 香取市佐原諏訪台*=1.2 成田国際空港=1.1 成田市名古屋=1.1 習志野市鷺沼*=1.1 柏市柏*=1.1 柏市大島田*=1.1 八千代市大和田新田*=1.1 我孫子市我孫子*=1.1 印西市笠神*=1.1 山武市蓮沼二*=1.0 千葉稲毛区園生町*=1.0 印西市美瀬*=1.0 野田市東宝珠花*=0.9 成田市松子*=0.9 神崎町神崎本宿*=0.9 酒々井町中央台*=0.9 香取市佐原平田=0.8 香取市役所*=0.8 香取市仁良*=0.8 松戸市西馬橋*=0.7 東金市日吉台*=0.7 富里市七栄*=0.7 船橋市湊町*=0.7 四街道市鹿渡*=0.6 香取市岩部*=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5 千葉中央区都町*=0.5 東金市東新宿=0.5 多古町多古=0.5 東京都 1 東京中野区中野*=0.8 東京中野区江古田*=0.7 東京葛飾区立石*=0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京文京区大塚*=0.6 東京杉並区高井戸*=0.5				
31	8 18 15	種子島近海 鹿児島県	30° 35.7' N	131° 07.6' E	31km	M: 3.3
		1 中種子町野間*=0.9				
32	8 18 53	鳥取県中部 鳥取県	35° 25.7' N	133° 49.5' E	7km	M: 2.1
		1 倉吉市葵町*=0.8 北栄町土下*=0.5				
33	9 05 33	岩手県沖 岩手県	39° 01.7' N	142° 07.8' E	49km	M: 3.9
		2 一関市室根町*=1.8 大船渡市猪川町=1.7 1 大船渡市大船渡町=1.4 一関市千厩町*=1.4 陸前高田市高田町*=1.2 釜石市只越町=1.2 釜石市中妻町*=1.2 一関市藤沢町*=1.1 一関市花泉町*=1.1 住田町世田米*=1.1 北上市相去町*=0.9 一関市東山町*=0.9 一関市大東町=0.8 平泉町平泉*=0.8 大船渡市盛町*=0.8 宮古市茂市*=0.8 遠野市宮守町*=0.8 盛岡市藪川*=0.7 奥州市胆沢*=0.7 宮古市区界*=0.7 宮古市田老*=0.6 金ヶ崎町西根*=0.6 八幡平市田頭*=0.6 盛岡市馬場町*=0.5 花巻市大迫町=0.5 山田町大沢*=0.5 盛岡市渋民*=0.5 宮城県 1 南三陸町志津川=1.4 気仙沼市赤岩=1.3 大崎市田尻*=1.1 登米市米山町*=1.0 気仙沼市笹が陣*=1.0 登米市東和町*=1.0 気仙沼市唐桑町*=0.9 南三陸町歌津*=0.9 石巻市桃生町*=0.9 栗原市若柳*=0.8 栗原市栗駒=0.8 栗原市金成*=0.7 登米市中田町=0.6 大崎市古川大崎=0.6 栗原市築館*=0.5 栗原市高清水*=0.5				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
34	9 09 26	宮城県北部 岩手県 宮城県	38° 44.2' N	141° 33.2' E	59km	M: 3.5 2 住田町世田米*=1.5 1 大船渡市大船渡町=1.3 一関市室根町*=1.2 一関市大東町=1.1 一関市千厩町*=1.1 釜石市中妻町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.0 一関市藤沢町*=0.9 大船渡市猪川町=0.8 奥州市胆沢*=0.8 山田町大沢*=0.8 北上市相去町*=0.6 1 涌谷町新町裏=1.1 石巻市泉町=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.0 石巻市北上町*=0.9 石巻市桃生町*=0.8 気仙沼市赤岩=0.7 南三陸町志津川=0.6 登米市中田町=0.5 大崎市古川大崎=0.5 大崎市鳴子*=0.5
35	10 03 03	千葉県南部 千葉県	35° 01.7' N	139° 59.5' E	46km	M: 2.8 1 館山市長須賀=0.7
36	10 10 00	茨城県沖 茨城県	36° 19.9' N	140° 55.2' E	46km	M: 3.2 1 水戸市千波町*=0.8 城里町小勝*=0.7 水戸市内原町*=0.5
37	10 10 39	兵庫県南東部 兵庫県	35° 03.5' N	134° 55.8' E	13km	M: 2.5 1 多可町八千代区*=0.9
38	10 11 08	福島県会津 福島県	37° 26.1' N	139° 40.9' E	4km	M: 2.7 2 三島町宮下*=1.6 1 柳津町大成沢=0.8
39	10 13 04	宮古島近海 沖縄県	24° 50.1' N	125° 00.4' E	24km	M: 3.5 1 宮古島市伊良部長浜*=1.2 宮古島市伊良部国仲=0.8
40	10 20 33	熊本県熊本地方 熊本県	32° 36.9' N	130° 42.0' E	5km	M: 2.2 1 宇城市豊野町*=1.3
41	10 22 00	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 17.4' N	130° 28.2' E	152km	M: 3.9 1 錦江町田代麓=0.8 錦江町田代支所*=0.8 鹿屋市新栄町=0.5 鹿屋市礼元*=0.5
42	10 22 12	宮城県沖 宮城県 岩手県	38° 54.1' N	142° 06.4' E	45km	M: 4.1 2 気仙沼市笹が陣*=1.5 気仙沼市唐桑町*=1.5 1 石巻市桃生町*=1.3 南三陸町志津川=1.2 大崎市田尻*=1.0 気仙沼市赤岩=0.8 石巻市相野谷*=0.8 南三陸町歌津*=0.7 石巻市北上町*=0.7 登米市登米町*=0.7 登米市東和町*=0.6 石巻市大街道南*=0.5 栗原市若柳*=0.5 1 釜石市中妻町*=1.2 一関市千厩町*=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 住田町世田米*=0.9 釜石市只越町=0.9 大船渡市大船渡町=0.8 遠野市青笹町*=0.7 一関市室根町*=0.7 大船渡市猪川町=0.6
43	10 23 17	広島県北部 広島県	34° 32.7' N	132° 16.5' E	17km	M: 3.0 1 広島佐伯区利松*=0.8 北広島町川小田*=0.5 北広島町都志見=0.5
44	11 00 25	静岡県中部 長野県 静岡県 埼玉県 東京都 神奈川県 山梨県 岐阜県 愛知県	34° 55.8' N	138° 13.8' E	29km	M: 4.0 2 飯田市南信濃*=1.6 1 根羽村役場*=1.2 阿智村駒場*=0.7 下條村陸沢*=0.7 天龍村平岡*=0.7 泰阜村梨久保=0.7 長野高森町下市田*=0.7 泰阜村役場*=0.5 天龍村清水*=0.5 2 富士宮市野中*=2.4 富士市大淵*=2.3 静岡駿河区曲金=2.2 静岡葵区駒形通*=2.1 静岡菊川市赤土*=2.1 御前崎市御前崎=1.9 島田市金谷代官町*=1.9 浜松天竜区春野町*=1.9 伊豆市中伊豆グラウンド=1.8 藤枝市岡部町岡部*=1.8 牧之原市静波*=1.8 島田市川根町家山=1.7 藤枝市岡出山*=1.6 掛川市西大淵*=1.6 島田市中心町=1.6 東伊豆町奈良本*=1.6 静岡葵区梅ヶ島*=1.5 河津町田中*=1.5 静岡菊川市堀之内*=1.5 焼津市本町*=1.5 浜松天竜区佐久間町*=1.5 1 松崎町江奈*=1.4 伊豆市湯ヶ島*=1.4 藤枝市瀬戸新屋*=1.4 静岡葵区追手町市役所*=1.4 掛川市長谷*=1.3 熱海市網代=1.3 伊豆の国市田京*=1.3 沼津市戸田*=1.2 東伊豆町稲取*=1.2 掛川市篠場=1.2 掛川市三俣*=1.2 西伊豆町一色*=1.2 函南町平井*=1.2 伊豆市八幡*=1.2 西伊豆町宇久須*=1.1 静岡葵区追手町県庁*=1.1 三島市東本町=1.1 静岡清水区千歳町=1.1 富士宮市弓沢町=1.1 袋井市浅名*=1.0 磐田市福田*=1.0 焼津市宗高*=1.0 伊豆の国市長岡*=1.0 袋井市新屋=0.9 長泉町中土狩*=0.9 牧之原市鬼女新田=0.9 西伊豆町仁科*=0.9 下田市市*=0.9 伊豆の国市四日町*=0.9 静岡清水区蒲原新栄*=0.8 川根本町上長尾*=0.8 湖西市新居町浜名*=0.8 湖西市吉美*=0.8 浜松北区三ヶ日町=0.8 富士市吉永*=0.8 吉田町住吉*=0.8 島田市川根町笹間上*=0.8 富士宮市長貫*=0.7 静岡清水区由比北田*=0.7 川根本町東藤川*=0.7 静岡清水町堂庭*=0.7 沼津市高島本町*=0.7 浜松北区細江町*=0.6 御前崎市池新田*=0.6 浜松東区流通元町*=0.6 伊豆市土肥*=0.5 南伊豆町入間*=0.5 浜松中区元城町*=0.5 1 秩父市中津川*=0.9 1 神津島村役場*=0.5 神津島村金長=0.5 1 山北町山北*=0.8 1 山梨南部町富士*=1.2 富士河口湖町船津=1.2 山梨北杜市長坂町*=1.0 山梨南部町栄小学校*=0.7 甲府市古閑町*=0.7 甲州市役所*=0.6 甲州市勝沼町勝沼*=0.6 鳴沢村役場*=0.6 笛吹市八代町南*=0.6 富士河口湖町長浜*=0.6 甲州市塩山上於曾*=0.6 大月市大月=0.5 1 恵那市上矢作町*=0.8 中津川市本町*=0.6 中津川市加子母*=0.5 1 新城市矢部=1.4 豊田市北上町*=1.4 新城市作手高里松風呂*=1.2 新城市作手高里繩手上*=1.1 新城市東入船*=0.9 豊田市小坂町*=0.8 豊田市長興寺*=0.8 愛知県みよし市三好町*=0.8

令和元年6月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
45	11 02 18	北海道東方沖 北海道	43° 25.7' N	146° 39.7' E	45km	M: 4.6
		豊田市大沼町*=0.7 名古屋瑞穂区塩入町*=0.6 西尾市吉良町*=0.6 名古屋緑区有松町*=0.5 蒲郡市水竹町*=0.5 2 根室市瑠瑠瑠*=2.4 根室市落石東*=2.3 中標津町丸山*=2.0 浜中町茶内*=1.8 根室市牧の内*=1.7 根室市厚床*=1.6 1 標津町北2条*=1.4 別海町常盤=1.4 別海町本別海*=1.4 標茶町塘路*=1.3 根室市弥栄=1.2 羅臼町岬町*=1.0 弟子屈町弟子屈*=0.9 鶴居村鶴居東*=0.8 斜里町本町=0.7 根室市豊里=0.7 標津町薫別*=0.5 中標津町養老牛=0.5 標茶町川上*=0.5				
46	11 04 44	西表島付近 沖縄県	24° 15.1' N	123° 49.0' E	15km	M: 3.2
		1 竹富町大原=1.1				
47	11 10 12	薩摩半島西方沖 鹿児島県	31° 35.1' N	130° 19.7' E	7km	M: 2.9
		2 日置市日吉町日置*=1.9 1 鹿児島市上谷口*=1.1 日置市東市来町長里*=0.9 枕崎市高見町=0.8 鹿児島市下福元=0.8 南さつま市金峰町尾下*=0.7 鹿児島市東郡元=0.6				
48	11 10 21	宮城県沖 宮城県	38° 24.9' N	141° 38.9' E	59km	M: 4.5
		3 涌谷町新町裏=2.6 2 石巻市桃生町*=2.3 松島町高城=2.3 栗原市若柳*=2.2 登米市南方町*=2.2 登米市石越町*=2.2 東松島市矢本*=2.1 東松島市小野*=2.1 塩竈市旭町*=2.0 石巻市大街道南*=2.0 石巻市前谷地*=2.0 登米市中田町=2.0 登米市東和町*=1.9 石巻市北上町*=1.9 登米市豊里町*=1.9 登米市米山町*=1.9 登米市迫町*=1.9 宮城美里町木間塚*=1.9 気仙沼市唐桑町*=1.8 大崎市松山*=1.8 大崎市鹿島台*=1.8 大崎市田尻*=1.8 栗原市瀬峰*=1.8 宮城美里町北浦*=1.8 大崎市古川大崎=1.7 登米市登米町*=1.7 大郷町粕川*=1.7 大衡村大衡*=1.7 栗原市一迫*=1.6 石巻市泉町=1.6 大崎市鳴子*=1.6 利府町利府*=1.6 石巻市相野谷*=1.6 南三陸町歌津*=1.6 登米市津山町*=1.5 石巻市雄勝町*=1.5 栗原市志波姫*=1.5 岩沼市桜*=1.5 仙台青葉区大倉=1.5 栗原市高清水*=1.5 気仙沼市笹が陣*=1.5 栗原市栗駒=1.5 女川町女川浜*=1.5 1 気仙沼市本吉町西川内=1.4 栗原市鶯沢*=1.4 大崎市古川三日町=1.4 名取市増田*=1.4 宮城川崎町前川*=1.4 仙台青葉区作並*=1.4 仙台宮城野区苦竹*=1.4 多賀城市中央*=1.4 気仙沼市本吉町津谷*=1.3 気仙沼市赤岩=1.3 栗原市金成*=1.3 柴田町船岡=1.2 栗原市花山*=1.2 色麻町四籠*=1.2 栗原市築館*=1.2 七ヶ浜町東宮浜*=1.2 大和町吉岡*=1.2 仙台宮城野区五輪=1.1 蔵王町円田*=1.1 南三陸町志津川=1.1 仙台空港=1.1 宮城加美町中新田*=1.0 仙台若林区遠見塚*=1.0 仙台泉区将監*=1.0 石巻市大瓜=1.0 石巻市鮎川浜*=0.9 大崎市岩出山*=0.9 大河原町新南*=0.9 富谷市富谷*=0.8 村田町村田*=0.8 山元町浅生原*=0.8 角田市角田*=0.8 仙台青葉区雨宮*=0.8 仙台青葉区落合*=0.7 宮城加美町小野田*=0.7 岩手県 2 一関市東山町*=2.3 住田町世田米*=2.2 一関市室根町*=2.2 一関市千厩町*=2.1 一関市花泉町*=2.1 陸前高田市高田町*=1.9 一関市大東町=1.9 大船渡市大船渡町=1.7 一関市藤沢町*=1.6 大船渡市猪川町=1.6 奥州市衣川*=1.5 一関市竹山町*=1.5 1 釜石市中妻町*=1.4 一関市川崎町*=1.4 平泉町平泉*=1.4 宮古市区界*=1.2 北上市相去町*=1.1 奥州市胆沢*=1.0 大船渡市盛町*=1.0 宮古市田老*=0.9 遠野市青笹町*=0.9 盛岡市薮川*=0.9 金ヶ崎町西根*=0.9 矢巾町南矢幅*=0.9 盛岡市洪民*=0.8 遠野市宮守町*=0.8 盛岡市山王町=0.8 釜石市只越町=0.8 北上市柳原町=0.7 山田町大沢*=0.7 山田町八幡町=0.7 奥州市江刺*=0.7 花巻市石鳥谷町*=0.7 八幡平市田頭*=0.6 花巻市大迫町=0.6 久慈市枝成沢=0.5 宮古市鉾ヶ崎=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.1 山形県 1 尾花沢市若葉町*=1.2 河北町谷地=0.7 大石田町緑町*=0.7 天童市老野森*=0.6 中山町長崎*=0.5 東根市中央*=0.5 福島県 1 福島市五老内町*=1.1 田村市都路町*=1.1 福島市桜木町*=0.9 国見町藤田*=0.9 田村市滝根町*=0.9 飯館村伊丹沢*=0.9 福島市松木町=0.8 本宮市本宮*=0.8 相馬市中村*=0.8 葛尾村落合落合*=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.8 川俣町五百田*=0.7 福島伊達市霊山町*=0.6 田村市船引町=0.6 檜葉町北田*=0.6 浪江町幾世橋=0.6 田村市常葉町*=0.6 福島伊達市梁川町*=0.5 新地町谷地小屋*=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 南相馬市鹿島区栃窪=0.5 南相馬市原町区高見町*=0.5				
49	11 10 59	千葉県西北部 栃木県	35° 48.3' N	140° 11.4' E	60km	M: 3.7
		2 真岡市石島*=1.6 1 下野市田中*=0.9 益子町益子=0.6 栃木市旭町=0.6 東京都 2 東京荒川区東尾久*=1.6 1 東京荒川区荒川*=1.4 東京北区西ヶ原*=1.3 東京文京区スポーツセンター*=1.3 東京足立区千住中居町*=1.3 東京文京区大塚*=1.2 東京江戸川区中央=1.2 東京足立区神明南*=1.1 東京江戸川区船堀*=1.1 東京千代田区大手町=1.0 東京江東区越中島*=1.0 東京足立区伊興*=1.0 東京中央区勝どき*=0.9 東京葛飾区立石*=0.9 東京江戸川区鹿骨*=0.9 東京千代田区富士見*=0.8 東京台東区千束*=0.8 東京墨田区東向島*=0.8 東京江東区森下*=0.8 東京品川区平塚*=0.8 東京品川区北品川*=0.7 東京世田谷区成城*=0.7 東京文京区本郷*=0.7 東京新宿区百人町*=0.6 八王子市堀之内*=0.6 町田市森野*=0.6 東京江東区東陽*=0.6 東京渋谷区宇田川町*=0.6 東京千代田区麴町*=0.6 東京葛飾区金町*=0.5 調布市西つづじヶ丘*=0.5 東京世田谷区世田谷*=0.5 茨城県 1 水戸市内原町*=1.1 桜川市真壁*=1.1 つくば市小荻*=1.0 稲敷市江戸崎甲*=1.0 筑西市舟生=1.0 笠間市石井*=1.0 小美玉市小川*=1.0 土浦市常名=1.0 桜川市岩瀬*=0.9 石岡市柿岡=0.9 取手市寺田*=0.9 小美玉市上玉里*=0.9 坂東市岩井=0.9 笠間市中央*=0.9 土浦市藤沢*=0.9 筑西市門井*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.9 桜川市羽田*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.8 小美玉市堅倉*=0.7 城里町小勝*=0.7 龍ヶ崎市役所*=0.7 笠間市下郷*=0.7 笠間市笠間*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 鉾田市鉾田=0.5 稲敷市伊佐津*=0.5 美浦村受領*=0.5 牛久市中央*=0.5				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		群馬県 埼玉県 千葉県 神奈川県				1 邑楽町中野*0.8 渋川市赤城町*0.7 桐生市黒保根町*0.5 千代田町赤岩*0.5 1 宮代町笠原*1.1 春日部市粕壁*1.0 さいたま南区別所*1.0 春日部市谷原新田*0.9 八潮市中央*0.9 さいたま中央区下落合*0.9 富士見市鶴馬*0.8 久喜市菖蒲*0.8 さいたま緑区中尾*0.8 志木市中宗岡*0.8 川口市三ツ和*0.7 さいたま浦和区高砂*0.7 蕨市中央*0.7 和光市広沢*0.7 三郷市中央*0.6 吉川市きよみ野*0.6 春日部市金崎*0.6 さいたま西区指扇*0.6 加須市騎西*0.6 加須市大利根*0.6 久喜市下早見*0.6 白岡市千駄野*0.6 越谷市越ヶ谷*0.5 さいたま北区宮原*0.5 1 野田市鶴奉*1.1 浦安市日の出*1.0 白井市復*1.0 八千代市大和田新田*0.9 栄町安食台*0.8 千葉中央区都町*0.8 千葉花見川区花島町*0.8 市原市姉崎*0.8 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*0.7 君津市久留里市場*0.7 千葉美浜区ひび野*0.6 柏市旭町*0.6 千葉中央区中央港*0.6 東金市日吉台*0.5 長南町総合グラウンド*0.5 成田市名古屋*0.5 1 横浜港北区日吉本町*1.1 横浜緑区十日市場町*1.1 横浜青葉区榎が丘*1.0 川崎川崎区宮前町*1.0 横浜鶴見区末広町*0.9 横浜中区山吹町*0.9 横浜旭区川井宿町*0.9 横浜瀬谷区中屋敷*0.9 三浦市城山町*0.9 横浜港南区丸山台東部*0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎*0.8 横浜中区山手町*0.7 川崎宮前区野川*0.7 横須賀市光の丘*0.7 横浜磯子区洋光台*0.6 相模原中央区上溝*0.6
50	11 17 04	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 16.2' N	130° 30.6' E	7km	M: 2.7 1 芦北町芦北*1.1 津奈木町小津奈木*0.8
51	11 22 14	宮城県沖 岩手県	38° 42.1' N	141° 47.6' E	53km	M: 2.8 1 一関市室根町*0.5
52	12 15 04	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 26.9' N	130° 32.7' E	9km	M: 2.7 1 八代市平山新町*0.7 八代市坂本町*0.6
53	12 19 35	宮城県沖 宮城県 岩手県 福島県	38° 13.9' N	141° 41.8' E	50km	M: 4.2 2 石巻市桃生町*2.2 石巻市鮎川浜*2.0 大崎市鹿島台*1.8 東松島市矢本*1.7 石巻市泉町*1.5 涌谷町新町裏*1.5 松島町高城*1.5 1 大崎市田尻*1.4 石巻市大街道南*1.3 石巻市北上町*1.3 登米市豊里町*1.3 気仙沼市唐桑町*1.2 石巻市相野谷*1.2 東松島市小野*1.2 女川町女川浜*1.2 宮城川崎町前川*1.2 栗原市栗駒*1.1 気仙沼市笹が陣*1.1 名取市増田*1.1 七ヶ浜町東宮浜*1.1 仙台泉区将監*1.1 宮城美里町北浦*1.0 岩沼市桜*1.0 仙台空港*1.0 仙台若林区遠見塚*1.0 塩竈市旭町*1.0 仙台宮城野区苦竹*0.9 大衡村大衡*0.9 登米市南方町*0.9 石巻市前谷地*0.9 石巻市雄勝町*0.9 大河原町新南*0.9 南三陸町志津川*0.9 栗原市築館*0.8 南三陸町歌津*0.8 柴田町船岡*0.8 登米市中田町*0.8 山元町浅生原*0.8 大崎市松山*0.8 登米市東和町*0.8 大崎市古川大崎*0.7 栗原市瀬峰*0.7 栗原市金成*0.7 登米市米山町*0.7 仙台宮城野区五輪*0.7 大和町吉岡*0.6 気仙沼市赤岩*0.6 宮城美里町木間塚*0.6 石巻市大瓜*0.5 栗原市高清水*0.5 登米市津山町*0.5 角田市角田*0.5 利府町利府*0.5 大崎市古川三日町*0.5 1 一関市室根町*1.4 一関市藤沢町*1.2 一関市千厩町*1.1 住田町世田米*1.1 一関市東山町*0.8 一関市花泉町*0.8 一関市大東町*0.7 大船渡市大船渡町*0.6 1 相馬市中村*1.4 南相馬市鹿島区西町*1.1 田村市滝根町*1.0 飯館村伊丹沢*1.0 田村市大越町*0.9 福島伊達市霊山町*0.9 双葉町両竹*0.9 川俣町五百田*0.8 田村市船引町*0.8 田村市都路町*0.8 浪江町幾世橋*0.8 南相馬市原町区高見町*0.8 檜葉町北田*0.7 福島伊達市梁川町*0.7 二本松市針道*0.6 新地町谷地小屋*0.6 南相馬市原町区三島町*0.6 川内村下川内*0.5 田村市常葉町*0.5 南相馬市鹿島区栞窪*0.5
54	12 20 54	青森県津軽北部 青森県	41° 08.1' N	140° 32.2' E	13km	M: 2.4 1 今別町今別*0.8
55	13 09 56	十勝沖 北海道 青森県 岩手県	41° 02.5' N	144° 09.7' E	63km	M: 4.7 1 函館市泊町*1.1 十勝池田町西1条*1.0 標津町北2条*0.8 函館市新浜町*0.7 根室市落石東*0.6 別海町常盤*0.6 浦河町潮見*0.5 1 野辺地町野辺地*1.0 階上町道仏*1.0 五戸町古館*0.9 八戸市南郷*0.9 東通村砂子又沢内*0.9 八戸市内丸*0.9 青森南部町苦米地*0.8 むつ市金曲*0.6 平内町東田沢*0.5 1 盛岡市薮川*1.0 軽米町軽米*0.9 八幡平市田頭*0.7
56	13 11 06	茨城県沖 茨城県	36° 06.0' N	140° 59.5' E	36km	M: 3.0 1 茨城鹿嶋市宮中*0.5
57	13 17 23	静岡県西部 静岡県	34° 52.1' N	137° 52.9' E	14km	M: 3.2 1 島田市川根町家山*1.3 浜松天竜区春野町*1.2 掛川市長谷*1.0 浜松天竜区佐久間町*0.8
58	13 18 44	岐阜県美濃東部 岐阜県	35° 46.2' N	137° 23.4' E	11km	M: 2.5 1 中津川市加子母*0.9
59	13 19 01	静岡県西部 静岡県	34° 52.1' N	137° 52.8' E	14km	M: 2.8 1 浜松天竜区春野町*0.5
60	13 21 30	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 16.9' N	141° 37.6' E	54km	M: 3.7 1 一関市室根町*1.1 一関市千厩町*0.7 1 石巻市桃生町*1.3 登米市津山町*1.2 気仙沼市唐桑町*0.9 石巻市大街道南*0.9

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		涌谷町新町裏=0.9 東松島市矢本*=0.9 東松島市小野*=0.9 南三陸町歌津*=0.8 石巻市鮎川浜*=0.8 登米市石越町*=0.7 石巻市北上町*=0.7 石巻市前谷地*=0.7 登米市豊里町*=0.7 名取市増田*=0.7 石巻市泉町=0.7 石巻市大瓜=0.6 岩沼市桜*=0.6 石巻市雄勝町*=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.6 登米市東和町*=0.6 南三陸町志津川=0.5 松島町高城=0.5				
61	14 09 52	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県 1 霧島市横川町中ノ*=0.8 霧島市牧園町宿窪田*=0.5	31° 51.9' N	130° 42.0' E	8km	M: 2.4
62	14 21 33	日高地方東部 北海道 1 幕別町忠類錦町*=1.1 浦河町築地*=0.8 十勝大樹町生花*=0.8 浦河町潮見=0.6 浦河町野深=0.6 更別村更別*=0.5	42° 19.2' N	143° 03.8' E	52km	M: 3.7
63	14 23 33	茨城県沖 福島県 茨城県 1 白河市新白河*=0.6 1 日立市助川小学校*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.5	36° 47.0' N	141° 04.9' E	47km	M: 3.6
64	15 05 54	日向灘 宮崎県 2 川南町川南*=2.3 宮崎都農町役場*=1.8 1 宮崎美郷町田代*=1.4 宮崎市霧島=1.4 宮崎市松橋*=1.4 高鍋町上江*=1.3 宮崎市田野町体育館*=1.3 宮崎市橋通東*=1.1 国富町本庄*=1.1 小林市真方=1.1 西都市上の宮*=1.0 小林市野尻町東麓*=0.8 木城町高城*=0.7 西都市聖陵町*=0.7 延岡市天神小路=0.7 日南市吾田東*=0.6 日向市大王谷運動公園=0.6 日向市東郷町山陰*=0.6 綾町南保健センター*=0.5 熊本県 大分県 1 熊本美里町永富*=0.5 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.6	32° 14.4' N	132° 08.0' E	18km	M: 4.1
65	15 05 57	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*=1.4	36° 58.4' N	139° 22.2' E	5km	M: 1.9
66	15 07 25	山口県東部 島根県 広島県 山口県 1 吉賀町六日市*=1.0 1 廿日市市津田*=1.4 広島佐伯区利松*=0.8 広島安佐北区可部南*=0.5 1 岩国市本郷町本郷*=1.3 岩国市美川町高ヶ原*=1.1 岩国市横山*=0.9 岩国市今津=0.7 岩国市美川町四馬神*=0.7	34° 13.7' N	132° 05.7' E	11km	M: 3.4
67	15 11 38	千葉県北東部 千葉県 1 長南町総合グラウンド=0.8	35° 25.4' N	140° 19.4' E	15km	M: 1.8
68	15 11 46	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市室根町*=0.7 一関市千厩町*=0.6 一関市藤沢町*=0.6 1 気仙沼市唐桑町*=0.9 気仙沼市赤岩=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.6	38° 42.3' N	142° 16.6' E	37km	M: 3.8
69	15 11 53	熊本県熊本地方 熊本県 2 宇土市浦田町*=1.6 宇城市豊野町*=1.6 1 嘉島町上島*=1.4 宇城市不知火町*=0.9 甲佐町豊内*=0.8 宇城市小川町*=0.8 熊本西区春日=0.7 八代市松江城町*=0.6 宇城市松橋町=0.5 熊本美里町永富*=0.5	32° 38.6' N	130° 41.2' E	11km	M: 3.1
70	15 13 47	岩手県沖 岩手県 2 釜石市中妻町*=1.8 一関市室根町*=1.6 矢巾町南矢幅*=1.6 1 遠野市青笹町*=1.4 盛岡市洪民*=1.3 大船渡市大船渡町=1.2 花巻市東和町*=1.2 釜石市只越町=1.2 盛岡市藪川*=1.2 住田町世田米*=1.1 盛岡市山王町=1.1 一関市花泉町*=1.1 一関市千厩町*=1.1 一関市藤沢町*=1.1 紫波町紫波中央駅前*=1.1 滝沢市鶴飼*=1.1 花巻市石鳥谷町*=1.0 宮古市田老*=1.0 八幡平市田頭*=1.0 花巻市大迫町=1.0 遠野市宮守町*=0.9 山田町大沢*=0.9 奥州市胆沢*=0.7 宮古市川井*=0.7 北上市相去町*=0.6 大船渡市猪川町=0.6 八幡平市大更=0.6 陸前高田市高田町*=0.6 宮古市五月町*=0.5 雫石町千刈田=0.5 宮古市茂市*=0.5 西和賀町沢内川舟*=0.5 宮城県 2 南三陸町志津川=1.7 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.3 気仙沼市唐桑町*=1.2 栗原市栗駒=1.0 石巻市桃生町*=1.0 栗原市若柳*=0.9 大崎市田尻*=0.9 南三陸町歌津*=0.8 大崎市古川大崎=0.8 登米市迫町*=0.8 登米市登米町*=0.7 登米市米山町*=0.7 栗原市高清水*=0.7 登米市中田町=0.7 栗原市築館*=0.5 大崎市古川三日町=0.5 登米市東和町*=0.5 岩沼市桜*=0.5 青森県 1 八戸市南郷*=0.9 五戸町古館=0.8 階上町道仏*=0.7 青森南部町苦米地*=0.6	39° 02.1' N	142° 44.7' E	29km	M: 4.7
71	15 16 10	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.8	38° 25.8' N	141° 50.9' E	57km	M: 3.5
72	15 17 20	釧路沖 北海道 2 別海町常盤=2.4 浜中町茶内*=2.3 標津町北2条*=2.0 浜中町湯沸=2.0 根室市落石東*=1.7 根室市厚床*=1.6 厚岸町真栄*=1.5 別海町本別海*=1.5 1 厚岸町尾幌=1.4 別海町西春別*=1.4 根室市牧の内*=1.3 中標津町養老牛=0.9 根室市瑠瑠瑠*=0.9 釧路市幸町=0.8 弟子屈町弟子屈*=0.8 標茶町川上*=0.7 斜里町ウトロ香川*=0.5 鶴居村鶴居東*=0.5	42° 52.8' N	144° 55.0' E	50km	M: 4.0

令和元年6月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
73 (注)	15 18 08	熊本県熊本地方	32° 48.1' N	130° 49.5' E	6km	M: 2.2
	15 18 08	熊本県熊本地方 熊本県 1 菊池市旭志*=0.8	32° 48.0' N	130° 49.6' E	6km	M: 2.0
74	15 18 10	熊本県熊本地方	32° 48.0' N	130° 49.7' E	6km	M: 3.1
		熊本県 2 益城町惣領*=1.9 熊本東区佐土原*=1.9 菊池市旭志*=1.6 西原村小森*=1.6 熊本中央区大江*=1.5 熊本西区春日=1.5 1 大津町引水*=1.1 嘉島町上島*=1.1 菊陽町久保田*=1.0 甲佐町豊内*=1.0 宇城市豊野町*=1.0 山都町浜町*=0.9 熊本北区植木町*=0.9 熊本美里町永富*=0.8 御船町御船*=0.6 宇城市不知火町*=0.5 合志市竹迫*=0.5 熊本美里町馬場*=0.5				
75	16 08 59	大阪府北部	34° 51.4' N	135° 38.1' E	12km	M: 2.9
		京都府 1 八幡市八幡*=1.4 久御山町田井*=1.3 宇治市宇治琵琶=1.0 大山崎町円明寺*=0.9 京田辺市田辺*=0.8 城陽市寺田*=0.6 京都伏見区向島*=0.6 京都中京区河原町御池*=0.5 長岡京市開田*=0.5 井手町井手*=0.5 大阪府 1 枚方市大垣内*=0.9 交野市私部*=0.9 島本町若山台*=0.7 茨木市東中条町*=0.5				
76	16 11 53	茨城県沖	36° 16.2' N	140° 55.8' E	38km	M: 3.3
		茨城県 1 ひたちなか市南神敷台*=1.1 水戸市栗崎町*=0.9 水戸市千波町*=0.8 日立市助川小学校*=0.7 笠間市石井*=0.5 水戸市内原町*=0.5				
77	16 14 18	宮城県沖	38° 17.6' N	141° 55.2' E	51km	M: 3.6
		岩手県 1 一関市千厩町*=0.5				
78	16 16 23	大阪府北部	34° 51.4' N	135° 38.0' E	12km	M: 2.5
		京都府 1 八幡市八幡*=0.7 大阪府 1 島本町若山台*=0.6				
79	17 08 00	茨城県北部	36° 30.9' N	140° 35.0' E	77km	M: 5.1
		福島県 4 白河市表郷*=3.6 矢祭町東館*=3.5 3 矢祭町戸塚*=3.4 田村市大越町*=3.4 田村市都路町*=3.4 玉川村小高*=3.3 田村市滝根町*=3.3 浅川町浅川*=3.3 白河市東*=3.3 白河市新白河*=3.2 田村市船引町*=3.2 石川町長久保*=3.2 鏡石町不時沼*=3.2 中島村滑津*=3.1 川内村上川内早渡*=3.1 須賀川市八幡山*=3.1 泉崎村泉崎*=3.0 須賀川市八幡町*=3.0 いわき市三和町=3.0 田村市常葉町*=3.0 本宮市白岩*=2.9 郡山市湖南町*=2.9 川内村上川内小山平*=2.9 須賀川市岩瀬支所*=2.9 棚倉町棚倉中居野=2.9 浪江町幾世橋=2.8 平田村永田*=2.8 郡山市開成*=2.8 古殿町松川新桑原*=2.8 小野町中通*=2.7 西郷村熊倉*=2.7 三春町大町*=2.7 本宮市本宮*=2.7 双葉町両竹*=2.7 郡山市朝日=2.6 いわき市小浜浜=2.6 白河市大信*=2.6 葛尾村落合落合*=2.6 いわき市錦町*=2.6 小野町小野新町*=2.6 二本松市針道*=2.5 いわき市平梅本*=2.5 相馬市中村*=2.5 檜葉町北田*=2.5 檜枝岐村上河原*=2.5 二本松市油井*=2.5 2 白河市郭内=2.4 川俣町五百田*=2.4 大玉村南小屋=2.4 天栄村下松本*=2.4 矢吹町一本木*=2.4 古殿町松川横川=2.4 福島伊達市霊山町*=2.4 飯館村伊丹沢*=2.4 南相馬市小高区*=2.4 会津美里町新鶴庁舎*=2.4 新地町谷地小屋*=2.3 二本松市金色*=2.3 南相馬市鹿島区西町*=2.3 鮫川村赤坂中野*=2.3 喜多方市御清水*=2.3 川内村下川内=2.3 福島広野町下北迫大谷地原*=2.2 福島広野町下北迫苗代替*=2.2 大熊町野上*=2.2 南会津町田島=2.2 大玉村玉井*=2.2 塙町塙*=2.2 いわき市平四ツ波*=2.1 磐梯町磐梯*=2.1 会津坂下町市中三番甲*=2.1 南相馬市原町区三島町=2.1 喜多方市塩川町*=2.0 天栄村湯本支所*=2.0 福島市飯野町*=2.0 棚倉町棚倉ヶ丘*=2.0 南相馬市鹿島区栞窪=2.0 南相馬市原町区本町*=2.0 福島市五老内町*=2.0 猪苗代町千代田*=1.9 福島市松木町=1.9 湯川村清水田*=1.9 会津若松市東栄町*=1.9 南会津町山口*=1.9 国見町藤田*=1.9 南相馬市原町区高見町*=1.9 富岡町本岡*=1.8 福島伊達市前川原*=1.8 西会津町登世島*=1.8 桑折町東大隅*=1.8 須賀川市長沼支所*=1.7 喜多方市松山町*=1.7 会津美里町本郷庁舎*=1.7 福島市桜木町*=1.7 南会津町古町*=1.7 福島伊達市梁川町*=1.6 北塩原村北山*=1.6 福島伊達市保原町*=1.6 猪苗代町城南=1.6 福島伊達市月館町*=1.6 会津若松市北会津町*=1.6 喜多方市高郷町*=1.6 南会津町滝原*=1.6 二本松市小浜*=1.5 南会津町界*=1.5 1 会津若松市材木町=1.4 下郷町塩生*=1.4 只見町黒谷*=1.4 只見町只見*=1.4 会津美里町高田庁舎*=1.4 西会津町野沢=1.3 福島昭和村下中津川*=1.2 柳津町柳津*=1.2 南会津町松戸原*=1.1 下郷町高崎*=1.1 福島金山町川口*=0.6 茨城県 4 笠間市石井*=4.3 大子町池田*=4.2 常陸大宮市山方*=3.9 城里町小勝*=3.9 笠間市笠間*=3.9 ひたちなか市東石川*=3.8 ひたちなか市南神敷台*=3.7 水戸市千波町*=3.7 桜川市岩瀬*=3.7 日立市助川小学校*=3.7 土浦市常名=3.6 水戸市内原町*=3.6 東海村東海*=3.6 小美玉市上玉里*=3.5 水戸市栗崎町*=3.5 筑西市門井*=3.5 常陸大宮市野口*=3.5 城里町石塚*=3.5 3 水戸市金町=3.4 常陸太田市金井町*=3.4 常陸大宮市北町*=3.4 石岡市柿岡=3.4 行方市麻生*=3.3 潮来市辻*=3.2 かすみがうら市大和田*=3.2 桜川市羽田*=3.2 日立市役所*=3.2 常陸太田市大中町*=3.2 大洗町磯浜町*=3.2 小美玉市小川*=3.2 笠間市中央*=3.1 笠間市下郷*=3.1 日立市王町友部*=3.1 鉾田市造谷*=3.1 鉾田市汲上*=3.1 常陸大宮市高部*=3.1 那珂市福田*=3.1 那珂市瓜連*=3.1 石岡市八郷*=3.1 常陸太田市高柿町*=3.1 筑西市舟生=3.1 高萩市安良川*=3.0 かすみがうら市上土田*=3.0 常陸大宮市上小瀬*=3.0 北茨城市中郷町*=3.0 桜川市真壁*=3.0 小美玉市堅倉*=3.0 ひたちなか市山ノ上町=3.0 茨城鹿嶋市鉢形=2.9 石岡市若宮*=2.9 常陸太田市町屋町=2.8 稲敷市江戸崎町*=2.8 城里町阿波山*=2.8 常陸大宮市中富町=2.8 土浦市藤沢*=2.8 茨城町小堤*=2.7 茨城鹿嶋市宮中*=2.7 北茨城市磯原町*=2.7 土浦市田中*=2.7				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		つくば市研究学園*2.6 常陸太田市町田町*2.6 美浦村受領*2.6 行方市玉造*2.5 阿見町中央*2.5 筑西市下中山*2.5 筑西市海老ヶ島*2.5 2 高萩市本町*2.4 結城市結城*2.4 牛久市中央*2.4 つくば市小笠*2.4 潮来市堀之内*2.4 稲敷市伊佐津*2.4 鉾田市鉾田*2.4 常総市新石下*2.3 下妻市本城町*2.3 取手市寺田*2.3 つくば市天王台*2.3 五霞町小福田*2.3 稲敷市結佐*2.3 坂東市馬立*2.2 稲敷市役所*2.2 稲敷市須賀津*2.2 神栖市溝口*2.2 行方市山田*2.2 下妻市鬼怒*2.1 八千代町菅谷*2.1 境町旭町*2.0 守谷市大柏*2.0 龍ヶ崎市役所*2.0 坂東市山*2.0 つくばみらい市福田*1.9 河内町源清田*1.8 常総市水海道諏訪町*1.8 坂東市役所*1.8 茨城古河市下大野*1.8 神栖市波崎*1.7 取手市井野*1.7 つくばみらい市加藤*1.7 茨城古河市仁連*1.6 利根町布川*1.6 坂東市岩井*1.6 取手市藤代*1.5 1 茨城古河市長谷町*1.4 4 大田原市湯津上*4.2 那須烏山市中央*3.7 3 栃木那珂川町馬頭*3.4 栃木那珂川町小川*3.4 真岡市田町*3.3 茂木町茂木*3.3 高根沢町石末*3.3 那須烏山市大金*3.3 那須塩原市あたご町*3.2 真岡市荒町*3.2 真岡市石島*3.2 大田原市本町*3.1 宇都宮市中岡本町*3.1 益子町益子*3.1 那須塩原市塩原庁舎*3.0 栃木さくら市喜連川*3.0 日光市鬼怒川温泉大原*2.9 市貝町市塙*2.9 塩谷町玉生*2.9 那須烏山市役所*2.9 宇都宮市中里町*2.9 芳賀町祖母井*2.8 那須町寺子*2.8 栃木さくら市氏家*2.8 宇都宮市明保野町*2.7 鹿沼市口栗野*2.7 日光市芹沼*2.6 大田原市黒羽田町*2.5 那須塩原市鍋掛*2.5 日光市藤原庁舎*2.5 2 日光市瀬川*2.4 矢板市本町*2.4 佐野市高砂町*2.4 鹿沼市晃望台*2.4 鹿沼市今宮町*2.4 那須塩原市共墾社*2.3 宇都宮市旭*2.3 足利市大正町*2.3 佐野市葛生東*2.3 茂木町北高岡天矢場*2.3 下野市田中*2.2 下野市笹原*2.2 下野市大松山*2.2 那須塩原市中塩原*2.2 栃木市西方町本城*2.1 栃木市岩舟町静*2.1 日光市黒部*2.1 小山市神鳥谷*2.1 栃木市旭町*2.1 栃木市藤岡町藤岡*2.0 壬生町通町*2.0 那須塩原市藁沼*2.0 宇都宮市塙田*1.9 栃木市万町*1.9 日光市足尾町中才*1.9 佐野市中町*1.9 佐野市田沼町*1.8 小山市中央町*1.8 日光市今市本町*1.8 日光市御幸町*1.8 栃木市都賀町家中*1.7 日光市足尾町通洞*1.7 栃木市大平町富田*1.7 日光市湯元*1.7 上三川町しらさぎ*1.6 野木町丸林*1.6 1 日光市中宮祠*1.3 3 岩沼市桜*2.8 2 山元町浅生原*2.2 蔵王町円田*2.0 角田市角田*2.0 大崎市田尻*1.9 丸森町鳥屋*1.9 亘理町下小路*1.8 名取市増田*1.8 塩竈市旭町*1.8 東松島市矢本*1.7 大河原町新南*1.7 石巻市桃生町*1.7 丸森町上滝*1.7 石巻市大街道南*1.6 仙台空港*1.6 宮城川崎町前川*1.6 仙台若林区遠見塚*1.6 松島町高城*1.5 大崎市松山*1.5 宮城加美町中新田*1.5 大崎市古川三日町*1.5 仙台青葉区作並*1.5 仙台宮城野区苦竹*1.5 東松島市小野*1.5 1 涌谷町新町裏*1.4 宮城美里町木間塚*1.4 大崎市鹿島台*1.4 白石市亘理町*1.4 柴田町船岡*1.4 石巻市相野谷*1.4 利府町利府*1.4 色麻町四籠*1.3 南三陸町志津川*1.3 仙台宮城野区五輪*1.3 登米市中田町*1.2 登米市米山町*1.2 仙台泉区将監*1.2 登米市南方町*1.2 登米市迫町*1.2 大衡村大衡*1.2 七ヶ浜町東宮浜*1.1 村田町村田*1.1 大郷町柏川*1.1 仙台青葉区落合*1.1 栗原市高清水*1.0 宮城美里町北浦*1.0 大崎市古川大崎*1.0 栗原市築館*1.0 石巻市北上町*1.0 仙台太白区山田*0.9 栗原市若柳*0.9 石巻市泉町*0.9 石巻市鮎川浜*0.9 気仙沼市唐桑町*0.9 大崎市三本木*0.9 石巻市前谷地*0.9 登米市登米町*0.9 宮城加美町小野田*0.9 気仙沼市赤岩*0.9 気仙沼市笹が陣*0.9 仙台青葉区大倉*0.8 仙台青葉区雨宮*0.8 富谷市富谷*0.8 栗原市一迫*0.7 多賀城市中央*0.7 七ヶ宿町関*0.7 登米市東和町*0.7 宮城加美町宮崎*0.7 石巻市大瓜*0.6 大和町吉岡*0.6 栗原市栗駒*0.5 3 白井市復*2.6 香取市佐原平田*2.5 香取市役所*2.5 成田市名古屋*2.5 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*2.5 2 銚子市小畑新町*2.4 香取市佐原諏訪台*2.4 香取市仁良*2.4 千葉花見川区花島町*2.4 成田市松子*2.3 千葉中央区都町*2.2 野田市鶴奉*2.2 栄町安食台*2.2 八千代市大和田新田*2.1 印西市美瀬*2.1 神崎町神崎本宿*2.0 香取市羽根川*2.0 成田国際空港*2.0 成田市中台*2.0 習志野市鷺沼*2.0 香取市岩部*1.9 山武市埴谷*1.9 浦安市日の出*1.9 八街市八街*1.9 富里市七栄*1.9 芝山町小池*1.8 船橋市湊町*1.8 松戸市西馬橋*1.8 野田市東宝珠花*1.8 千葉佐倉市海隣寺町*1.8 柏市野田*1.8 印西市大森*1.8 東金市東新宿*1.8 千葉美浜区ひび野*1.7 柏市柏*1.7 柏市大島田*1.7 多古町多古*1.7 匝瑳市八日市場*1.7 千葉若葉区小倉台*1.7 千葉稲毛区園生町*1.6 松戸市根本*1.6 成田市役所*1.6 成田市猿山*1.6 銚子市川口町*1.6 東金市日吉台*1.6 旭市南堀之内*1.6 印西市笠神*1.6 横芝光町栗山*1.6 山武市松尾町富士見台*1.6 銚子市若宮町*1.5 千葉美浜区稲毛海岸*1.5 横芝光町宮川*1.5 四街道市鹿渡*1.5 1 旭市高生*1.4 旭市萩園*1.4 旭市二*1.4 匝瑳市今泉*1.4 山武市蓮沼二*1.4 千葉中央区千葉市役所*1.3 市川市南八幡*1.3 我孫子市我孫子*1.3 浦安市猫実*1.3 酒々井町中央台*1.3 東金市東岩崎*1.3 長南町総合グラウンド*1.2 長南町長南*1.2 山武市松尾町五反田*1.2 千葉中央区中央港*1.2 市原市姉崎*1.2 流山市平和台*1.2 東庄町笹川*1.1 山武市蓮沼ハ*1.1 千葉緑区おゆみ野*1.0 九十九里町片貝*1.0 富津市下飯野*0.9 山武市殿台*0.9 一宮町一宮*0.8 君津市久留里市場*0.8 南房総市富浦町青木*0.8 木更津市富士見*0.7 鴨川市横渚*0.6 大網白里市大網*0.6 館山市長須賀*0.6 2 上山市河崎*1.5 中山町長崎*1.5 1 山辺町緑ヶ丘*1.4 南陽市三間通*1.1 高島町高島*1.1 米沢市林泉寺*1.1 最上町向町*0.8 村山市中央*0.8 天童市老野森*0.8 尾花沢市若葉町*0.8 白鷹町黒鴨*0.7 東根市中央*0.7 大石町緑町*0.6 米沢市駅前*0.6 米沢市アルカディア*0.6 山形川西町上小松*0.6 河北町谷地*0.6 西川町大井沢*0.6 群馬県 2 渋川市赤城町*2.4 沼田市白沢町*2.2 邑楽町中野*2.2 沼田市利根町*2.1 桐生市黒保根町*2.1 板倉町板倉*2.1 大泉町日の出*2.0 片品村東小川*1.9 群馬明和町新里*1.9 千代田町赤岩*1.9 片品村鎌田*1.8 桐生市元宿町*1.8 伊勢崎市西久保町*1.8				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>太田市西本町*1.8 館林市美園町*1.8 沼田市西倉内町=1.7 桐生市新里町*1.7 太田市浜町*1.7 館林市城町*1.6 渋川市吹屋*1.6 沼田市下久屋町*1.5 前橋市粕川町*1.5</p> <p>1 前橋市富士見町*1.4 伊勢崎市今泉町*1.4 伊勢崎市境*1.4 高崎市高松町*1.3 桐生市織姫町=1.3 太田市粕川町*1.3 太田市大原町*1.3 みなかみ町鹿野沢*1.3 太田市新田金井町*1.2 渋川市伊香保町*1.2 みどり市笠懸町*1.2 伊勢崎市東町*1.1 安中市安中*1.1 みどり市大間々町*1.1 群馬昭と村糸井*1.1 前橋市堀越町*1.1 前橋市鼻毛石町*1.1 吉岡町下野田*1.0 みどり市東町*1.0 東吾妻町本宿*0.9 前橋市昭和町=0.8 前橋市駒形町*0.8 渋川市石原*0.8 神流町生利*0.8 高崎市足門町*0.8 安中市松井田町*0.7 高崎市吉井町吉井川*0.7 川場村谷地*0.7 前橋市大手町*0.7 渋川市有馬*0.7 渋川市北橋町*0.7 みなかみ町後閑*0.6 東吾妻町奥田*0.6 高崎市箕郷町*0.6 榛東村新井*0.6 群馬高山村中山*0.6 高崎市新町*0.6 玉村町下新田*0.6 甘楽町小幡*0.5 藤岡市鬼石*0.5 高崎市倉淵町*0.5 中之条町日影=0.5 渋川市村上*0.5 神流町神ヶ原*0.5</p> <p>2 東松山市松葉町*2.0 春日部市金崎*2.0 宮代町笠原*2.0 春日部市柏壁*1.9 幸手市東*1.9 加須市大利根*1.9 加須市騎西*1.8 久喜市下早見=1.8 熊谷市江南*1.7 羽生市東*1.7 加須市三俣*1.6 加須市北川辺*1.6 滑川町福田*1.6 嵐山町杉山*1.6 春日部市谷原新田*1.6 杉戸町清地*1.6 行田市南河原*1.6 鴻巣市川里*1.5 熊谷市大里*1.5 さいたま見沼区堀崎*1.5 さいたま岩槻区本丸*1.5</p> <p>1 行田市本丸*1.4 深谷市川本*1.4 久喜市青葉*1.4 久喜市鷲宮*1.4 川越市旭町=1.4 川口市中青木分室*1.4 上尾市本町*1.4 和光市広沢*1.4 三郷市中央*1.4 吉川市きよみ野*1.4 川島町下八ツ林*1.4 さいたま北区宮原*1.4 さいたま浦和区高砂=1.4 長瀨町野上下郷*1.4 ときがわ町桃木*1.3 川越市新宿町*1.3 新座市野火止*1.3 北本市本町*1.3 東松山市市ノ川*1.3 鴻巣市中央*1.3 さいたま緑区中尾*1.3 白岡市千駄野*1.3 鴻巣市吹上富士見*1.3 深谷市花園*1.2 さいたま大宮区天沼町*1.2 さいたま中央区下落合*1.2 久喜市菖蒲*1.2 久喜市栗橋*1.2 吉見町下細谷*1.2 埼玉美里町木部*1.2 草加市中央*1.2 本庄市尻玉町=1.2 桶川市泉*1.2 八潮市中央*1.2 坂戸市千代田*1.2 さいたま西区指扇*1.1 さいたま南区別所*1.1 熊谷市桜町=1.1 熊谷市妻沼*1.1 越谷市越ヶ谷*1.1 蕨市中央*1.1 戸田市上戸田*1.1 蓮田市黒浜*1.1 朝霞市本町*1.0 志木市中宗岡*1.0 富士見市鶴馬*1.0 川口市青木*1.0 狭山市入間川*1.0 熊谷市宮町*1.0 毛呂山町中央*1.0 松伏町松伏*1.0 伊奈町小室*0.9 埼玉三芳町藤久保*0.9 越生町越生*0.9 小川町大塚*0.9 さいたま大宮区大門*0.9 秩父市上町=0.9 秩父市近戸町*0.9 鳩山町大豆戸=0.8 鶴ヶ島市三ツ木*0.8 秩父市熊木町*0.8 深谷市仲町*0.8 深谷市岡部*0.8 所沢市北有楽町*0.7 さいたま桜区道場*0.7 ときがわ町玉川*0.7 本庄市本庄*0.7 横瀬町横瀬*0.7 皆野町皆野*0.7 長瀨町本野上*0.7 川口市三ツ和*0.7 東秩父村御堂*0.6 寄居町寄居*0.6 ふじみ野市福岡*0.6 さいたま浦和区常盤*0.5</p> <p>2 東京千代田区大手町=1.9 東京江戸川区船堀*1.9 東京渋谷区本町*1.8 東京中野区江古田*1.8 東京江戸川区中央=1.7 東京中央区勝どき*1.6 東京江東区森下*1.6 東京足立区神明南*1.6 小平市小川町*1.6 東京文京区大塚*1.5 東京渋谷区宇田川町*1.5 東京中野区中野*1.5 東京北区西ヶ原*1.5 東京葛飾区立石*1.5 調布市西つつじヶ丘*1.5</p> <p>1 東京千代田区富士見*1.4 東京千代田区麴町*1.4 東京新宿区上落合*1.4 東京文京区本郷*1.4 東京江東区越中島*1.4 東京杉並区桃井*1.4 東京杉並区高井戸*1.4 東京北区神谷*1.4 東京新宿区百人町*1.3 東京文京区スポーツセンタ*1.3 東京品川区平塚*1.3 東京大田区本羽田*1.3 東京世田谷区三軒茶屋*1.3 東京荒川区荒川*1.3 東京荒川区東尾久*1.3 東京足立区千住中居町*1.3 東京足立区伊興*1.3 東京葛飾区金町*1.3 東京江戸川区鹿骨*1.3 東京江東区東陽*1.2 東京国際空港=1.2 東京大田区多摩川*1.2 東京世田谷区中町*1.2 東京板橋区高島平*1.2 東京練馬区東大泉*1.2 町田市忠生*1.2 東大和市中央*1.2 東京中央区築地*1.2 東京中央区日本橋兜町*1.2 東京練馬区光が丘*1.1 三鷹市野崎*1.1 国分寺市戸倉=1.1 西東京市中町*1.1 清瀬市中里*1.1 多摩市関戸*1.1 東京港区海岸=1.1 東京台東区千束*1.1 東京墨田区横川=1.1 東京墨田区吾妻橋*1.1 東京墨田区東向島*1.1 東京江東区青海=1.1 東京江東区亀戸*1.1 東京目黒区中央町*1.1 東京世田谷区成城*1.1 東京豊島区南池袋*1.1 東京台東区東上野*1.0 八王子市堀之内*1.0 東京江東区枝川*1.0 東京品川区北品川*1.0 町田市森野*1.0 小金井市本町*1.0 稲城市東長沼*1.0 東京世田谷区世田谷*1.0 東京港区白金*1.0 日野市神明*0.9 東京大田区大森東*0.9 狛江市和泉本町*0.9 東京新宿区西新宿=0.9 東京品川区広町*0.9 東京府中市朝日町*0.9 武蔵野市吉祥寺東町*0.8 東京港区芝公園*0.8 国分寺市本多*0.8 東京板橋区板橋*0.8 東京府中市寿町*0.7 青梅市日向和田*0.7 東京足立区中央本町*0.7 武蔵野市緑町*0.7 東京大田区蒲田*0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6</p> <p>2 横浜神奈川区広台太田町*2.0 横浜保土ヶ谷区上菅田町*1.9 横浜港北区日吉本町*1.9 横浜中区山手町=1.6 横浜中区山下町*1.6 横浜中区山吹町*1.6 横浜戸塚区鳥が丘*1.6 横浜瀬谷区中屋敷*1.6 横浜瀬谷区三ツ境*1.6 横浜鶴見区末広町*1.5 横浜磯子区洋光台*1.5 横浜港南区丸山台東部*1.5 横浜緑区鴨居*1.5 横浜青葉区市ヶ尾町*1.5 藤沢市辻堂東海岸*1.5 寒川町富山*1.5 湯河原町中央=1.5</p> <p>1 横浜西区浜松町*1.4 横浜旭区川井宿町*1.4 横浜緑区十日市場町*1.4 川崎川崎区千鳥町*1.4 川崎宮前区野川*1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.4 三浦市城山町*1.4 大和市下鶴間*1.4 綾瀬市深谷*1.4 横浜旭区今宿東町*1.3 川崎川崎区宮前町*1.3 川崎宮前区宮前平*1.3 藤沢市長後*1.3 中井町比奈窪*1.3 横浜鶴見区馬場*1.2 横浜中区日本大通*1.2 横浜磯子区磯子*1.2 横浜旭区大池町*1.2 横浜旭区上白根町*1.2 横浜栄区小菅ヶ谷*1.2 横浜青葉区榎が丘*1.2 横浜都筑区池辺町*1.2 川崎中原区小杉陣屋町=1.2 清川村梅ヶ谷*1.2 相模原中央区上溝*1.2 横浜鶴見区鶴見*1.1 横浜保土ヶ谷区神戸町*1.1 横浜戸塚区平戸町*1.1 横浜泉区岡津町*1.1 平塚市浅間町*1.1 藤沢市打戻*1.1 箱根町湯本*1.1 相模原南区磯部*1.1 相模原緑区橋本*1.1 横浜泉区和泉町*1.0 横須賀市光の丘=1.0 海老名市大谷*1.0 愛川町角田*1.0 相模原南区相模大野*1.0 相模原緑区久保沢*1.0 横浜港北区綱島西*1.0 横浜戸塚区戸塚町*1.0 川崎幸区戸手本町*0.9 川崎高津区下作延*0.9</p>				
		埼玉県				
		東京都				
		神奈川県				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>秦野市曾屋=0.9 神奈川大井町金子*=0.9 山北町山北*=0.9 横浜金沢区白帆*=0.9 横浜金沢区釜利谷南*=0.9 相模原中央区水郷田名*=0.9 相模原緑区中野*=0.9 川崎川崎区中島*=0.8 南足柄市関本*=0.7 横須賀市坂本町*=0.6 藤沢市朝日町*=0.6 秦野市平沢*=0.5</p> <p>静岡県 2 東伊豆町奈良本*=1.5</p> <p>1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.1 富士宮市野中*=0.8 富士市吉永*=0.8 熱海市泉*=0.7 富士市大淵*=0.7 西伊豆町宇久須*=0.6 熱海市網代=0.5 河津町田中*=0.5 富士宮市弓沢町=0.5</p> <p>青森県 1 階上町道仏*=0.9</p> <p>岩手県 1 一関市千厩町*=1.4 一関市藤沢町*=1.1 一関市室根町*=1.0 釜石市中妻町*=1.0 盛岡市藪川*=0.9 北上市相去町*=0.8 住田町世田米*=0.8 大船渡市大船渡町=0.7 宮古市田老*=0.7 一関市東山町*=0.7 盛岡市山王町=0.6 遠野市青笹町*=0.6 北上市柳原町=0.5</p> <p>新潟県 1 長岡市山古志竹沢*=1.0 刈羽村割町新田*=1.0 南魚沼市六日町=1.0 阿賀町鹿瀬中学校*=1.0 長岡市中之島*=0.9 魚沼市須原*=0.9 長岡市小島谷*=0.8 加茂市幸町*=0.7 阿賀町鹿瀬支所*=0.7 新潟秋葉区新津東町*=0.7 阿賀野市姥ヶ橋*=0.6 阿賀町豊川*=0.6 阿賀町津川*=0.5</p> <p>山梨県 1 山梨北杜市長坂町*=1.3 富士川町鯉沢*=1.2 富士河口湖町長浜*=1.2 富士河口湖町船津=1.0 笛吹市境川町藤壘*=0.9 大月市御太刀*=0.9 甲府市相生*=0.8 甲斐市下今井*=0.8 上野原市役所*=0.8 甲府市古閑町*=0.7 身延町大磯小磯=0.7 笛吹市八代町南*=0.7 甲州市塩山上於曾*=0.7 甲府市飯田=0.6 大月市大月=0.6</p>				
80	17 13 21	日向灘 高知県 大分県 宮崎県	32° 38.2' N	132° 16.2' E	32km	M: 3.6
		<p>1 宿毛市桜町*=0.9</p> <p>1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.5</p> <p>1 高千穂町三田井=0.7</p>				
81	17 14 44	大阪府北部 大阪府	34° 50.1' N	135° 37.6' E	10km	M: 2.5
		1 枚方市大垣内*=1.1 高槻市桃園町=0.5				
82	17 17 18	長野県南部 長野県	35° 54.2' N	137° 37.9' E	9km	M: 3.5
		<p>3 木曾町開田高原西野*=2.8</p> <p>2 木曾町三岳*=1.8 木曾町新開*=1.6</p> <p>1 王滝村役場*=1.4 松本市奈川*=1.2 塩尻市檜川保育園*=1.1 王滝村鈴ヶ沢*=1.0 木曾町福島*=0.9 木曾町日義*=0.8 朝日村役場*=0.7 塩尻市木曾平沢*=0.6 上松町駅前通り*=0.6</p> <p>岐阜県 1 高山市高根町*=1.0 中津川市加子母*=0.7</p>				
83	17 19 08	北海道東方沖 北海道	43° 07.8' N	146° 54.9' E	50km	M: 4.4
		1 根室市落石東*=1.2 根室市瑤瑤瑠*=0.8				
84	18 06 01	新島・神津島近海 東京都	34° 14.4' N	139° 09.2' E	9km	M: 2.1
		1 神津島村役場*=0.7 神津島村金長=0.5				
85	18 07 22	秋田県内陸北部 秋田県	40° 03.0' N	140° 35.9' E	6km	M: 3.9
		<p>2 北秋田市新田目*=2.0 仙北市西木町上桧木内*=1.9 鹿角市花輪*=1.7 大館市比内町扇田*=1.6 大館市比内町味噌内=1.5</p> <p>1 北秋田市米内沢*=1.4 大館市桜町*=1.1 大館市早口*=1.1 北秋田市花園町=1.1 能代市二ツ井町上台*=1.1 小坂町小坂砂森*=1.0 仙北市田沢湖田沢*=1.0 北秋田市阿仁水無*=0.6 能代市追分町*=0.6 能代市常盤山谷=0.5</p> <p>青森県 1 階上町道仏*=0.6 八戸市南郷*=0.5 弘前市城東中央*=0.5</p>				
86	18 15 41	遠州灘 栃木県	34° 17.7' N	137° 53.7' E	308km	M: 3.7
		1 宇都宮市明保野町=0.5				
87	18 22 22	山形県沖	38° 36.4' N	139° 28.7' E	14km	M: 6.7
(注)	18 22 25	新潟県下越沖	38° 35.8' N	139° 26.9' E	12km	M: 3.8
(注)	18 22 24	新潟県下越沖 新潟県	38° 36.3' N	139° 24.8' E	11km	M: 3.7
		<p>6強 村上市府屋*=6.1</p> <p>5弱 村上市寒川*=4.8 長岡市上岩井*=4.7 村上市岩船駅前*=4.7 柏崎市西山町池浦*=4.6 長岡市小島谷*=4.5 阿賀町鹿瀬中学校*=4.5</p> <p>4 阿賀野市姥ヶ橋*=4.4 新潟南区白根*=4.4 新潟西区寺尾東*=4.4 佐渡市千種*=4.4 長岡市与板町与板*=4.3 出雲崎町米田=4.3 村上市岩沢*=4.3 新潟秋葉区程島=4.3 佐渡市河原田本町*=4.3 阿賀野市岡山町*=4.2 新潟中央区美咲町=4.2 新発田市乙次*=4.2 佐渡市両津湊*=4.2 村上市片町*=4.2 粟島浦村日ノ見山*=4.1 新潟秋葉区新津東町*=4.1 長岡市寺泊教ヶ曾根*=4.1 阿賀町白崎*=4.0 新潟中央区関屋*=4.0 刈羽村割町新田*=4.0 関川村下関*=4.0 佐渡市新徳瓜生屋*=4.0 新発田市中央町*=3.9 村上市山口*=3.9 長岡市山古志竹沢*=3.9 長岡市中之島*=3.9 三条市新堀*=3.9 出雲崎町川西*=3.9 村上市三之町*=3.8 燕市吉田西太田*=3.8 粟島浦村笹畑=3.8 新潟北区葛塚*=3.8 新潟江南区泉町*=3.8 三条市荻堀*=3.8 加茂市幸町*=3.8 五泉市太田*=3.7 聖籠町諏訪山*=3.7 弥彦村矢作*=3.7 長岡市浦*=3.7 阿賀野市山崎*=3.7 阿賀町津川*=3.7 胎内市新和町=3.7 胎内市大川町*=3.7 胎内市黒川*=3.7 新潟東区下木戸*=3.7 三条市西裏館*=3.7 見附市昭和町*=3.7 佐渡市岩谷口*=3.7 佐渡市畑野*=3.7 佐渡市両津支所*=3.7 村上市塩町=3.7 燕市分水桜町*=3.6 阿賀町鹿瀬支所*=3.6 阿賀町豊川*=3.6 十日町市千歳町*=3.6 新潟空港=3.6 十日町市松代*=3.6 新発田市真野原外*=3.6 新潟西蒲区役所=3.6 新潟西蒲区巻甲*=3.6 佐渡市赤泊*=3.6 燕市秋葉町*=3.6 新潟中央区新潟市役所*=3.5 佐渡市松ヶ崎*=3.5 魚沼市須原*=3.5 新発田市本町*=3.5</p> <p>3 十日町市上山*=3.4 田上町原ヶ崎新田*=3.4 南魚沼市六日町=3.4 新発田市住田*=3.4</p>				

令和元年6月 地震・火山月報(防災編)

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		佐渡市相川三町目=3.4 佐渡市羽茂本郷*=3.4 佐渡市真野新町*=3.4 上越市牧区柳島*=3.3 長岡市小国町法坂*=3.3 佐渡市小木町*=3.3 長岡市幸町=3.2 小千谷市城内=3.2 南魚沼市浦佐*=3.2 五泉市村松乙=3.2 阿賀野市畑江=3.2 阿賀野市かかやき*=3.2 長岡市寺泊一里塚*=3.1 長岡市千手*=3.1 五泉市愛宕甲*=3.1 佐渡市相川栄町*=3.1 上越市吉川区原之町*=3.0 小千谷市旭町*=3.0 十日町市水口沢*=3.0 上越市安塚区安塚*=2.9 長岡市金町*=2.9 柏崎市高柳町岡野町*=2.9 十日町市松之山*=2.9 長岡市寺泊烏帽子平*=2.8 柏崎市中央町*=2.8 十日町市下条*=2.8 上越市柿崎区柿崎*=2.8 上越市頸城区百間町*=2.8 上越市大手町=2.7 魚沼市今泉*=2.7 南魚沼市塩沢小学校*=2.7 上越市三和区井ノ口*=2.7 長岡市東川口*=2.7 津南町下船渡*=2.6 魚沼市小出島*=2.6 魚沼市堀之内*=2.6 上越市木田*=2.6 佐渡市相川金山=2.6 魚沼市大沢*=2.5 上越市大島区岡*=2.5 南魚沼市塩沢庁舎*=2.5 魚沼市下折立=2.5 2 上越市中ノ俣=2.4 上越市浦川原区釜淵*=2.4 上越市清里区荒牧*=2.3 魚沼市沢沢*=2.3 上越市大潟区土底浜*=2.2 上越市中郷区藤沢*=2.2 上越市名立区名立大町*=2.2 糸魚川市能生*=2.0 上越市板倉区針*=2.0 妙高市関山*=2.0 湯沢町神立*=2.0 妙高市田町*=1.9 妙高市田口*=1.9 糸魚川市大野*=1.7 妙高市栄町*=1.6 糸魚川市一の宮=1.5 糸魚川市青海*=1.5				
		山形県 6弱 鶴岡市温海川=5.8 5強 鶴岡市道田町*=5.3 鶴岡市温海*=5.2 5弱 酒田市亀ヶ崎=4.9 三川町横山*=4.7 鶴岡市馬場町=4.6 鶴岡市上山添*=4.6 大蔵村肘折*=4.6 酒田市宮野浦*=4.5 4 鶴岡市羽黒町*=4.4 酒田市飛鳥*=4.4 酒田市山田*=4.4 遊佐町遊佐=4.4 庄内町狩川*=4.4 飯豊町上原*=4.4 鶴岡市藤島*=4.3 庄内町余目*=4.3 戸沢村古口*=4.3 中山町長崎*=4.3 鶴岡市下名川*=4.2 酒田市本町*=4.2 庄内町清川*=4.1 大蔵村清水*=4.1 山辺町緑ヶ丘*=4.1 西川町大井沢*=4.1 遊佐町舞鶴*=4.1 上市市河崎*=4.0 真室川町新町*=3.9 山形川西町上小松*=3.8 鮭川村佐渡*=3.8 酒田市観音寺*=3.8 村山中央*=3.8 河北町谷地=3.8 南陽市三間通*=3.8 河北町役場*=3.7 西川町海味*=3.7 米沢市林泉寺*=3.7 山形小国町岩井沢=3.7 尾花沢市若葉町*=3.6 山形小国町小小坂町*=3.6 新庄市東谷地田町=3.6 最上町向町*=3.5 舟形町舟形*=3.5 長井市ままの上*=3.5 酒田市飛鳥=3.5 遊佐町小原田=3.5 大江町左沢*=3.5 3 新庄市堀端町*=3.4 大石町緑町*=3.4 高島町高島*=3.4 新庄市住吉町*=3.3 寒河江市西根*=3.3 山形朝日町宮宿*=3.3 白鷹町黒鴨=3.3 山形金山町中田=3.2 寒河江市中央*=3.2 天童市老野森*=3.2 東根市中央*=3.2 米沢市アルカディア*=3.2 米沢市金池*=3.2 米沢市駅前*=3.1 飯豊町椿*=3.1 山形金山町金山*=3.0 山形市薬師町*=3.0 山形市緑町=2.7 山形市旅籠町*=2.6				
		秋田県 5弱 由利本荘市桜小路*=4.5 4 にかほ市平沢*=4.3 湯沢市沖鶴=4.2 羽後町西馬音内*=4.2 由利本荘市岩谷町*=4.1 由利本荘市前郷*=4.1 由利本荘市西目町沼田*=4.1 秋田市雄和女米木=4.0 仙北市西木町上桧木内*=4.0 由利本荘市石脇=4.0 由利本荘市矢島町矢島町*=4.0 湯沢市川連町*=4.0 男鹿市角間崎*=3.9 横手市平鹿町浅舞*=3.9 湯沢市横堀*=3.9 大仙市北長野*=3.9 大仙市高梨*=3.9 横手市大雄*=3.8 由利本荘市島海町伏見*=3.8 井川町北川尻*=3.8 東成瀬村田子内*=3.8 秋田市山王=3.8 湯沢市寺沢*=3.7 湯沢市皆瀬*=3.7 秋田市河辺和田*=3.7 男鹿市船川*=3.7 大仙市刈和野*=3.7 にかほ市金浦*=3.7 横手市安田柳堤地内*=3.7 由利本荘市岩城内道川*=3.7 秋田市八橋運動公園*=3.6 にかほ市象潟町浜ノ田*=3.6 大仙市大曲花園町*=3.6 北秋田市新田目*=3.6 横手市雄物川町今宿=3.6 秋田市雄和新波*=3.6 横手市中央町*=3.6 横手市増田町増田*=3.6 男鹿市男鹿中=3.6 由利本荘市東由利老方*=3.6 三種町豊岡*=3.6 東成瀬村椿川*=3.6 横手市十文字町*=3.5 横手市山内土淵*=3.5 潟上市天王*=3.5 横手市大森町*=3.5 3 湯沢市佐竹町*=3.4 仙北市田沢湖生保内宮ノ後*=3.4 仙北市西木町上荒井*=3.4 三種町鶴川*=3.3 大館市桜町*=3.3 大館市比内町扇田*=3.3 秋田美郷町六郷東根=3.3 秋田美郷町土崎*=3.3 仙北市角館町東勝楽丁=3.3 仙北市角館町小勝田*=3.3 北秋田市米内沢*=3.2 大仙市協和境唐松岳*=3.2 大仙市太田町太田*=3.2 潟上市昭和久保*=3.2 大仙市南外*=3.1 大仙市神宮寺*=3.1 能代市緑町=3.1 仙北市田沢湖生保内上清水*=3.1 能代市追分町*=3.1 能代市上町*=3.1 能代市二ツ井町上台*=3.1 八郎潟町大道*=3.1 鹿角市花輪*=3.0 上小阿仁村小沢田*=3.0 北秋田市花園町=3.0 大潟村中央*=3.0 藤原町藤原*=2.9 大館市早口*=2.9 仙北市田沢湖田沢*=2.8 三種町鹿渡*=2.8 潟上市飯田川下虻川*=2.7 五城目町西磯ノ目=2.7 大館市比内町味増内=2.6 能代市常盤山谷=2.5 2 北秋田市阿仁水無*=2.4 小坂町小坂砂森*=2.3 八峰町峰浜目名湯*=2.2 三種町ことおか中央公園*=2.1 八峰町八森木戸の沢*=2.1 4 矢巾町南矢幅*=4.0 3 紫波町紫波中央駅前*=3.4 花巻市材木町*=3.4 西和賀町川尻*=3.4 花巻市石鳥谷町*=3.3 雫石町千刈田=3.2 奥州市江刺*=3.2 金ヶ崎町西根*=3.2 滝沢市鶴飼*=3.1 一関市千厩町*=3.1 西和賀町沢内太田*=3.1 北上市柳原町=3.0 奥州市胆沢*=3.0 平泉町平泉*=3.0 北上市相去町*=3.0 盛岡市山王町=3.0 奥州市水沢大鐘町=3.0 奥州市水沢佐倉河*=2.9 花巻市東和町*=2.9 奥州市前沢*=2.9 奥州市衣川*=2.9 雫石町西根上駒木野=2.9 一関市花泉町*=2.9 盛岡市薮川*=2.9 西和賀町沢内川舟*=2.8 一関市室根町*=2.6 盛岡市洪民*=2.6 八幡平市田頭*=2.6 普代村銅屋*=2.6 遠野市青笹町*=2.5 花巻市大迫町=2.5 2 遠野市宮守町*=2.4 一関市竹山町*=2.4 久慈市川崎町=2.3 宮古市川井*=2.2 釜石市中妻町*=2.2 岩手町五日市*=2.2 一関市藤沢町*=2.2 宮古市五月町*=2.1 八幡平市大更=2.1 花巻市大迫総合支所*=2.1 一関市東山町*=2.1 大船渡市大船渡町=2.1 盛岡市馬場町*=2.1 一関市川崎町*=2.0 八幡平市野駄*=2.0 宮古市田老*=2.0 住田町世田米*=2.0 陸前高田市高田町*=1.9 宮古市区界*=1.9 宮古市茂市*=1.8 久慈市長内町*=1.8 宮古市長沢=1.8 山田町八幡町=1.7 久慈市枝成沢=1.7 大船渡市猪川町=1.7 二戸市浄法寺町*=1.7 一関市大東町=1.7 大槌町小鏡*=1.6 山田町大沢*=1.6 葛巻町葛巻元木=1.6 宮古市鉾ヶ崎=1.6 八幡平市叭田*=1.6 大船渡市盛町*=1.6 釜石市只越町=1.6 一戸町高善寺*=1.5 1 岩泉町岩泉*=1.4 二戸市福岡=1.4 軽米町軽米*=1.4 二戸市石切所*=1.3 九戸村伊保内*=1.3 岩手洋野町種市=1.3 岩泉町大川*=1.1 葛巻町消防分署*=1.1 葛巻町役場*=0.9 田野畑村田野畑=0.9				
		宮城県 4 色麻町四竈*=4.4 宮城加美町中新田*=4.1 栗原市花山*=4.1 大崎市田尻*=4.1				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		宮城美里町木間塚*3.9 大崎市古川三日町*3.9 大崎市松山*3.9 宮城美里町北浦*3.9 蔵王町円田*3.9 石巻市桃生町*3.9 大崎市古川大崎*3.8 登米市南方町*3.8 涌谷町新町裏*3.8 岩沼市桜*3.8 丸森町鳥屋*3.7 大崎市鳴子*3.7 利府町利府*3.7 村田町村田*3.7 宮城川崎町前川*3.6 名取市増田*3.6 仙台青葉区作並*3.6 石巻市大街道南*3.6 栗原市築館*3.6 松島町高城*3.6 宮城加美町宮崎*3.5 栗原市志波姫*3.5 栗原市一迫*3.5 宮城加美町小野田*3.5 大河原町新南*3.5 栗原市鶯沢*3.5 3 栗原市栗駒*3.4 石巻市前谷地*3.4 塩竈市旭町*3.4 東松島市矢本*3.4 仙台宮城野区苦竹*3.3 栗原市清水*3.3 栗原市若柳*3.3 大衡村大衡*3.3 登米市豊里町*3.3 登米市米山町*3.3 登米市迫町*3.3 大崎市岩出山*3.2 山元町浅生原*3.2 登米市登米町*3.2 大崎市鹿島台*3.1 東松島市小野*3.1 大郷町粕川*3.1 角田市角田*3.1 七ヶ宿町関*3.1 亙理町下小路*3.1 栗原市瀬峰*3.1 登米市中田町*3.0 仙台太白区山田*3.0 仙台泉区将監*3.0 七ヶ浜町東宮浜*2.9 栗原市金成*2.9 仙台青葉区大倉*2.9 仙台青葉区落合*2.9 大崎市三本木*2.9 仙台空港*2.9 白石市亙理町*2.8 南三陸町志津川*2.8 仙台青葉区雨宮*2.8 仙台宮城野区五輪*2.8 仙台若林区遠見塚*2.8 大和町吉岡*2.7 富谷市富谷*2.7 石巻市相野谷*2.7 丸森町上滝*2.6 気仙沼市赤岩*2.5 柴田町船岡*2.5 登米市石越町*2.5 石巻市泉町*2.5 2 気仙沼市笹が陣*2.4 石巻市鮎川浜*2.4 石巻市北上町*2.4 気仙沼市唐桑町*2.3 多賀城市中央*2.3 気仙沼市本吉町津谷*1.9 南三陸町歌津*1.9 登米市東和町*1.7 登米市津山町*1.7 気仙沼市本吉町西川内*1.7 石巻市雄勝町*1.6 女川町女川浜*1.5 石巻市大瓜*1.5 4 喜多方市高郷町*4.0 西会津町登世島*4.0 会津美里町新鶴庁舎*3.9 会津坂下町市中三番甲*3.8 桑折町東大隅*3.7 湯川村清水田*3.7 柳津町柳津*3.7 福島市五老内町*3.6 国見町藤田*3.6 いわき市平梅本*3.6 双葉町両竹*3.6 西会津町野沢*3.6 猪苗代町千代田*3.5 福島広野町下北迫大谷地原*3.5 南相馬市小高区*3.5 喜多方市御清水*3.5 喜多方市山都町*3.5 3 福島伊達市前川原*3.4 福島伊達市保原町*3.4 浪江町幾世橋*3.4 喜多方市塩川町*3.4 福島金山町川口*3.4 郡山市湖南町*3.3 相馬市中村*3.3 福島広野町下北迫苗代替*3.3 南相馬市鹿島区西町*3.3 只見町只見*3.3 いわき市小名浜*3.2 南相馬市原町区三島町*3.2 南相馬市原町区本町*3.2 会津若松市東栄町*3.2 会津若松市北会津町*3.2 喜多方市松山町*3.2 南会津町界*3.2 福島市松木町*3.2 磐梯町磐梯*3.1 猪苗代町城南*3.1 二本松市油井*3.1 川俣町五百田*3.1 檜葉町北田*3.1 新地町谷地小屋*3.1 三島町宮下*3.0 福島伊達市霊山町*3.0 会津美里町本郷庁舎*3.0 富岡町本岡*3.0 飯館村伊丹沢*3.0 南相馬市原町区高見町*3.0 会津若松市材木町*3.0 福島市桜木町*3.0 下郷町高陸*3.0 須賀川市岩瀬支所*2.9 二本松市針道*2.9 天栄村湯本支所*2.9 喜多方市熱塩加納町*2.9 田村市大越町*2.9 只見町黒谷*2.9 北塩原村北山*2.9 田村市常葉町*2.8 会津美里町高田庁舎*2.8 南会津町田島*2.8 いわき市錦町*2.8 白河市新白河*2.8 白河市東*2.8 鏡石町不時沼*2.8 会津若松市河東町*2.7 福島伊達市梁川町*2.7 川内村上川内早渡*2.7 大熊町野上*2.7 下郷町塩生*2.7 郡山市朝日*2.7 本宮市白岩*2.7 いわき市三和町*2.7 いわき市平四ツ波*2.7 福島昭和村下中津川*2.7 川内村上川内小山平*2.6 大玉村玉井*2.6 泉崎村泉崎*2.6 中島村滑津*2.6 矢吹町一本木*2.6 福島市飯野町*2.6 田村市都路町*2.6 田村市滝根町*2.6 郡山市開成*2.6 白河市郭内*2.6 白河市表郷*2.6 須賀川市八幡山*2.6 須賀川市長沼支所*2.6 福島伊達市月館町*2.5 田村市船引町*2.5 須賀川市八幡町*2.5 2 二本松市金色*2.4 大玉村南小屋*2.4 棚倉町棚倉中居野*2.4 二本松市小浜*2.3 天栄村下松本*2.3 西郷村熊倉*2.3 玉川村小高*2.3 浅川町浅川*2.3 古殿町松川新桑原*2.3 本宮市本宮*2.3 葛尾村落合落合*2.3 南相馬市鹿島区栞窪*2.3 川内村下川内*2.2 柳津町大成沢*2.2 南会津町古町*2.2 石川町長久保*2.1 白河市大信*2.1 檜枝岐村上河原*2.1 南会津町山口*2.1 小野町中通*1.9 棚倉町棚倉館ヶ丘*1.8 平田村永田*1.8 三春町大町*1.8 小野町小野新町*1.8 矢祭町東館*1.7 塙町塙*1.7 南会津町滝原*1.7 檜枝岐村下ノ原*1.6 南会津町松戸原*1.6 青森県 1 矢祭町戸塚*1.4 古殿町松川横川*1.4 鮫川村赤坂中野*1.2 3 藤崎町西豊田*2.9 青森市浪岡*2.8 深浦町深浦岡町*2.8 深浦町岩崎*2.6 板柳町板柳*2.6 平川市猿賀*2.6 平川市柏木町*2.6 五所川原市敷島町*2.5 青森市中央*2.5 つがる市稲垣町*2.5 藤崎町水木*2.5 黒石市ノ町*2.5 2 田舎館村田舎館*2.4 六戸町犬落瀬*2.3 おいらせ町中下田*2.3 鶴田町鶴田*2.3 つがる市柏*2.3 つがる市車力町*2.3 弘前市弥生*2.3 弘前市城東中央*2.3 青森市花園*2.3 西目屋村田代*2.2 五所川原市栄町*2.2 七戸町森ノ上*2.2 つがる市木造*2.2 東北町上北南*2.2 五戸町古館*2.2 蓬田村蓬田*2.2 おいらせ町上明堂*2.2 弘前市賀田*2.2 弘前市五所*2.2 深浦町長慶平*2.2 深浦町深浦中沢*2.2 階上町道仏*2.1 弘前市和田町*2.1 七戸町七戸*2.1 鱒ヶ沢町本町*2.0 つがる市森田町*2.0 八戸市南郷*2.0 十和田市西二番町*2.0 十和田市西十二番町*2.0 五所川原市金木町*2.0 鱒ヶ沢町舞戸町*1.9 五戸町倉石中市*1.9 青森南部町苦米地*1.9 中泊町小泊*1.9 大鰐町大鰐*1.8 今別町今別*1.8 三沢市桜町*1.8 平川市碓ヶ関*1.8 田子町田子*1.8 中泊町中里*1.8 野辺地町野辺地*1.7 むつ市金曲*1.6 むつ市金谷*1.6 外ヶ浜町三厩*1.6 三戸町在府小路町*1.6 八戸市内丸*1.6 新郷村戸来*1.5 十和田市奥瀬*1.5 五所川原市太田*1.5 大間町大間*1.5 東通村砂子又蒲谷地*1.5 五所川原市相内*1.5 1 外ヶ浜町平館*1.4 東北町塔ノ沢山*1.4 むつ市川内町*1.4 東通村砂子又沢内*1.3 横浜町寺下*1.3 むつ市大畑町中島*1.1 八戸市湊*1.0 むつ市脇野沢*1.0 平内町東田沢*1.0 六ヶ所村尾駈*0.9 青森南部町沖田面*0.9 風間浦村易国間*0.8 八戸市島守*0.6 茨城県 3 常陸太田市金井町*3.0 北茨城市中郷町*2.7 北茨城市磯原町*2.6 2 小美玉市上玉里*2.1 つくばみらい市加藤*2.1 つくばみらい市福田*2.1 日立市十王町友部*2.1 高萩市安良川*2.1 高萩市本町*2.1 笠間市中央*2.1 ひたちなか市東石川*2.1 茨城町小堤*2.1 那珂市福田*2.1 東海村東海*2.0 筑西市舟生*2.0 常総市水海道諏訪町*2.0 那珂市瓜連*1.9 取手市藤代*1.9 常総市新石下*1.9 土浦市常名*1.8 土浦市藤沢*1.8				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		河内町源清田*1.8 かすみがうら市大和田*1.8 日立市助川小学校*1.8 笠間市石井*1.8 常陸太田市高柿町*1.7 つくば市天王台*1.7 境町旭町*1.7 かすみがうら市上土田*1.7 常陸大宮市中富町*1.7 小美玉市小川*1.7 小美玉市堅倉*1.7 土浦市田中*1.7 茨城古河市仁連*1.7 阿見町中央*1.6 ひたちなか市南神敷*1.6 稲敷市結佐*1.6 桜川市真壁*1.6 鉾田市造谷*1.6 常陸大宮市北町*1.6 城里町石塚*1.6 水戸市栗崎町*1.6 茨城古河市長谷町*1.6 結城市結城*1.6 下妻市鬼怒*1.6 取手市井野*1.6 つくば市研究学園*1.6 潮来市堀之内*1.6 潮来市辻*1.6 八千代町菅谷*1.5 五霞町小福田*1.5 守谷市大柏*1.5 稲敷市役所*1.5 神栖市溝口*1.5 茨城古河市下大野*1.5 鉾田市汲上*1.5 石岡市柿岡*1.5 石岡市若宮*1.5 石岡市八郷*1.5 大子町池田*1.5 水戸市金町*1.5 常陸大宮市山方*1.5 つくば市小釜*1.5 水戸市千波町*1.5 1 笠間市笠間*1.4 龍ヶ崎市役所*1.4 牛久市中央*1.4 茨城鹿嶋市鉢形*1.4 美浦村受領*1.4 行方市山田*1.4 行方市玉造*1.4 鉾田市鉾田*1.4 利根町布川*1.3 坂東市岩井*1.3 坂東市山*1.3 坂東市役所*1.3 稲敷市江戸崎甲*1.3 稲敷市伊佐津*1.3 水戸市内原町*1.3 日立市役所*1.3 常陸太田市町田町*1.3 城里町阿波山*1.3 常陸大宮市野口*1.2 取手市寺田*1.2 笠間市下郷*1.2 下妻市本城町*1.1 ひたちなか市山ノ上町*0.9 常陸太田市町屋町*0.8 城里町小勝*0.7 3 那須町寺子*2.5 那須塩原市塩原庁舎*2.5 2 那須塩原市中塩原*2.4 大田原市湯津上*2.3 高根沢町石末*2.3 大田原市本町*2.1 日光市湯元*2.0 那須塩原市養沼*2.0 那須塩原市あたご町*2.0 宇都宮市中岡本町*2.0 栃木さくら市喜連川*2.0 日光市芹沼*1.9 宇都宮市明保野町*1.8 芳賀町祖母井*1.8 栃木那珂川町小川*1.8 日光市瀬川*1.8 小山市中央町*1.7 市貝町市埜*1.7 下野市田中*1.7 日光市鬼怒川温泉大原*1.7 那須塩原市共進社*1.7 栃木市岩舟町静*1.7 鹿沼市晃望台*1.7 野木町丸林*1.6 栃木さくら市氏家*1.6 那須烏山市中央*1.6 日光市藤原庁舎*1.6 矢板市本町*1.6 那須塩原市鍋掛*1.6 壬生町通町*1.6 宇都宮市中里町*1.5 真岡市石島*1.5 那須烏山市大金*1.5 下野市笹原*1.5 下野市大松山*1.5 日光市今市本町*1.5 日光市黒部*1.5 1 宇都宮市旭*1.4 栃木市藤岡町藤岡*1.4 鹿沼市今宮町*1.4 塩谷町玉生*1.3 宇都宮市埜田*1.3 真岡市荒町*1.3 上三川町しらさぎ*1.3 足利市大正町*1.2 栃木市旭町*1.2 栃木市大平町富田*1.2 真岡市田町*1.2 栃木那珂川町馬頭*1.2 益子町益子*1.1 大田原市黒羽田町*1.1 日光市御幸町*1.0 佐野市葛生東*1.0 日光市中宮祠*0.8 茂木町北高岡天矢場*0.8 佐野市中町*0.7 日光市足尾町中才*0.5 3 沼田市西倉内町*3.0 沼田市白沢町*3.0 渋川市赤城町*2.7 沼田市下久屋町*2.6 片品村東小川*2.6 2 みなかみ町鹿野沢*2.4 渋川市有馬*2.4 群馬高山村中山*2.3 渋川市吹屋*2.3 沼田市利根町*2.2 群馬昭和村糸井*2.2 みなかみ町後閑*2.1 みなかみ町布施*2.1 前橋市富士見町*2.1 渋川市北橋町*2.1 吉岡町下野田*2.1 渋川市伊香保町*2.0 安中市安中*2.0 高崎市高松町*1.9 安中市松井田町*1.9 中之条町中之条町*1.9 川場村谷地*1.8 東吾妻町奥田*1.8 高崎市箕郷町*1.8 渋川市村上*1.8 群馬明和町新里*1.8 中之条町日影*1.7 前橋市堀越町*1.7 前橋市粕川町*1.7 高崎市倉沢町*1.7 渋川市石原*1.7 玉村町下新田*1.7 邑楽町中野*1.7 片品村鎌田*1.6 前橋市鼻毛石町*1.6 高崎市足門町*1.6 高崎市新町*1.6 桐生市新里町*1.6 伊勢崎市境*1.6 太田市西本町*1.6 前橋市大手町*1.5 桐生市黒保根町*1.5 榛東村新井*1.5 千代田町赤岩*1.5 東吾妻町本宿*1.5 1 前橋市昭和町*1.4 前橋市駒形町*1.4 館林市美園町*1.4 館林市城町*1.4 太田市浜町*1.3 板倉町板倉*1.3 東吾妻町原町*1.3 伊勢崎市今泉町*1.3 伊勢崎市西久保町*1.3 桐生市元宿町*1.2 伊勢崎市東町*1.2 太田市新田金井町*1.2 みどり市笠懸町*1.2 太田市粕川町*1.1 草津町草津*1.1 甘楽町小幡*1.1 みどり市大間々町*1.1 高崎市下室田*1.0 太田市大原町*1.0 富岡市妙義町*1.0 富岡市七日市*0.9 高崎市吉井町吉井川*0.9 桐生市織姫町*0.9 中之条町入山*0.8 長野原町長野原*0.8 神流町神ヶ原*0.7 みどり市東町*0.7 神流町生利*0.6 藤岡市鬼石*0.5 3 加須市大和根*2.5 2 宮代町笠原*2.1 久喜市青葉*2.0 久喜市鷲宮*2.0 幸手市東*2.0 久喜市栗橋*1.9 さいたま中央区下落合*1.9 久喜市菖蒲*1.8 春日部市谷原新田*1.8 加須市三俣*1.8 加須市北川辺*1.7 鴻巣市吹上富士見*1.7 春日部市金崎*1.7 八潮市中央*1.7 さいたま緑区中尾*1.7 富士見市鶴馬*1.6 吉川市きよみ野*1.6 さいたま大宮区天沼町*1.6 加須市騎西*1.6 三郷市中央*1.5 川島町下八ツ林*1.5 松伏町松伏*1.5 白岡市千駄野*1.5 熊谷市大里*1.5 行田市本丸*1.5 行田市南河原*1.5 鴻巣市中央*1.5 久喜市下早見*1.5 春日部市粕壁*1.5 1 熊谷市桜町*1.4 熊谷市宮町*1.4 本庄市本庄*1.4 鴻巣市川里*1.4 川口市青木*1.4 志木市中宗岡*1.4 桶川市泉*1.4 北本市本町*1.4 さいたま見沼区堀崎*1.4 羽生市東*1.3 深谷市仲町*1.3 さいたま桜区道場*1.3 さいたま浦和高砂*1.3 さいたま南区別所*1.3 埼玉美里町木部*1.2 上里町七本木*1.2 川口市三ツ和*1.2 上尾市本町*1.2 草加市中央*1.2 戸田市上戸田*1.2 蓮田市黒浜*1.2 さいたま西区指扇*1.2 さいたま北区宮原*1.2 さいたま大宮区大門*1.2 熊谷市妻沼*1.2 本庄市児玉町*1.2 越谷市越ヶ谷*1.1 蕨市中央*1.1 和光市広沢*1.1 鶴ヶ島市三ツ木*1.1 伊奈町小室*1.1 深谷市川本*1.1 吉見町下細谷*1.1 さいたま浦和区常盤*1.1 狭山市入間川*1.1 深谷市岡部*1.0 朝霞市本町*1.0 熊谷市江南*1.0 坂戸市千代田*1.0 ふじみ野市福岡*0.9 深谷市花園*0.9 埼玉三芳町藤久保*0.9 東松山市松葉町*0.9 新座市野火止*0.8 川越市旭町*0.8 入間市豊岡*0.8 ふじみ野市大井*0.7 長瀬町野上下郷*0.7 滑川町福田*0.6 鳩山町大豆戸*0.6 埼玉神川町下阿久原*0.6 秩父市上町*0.5 3 珠洲市正院町*2.6 能登町宇出津*2.6 能登町松波*2.5 2 輪島市鳳至町*2.4 輪島市門前町走出*2.1 中能登町末坂*1.9 中能登町能登部下*1.7 輪島市河井町*1.5 1 七尾市本府中町*1.4 輪島市舳倉島*1.4 七尾市袖ヶ江町*1.3 珠洲市大谷町*1.3 珠洲市三崎町*1.2					
		栃木県					
		群馬県					
		埼玉県					
		石川県					

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>羽咋市旭町*1.2 志賀町富来領家町=1.2 かほく市浜北*1.1 津幡町加賀爪=0.9 金沢市西念=0.7 志賀町香能*0.5</p> <p>長野県</p> <p>3 栄村北信*2.7 中野市豊津*2.5</p> <p>2 長野市戸隠*2.4 長野市豊野町豊野*2.4 飯綱町芋川*2.4 信濃町柏原東裏*2.2 飯綱町牟礼*2.2 飯山市飯山福寿町*2.1 長野市箱清水=2.0 長野市中条*2.0 坂城町坂城*1.8 木島平村往郷*1.8 野沢温泉村豊郷*1.7 中野市三好町*1.6 長野高山村高井*1.6 栄村小赤沢*1.6 上田市築地=1.6 諏訪市湖岸通り=1.6 長野市信州新町新町*1.5 山ノ内町消防署*1.5 小川村高府*1.5 諏訪市高島*1.5 軽井沢町追分=1.5</p> <p>1 大町市八坂*1.4 山ノ内町平穂=1.4 千曲市杭瀬下*1.4 松本市丸の内*1.4 青木村田沢青木*1.4 長野市鶴賀緑町*1.3 長野市鬼無里*1.3 須坂市須坂*1.3 千曲市上山田温泉*1.3 千曲市戸倉*1.3 茅野市葛井公園*1.3 佐久市中込*1.3 軽井沢町長倉*1.3 御代田町役場*1.3 麻績村麻*1.3 松本市美須々*1.2 松本市寿*1.2 長野南牧村海ノ口*1.2 筑北村坂井=1.2 木曾町開田高原西野*1.2 長野市大岡*1.1 上田市真田町長*1.1 立科町芦田*1.1 大町市美麻*1.0 生坂村役場*1.0 小布施町小布施*0.9 松本市沢村=0.9 上田市上武石*0.9 佐久市甲*0.9 下諏訪町役場*0.9 安曇野市豊科*0.9 筑北村西条*0.9 筑北村坂北*0.9 小諸市文化センター*0.8 佐久市臼田*0.8 安曇野市穂高支所=0.8 白馬村北城*0.8 小谷村中小谷*0.8 大町市大町図書館*0.7 東御市大日向*0.7 佐久穂町畑*0.7 長野市松代=0.6 安曇野市穂高福祉センター*0.5 大町市役所=0.5 飯田市高羽町=0.5 長野池田町池田*0.5 佐久市下小田切=0.5</p> <p>北海道</p> <p>2 上ノ国町大留*1.5 渡島北斗市中央*1.5 知内町重内*1.5 木古内町木古内*1.5</p> <p>1 福島町福島*1.2 函館市新浜町*1.2 函館市泊町*1.1 渡島松前町福山=1.1 檜山江差町姥神=0.6 七飯町桜町=0.6 帯広市東4条=0.5</p> <p>千葉県</p> <p>2 香取市役所*1.7 松戸市西馬橋*1.7 浦安市日の出=1.6 香取市羽根川*1.5 船橋市湊町*1.5 野田市鶴泰*1.5 野田市東宝珠花*1.5 流山市平和台*1.5 印西市笠神*1.5</p> <p>1 香取市佐原平田=1.4 千葉中央区中央港=1.3 千葉美浜区ひび野=1.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*1.3 印西市大森*1.3 千葉中央区都町*1.2 千葉花見川区花島町*1.2 多古町多古=1.1 山武市蓮沼ニ*1.0 東金市日吉台*0.9 山武市松尾町富士見台=0.9 千葉若葉区小倉台*0.9 市原市姉崎*0.8 千葉稲毛区園生町*0.8 千葉緑区おゆみ野*0.8 東金市東新宿=0.8 木更津市太田=0.6 長南町総合グラウンド=0.6</p> <p>東京都</p> <p>2 東京足立区伊興*1.5</p> <p>1 東京板橋区高島平*1.4 東京葛飾区金町*1.4 東京江戸川区船堀*1.4 東京墨田区東向島*1.3 東京荒川区荒川*1.3 東京足立区千住中居町*1.3 東京江東区越中島*1.2 東京江東区東陽*1.2 東京江東区森下*1.2 東京江東区亀戸*1.2 東京国際空港=1.2 東京中野区中野*1.2 東京北区神谷*1.2 東京荒川区東尾久*1.2 東京江東区枝川*1.1 東京大田区本羽田*1.1 東京渋谷区本町*1.1 東京杉並区阿佐谷=1.1 東京杉並区高井戸*1.1 東京板橋区板橋*1.1 東京葛飾区立石*1.1 小平市小川町*1.1 東大和市中央*1.1 清瀬市中里*1.1 東京大田区多摩川*1.0 東京杉並区桃井*1.0 東京豊島区南池袋*1.0 東京北区西ヶ原*1.0 東京千代田区大手町=1.0 東京台東区千束*1.0 東京墨田区横川=1.0 東京江東区青海=0.9 東京練馬区光が丘*0.9 日野市神明*0.9 国分寺市戸倉=0.9 国分寺市本多*0.9 東京渋谷区宇田川町*0.9 東京千代田区麴町*0.9 東京中央区日本橋兜町*0.9 東京新宿区西新宿=0.9 東京新宿区百人町*0.9 東京品川区北品川*0.8 東京世田谷区三軒茶屋*0.8 武蔵野市吉祥寺東町*0.8 東京文京区スポーツセンター*0.8 東京文京区本郷*0.8 清瀬市中清戸*0.8 東京文京区大塚*0.7 東京千代田区富士見*0.7 東京大田区大森東*0.7 武蔵村山市本町*0.7 東京江戸川区鹿骨*0.7 東京世田谷区成城*0.7 調布市西つつじヶ丘*0.6 町田市森野*0.6 東京品川区平塚*0.6 武蔵野市緑町*0.5</p> <p>富山県</p> <p>2 氷見市加納*1.7 射水市加茂中部*1.5</p> <p>1 滑川市寺家町*1.3 舟橋村仏生寺*1.3 富山市新桜町*1.2 射水市橋下条*1.2 射水市二口*1.2 射水市小島*1.1 射水市本町*1.0 富山市石坂=0.9 富山市八尾町福島=0.9 魚津市釈迦堂=0.9 黒部市宇奈月町下立*0.9 上市町稗田*0.9 富山朝日町道下=0.9 富山朝日町境*0.9 高岡市広小路*0.9 小矢部市泉町=0.9 立山町芦崎寺*0.8 南砺市蛇喰*0.8 高岡市福岡町*0.7 立山町吉峰=0.7 入善町入膳*0.7 高岡市伏木=0.7 富山市今泉*0.6 南砺市城端*0.6 砺波市栄町*0.5 黒部市植木*0.5 富山市婦中町笹倉*0.5</p> <p>山梨県</p> <p>2 忍野村忍草*1.7</p> <p>1 山梨北杜市長坂町*1.2 甲斐市下今井*0.9</p> <p>神奈川県</p> <p>1 横浜中区山手町=1.3 川崎川崎区千鳥町*1.3 川崎宮前区野川*1.1 川崎幸区戸手本町*1.0 川崎川崎区中島*0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.8 川崎高津区下作延*0.7 川崎多摩区登戸*0.7 川崎宮前区宮前平*0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.6</p> <p>福井県</p> <p>1 福井坂井市三国町中央*0.6</p> <p>静岡県</p> <p>1 富士市吉永*0.9 伊豆の国市四日町*0.8 御殿場市萩原=0.8 沼津市高島本町*0.6 静岡清水町家庭*0.6 静岡清水区千歳町=0.6</p>				
88	18 22 26	<p>山形県沖</p> <p>山形県</p> <p>2 鶴岡市温海*1.5</p> <p>1 鶴岡市温海川=1.2</p> <p>新潟県</p> <p>2 村上市府屋*1.5</p> <p>1 村上市寒川*0.6</p>	38° 39.0' N	139° 30.1' E	13km	M: 3.8
89	18 22 27	<p>山形県沖</p> <p>新潟県</p> <p>3 村上市府屋*2.9</p> <p>1 村上市寒川*1.3 村上市岩沢*1.1 関川村下関*1.0 新潟空港=0.7 村上市片町*0.5 新潟南区白根*0.5</p> <p>山形県</p> <p>2 鶴岡市温海*2.1 鶴岡市温海川=2.0</p> <p>1 飯豊町上原*1.4 鶴岡市道田町*0.7 大蔵村肘折*0.5</p>	38° 37.0' N	139° 29.4' E	13km	M: 4.0

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
90	18 22 28	山形県沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.7	38° 40.8' N	139° 27.1' E	10km	M: 3.2
91 (注)	18 22 29 18 22 29	山形県沖 山形県 山形県 新潟県 1 鶴岡市温海*=0.7 鶴岡市温海川=0.6 1 村上市府屋*=0.7	38° 38.0' N 38° 38.8' N	139° 31.3' E 139° 24.6' E	13km 9km	M: 3.3 M: 3.3
92	18 22 30	山形県沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.9	38° 36.6' N	139° 27.3' E	9km	M: 3.3
93	18 22 30	山形県沖 山形県 1 鶴岡市温海*=0.7	38° 36.4' N	139° 28.6' E	14km	M: 3.0
94	18 22 36	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.6	38° 35.4' N	139° 25.6' E	14km	M: 2.6
95	18 22 37	山形県沖 新潟県 3 村上市府屋*=2.6 1 村上市寒川*=1.4 山形県 2 鶴岡市温海川=1.5 鶴岡市温海*=1.5 1 西川町大井沢*=0.7 鶴岡市道田町*=0.7 鶴岡市下名川*=0.5	38° 37.2' N	139° 26.8' E	12km	M: 3.8
96	18 22 41	新潟県下越沖 新潟県 3 村上市府屋*=2.9 2 村上市寒川*=1.8 1 阿賀町鹿瀬中学校*=0.6 新発田市乙次*=0.5 山形県 2 鶴岡市温海川=1.7 1 鶴岡市温海*=1.3 鶴岡市道田町*=1.0	38° 35.1' N	139° 24.5' E	12km	M: 4.1
97	18 22 51	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.5	38° 36.1' N	139° 26.9' E	12km	M: 3.0
98	18 22 55	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.8	38° 33.1' N	139° 24.8' E	10km	M: 2.8
99	18 22 58	根室半島南東沖 北海道 1 根室市瑤瑤瑁*=0.5	43° 05.6' N	146° 41.6' E	60km	M: 3.6
100	18 23 05	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.6	38° 35.1' N	139° 24.4' E	11km	M: 2.6
101	18 23 07	宮城県北部 宮城県 1 大崎市鳴子*=0.7	38° 48.5' N	140° 42.0' E	3km	M: 1.7
102	18 23 09	山形県沖 山形県 新潟県 1 大蔵村肘折*=0.7 鶴岡市温海*=0.5 1 村上市府屋*=1.3	38° 39.2' N	139° 26.5' E	10km	M: 3.5
103	18 23 10	山形県沖 山形県 1 大蔵村肘折*=0.7	38° 38.4' N	139° 26.9' E	12km	M: 3.2
104	18 23 12	山形県沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.8	38° 37.9' N	139° 25.9' E	11km	M: 2.7
105	18 23 14	山形県沖 新潟県 2 村上市府屋*=1.6 1 村上市寒川*=1.1 関川村下関*=0.5 山形県 1 鶴岡市温海川=1.1 鶴岡市温海*=0.9 大蔵村肘折*=0.7	38° 38.3' N	139° 27.1' E	13km	M: 3.6
106	18 23 41	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=1.4 村上市寒川*=0.8	38° 35.8' N	139° 25.1' E	13km	M: 3.1
107	18 23 55	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=1.0	38° 35.8' N	139° 24.3' E	13km	M: 2.7
108	18 23 57	新潟県下越沖 新潟県 2 村上市府屋*=1.5 1 村上市寒川*=1.2	38° 35.1' N	139° 23.7' E	12km	M: 3.3
109	19 00 06	山形県沖 山形県 1 鶴岡市温海*=0.8 鶴岡市温海川=0.6	38° 38.1' N	139° 29.2' E	13km	M: 3.3

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
110	19 00 23	新潟県 1 村上市府屋*=1.4 村上市寒川*=0.9				
		新潟県下越沖 38° 36.7' N 139° 25.2' E 12km M: 3.6	38° 36.7' N	139° 25.2' E	12km	M: 3.6
		新潟県 2 村上市府屋*=2.3 1 村上市寒川*=1.0				
		山形県 1 鶴岡市温海*=1.2 鶴岡市温海川=1.1 鶴岡市道田町*=0.8				
111	19 00 27	新潟県下越沖 38° 36.9' N 139° 26.7' E 12km M: 3.1	38° 36.9' N	139° 26.7' E	12km	M: 3.1
		新潟県 2 村上市府屋*=1.5				
112	19 00 35	山形県沖 38° 37.2' N 139° 25.4' E 12km M: 2.9	38° 37.2' N	139° 25.4' E	12km	M: 2.9
		新潟県 1 村上市府屋*=0.7				
113	19 00 57	新潟県下越沖 38° 33.6' N 139° 23.7' E 12km M: 4.2	38° 33.6' N	139° 23.7' E	12km	M: 4.2
		新潟県 4 村上市府屋*=3.5 3 村上市寒川*=2.8 1 出雲崎町米田=1.2 新発田市乙次*=1.1 村上市岩船駅前*=1.0 村上市岩沢*=0.9 村上市片町*=0.8 関川村下関*=0.8 村上市山口*=0.7 新発田市中央町*=0.7 粟島浦村笹畑=0.7 粟島浦村日ノ見山*=0.7 長岡市与板町与板*=0.6 阿賀町鹿瀬中学校*=0.6 新潟秋葉区新津東町*=0.6 新潟西区寺尾東*=0.6 新潟中央区美咲町=0.5 出雲崎町川西*=0.5				
		山形県 2 鶴岡市温海川=2.1 鶴岡市温海*=1.7 鶴岡市道田町*=1.5 1 飯豊町上原*=1.1 西川町大井沢*=1.0 鶴岡市馬場町=0.8 庄内町狩川*=0.8 三川町横山*=0.7 鶴岡市上山添*=0.7 鶴岡市下名川*=0.7 大蔵村肘折*=0.6 酒田市亀ヶ崎=0.5 鶴岡市羽黒町*=0.5				
		秋田県 1 にかほ市平沢*=0.6				
114	19 01 06	山形県沖 38° 37.4' N 139° 27.1' E 12km M: 3.1	38° 37.4' N	139° 27.1' E	12km	M: 3.1
		山形県 1 鶴岡市温海*=0.7				
		新潟県 1 村上市府屋*=1.3				
115	19 01 55	山形県沖 38° 37.4' N 139° 29.8' E 15km M: 3.0	38° 37.4' N	139° 29.8' E	15km	M: 3.0
		新潟県 1 村上市府屋*=1.1				
116	19 02 32	山形県沖 38° 37.5' N 139° 26.7' E 13km M: 2.7	38° 37.5' N	139° 26.7' E	13km	M: 2.7
		新潟県 1 村上市府屋*=0.5				
117	19 02 59	山形県沖 38° 37.4' N 139° 25.3' E 12km M: 2.9	38° 37.4' N	139° 25.3' E	12km	M: 2.9
		新潟県 1 村上市府屋*=0.5				
118	19 03 01	新潟県下越沖 38° 34.7' N 139° 24.9' E 12km M: 2.8	38° 34.7' N	139° 24.9' E	12km	M: 2.8
		新潟県 1 村上市府屋*=0.6				
119	19 03 02	山形県沖 38° 38.5' N 139° 29.1' E 15km M: 2.9	38° 38.5' N	139° 29.1' E	15km	M: 2.9
		山形県 1 鶴岡市温海*=0.5				
120	19 03 54	新潟県下越沖 38° 35.2' N 139° 24.3' E 12km M: 3.3	38° 35.2' N	139° 24.3' E	12km	M: 3.3
		新潟県 2 村上市府屋*=2.0 1 村上市寒川*=1.4				
		山形県 1 鶴岡市温海川=0.6 鶴岡市温海*=0.5				
121	19 05 00	茨城県沖 36° 25.6' N 140° 39.6' E 53km M: 3.3	36° 25.6' N	140° 39.6' E	53km	M: 3.3
		茨城県 2 東海村東海*=1.8 1 日立市助川小学校*=1.3 城里町小勝*=1.1 水戸市金町=1.0 日立市役所*=0.8 水戸市千波町*=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.7 水戸市栗崎町*=0.7 常陸大宮市北町*=0.5 笠間市石井*=0.5				
122	19 05 04	千葉県東方沖 35° 48.6' N 140° 53.1' E 16km M: 3.4	35° 48.6' N	140° 53.1' E	16km	M: 3.4
		茨城県 1 神栖市波崎*=0.7 稲敷市須賀津*=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.5				
		千葉県 1 銚子市小畑新町=1.0 銚子市川口町=0.7 銚子市若宮町*=0.5 香取市仁良*=0.5				
123	19 05 58	広島県南西部 34° 24.7' N 132° 19.7' E 5km M: 2.4	34° 24.7' N	132° 19.7' E	5km	M: 2.4
		広島県 2 広島佐伯区利松*=1.8 1 広島西区己斐*=1.3				
124	19 06 37	山形県沖 38° 37.8' N 139° 27.7' E 14km M: 2.9	38° 37.8' N	139° 27.7' E	14km	M: 2.9
		山形県 1 鶴岡市温海*=0.8				
		新潟県 1 村上市府屋*=0.7				
125	19 07 46	広島県南西部 34° 31.3' N 132° 10.3' E 8km M: 2.4	34° 31.3' N	132° 10.3' E	8km	M: 2.4
		広島県 1 廿日市市吉和*=0.7				
126	19 11 35	大隅半島東方沖 31° 12.0' N 131° 32.6' E 28km M: 4.1	31° 12.0' N	131° 32.6' E	28km	M: 4.1
		宮崎県 2 串間市都井*=1.5 1 日南市油津=1.4 日南市南郷町南町*=1.3 日南市吾田東*=1.2 日南市中央通*=1.1 宮崎市松橋*=1.1 串間市奈留=0.9 都城市菖蒲原=0.9 都城市姫城町*=0.9 小林市真方=0.8 綾町役場*=0.8				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
127	19 14 15	鹿兒島県 宮崎県 新潟県 新潟県 1 鹿兒島市霧島=0.6 高野町西麓*=0.5 1 大崎町仮宿*=1.1 錦江町田代支所*=1.1 志布志市志布志町志布志=1.1 鹿屋市新栄町=0.7 霧島市国分中央*=0.6 曾於市大隅町中之内*=0.6 肝付町北方*=0.6 鹿屋市礼元*=0.6 鹿兒島市喜入町*=0.5 鹿兒島市東郡元=0.5	38° 36.5' N	139° 23.3' E	12km	M: 3.4
128	20 01 55	千葉県南東沖 千葉県 東京都 神奈川県 茨城県 埼玉県 山梨県 静岡県 千葉県南東沖 千葉県 和歌山県 和歌山県 岐阜県 岐阜県 愛知県	35° 00.6' N	140° 11.7' E	76km	M: 4.4
129	20 05 09	千葉県南東沖 千葉県 1 館山市長須賀=0.5	34° 38.8' N	140° 13.8' E	74km	M: 3.4
130	20 06 14	和歌山県 和歌山県 1 有田市初島町*=1.0	34° 05.6' N	135° 08.1' E	6km	M: 2.5
131	20 06 18	岐阜県 岐阜県 岐阜県 岐阜県 愛知県 1 大野町大野*=1.8 北方町北方*=1.7 1 岐阜市京町*=1.4 本巣市下真桑*=1.3 瑞穂市別府*=1.2 揖斐川町東杉原*=1.1 揖斐川町東津汲*=1.1 揖斐川町谷汲*=1.0 本巣市三橋*=1.0 関市武芸川町*=0.9 岐南町八剣*=0.8 揖斐川町三輪=0.8 本巣市文殊*=0.8 各務原市那加桜町*=0.7 岐阜山県市美山支所*=0.7 岐阜山県市大門*=0.6 岐阜市加納二之丸=0.6 岐阜池田町六之井*=0.6 揖斐川町中籠橋*=0.6 大垣市丸の内*=0.6 美濃市役所*=0.5 大垣市墨俣町*=0.5 各務原市川島河田町*=0.5	35° 24.6' N	136° 44.3' E	12km	M: 3.3
132	20 23 27	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市寒川*=0.9 村上市府屋*=0.9	38° 33.1' N	139° 24.1' E	10km	M: 3.3

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震源地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
133	21 05 33	山形県沖 山形県 3 鶴岡市温海川=2.5 2 鶴岡市温海*=2.1 1 鶴岡市道田町*=1.4 大蔵村肘折*=1.1 鶴岡市下名川*=1.0 鶴岡市上山添*=1.0 中山町長崎*=0.8 鶴岡市馬場町=0.7 鶴岡市羽黒町*=0.7 西川町大井沢*=0.6 西川町海味*=0.6 河北町谷地=0.5 大蔵村清水*=0.5 三川町横山*=0.5 新潟県 3 村上市府屋*=3.0 2 村上市寒川*=1.9 1 村上市岩沢*=0.7 関川村下関*=0.5 秋田県 1 にかほ市平沢*=0.6 仙北市西木町上桧木内*=0.5	38° 36.4' N	139° 27.1' E	13km	M: 4.0
134	21 07 04	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.5	38° 35.9' N	139° 22.2' E	11km	M: 2.8
135	21 12 41	浦河沖 北海道 1 浦河町潮見=1.4 新ひだか町三石旭町*=1.1 浦河町築地*=0.9 新ひだか町静内山手町=0.7 安平町追分柏が丘*=0.7	42° 05.9' N	142° 34.0' E	53km	M: 3.8
136	22 02 26	茨城県北部 茨城県 1 常陸大宮市北町*=0.8 城里町小勝*=0.8 笠間市石井*=0.7 東海村東海*=0.7 水戸市金町=0.5	36° 27.3' N	140° 36.0' E	56km	M: 3.1
137	22 06 22	山梨県中・西部 静岡県 1 富士宮市野中*=0.8 静岡葵区梅ヶ島*=0.8	35° 14.2' N	138° 25.9' E	16km	M: 2.4
138	22 14 15	岩手県沖 青森県 1 階上町道仏*=0.8 八戸市内丸*=0.5	40° 17.7' N	142° 17.7' E	38km	M: 3.6
139	22 20 45	茨城県沖 茨城県 2 城里町小勝*=1.6 1 日立市助川小学校*=1.4 常陸大宮市北町*=1.4 日立市十王町友部*=1.3 常陸大宮市上小瀬*=1.2 常陸太田市高柿町*=1.1 笠間市石井*=1.1 那珂市瓜連*=1.1 東海村東海*=1.0 水戸市千波町*=1.0 水戸市栗崎町*=0.9 日立市役所*=0.9 常陸太田市金井町*=0.9 水戸市金町=0.8 常陸大宮市山方*=0.8 常陸大宮市野口*=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 桜川市真壁*=0.6 桜川市羽田*=0.6 常陸太田市町田町*=0.5 城里町石塚*=0.5 土浦市常名=0.5 水戸市内原町*=0.5 笠間市笠間*=0.5	36° 25.9' N	140° 41.0' E	52km	M: 3.7
140	22 21 56	種子島近海 鹿児島県 1 錦江町田代支所*=0.8	30° 32.3' N	131° 18.9' E	36km	M: 3.8
141	23 06 00	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=0.5	23° 46.4' N	122° 55.8' E	45km	M: 4.4
142	23 06 49	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋*=0.9	38° 36.6' N	139° 23.3' E	11km	M: 3.0
143	23 08 26	新潟県下越沖 新潟県 2 村上市府屋*=1.9 1 村上市寒川*=1.3	38° 36.7' N	139° 23.2' E	12km	M: 3.4
144	23 13 44	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡*=1.4 芦北町芦北=1.0	32° 17.3' N	130° 31.3' E	8km	M: 2.7
145	24 09 11	千葉県南東沖 千葉県 4 館山市長須賀=4.1 館山市北条*=3.9 南房総市岩糸*=3.8 南房総市谷向*=3.5 南房総市白浜町白浜*=3.5 3 鋸南町下佐久間*=3.4 勝浦市新官*=3.3 鴨川市横渚*=3.3 君津市久留里市場*=3.3 富津市下飯野*=3.2 勝浦市墨名=3.2 市原市姉崎*=3.2 君津市久保*=3.2 南房総市千倉町瀬戸*=3.1 鴨川市八色=3.1 木更津市富士見*=3.1 南房総市富浦町青木*=3.1 長南町総合グラウンド=3.0 長南町長南*=3.0 千葉中央区都町*=2.9 南房総市上堀=2.9 睦沢町下之郷*=2.8 袖ヶ浦市坂戸市場*=2.8 いすみ市国府台*=2.7 大多喜町大多喜*=2.7 一宮町一宮=2.7 いすみ市岬町長者*=2.7 九十九里町片貝*=2.6 南房総市久枝*=2.6 大網白里市大網*=2.6 東金市日吉台*=2.6 鴨川市天津*=2.5 茂原市道表*=2.5 千葉緑区おゆみ野*=2.5 野田市鶴奉*=2.5 木更津市太田=2.5 御宿町須賀*=2.5 2 長柄町桜谷*=2.4 山武市埴谷*=2.4 千葉花見川区花島町*=2.4 千葉美浜区ひび野=2.4 市原市国分寺台中央*=2.4 浦安市日の出=2.4 浦安市猫実*=2.4 いすみ市大原*=2.4 南房総市和田町*=2.4 千葉稲毛区園生町*=2.3 東金市東新宿=2.3 山武市殿台*=2.2 四街道市鹿渡*=2.2 千葉中央区中央港=2.2 千葉中央区千葉市役所*=2.2 東金市東岩崎*=2.2 市川市南八幡*=2.2 山武市蓮沼二*=2.2 八千代市大和田新田*=2.2 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=2.2 習志野市鷺沼*=2.1 柏市旭町=2.1 流山市平和台*=2.1 長生村本郷*=2.1 八街市八街*=2.1 白井市復*=2.1 鴨川市内浦=2.1 千葉佐倉市海隣寺町*=2.1 千葉美浜区稲毛海岸*=2.0 山武市松尾町富士見台=2.0 船橋市湊町*=2.0 山武市蓮沼ハ*=2.0 旭市南堀之内*=2.0 芝山町小池*=2.0 千葉若葉区小倉台*=2.0 白子町関*=1.9 匝瑳市今泉*=1.9 横芝光町栗山*=1.9	34° 55.7' N	139° 57.8' E	61km	M: 5.2

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模	
		<p>松戸市西馬橋*1.9 松戸市根本*1.8 多古町多古*1.8 柏市柏*1.8 印西市大森*1.8 印西市笠神*1.8 野田市東宝珠花*1.7 香取市仁良*1.7 横芝光町宮川*1.7 柏市大島田*1.7 山武市松尾町五反田*1.7 印西市美瀬*1.6 成田国際空港*1.6 成田市中台*1.6 成田市役所*1.6 我孫子市我孫子*1.5 酒々井町中央*1.5 富里市七栄*1.5 成田市名古屋*1.5 匝瑳市八日市場*1.5 香取市役所*1.5 香取市羽根川*1.5 1 旭市高生*1.4 旭市萩園*1.4 旭市二*1.4 香取市佐原諏訪台*1.4 栄町安食台*1.4 神崎町神崎本宿*1.3 香取市佐原平田*1.3 成田市松子*1.2 成田市猿山*1.1 香取市岩部*1.0 銚子市小畑新町*0.6 銚子市川口町*0.5 4 東京千代田区大手町*3.5 3 東京世田谷区三軒茶屋*3.4 東京大田区本羽田*3.3 東京練馬区豊玉北*3.2 東京中央区勝どき*3.2 東京文京区本郷*3.2 東京渋谷区本町*3.2 東京中野区中野*3.1 東京江東区越中島*3.0 東京中央区築地*3.0 東京世田谷区世田谷*3.0 東京港区海岸*2.9 伊豆大島町波浮港*2.9 東京港区白金*2.9 東京国際空港*2.9 東京中野区中央*2.8 東京大田区多摩川*2.8 東京利島村東山*2.8 三宅村神着*2.8 東京江東区枝川*2.7 東京品川区平塚*2.7 東京杉並区桃井*2.7 東京豊島区南池袋*2.7 八王子市堀之内*2.7 伊豆大島町差木地*2.7 東京新宿区上落合*2.7 東京江戸川区中央*2.6 東京港区南青山*2.6 町田市本町田*2.6 東京渋谷区宇田川町*2.6 東京目黒区中央町*2.6 東京新宿区西新宿*2.6 三宅村坪田*2.6 東京江戸川区船堀*2.5 東京中央区日本橋兜町*2.5 小平市小川町*2.5 東京港区芝公園*2.5 東京杉並区阿佐谷*2.5 2 東京千代田区富士見*2.4 東京千代田区麴町*2.4 東京新宿区百人町*2.4 東京品川区北品川*2.4 東京練馬区東大泉*2.4 町田市森野*2.4 東村山市本町*2.4 西東京市中町*2.4 東京江東区青海*2.3 東京世田谷区中町*2.3 東京中野区江古田*2.3 東京板橋区板橋*2.3 町田市忠生*2.3 東京文京区大塚*2.3 東京杉並区高井戸*2.2 東京北区西ヶ原*2.2 調布市西つつじヶ丘*2.2 国分寺市戸倉*2.2 国分寺市本多*2.2 清瀬市中里*2.2 三宅村阿古*2.2 東京文京区スポーツセンタ*2.2 東京品川区広町*2.2 日野市神明*2.1 東京江東区森下*2.1 神津島村金長*2.1 伊豆大島町元町*2.1 新島村大原*2.1 新島村本村*2.1 御蔵島村西川*2.1 東京大田区蒲田*2.1 東京大田区大森東*2.1 東京世田谷区成城*2.1 東京北区神谷*2.1 東京荒川区東尾久*2.1 東京板橋区相生町*2.1 東京葛飾区立石*2.1 多摩市関戸*2.0 稲城市東長沼*2.0 東京台東区東上野*2.0 東京江東区東陽*2.0 東京足立区神明南*2.0 東京足立区伊興*2.0 東京府中市朝日町*2.0 小金井市本町*1.9 東大和市中央*1.9 東京江戸川区鹿骨*1.9 調布市小島町*1.9 東京板橋区高島平*1.8 清瀬市中清戸*1.8 東京練馬区光が丘*1.8 東京足立区千住中居町*1.8 三鷹市野崎*1.8 狛江市和泉本町*1.7 神津島村役場*1.7 東京墨田区東向島*1.7 八王子市石川町*1.7 武蔵野市吉祥寺東町*1.7 八王子市大横町*1.6 東京江東区亀戸*1.6 東京台東区千束*1.6 東京墨田区吾妻橋*1.6 青梅市日向和田*1.6 あきる野市伊奈*1.6 新島村式根島*1.5 八丈町富士ランド*1.5 東京葛飾区金町*1.5 武蔵野市緑町*1.5 東京墨田区横川*1.5 1 東京荒川区荒川*1.4 東京足立区中央本町*1.4 東京府中市寿町*1.4 昭島市中町*1.4 東村山市美住町*1.4 国立市富士見台*1.4 武蔵村山市本町*1.3 多摩市鶴牧*1.3 瑞穂町箱根ヶ崎*1.3 東久留米市本町*1.2 青梅市東青梅*1.2 八丈町三根*1.2 立川市泉町*1.1 檜原村本宿*1.1 日の出町平井*1.0 羽村市緑ヶ丘*0.9 福生市福生*0.8 八丈町榎立*0.6 4 川崎川崎区千鳥町*4.0 川崎川崎区宮前町*3.5 秦野市首屋*3.5 3 川崎宮前区宮前平*3.4 横浜金沢区白帆*3.3 横浜泉区和泉町*3.3 藤沢市大庭*3.3 三浦市城山町*3.3 二宮町中里*3.3 厚木市中町*3.3 横浜鶴見区鶴見*3.2 横浜中区山手町*3.2 横浜港北区日吉本町*3.2 横浜港南区丸山台東部*3.2 中井町比奈窪*3.2 横浜戸塚区戸塚町*3.1 横浜神奈川区広台太田町*3.1 横須賀市光の丘*3.1 横浜戸塚区鳥が丘*3.0 箱根町湯本*3.0 湯河原町中央*3.0 横浜中区山下町*3.0 横浜磯子区磯子*3.0 藤沢市長後*2.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎*2.9 横浜鶴見区馬場*2.8 海老名市大谷*2.8 座間市相武台*2.8 横浜鶴見区末広町*2.8 横浜緑区十日市場町*2.8 川崎中原区小杉町*2.8 相模原中央区上溝*2.8 横浜中区山吹町*2.8 藤沢市打戻*2.8 横須賀市坂本町*2.7 平塚市浅間町*2.7 横浜保土ヶ谷区上菅田町*2.7 横浜金沢区釜利谷南*2.7 綾瀬市深谷*2.6 秦野市平沢*2.6 横浜青葉区市ヶ尾町*2.6 横浜中区日本大通*2.6 相模原中央区水郷田名*2.6 横浜磯子区洋光台*2.6 横浜金沢区寺前*2.6 藤沢市辻堂東海岸*2.6 横浜西区みなとみらい*2.5 横浜西区浜松町*2.5 横浜旭区今宿東町*2.5 横浜旭区川井宿町*2.5 寒川町宮山*2.5 横浜瀬谷区三ツ境*2.5 横浜栄区小菅ヶ谷*2.5 松田町松田惣領*2.5 川崎川崎区中島*2.5 川崎幸区戸手本町*2.5 愛川町角田*2.5 清川村煤ヶ谷*2.5 藤沢市朝日町*2.5 2 横浜港北区綱島西*2.4 横浜緑区鴨居*2.4 横浜都筑区茅ヶ崎*2.4 川崎中原区小杉陣屋町*2.4 川崎宮前区野川*2.4 鎌倉市御成町*2.4 大和市下鶴間*2.4 大磯町月京*2.4 小田原市荻窪*2.4 相模原南区相模大野*2.4 横浜旭区大池町*2.3 横浜旭区上白根町*2.3 横浜瀬谷区中屋敷*2.3 横浜泉区岡津町*2.3 横浜青葉区榎が丘*2.3 横浜都筑区池辺町*2.3 相模原南区磯部*2.3 相模原緑区中野*2.3 相模原緑区久保沢*2.3 相模原緑区橋本*2.3 横浜保土ヶ谷区神戸町*2.3 逗子市桜山*2.2 厚木市下津古久*2.2 南足柄市関本*2.2 神奈川大井町金子*2.2 相模原中央区中央*2.2 横浜港北区大倉山*2.2 川崎麻生区片平*2.1 真鶴町岩*2.1 相模原緑区大島*2.1 横浜戸塚区平戸町*2.1 山北町山北*2.0 横浜青葉区美しが丘*2.0 葉山町堀内*2.0 横浜南区六ツ川*2.0 小田原市久野*1.9 横浜栄区桂台南*1.9 開成町延沢*1.9 川崎高津区下作延*1.9 伊勢原市伊勢原*1.7 相模原緑区小淵*1.7 川崎多摩区登戸*1.6 川崎麻生区万福寺*1.5 相模原緑区与瀬*1.5 1 相模原緑区若柳*1.0 3 さいたま北区宮原*2.5 2 川口市中青木分室*2.4 久喜市下早見*2.3 さいたま南区別所*2.3 さいたま若槻区本丸*2.2 さいたま浦和区高砂*2.2 新座市野火止*2.2 白岡市千駄野*2.1 加須市騎西*2.1 加須市大利根*2.1 川口市青木*2.1 さいたま緑区中尾*2.1 和光市広沢*2.1 久喜市青葉*2.0 川越市新宿町*2.0 埼玉三芳町藤久保*2.0 さいたま大宮区天沼町*2.0 春日部市谷原新田*2.0</p>					
		東京都					
		神奈川県					
		埼玉県					

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>越谷市越ヶ谷*2.0 川越市旭町=1.9 上尾市本町*1.9 幸手市東*1.9 吉川市きよみ野*1.9 春日部市粕壁*1.9 杉戸町清地*1.9 春日部市金崎*1.8 狭山市入間川*1.8</p> <p>さいたま見沼区堀崎*1.8 草加市中央*1.8 戸田市上戸田*1.8 所沢市北有楽町*1.8</p> <p>入間市豊岡*1.7 志木市中宗岡*1.7 富士見市鶴馬*1.7 三郷市中央*1.7 鴻巣市中央*1.7</p> <p>宮代町笠原*1.7 さいたま西区指扇*1.7 久喜市菫蒲*1.7 さいたま中央区下落合*1.7</p> <p>蕨市中央*1.7 朝霞市本町*1.6 熊谷市大里*1.6 八潮市中央*1.6 ふじみ野市福岡*1.6</p> <p>鴻巣市川里*1.6 久喜市鷲宮*1.6 松伏町松伏*1.6 川島町下八ツ林*1.5 川口市三ツ和*1.5</p> <p>さいたま大宮区大門*1.5 行田市南河原*1.5 加須市北川辺*1.5 鴻巣市吹上富士見*1.5</p> <p>桶川市泉*1.5 久喜市栗橋*1.5</p> <p>1 加須市三俣*1.4 埼玉美里町木部*1.4 鶴ヶ島市三ツ木*1.4 伊奈町小室*1.4</p> <p>さいたま浦和区常盤*1.4 本庄市児玉町=1.3 北本市本町*1.3 さいたま桜区道場*1.3</p> <p>東松山市松葉町*1.2 吉見町下細谷*1.2 毛呂山町中央*1.2 ふじみ野市大井*1.2</p> <p>熊谷市妻沼*1.2 行田市本丸*1.2 熊谷市江南*1.1 羽生市東*1.1 蓮田市黒浜*1.1</p> <p>越生町越生*1.1 熊谷市宮町*1.0 秩父市中津川*1.0 所沢市並木*1.0 坂戸市千代田*1.0</p> <p>深谷市花園*0.9 熊谷市桜町=0.9 飯能市征矢町*0.9 飯能市名栗*0.9 東松山市市ノ川*0.9</p> <p>滑川町福田*0.8 嵐山町杉山*0.8 ときがわ町桃木*0.8 長瀨町野上下郷*0.8</p> <p>日高市南平沢*0.8 深谷市川本*0.7 秩父市上町=0.7 飯能市双柳*0.6 深谷市仲町*0.6</p> <p>深谷市岡部*0.6 秩父市近戸町*0.6 小川町大塚*0.6 鳩山町大豆戸=0.5 本庄市本庄*0.5</p> <p>秩父市熊木町*0.5</p> <p>3 富士川町鯉沢*3.0 都留市上谷*2.5 富士河口湖町長浜*2.5</p> <p>2 西桂町小沼*2.4 大月市御太刀*2.3 上野原市役所*2.3 道志村役場*2.3 忍野村忍草*2.2</p> <p>山中湖村山中*2.2 中央市大鳥居*2.1 甲府市古閑町*2.0 山梨北杜市長坂町*2.0</p> <p>富士河口湖町船津=2.0 山梨南部町栄小学校*1.9 山梨南部町富士*1.9 甲州市勝沼町勝沼*1.8</p> <p>富士川町天神中条*1.8 大月市大月=1.8 身延町役場*1.8 市川三郷町役場*1.7 甲府市飯田=1.7</p> <p>甲府市相生*1.7 笛吹市八代町南*1.6 甲州市役所*1.6 中央市成島*1.6 昭和町押越*1.6</p> <p>南アルプス市寺部*1.6 南アルプス市鮎沢*1.6 甲斐市下今井*1.6 笛吹市境川町藤袋*1.6</p> <p>笛吹市役所*1.5 市川三郷町六郷支所*1.5 甲州市塩山上於曾*1.5 中央市臼井阿原*1.5</p> <p>富士吉田市下吉田*1.5 甲府市下曾根町*1.5</p> <p>1 身延町大磯小磯=1.4 笛吹市春日居町寺本*1.4 山梨北杜市高根町*1.4 甲州市塩山下於曾=1.4</p> <p>甲州市大和町初鹿野*1.4 富士吉田市上吉田*1.4 上野原市秋山*1.4 鳴沢村役場*1.4</p> <p>笛吹市一宮町末木*1.3 山梨北杜市明野町*1.3 富士河口湖町勝山*1.3 富士河口湖町役場*1.3</p> <p>山梨市牧丘町窪平*1.2 早川町葉袋*1.2 山梨南部町内船*1.2 南アルプス市小笠原*1.2</p> <p>笛吹市芦川町中芦川*1.2 市川三郷町上野*1.2 上野原市四方津=1.2 富士河口湖町本栖*1.1</p> <p>丹波山村丹波*1.1 山梨市小原西*1.1 山梨北杜市大泉町*1.0 身延町福平*1.0</p> <p>南アルプス市榎原*1.0 山梨北杜市健康ランド須玉*1.0 身延町常葉*0.9 甲斐市篠原*0.9</p> <p>甲斐市島上条*0.9 笛吹市御坂町夏目原*0.9 小菅村小菅小学校*0.8 山梨市三富川浦*0.6</p> <p>早川町保*0.6</p> <p>静岡県</p> <p>3 東伊豆町奈良本*3.2 伊豆市中伊豆グラウンド=3.2 伊豆の国市長岡*3.2 熱海市網代=2.9</p> <p>富士宮市野中*2.8 河津町田中*2.7 富士宮市弓沢町=2.5</p> <p>2 東伊豆町稲取*2.4 函南町平井*2.4 熱海市泉*2.3 熱海市中央町*2.3 伊豆の国市四日町*2.3</p> <p>伊東市大原=2.2 伊豆の国市田京*2.2 三島市東本町=2.2 下田市中*2.0 富士市大淵*2.0</p> <p>南伊豆町下賀茂*1.9 長泉町中土狩*1.9 沼津市戸田*1.8 富士宮市猪之頭*1.8</p> <p>富士市吉永*1.8 静岡清水町堂庭*1.8 西伊豆町仁科*1.7 御殿場市萩原*1.7</p> <p>静岡清水区蒲原新栄*1.7 西伊豆町宇久須*1.6 伊豆市小立野*1.6 沼津市高島本町*1.6</p> <p>三島市大社町*1.6 藤枝市岡部町岡部*1.6 静岡駿河区曲金=1.6 下田市加増野=1.5</p> <p>下田市敷根*1.5 伊豆市八幡*1.5 御殿場市茱萸沢*1.5</p> <p>1 富士宮市長貫*1.4 富士市永田町*1.4 牧之原市静波*1.4 沼津市御幸町*1.3 裾野市佐野*1.3</p> <p>松崎町江奈*1.2 富士市富士総合運動公園=1.1 富士市本市場*1.1 富士市岩渕*1.1</p> <p>静岡葵区追手町県庁*1.0 静岡葵区追手町市役所*1.0 静岡清水区千歳町=1.0 南伊豆町入間*0.9</p> <p>西伊豆町一色*0.9 伊豆市湯ヶ島*0.9 裾野市石脇*0.9 焼津市宗高*0.8 静岡葵区梅ヶ島*0.8</p> <p>静岡清水区由比北田*0.8 袋井市浅名*0.7 静岡菊川市赤土*0.7 南伊豆町石廊崎=0.6</p> <p>茨城県</p> <p>2 坂東市岩井=2.3 筑西市舟生=1.9 常総市水海道諏訪町*1.9 稲敷市伊佐津*1.9</p> <p>つくばみらい市加藤*1.8 つくばみらい市福田*1.8 茨城古河市市長谷*1.8 常総市新石下*1.8</p> <p>取手市井野*1.8 取手市寺田*1.7 坂東市馬立*1.7 石岡市柿岡=1.7 つくば市小茎*1.7</p> <p>取手市藤代*1.6 茨城古河市仁連*1.6 小美玉市上玉里*1.6 土浦市藤沢*1.6</p> <p>稲敷市江戸崎*1.6 笠間市石井*1.6 稲敷市結佐*1.6 土浦市常名=1.5 小美玉市小川*1.5</p> <p>桜川市真壁*1.5 潮来市辻*1.5 河内町源清田*1.5 五霞町小福田*1.5 龍ヶ崎市役所*1.5</p> <p>下妻市鬼怒*1.5 坂東市山*1.5 坂東市役所*1.5 笠間市中央*1.5 茨城古河市下大野*1.5</p> <p>1 つくば市研究学園*1.4 茨城鹿嶋市鉢形=1.4 阿見町中央*1.4 境町旭町*1.4 守谷市大柏*1.4</p> <p>下妻市本城町*1.3 潮来市堀之内=1.3 美浦村受領*1.3 牛久市中央*1.3 八千代町菅谷*1.3</p> <p>つくば市天王台*1.3 石岡市若宮*1.3 利根町布川=1.3 稲敷市須賀津*1.3 桜川市岩瀬*1.3</p> <p>茨城町小堤*1.2 小美玉市堅倉*1.2 石岡市八郷*1.2 稲敷市役所*1.2 水戸市内原町*1.2</p> <p>筑西市門井*1.2 かすみがうら市上土田*1.2 神栖市溝口*1.2 笠間市笠間*1.2</p> <p>土浦市田中*1.1 行方市玉造*1.1 笠間市下郷*1.1 桜川市羽田*1.1 城里町小勝*1.1</p> <p>結城市結城*1.1 筑西市海老ヶ島*1.1 かすみがうら市大和田*1.1 鉾田市汲上*1.0</p> <p>東海村東海*1.0 行方市麻生*1.0 茨城鹿嶋市宮中*1.0 筑西市下山*1.0 城里町石塚*0.9</p> <p>水戸市千波町*0.9 鉾田市鉾田=0.9 日立市助川小学校*0.9 水戸市金町=0.8 鉾田市造谷*0.8</p> <p>常陸大宮市北町*0.7 常陸大宮市野口*0.7 水戸市栗崎町*0.7 常陸大宮市山方*0.6</p> <p>常陸大宮市上小瀬*0.5</p> <p>栃木県</p> <p>2 真岡市石島*1.7 佐野市高砂町*1.7 鹿沼市見台*1.7 栃木市岩舟町静*1.6</p> <p>佐野市葛生東*1.6 宇都宮市明保野町=1.5 下野市田中*1.5</p> <p>1 高根沢町石末*1.4 下野市笹原*1.4 市貝町市塙*1.3 野木町丸林*1.3 大田原市湯津上*1.3</p> <p>栃木市藤岡町藤岡*1.3 足利市大正町*1.2 栃木市大平町富田*1.2 鹿沼市今宮町*1.2</p>				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		<p>群馬県</p> <p>益子町益子=1.2 真岡市田町*=1.1 真岡市荒町*=1.1 芳賀町祖母井*=1.1 佐野市田沼町*=1.1 鹿沼市口栗野*=1.0 日光市芹沼*=1.0 宇都宮市中里町*=1.0 栃木市旭町=1.0 壬生町通町*=0.9 小山市中央町*=0.9 佐野市中町*=0.9 日光市鬼怒川温泉大原*=0.8 日光市足尾町中才*=0.8 上三川町しらさぎ*=0.8 宇都宮市塙田*=0.7 栃木市西方町本城*=0.7 那須烏山市中央=0.7 茂木町茂木*=0.6 日光市瀬川=0.6 宇都宮市旭*=0.6 日光市藤原庁舎*=0.5 2 邑楽町中野*=1.7 沼田市白沢町*=1.5 渋川市赤城町*=1.5 板倉町板倉=1.5 1 前橋市粕川町*=1.4 太田市西本町*=1.4 安中市安中*=1.3 千代田町赤岩*=1.3 品川区東小川=1.2 桐生市元宿町*=1.2 館林市美園町*=1.2 群馬明和町新里*=1.1 大泉町日の出*=1.1 沼田市西倉内町=1.1 桐生市黒保根町*=1.1 桐生市新里町*=1.1 沼田市利根町*=1.0 前橋市富士見町*=1.0 太田市粕川町*=1.0 館林市城町*=1.0 渋川市吹屋*=1.0 伊勢崎市西久保町*=0.9 太田市浜町*=0.8 安中市松井田町*=0.8 神流町神ヶ原*=0.8 沼田市下久屋町*=0.8 吉岡町下野田*=0.7 甘楽町小幡*=0.7 伊勢崎市今泉町*=0.7 みどり市東町*=0.7 みどり市大間々町*=0.7 品川区鎌田*=0.7 高崎市高松町*=0.7 高崎市新町*=0.7 富岡市七日市=0.7 桐生市織姫町=0.7 前橋市堀越町*=0.6 渋川市伊香保町*=0.6 富岡市妙義町*=0.6 前橋市鼻毛石町*=0.6 伊勢崎市東町*=0.6 伊勢崎市境*=0.6 玉村町下新田*=0.6 高崎市吉井町吉井川*=0.6 太田市新田金井町*=0.6 太田市大原町*=0.6 みどり市笠懸町*=0.5 群馬昭和村糸井*=0.5 神流町生利*=0.5</p> <p>長野県</p> <p>2 茅野市葛井公園*=1.5 1 小海町豊里*=1.4 長野南牧村海ノ口*=1.4 佐久市中込*=1.2 佐久穂町畑*=1.1 諏訪市湖岸通り=1.0 長野川上村大深山*=1.0 立科町芦田*=1.0 長野高森町下市田*=0.8 泰阜村役場*=0.8 佐久市下小田切=0.8 飯田市高羽町=0.7 南箕輪村役場*=0.7 王滝村役場*=0.7 木曾町日義*=0.7 諏訪市高島*=0.7 軽井沢町追分=0.7 飯田市上郷黒田*=0.6 伊那市高遠町荊口=0.6 下條村睦沢*=0.6 木曾町三岳*=0.6 上田市築地=0.6 原村役場*=0.6</p> <p>宮城県</p> <p>1 岩沼市桜*=0.8</p> <p>福島県</p> <p>1 田村市大越町*=1.2 玉川村小高*=1.1 白河市東*=1.0 いわき市三和町=0.8 須賀川市八幡山*=0.7 郡山市湖南町*=0.6 白河市新白河*=0.6 浪江町幾世橋=0.5</p> <p>新潟県</p> <p>1 南魚沼市六日町=0.8</p>				
146	24 09 15	<p>千葉県南東沖</p> <p>千葉県</p> <p>1 南房総市谷向*=0.7 館山市北条*=0.6 館山市長須賀=0.6</p>	34° 56.5' N	139° 58.3' E	60km	M: 3.2
147	24 13 41	<p>千葉県北西部</p> <p>東京都</p> <p>神奈川県</p> <p>1 東京渋谷区本町*=0.5 1 横浜青葉区市ヶ尾町*=0.6 横浜鶴見区末広町*=0.5</p>	35° 48.1' N	140° 05.2' E	63km	M: 3.2
148	24 19 22	<p>伊豆半島東方沖</p> <p>静岡県</p> <p>4 熱海市網代=3.7 3 伊豆市中伊豆グラウンド=3.1 東伊豆町奈良本*=2.8 熱海市中央町*=2.5 伊豆の国市四日町*=2.5 伊豆の国市長岡*=2.5 2 河津町田中*=2.3 函南町平井*=2.3 熱海市泉*=2.2 長泉町中土狩*=2.2 三島市東本町=2.1 伊東市大原=2.1 静岡清水町堂庭*=1.9 三島市大社町*=1.7 伊豆市八幡*=1.7 伊豆の国市田京*=1.7 1 伊豆市湯ヶ島*=1.4 沼津市高島本町*=1.3 下田市中*=1.2 裾野市佐野*=1.2 東伊豆町稲取*=1.0 松崎町江奈*=0.9 伊豆市小立野*=0.9 沼津市御幸町*=0.9 富士宮市野中*=0.8 沼津市戸田*=0.7 富士宮市弓沢町=0.7 富士市吉永*=0.7 裾野市石脇*=0.7 西伊豆町仁科*=0.7 浜松天竜区佐久間町*=0.7</p> <p>神奈川県</p> <p>3 湯河原町中央=3.0 真鶴町岩*=2.5 2 小田原市荻窪*=2.0 箱根町湯本*=1.7 神奈川大井町金子*=1.6 1 横浜泉区和泉町*=1.4 中井町比奈窪*=1.4 小田原市久野=1.2 松田町松田惣領*=1.2 藤沢市打戻*=1.2 二宮町中里*=1.2 相模原緑区大島*=1.0 横浜旭区川井宿町*=1.0 川崎宮前区宮前平*=1.0 清川村煤ヶ谷*=0.9 相模原中央区水郷田名*=0.9 南足柄市関本*=0.9 横浜瀬谷区中屋敷*=0.9 大磯町月京*=0.9 愛川町角田*=0.9 平塚市浅間町*=0.8 開成町延沢*=0.8 秦野市曾屋=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 横浜旭区上白根町*=0.8 相模原緑区中野*=0.8 相模原緑区久保沢*=0.8 横浜港北区日吉本町*=0.7 横浜中区山手町=0.6 横浜旭区今宿東町*=0.6 秦野市平沢*=0.6 三浦市城山町*=0.6 相模原中央区上溝*=0.5</p> <p>埼玉県</p> <p>1 所沢市北有楽町*=1.2</p> <p>千葉県</p> <p>1 南房総市富浦町青木*=0.9 館山市長須賀=0.8</p> <p>東京都</p> <p>1 東京千代田区大手町=1.0 国分寺市戸倉=1.0 八王子市堀之内*=0.9 日野市神明*=0.6 国分寺市本多*=0.6</p> <p>山梨県</p> <p>1 大月市御太刀*=0.7</p>	35° 04.0' N	139° 06.0' E	8km	M: 4.1
149	24 20 17	<p>宮城県沖</p> <p>岩手県</p> <p>1 一関市室根町*=1.1 一関市藤沢町*=0.7 住田町世田米*=0.7 一関市千厩町*=0.6 陸前高田市高田町*=0.6</p> <p>宮城県</p> <p>1 気仙沼市唐桑町*=1.2 気仙沼市笹が陣*=0.6</p>	38° 40.9' N	141° 31.6' E	68km	M: 3.3
150	24 22 25	<p>伊豆半島東方沖</p> <p>静岡県</p> <p>2 熱海市網代=1.5</p>	35° 03.3' N	139° 05.9' E	7km	M: 2.3
151	24 23 34	<p>徳島県北部</p> <p>徳島県</p> <p>1 佐那河内村下*=0.7</p>	34° 03.3' N	134° 26.8' E	9km	M: 2.5
152	25 08 31	<p>滋賀県北部</p> <p>滋賀県</p> <p>2 高島市朽木市場*=1.5</p>	35° 18.6' N	135° 59.0' E	17km	M: 3.0

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
153	25 14 19	日向灘 宮崎県	31° 47.1' N	131° 56.2' E	27km	M: 4.0
		1 大津市南小松=1.3 高島市朽木柏*=1.2 長浜市公園町*=0.9 多賀町多賀*=0.7 高島市今津町日置前*=0.7 高島市勝野*=0.6 高島市今津町弘川*=0.5 1 宮崎市松橋*=1.2 宮崎市橋通東*=0.9 国富町本庄*=0.8 宮崎市霧島=0.7 西都市聖陵町*=0.5 小林市真方=0.5				
154	25 22 25	鹿児島県薩摩地方 鹿児島県	31° 52.1' N	130° 41.9' E	8km	M: 2.0
		1 霧島市横川町中ノ*=0.5				
155	26 02 08	千葉県東方沖 千葉県	35° 24.5' N	140° 24.1' E	57km	M: 3.4
		2 一宮町一宮=1.6 長南町長南*=1.5 1 長生村本郷*=1.4 長南町総合グラウンド=1.3 大網白里市大網*=1.2 九十九里町片貝*=1.1 市原市姉崎*=1.1 東金市日吉台*=1.0 東金市東新宿=1.0 勝浦市新宮*=1.0 いすみ市岬町長者*=1.0 いすみ市国府台*=1.0 山武市埴谷*=0.9 睦沢町下之郷*=0.8 芝山町小池*=0.8 勝浦市墨名=0.8 山武市蓮沼ニ*=0.7 東金市東岩崎*=0.7 茂原市道表*=0.6 君津市久留里市場*=0.5				
156	26 10 06	石川県能登地方 石川県	37° 27.7' N	137° 15.3' E	9km	M: 2.6
		2 珠洲市正院町*=1.6 1 珠洲市大谷町*=0.6 珠洲市三崎町=0.5				
157	26 13 17	北海道東方沖 北海道	43° 49.9' N	147° 02.4' E	99km	M: 4.5
		2 別海町常盤=1.5 1 根室市牧の内*=1.4 標津町北2条*=1.3 根室市厚床*=1.3 根室市落石東*=1.3 根室市瑠瑠瑠*=1.2 別海町本別海*=0.9 根室市弥栄=0.9 標茶町塘路*=0.6				
158	26 14 40	新潟県中越地方 新潟県	37° 10.6' N	138° 36.8' E	10km	M: 1.8
		1 柏崎市高柳町岡野町*=0.9 上越市大島区岡*=0.8				
159	26 17 01	岩手県沖 青森県	40° 10.6' N	142° 03.7' E	43km	M: 3.3
		1 階上町道仏*=1.3				
160	26 22 39	奈良県 三重県 京都府 奈良県	34° 44.5' N	135° 55.9' E	10km	M: 2.7
		1 伊賀市小田町*=1.0 1 和束町釜塚*=1.4 木津川市加茂町里*=1.3 笠置町笠置*=1.0 南山城村北大河原*=0.9 1 奈良市月ヶ瀬尾山*=0.9 山添村大西*=0.9				
161	26 22 46	茨城県北部 茨城県	36° 42.4' N	140° 36.6' E	10km	M: 3.5
		2 日立市十王町友部*=2.4 高萩市安良川*=2.2 日立市助川小学校*=1.6 1 高萩市本町*=1.3 常陸太田市町屋町=1.0 北茨城市中郷町*=1.0 大子町池田*=0.9 常陸大宮市山方*=0.9 常陸太田市高柿町*=0.8 日立市役所*=0.7 北茨城市磯原町*=0.5 常陸大宮市上小瀬*=0.5 城里町小勝*=0.5				
162	26 23 59	福島県会津 福島県	36° 58.4' N	139° 22.1' E	5km	M: 1.4
		1 檜枝岐村上河原*=0.7				
163	27 05 53	長野県南部 長野県	35° 54.4' N	137° 37.6' E	9km	M: 2.4
		1 木曾町開田高原西野*=0.6				
164	27 07 16	茨城県北部 福島県 茨城県 栃木県	36° 44.5' N	140° 31.9' E	73km	M: 3.4
		1 浅川町浅川*=0.8 1 笠間市石井*=1.1 日立市助川小学校*=1.0 水戸市内原町*=0.9 城里町小勝*=0.9 常陸大宮市北町*=0.8 桜川市羽田*=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 笠間市笠間*=0.6 筑西市門井*=0.5 水戸市千波町*=0.5 常陸太田市高柿町*=0.5 1 宇都宮市明保野町=0.9				
165	27 10 03	沖縄本島近海 沖縄県	26° 20.6' N	127° 38.0' E	50km	M: 3.2
		1 座間味村座間味*=0.6				
166	27 10 26	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 16.1' N	130° 30.5' E	7km	M: 2.5
		1 芦北町芦北=0.7 球磨村渡*=0.6				
167	27 10 32	熊本県天草・芦北地方 熊本県 宮崎県 鹿児島県	32° 16.0' N	130° 30.6' E	7km	M: 3.5
		3 芦北町芦北=2.5 2 津奈木町小津奈木*=1.9 球磨村渡*=1.7 水俣市陣内*=1.5 水俣市牧ノ内*=1.5 1 八代市坂本町*=0.9 人吉市蟹作町*=0.7 芦北町田浦町*=0.7 天草市栖本町*=0.6 人吉市西間下町=0.5 1 えびの市加久藤*=0.6 1 鹿児島出水市高尾野町*=1.2 薩摩川内市祁答院町*=1.2 伊佐市大口山野=1.1 鹿児島出水市緑町*=0.9 さつま町宮之城保健センタ*=0.8 さつま町神子*=0.8 長島町伊唐島*=0.8 鹿児島出水市野田町*=0.7 阿久根市赤瀬川=0.7 伊佐市大口鳥巢*=0.7 長島町鷹巢*=0.5				

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
168	27 10 34	熊本県天草・芦北地方 熊本県 鹿児島県	32° 16.0' N	130° 30.6' E	7km	M: 3.2
169	27 10 40	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 16.1' N	130° 30.8' E	8km	M: 3.0
170	27 11 25	熊本県天草・芦北地方 熊本県 鹿児島県	32° 16.0' N	130° 30.6' E	7km	M: 3.1
171	27 13 21	熊本県天草・芦北地方 熊本県 鹿児島県	32° 15.8' N	130° 30.4' E	6km	M: 3.0
172	27 22 08	埼玉県南部 栃木県 埼玉県 茨城県 群馬県 千葉県	36° 05.0' N	139° 44.5' E	52km	M: 3.4
173	28 04 29	岩手県沖 岩手県	40° 07.2' N	142° 26.8' E	34km	M: 4.1
174	28 07 57	北海道南西沖 北海道	42° 29.1' N	139° 18.3' E	26km	M: 3.2
175	28 18 19	青森県東方沖 北海道 青森県	41° 35.3' N	141° 55.4' E	65km	M: 3.9
176	28 20 13	山形県沖 山形県 新潟県	38° 38.8' N	139° 26.9' E	13km	M: 3.5
177	29 00 30	和歌山県北部 和歌山県	34° 04.1' N	135° 08.2' E	6km	M: 2.4
178	29 00 51	マリアナ諸島 東京都	19° 36.8' N	144° 38.3' E	456km	M: 6.7
179	29 03 19	福島県中通り 福島県	37° 03.1' N	140° 26.4' E	8km	M: 2.5
180	29 03 46	土佐湾 高知県	33° 23.3' N	133° 30.9' E	8km	M: 3.3
181	29 15 57	根室半島南東沖 北海道	42° 48.0' N	146° 14.1' E	36km	M: 3.9
182	29 20 19	新潟県下越沖 新潟県	38° 35.0' N	139° 23.8' E	12km	M: 2.6

令和元年6月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
183	30 10 13	茨城県沖 茨城県 各地の震度（計測震度）	36° 03.7' N	141° 05.8' E	42km	M: 4.3
		2 茨城鹿嶋市宮中*=1.5 1 笠間市石井*=1.0 土浦市常名=1.0 銚田市汲上*=0.9 ひたちなか市南神敷台*=0.9 日立市助川小学校*=0.9 東海村東海*=0.8 水戸市千波町*=0.8 水戸市金町=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 稲敷市須賀津*=0.7 行方市麻生*=0.7 銚田市造谷*=0.7 水戸市内原町*=0.7 小美玉市上玉里*=0.7 水戸市栗崎町*=0.6 潮来市堀之内=0.6 稲敷市江戸崎甲*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.5 石岡市柿岡=0.5 栃木県 1 真岡市石島*=1.0 下野市笹原*=0.7 千葉県 1 銚子市小畑新町=1.2 旭市南堀之内*=1.2 香取市仁良*=1.1 旭市萩園*=1.0 香取市役所*=0.9 銚子市川口町=0.8 多古町多古=0.8 香取市佐原平田=0.8 旭市ニ*=0.7 芝山町小池*=0.6 東金市日吉台*=0.5 山武市松尾町富士見台=0.5				
184	30 12 18	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 52.4' N	141° 36.9' E	73km	M: 3.5
		1 一関市室根町*=0.9 北上市相去町*=0.8 一関市東山町*=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 平泉町平泉*=0.7 一関市千厩町*=0.7 住田町世田米*=0.6 1 気仙沼市笹が陣*=0.8 南三陸町志津川=0.7 石巻市北上町*=0.5				
185	30 15 53	上川地方南部 北海道 青森県 岩手県	43° 16.4' N	142° 24.2' E	166km	M: 4.5
		2 釧路市音別町中園*=1.7 1 浦幌町桜町*=1.4 千歳市支笏湖温泉*=1.3 函館市新浜町*=1.3 豊頃町茂岩本町*=0.8 千歳市若草*=0.7 函館市泊町*=0.6 千歳市北栄=0.6 厚真町鹿沼=0.6 1 階上町道仏*=1.4 八戸市湊町=0.8 東通村砂子又沢内*=0.8 むつ市大畑町中島*=0.7 八戸市内丸*=0.6 1 久慈市枝成沢=0.7 軽米町軽米*=0.5				

● 付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 〈平成30年（2018年）7月～令和元年（2019年）6月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成30年（2018年）											
7月	109	34	10	5	1					159	大阪府北部の地震活動（2018年6月18日の地震の周辺） （震度3：1回、震度2：3回、震度1：9回） 7日 千葉県東方沖（震度5弱） 地震活動（震度5弱：1回、震度2：3回、震度1：7回）
8月	89	29	11	2						131	
9月	229	113	46	19	1				1	409	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度7：1回、震度5弱：1回、震度4：16回、震度3：33回、震度2：75回、震度1：151回）
10月	106	51	16	10	1					184	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度5弱：1回、震度4：4回、震度3：2回、震度2：6回、震度1：22回）
11月	148	38	10	5						201	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度4：1回、震度2：4回、震度1：8回） 岐阜県飛騨地方（長野・岐阜県境付近）の地震活動 （震度2：6回、震度1：43回）
12月	100	33	11	2						146	
平成31年/令和元年（2019年）											
1月	100	48	4	4	1		1			158	3日 熊本県熊本地方（震度6弱） 26日 熊本県熊本地方（震度5弱）
2月	82	40	7	1			1			131	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度6弱：1回、震度3：1回、震度2：3回、震度1：6回）
3月	93	30	10	5						138	
4月	78	24	8	1						111	
5月	78	30	10	4	2					124	10日 日向灘（震度5弱） 25日 千葉県北東部（震度5弱）
6月	118	51	9	6				1		185	18日 山形県沖（震度6強） 地震活動（震度6強：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：8回、震度1：27回）
2019年計	549	223	48	21	3	0	2	1	0	847	
過去1年計	1330	521	152	64	6	0	2	1	1	2077	（平成30年7月～令和元年6月）

注) 「記事」の欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数
 〈平成30年（2018年）7月～令和元年（2019年）6月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成30年（2018年）								
7月	328	73	14	1		416	88	7日 千葉県東方沖（M6.0）
8月	365	96	11	2		474	109	17日03時21分 硫黄島近海（M6.3） 17日03時23分 硫黄島近海（M6.6）
9月	586	120	14	3		723	137	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 6日 胆振地方中東部（M6.7） 15日 沖縄本島近海（M6.2） 16日 沖縄本島近海（M6.0）
10月	410	80	14	2		506	96	23日 与那国島近海（M6.1） 24日 与那国島近海（M6.3）
11月	362	77	9	2		450	88	2日 オホーツク海南部（M6.1） 5日 国後島付近（M6.3）
12月	308	66	13			387	79	
平成31年/令和元年（2019年）								
1月	324	65	10	1		400	76	8日 種子島近海（M6.0）
2月	369	66	14			449	80	
3月	336	69	14	3		422	86	2日 根室半島南東沖（M6.2） 11日 福島県沖（M6.0） 11日 硫黄島近海（M6.1）
4月	414	79	14	2		509	95	11日 三陸沖（M6.2） 18日 台湾付近（M6.5）
5月	337	70	7	1		415	78	10日 日向灘（M6.3）
6月	355	67	7	2		431	76	4日 鳥島近海（M6.2） 18日 山形県沖（M6.7）
2019年計	2135	416	66	9	0	2626	491	
過去1年計	4494	928	141	19	0	5582	1088	（平成30年7月～令和元年6月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」の欄には主にM6.0以上の地震を記載した。

● 付録4. 長周期地震動階級1以上を観測した地震

令和元年6月に、長周期地震動階級*1以上を観測した地震は1回であった。

6月18日22時22分の山形県沖の地震における発表内容についてはp.94~98を参照。

平成25年3月～令和元年6月に長周期地震動階級1以上を観測した地震の月別回数
(平成25年3月28日の長周期地震動に関する観測情報(試行)**の提供開始以降)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成25年 (2013年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成26年 (2014年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成27年 (2015年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成28年 (2016年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成29年 (2017年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成30年 (2018年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成31年 /令和元年 (2019年)	1	1	0	0	1	1							4

長周期地震動階級関連解説表

長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
長周期地震動階級1	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	—
長周期地震動階級2	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	—
長周期地震動階級3	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
長周期地震動階級4	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろつされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成30年12月号「付録10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。

※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、同平成25年4月号「特集3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。なお、平成31年3月19日に長周期地震動に関する観測情報の本運用を開始した。

● 付録5. 緊急地震速報の提供状況

令和元年6月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は2回であった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は59回であった。

令和元年6月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	予想最大震度	警報発表までの経過時間（秒）
令和元年06月18日22時22分	山形県沖	6.7	6強	6強	7.3
令和元年06月24日19時22分	伊豆半島東方沖	4.1	4	5弱	5.9

※表中の「予想最大震度」は緊急地震速報（警報）で発表した予想震度の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第1報発表までの経過時間（秒）を示す。

平成19年10月～令和元年6月に発表した緊急地震速報の月別回数

年\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年(2007年)										0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年(2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年(2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年(2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年(2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年(2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年(2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	0(102)	2(97)	1(61)	0(80)	0(93)	1(67)	9(1010)
平成26年(2014年)	0(70)	0(70)	1(68)	0(62)	0(53)	0(57)	2(97)	1(96)	1(68)	0(84)	1(87)	0(75)	6(887)
平成27年(2015年)	0(67)	1(88)	0(90)	1(77)	3(71)	0(84)	1(74)	0(88)	0(81)	0(92)	1(86)	0(75)	7(973)
平成28年(2016年)	1(76)	0(71)	0(65)	20(228)	1(101)	2(89)	0(95)	0(71)	1(80)	3(92)	2(124)	1(86)	31(1178)
平成29年(2017年)	0(77)	0(72)	0(61)	0(60)	0(52)	1(55)	1(79)	1(73)	2(52)	1(53)	0(57)	1(77)	7(768)
平成30年(2018年)	2(64)	0(61)	1(76)	2(80)	1(52)	2(70)	1(55)	0(58)	2(158)	4(97)	1(68)	0(69)	16(908)
平成31年/令和元年(2019年)	1(66)	1(62)	0(63)	0(88)	1(64)	2(59)							5(402)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

1. 令和元年06月18日22時22分 山形県沖の地震

本地震における緊急地震速報の詳細については、p.99～102を参照。

2. 令和元年06月24日19時22分 伊豆半島東方沖の地震

発生した地震の概要（暫定値）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和元年06月24日 19時22分39.4秒	伊豆半島東方沖	35° 04.0′	139° 06.0′	8km	4.1	4

緊急地震速報の詳細

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度
地震波 検知時刻	19時22分42.6秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	19時22分47.6秒	5.0	静岡県伊豆地方	35.1	139.0	10km	3.9	最大震度3程度以上
第2報	19時22分48.5秒	5.9	静岡県伊豆地方	35.1	139.0	10km	3.9	※1
第3報	19時22分49.0秒	6.4	伊豆半島東方沖	35.0	139.1	10km	3.9	※2
第4報	19時22分52.7秒	10.1	伊豆半島東方沖	35.0	139.1	10km	4.2	※2
第5報	19時23分12.7秒	30.1	伊豆半島東方沖	35.0	139.1	10km	4.3	※2
第6報	19時23分32.5秒	49.9	伊豆半島東方沖	35.0	139.1	10km	4.3	※2
第7報	19時23分39.6秒	57.0	伊豆半島東方沖	35.0	139.1	10km	4.3	※2

- ※1 震度5弱程度以上 静岡県伊豆、神奈川県西部
震度4程度以上 静岡県東部
- ※2 震度5弱程度 静岡県伊豆、神奈川県西部
震度4程度 静岡県東部

警報第1報発表から主要動到達までの
時間及び警報発表対象地域の分布図

